

令和 2 年度
多摩区区民意識アンケート調査
報告書

令和 3 年 3 月



目 次

I. 調査概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査方法	3
3. 調査項目	3
4. 回収状況	3
5. 図表の見方	3
6. 数の表現	4
7. 標本誤差	4
II. 調査回答者の属性	5
問31 性別	7
問32 年齢	7
問33 職業	7
問33-2 業種・職務	8
問34 通勤先／通学先	8
問35 居住地	9
問36 住居形態	9
問37 世帯人数	10
同居家族	10
問38 子どもの年代	11
問39 最寄り駅までの交通手段	11
問40 居住年数	11
問41 区の知らせや情報の入手手段	12
III. 調査結果	13
1. 多摩区の長所・魅力	15
2. 住みやすさ	17
3. 定住意向	19
4. 区外転居意向の理由	21
5. 多摩区に対する愛着や誇り	23
6. 多摩区の生活環境	29
7. 市政についてよくやっていると思うもの	42
8. 市政について今後特に力を入れてほしいもの	44
9. 市の施策や事業の総合満足度	47

10. 地域活動の状況	49
11. 行っている地域活動の分野	51
12. 地域活動をする上で支援を受けたいと思うもの	53
13. 地域活動を行っていない理由	55
14. 地域活動を始めるために必要な機会や場	57
15. 地域活動への取組意向	59
16. 地域活動への関心分野	61
17. 町内会・自治会への加入状況	63
18. 町内会・自治会に加入していない理由	66
19. 区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの	68
20. 多摩区の見どころ	70
21. 区の観光振興やイメージ、地域ブランド向上を目指す取組の認知状況	72
22. 地震・風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組	74
23. 災害に対する備えに関する情報の効果的な提供手段	76
24. 直近1年以内に参加したことのある防災訓練や出前講座	78
25. 効果的だと思う防災訓練や出前講座の内容	80
26. 「地域包括ケアシステム」の認知状況	82
27. 「地域包括ケアシステム」における自助・互助の活動状況	84
28. 「地域包括ケアシステム」における自助・互助として行ってみたい活動内容	86
29. 近所付き合いの程度	88
30. 近所に手助けを頼める人の有無	90
31. 手助けを頼まれた場合に自分ができると思うこと	92
32. 自分と世代が異なる人との付き合いの状況	94
33. 「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向	96
34. 知っている3大学関連イベント	98
35. 区役所が力を入れて取り組むべき施策	101
36. 新型コロナウイルス感染症対策の実施状況	105
37. イベントや公共施設など人が集まりやすい場所で必要だと思う感染症防止対策	107
38. 市（区）が優先して取り組むべき感染症対策	109

IV. 調査票 111

I . 調查概要

I. 調査概要

1. 調査実施の目的

区民が日頃多摩区について感じていることや、区民の地域活動に関する意識、多摩区役所が推進する主な取組に関する意識などを調査することで、多摩区役所が区民に身近な総合行政機関として、地域の課題解決や、地域の魅力を活かした取組を効果的に推進していくための参考とすることを目的とした。

2. 調査方法

- (1) 調査の対象者 …… 多摩区在住の18歳以上の男女個人（外国人を含む）
- (2) 標本数 …… 2,000サンプル
- (3) 標本抽出方法 …… 住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法 …… 郵送法（郵送配布・郵送回収）
- (5) 調査期間 …… 令和2年10月22日（木）～11月24日（火）
- (6) 調査委託機関 …… 株式会社総合企画

3. 調査項目

- (1) 生活環境の満足度について
- (2) 市政への参加、地域でのボランティア活動などについて
- (3) 区役所が推進する主な取組について

4. 回収状況

- (1) 標 本 数 : 2,000票
- (2) 無 効 回 答 数 : 1票
- (3) 有 効 回 答 数 : 1,045票
- (4) 有 効 回 収 率 : 52.3%

5. 図表の見方

- (1) 表中のnは回答者総数のことである。いくつでも○（複数回答）などの場合は回答が2つ以上ありうる。したがって、合計比は100%を超える。
- (2) 百分比はNを100%として算出し、図表中では原則として単純集計については小数第2位を四捨五入して第1位まで、その他のクロス集計については小数第1位を四捨五入して整数としたものを使用した。このため、百分比の合計が100%に満たない、又は上回る場合がある。

6. 数の表現

N＝調査対象者数

n＝各質問ごとの回答者数

7. 標本誤差

- (1) 各項目のはじめに質問項目と共に示してある単純集計のnは、回答者数のことである。質問に対する回答は、1つの場合や2つ以上、いくつでもよい場合（複数回答）などがあるが、複数回答の場合、合計比は100%を超えることがある。
- (2) 百分比はnを100%として算出し、本文及び図表中では原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示した（経年推移では、小数第1位を四捨五入して整数で表示）。図表中の「0」または「0.0」は四捨五入の結果を示し、「－」は皆無の結果を示している。このため、百分比の合計が100%に満たない、あるいは上回る場合がある。また、2つ以上の選択肢の合計値が、グラフと文中との間で誤差が生じる場合もある。
- (3) 標本誤差

この調査の標本誤差（サンプル誤差）はおおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数（n）、及び②回答の比率（P）によって異なる。

$$b = 2\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b＝標本誤差（単純無作為抽出の場合）

N＝母集団数

n＝比率算出の基数（サンプル数）

P＝回答の比率

回答の比率 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,045	±1.9	±2.5	±2.8	±3.0	±3.1
887	±2.0	±2.7	±3.1	±3.3	±3.4
841	±2.1	±2.8	±3.2	±3.4	±3.4
706	±2.3	±3.0	±3.4	±3.7	±3.8
401	±3.0	±4.0	±4.6	±4.9	±5.0
149	±4.9	±6.6	±7.5	±8.0	±8.2
126	±5.3	±7.1	±8.2	±8.7	±8.9

注) 1. 上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出した。

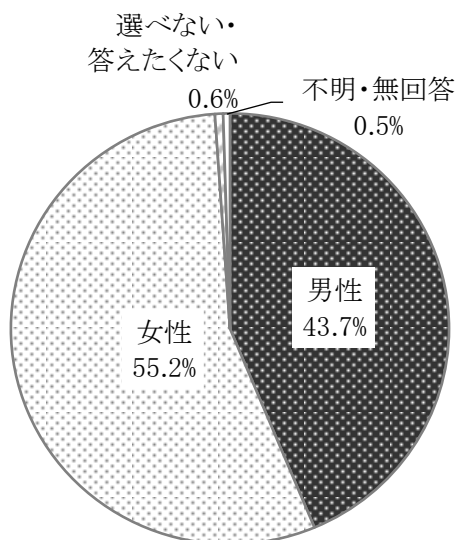
2. この表は、ある設問の回答者数が887人でありその設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±3.3%以内ということを表わす。

Ⅱ. 調査回答者の属性

Ⅱ．調査回答者の属性

問31 性別

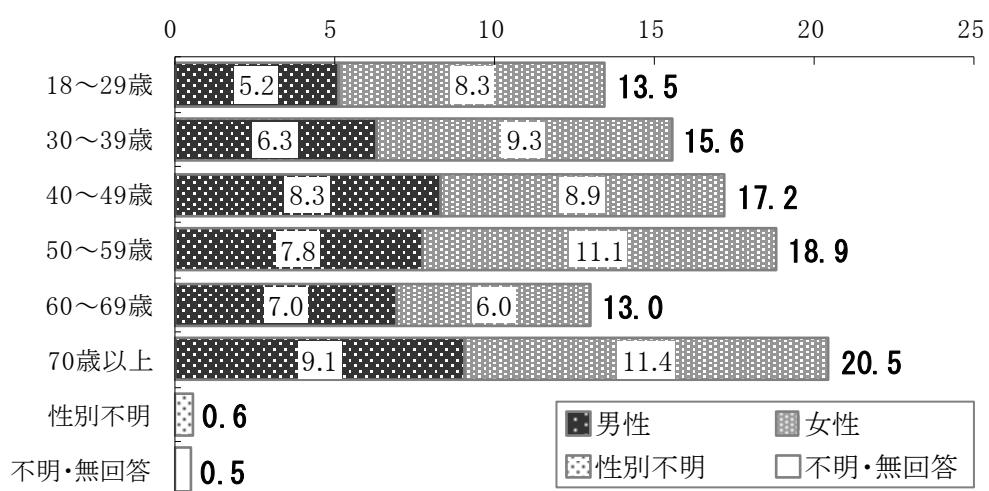
(N=1, 045)



問32 年齢

(%)

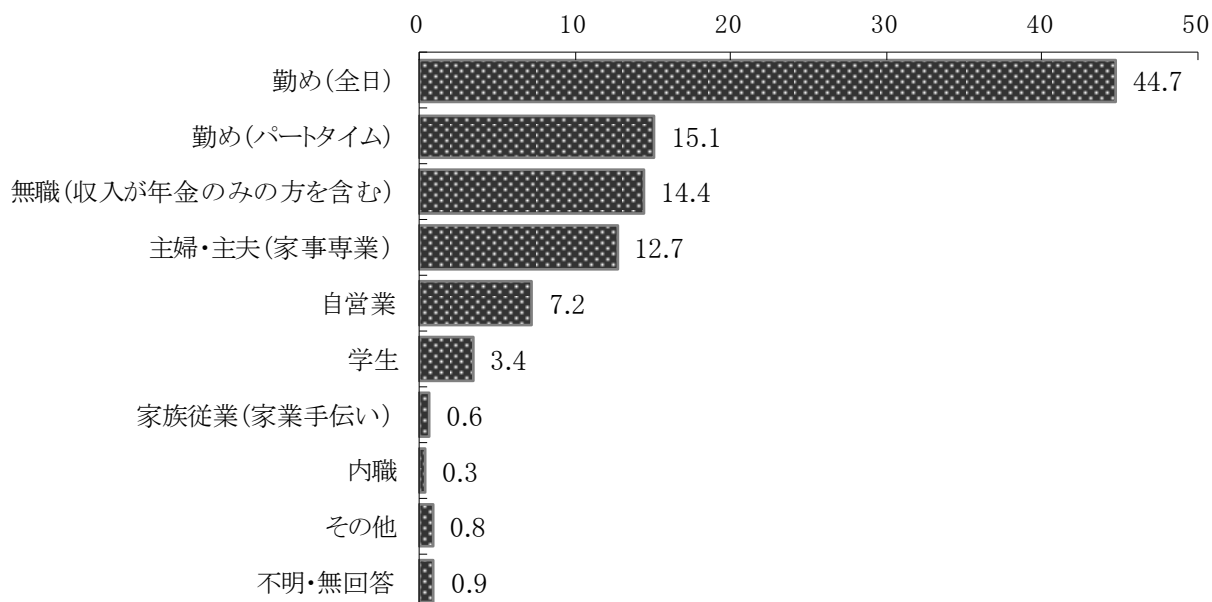
(N=1, 045)



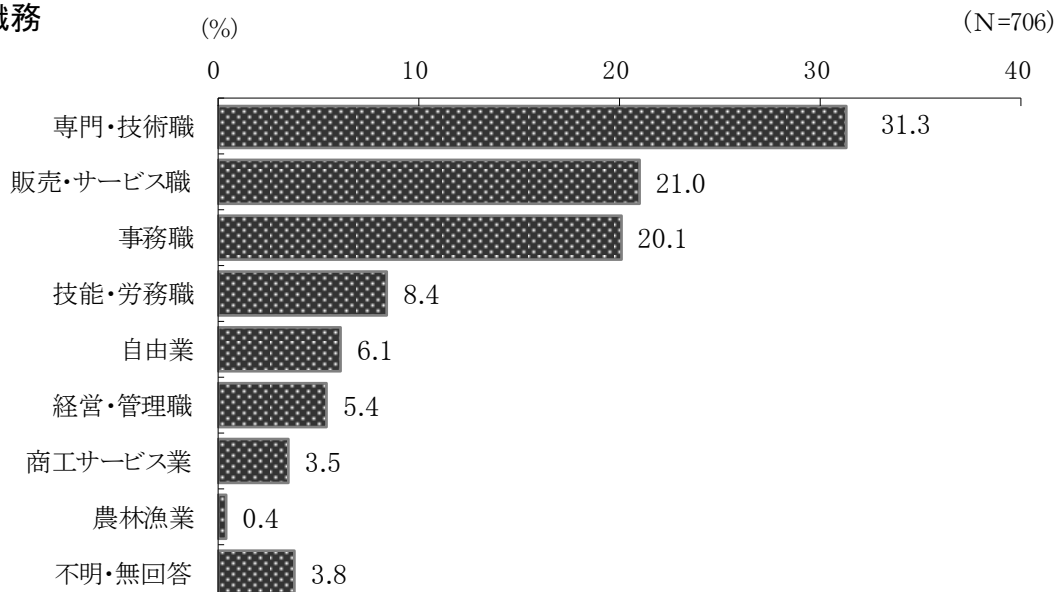
問33 職業

(%)

(N=1, 045)

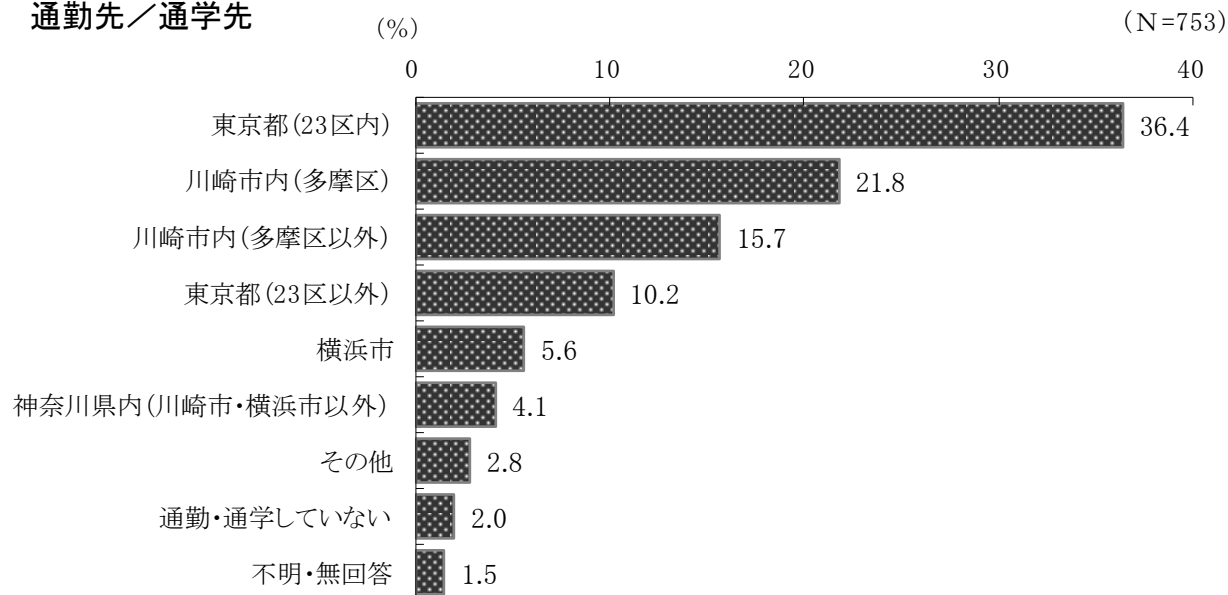


問33-2 業種・職務



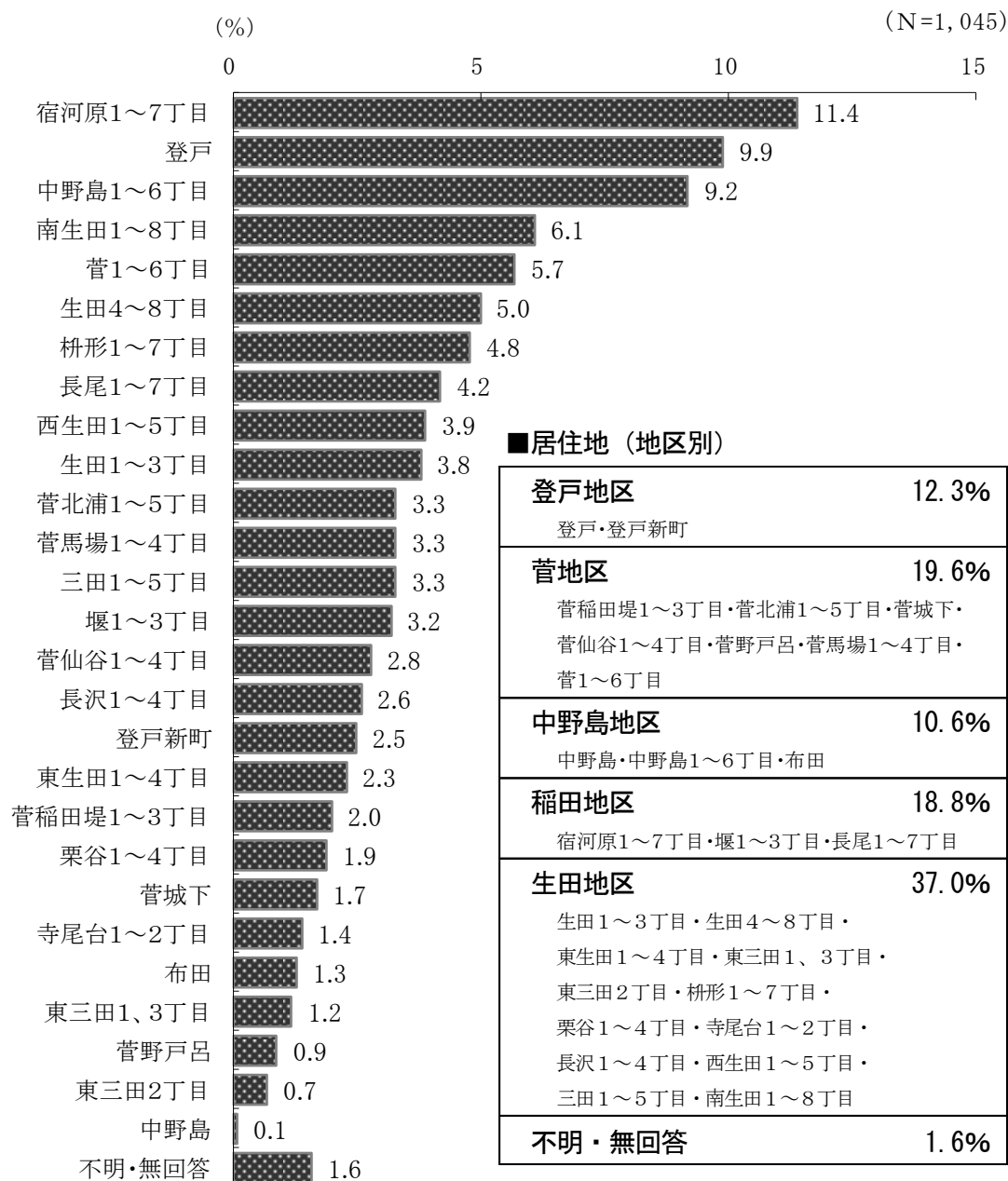
※ 問33で「1.自営業」、「2.家族従業（家業手伝い）」、「3.勤め（全日）」、「4.勤め（パートタイム）」と選択した人のみ回答。

問34 通勤先／通学先

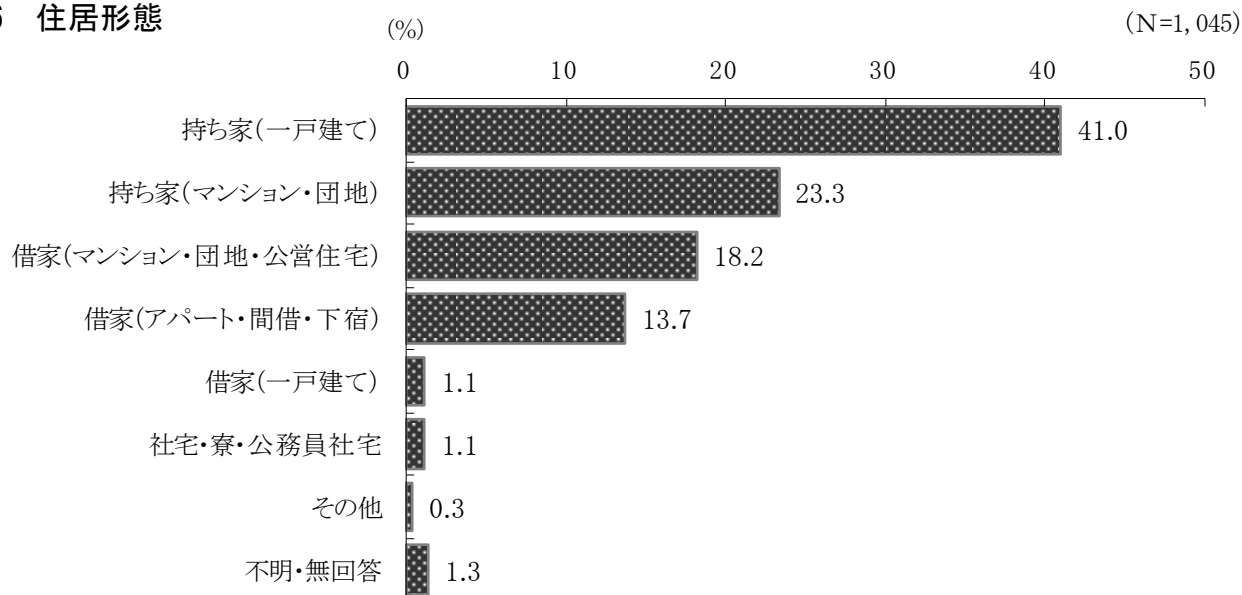


※ 問33で「6.主婦・主夫（家事専業）」、「8.無職（収入が年金のみの方を含む）」、「不明・無回答」であった人を除いて集計。

問35 居住地

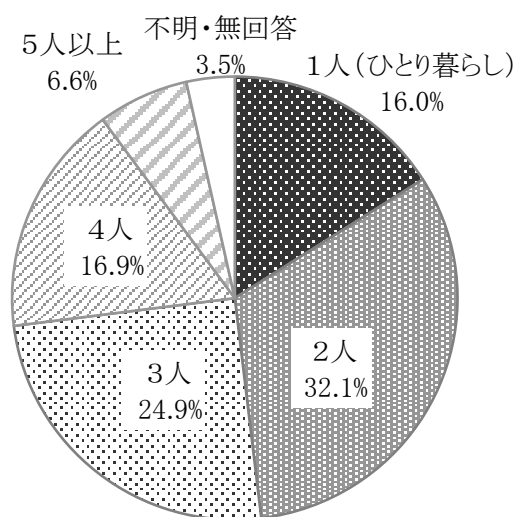


問36 住居形態



問37 世帯人数

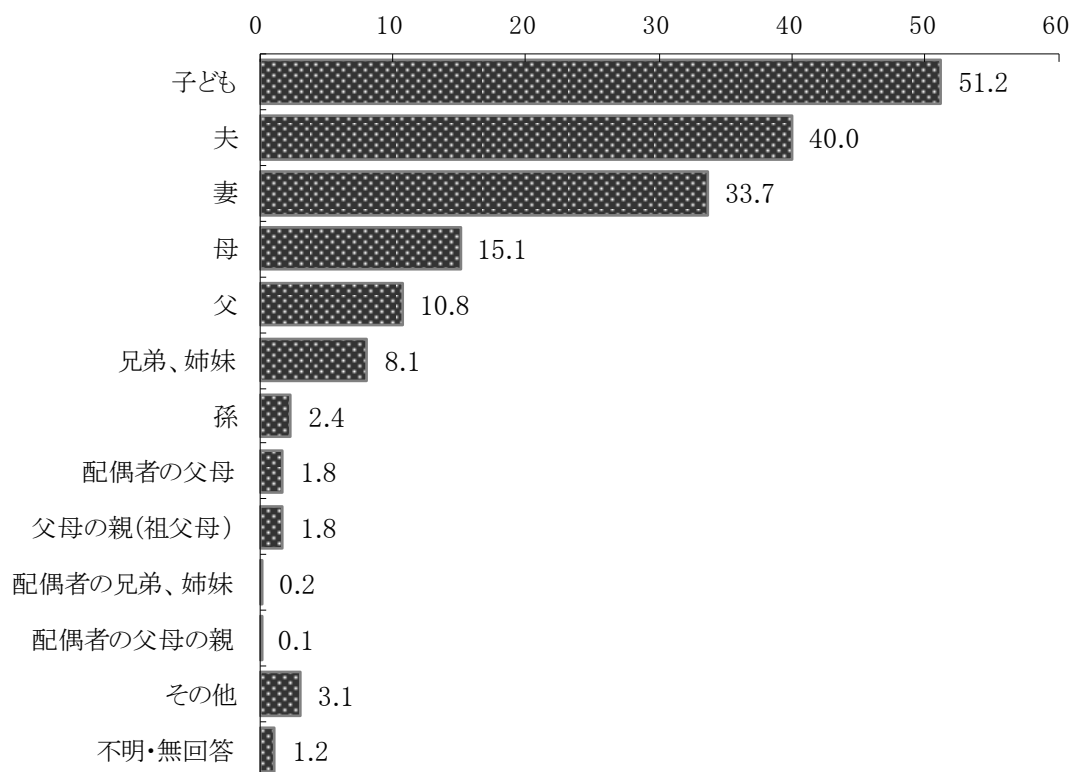
(N=1,045)



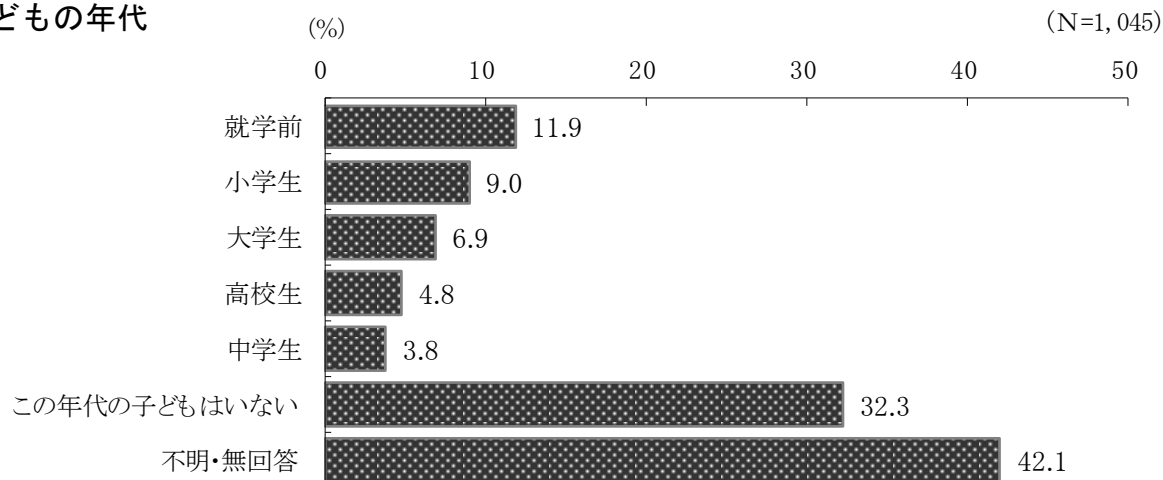
平均世帯人数
2.68 人

同居家族

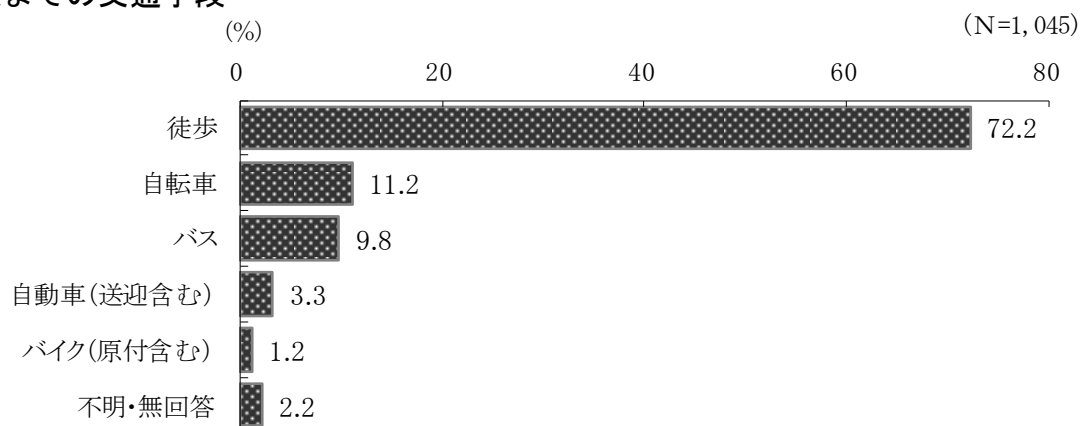
(N=841)



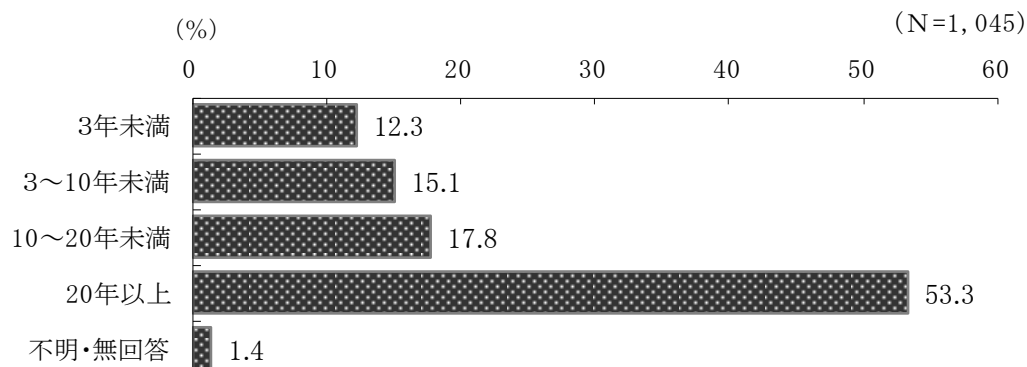
問38 子どもの年代



問39 最寄り駅までの交通手段

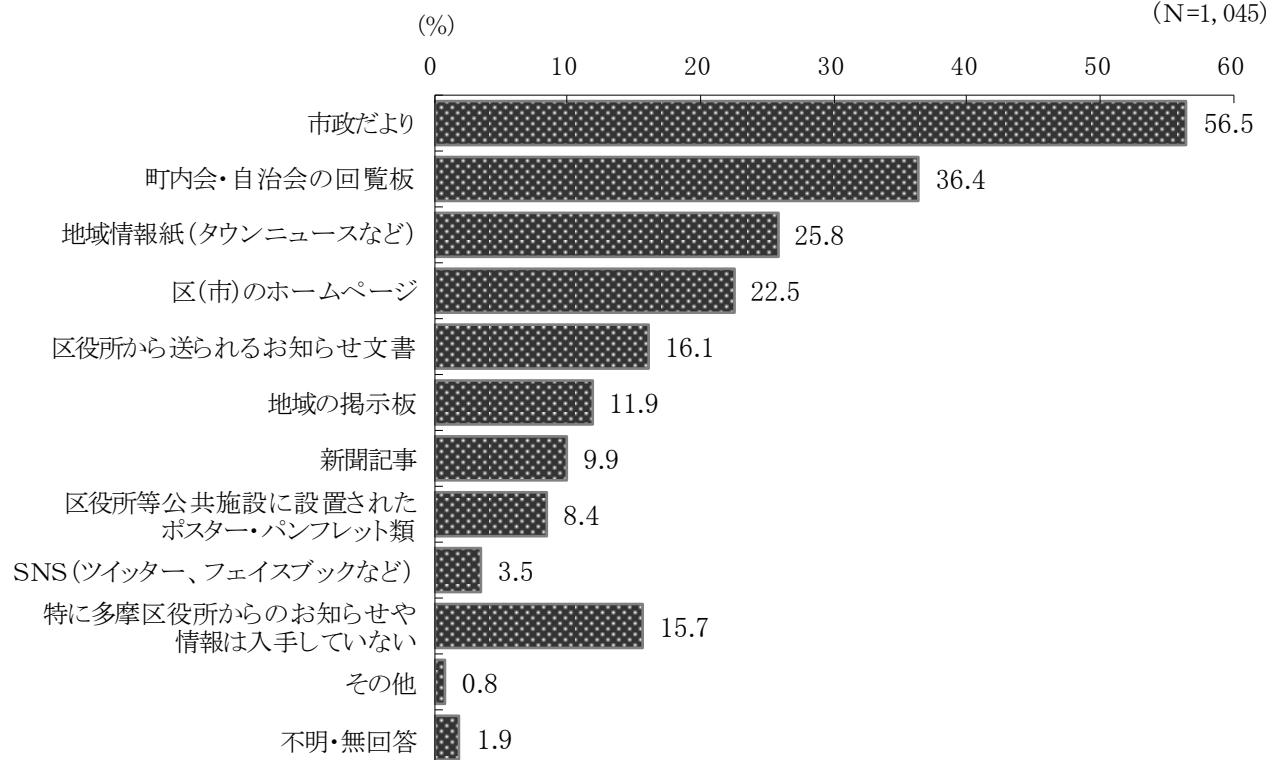


問40 居住年数



問41 区の知らせや情報の入手手段

(N=1,045)



Ⅲ. 調査結果

※設問によっては、回答者の居住地区別の集計を行っているが、各地区の範囲は次のとおりである。

登戸地区----- 登戸・登戸新町

菅地区----- 菅稲田堤 1～3 丁目・菅北浦 1～5 丁目・菅城下・菅仙谷 1～4 丁目・菅野戸呂・
菅馬場 1～4 丁目・菅 1～6 丁目

中野島地区----- 中野島・中野島 1～6 丁目・布田

稲田地区----- 宿河原 1～7 丁目・堰 1～3 丁目・長尾 1～7 丁目

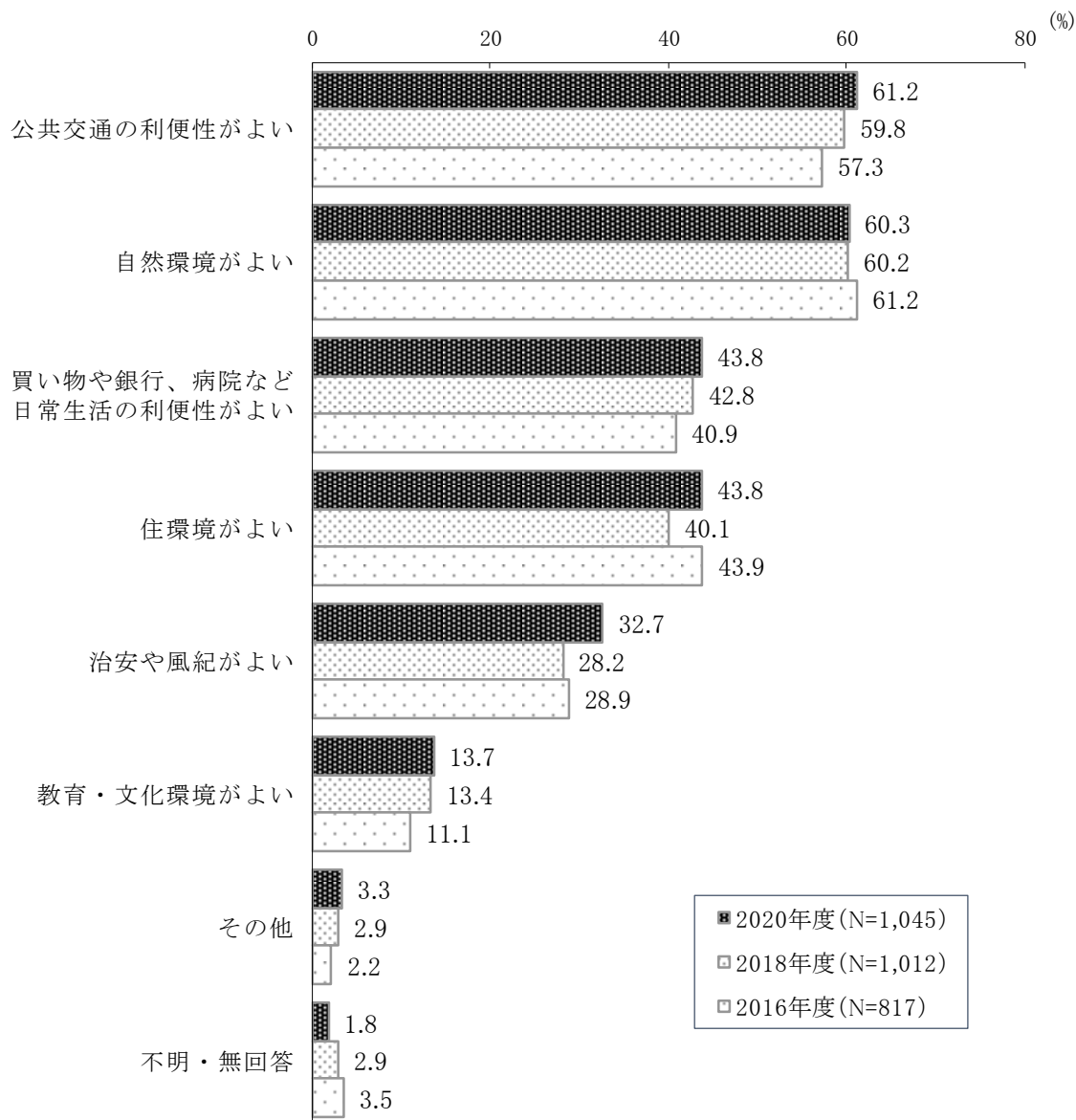
生田地区----- 生田 1～3 丁目・生田 4～8 丁目・東生田 1～4 丁目・東三田 1、3 丁目・
東三田 2 丁目・枳形 1～7 丁目・栗谷 1～4 丁目・寺尾台 1～2 丁目・
長沢 1～4 丁目・西生田 1～5 丁目・三田 1～5 丁目・南生田 1～8 丁目

Ⅲ 調査結果

1. 多摩区の長所・魅力

問1 多摩区の長所・魅力と思っているものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

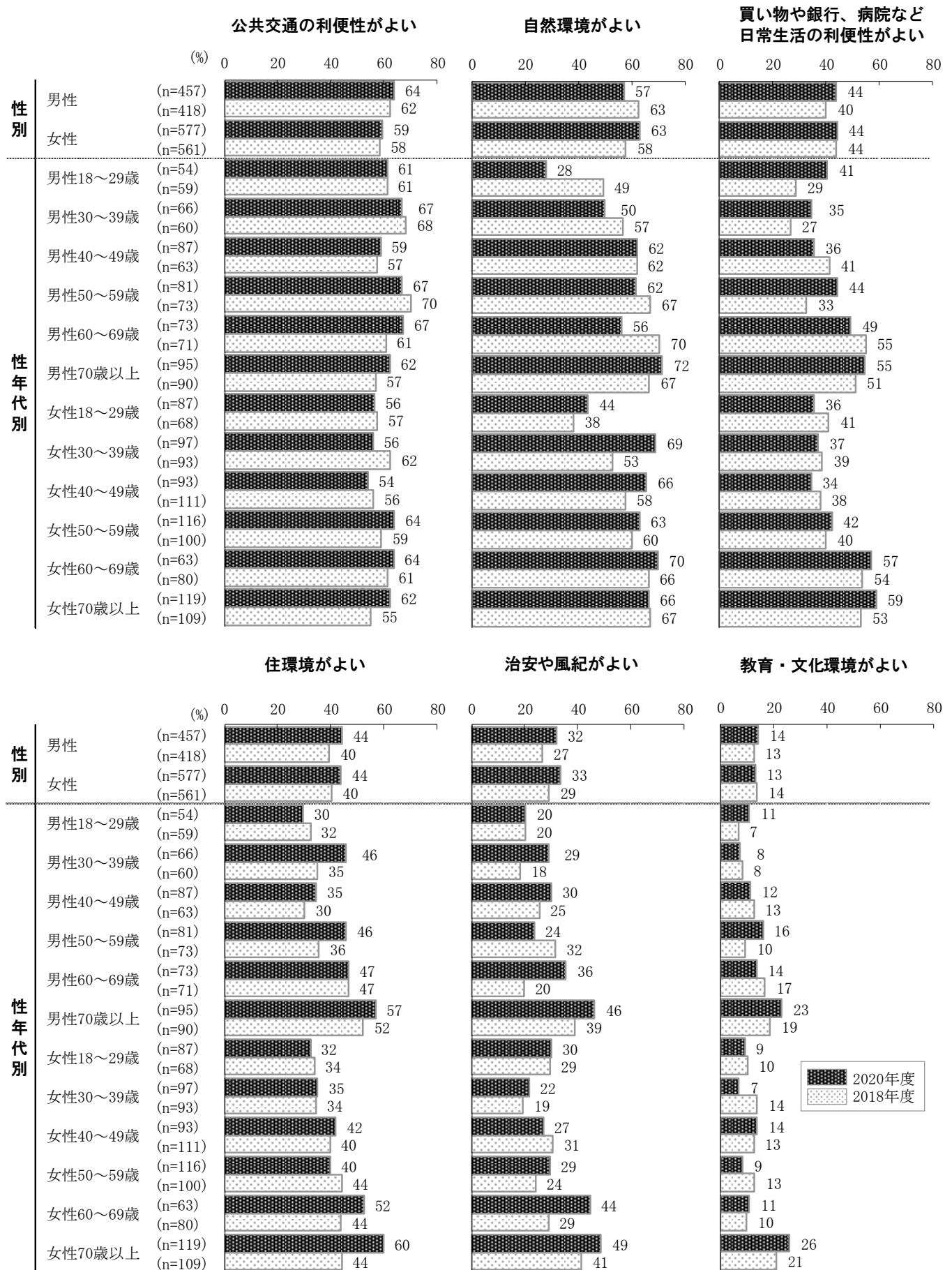
図 1-1 多摩区の長所・魅力



「多摩区の長所・魅力」について聞いたところ、「公共交通の利便性がよい」(61.2%)が最も高い結果となり、次いで「自然環境がよい」(60.3%)と上位2項目が60%を超える高い結果となった。

2018年度も「公共交通の利便性がよい」、「自然環境がよい」が上位2項目となっており、ほぼ同じ傾向となった。

図 1-2 多摩区の長所・魅力（性別・性年代別）

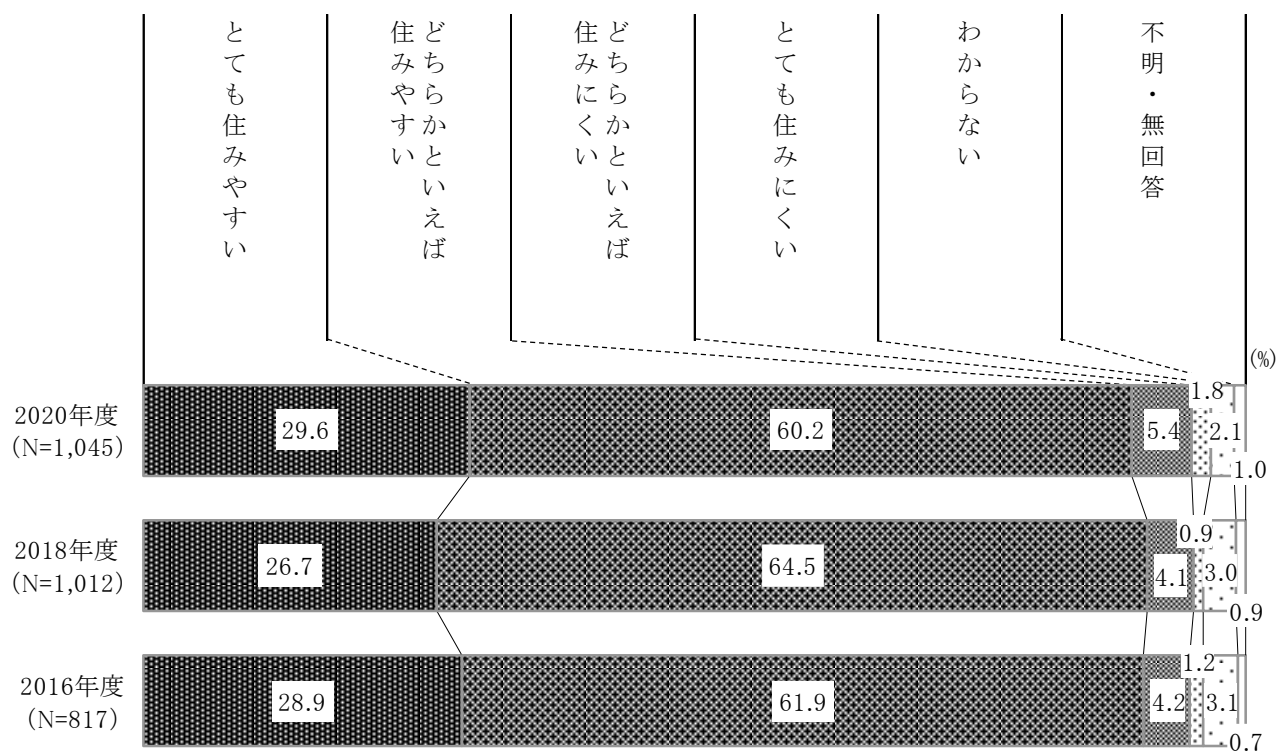


性年代別で見ると、「自然環境がよい」は、男女とも30歳以上で50%を超える結果となった。また「買い物や銀行、病院など日常生活の利便性がよい」「住環境がよい」「治安や風紀がよい」「教育・文化環境がよい」は、男女とも70歳以上が最も高い結果となった。

2. 住みやすさ

問2 あなたにとって多摩区はどの程度住みやすいですか。(○は1つだけ)

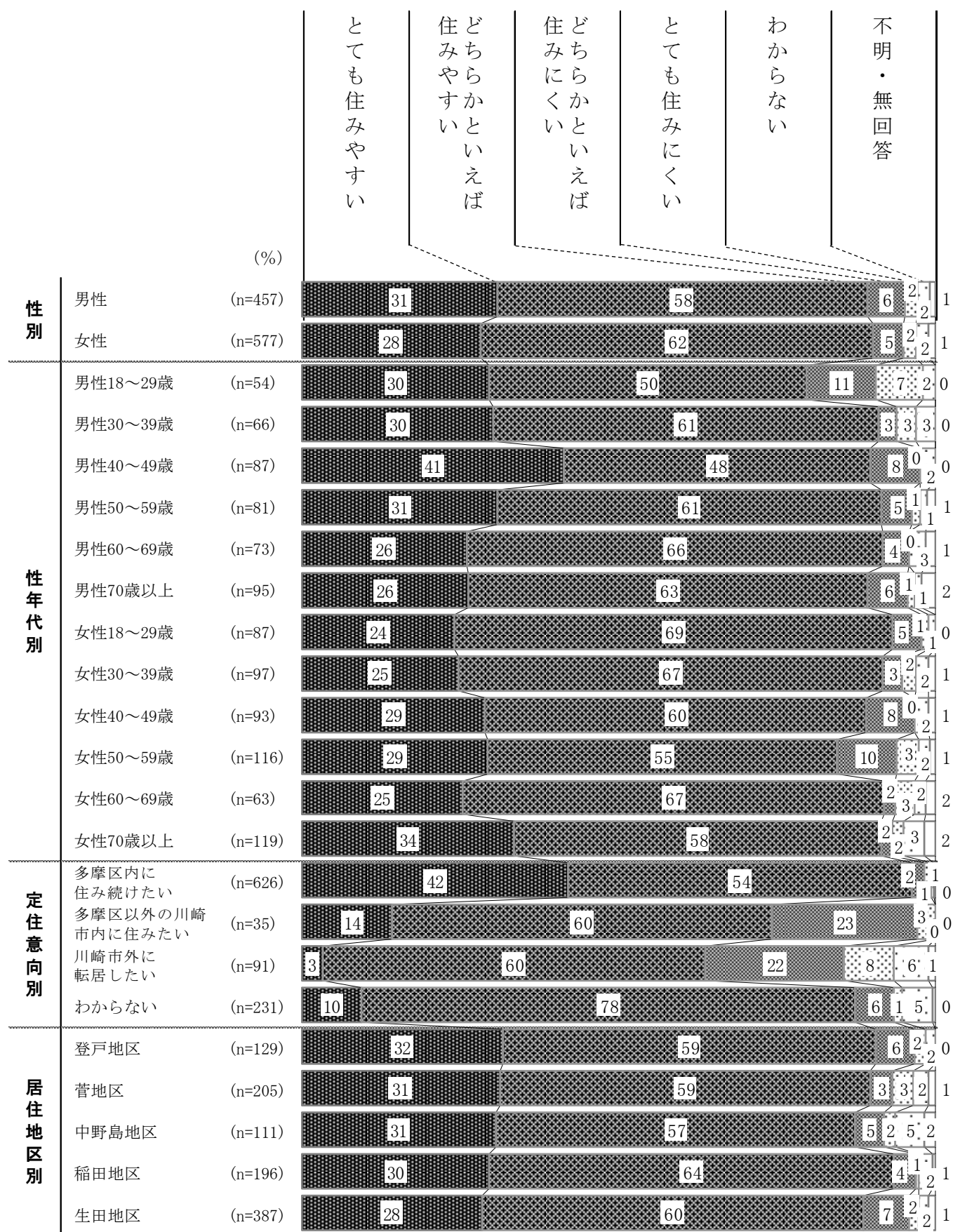
図 2-1 住みやすさ



「住みやすさ」について聞いたところ、「どちらかといえば住みやすい」(60.2%)、「とても住みやすい」(29.6%)の順となり、「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい計』(89.8%)が高い結果となった。

2018年度との比較では、『住みやすい計』だけでなく全体的にはほぼ変わらない結果となった。

図 2-2 住みやすさ（性別・性年代別・定住意向別・居住地区別）

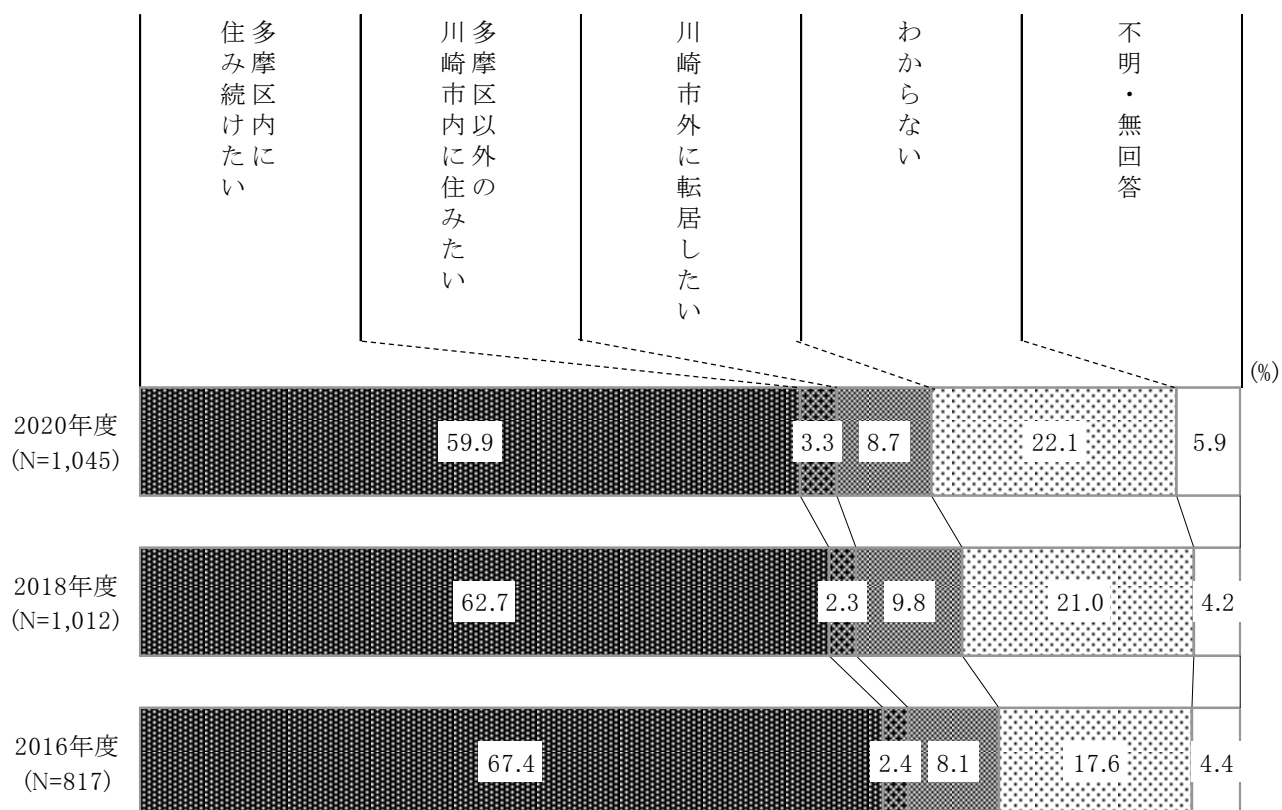


「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい計』では、性別、性年代別、定住意向別、居住地区別の全てで半数を超える高い結果となった。

3. 定住意向

問3 多摩区に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

図 3-1 定住意向

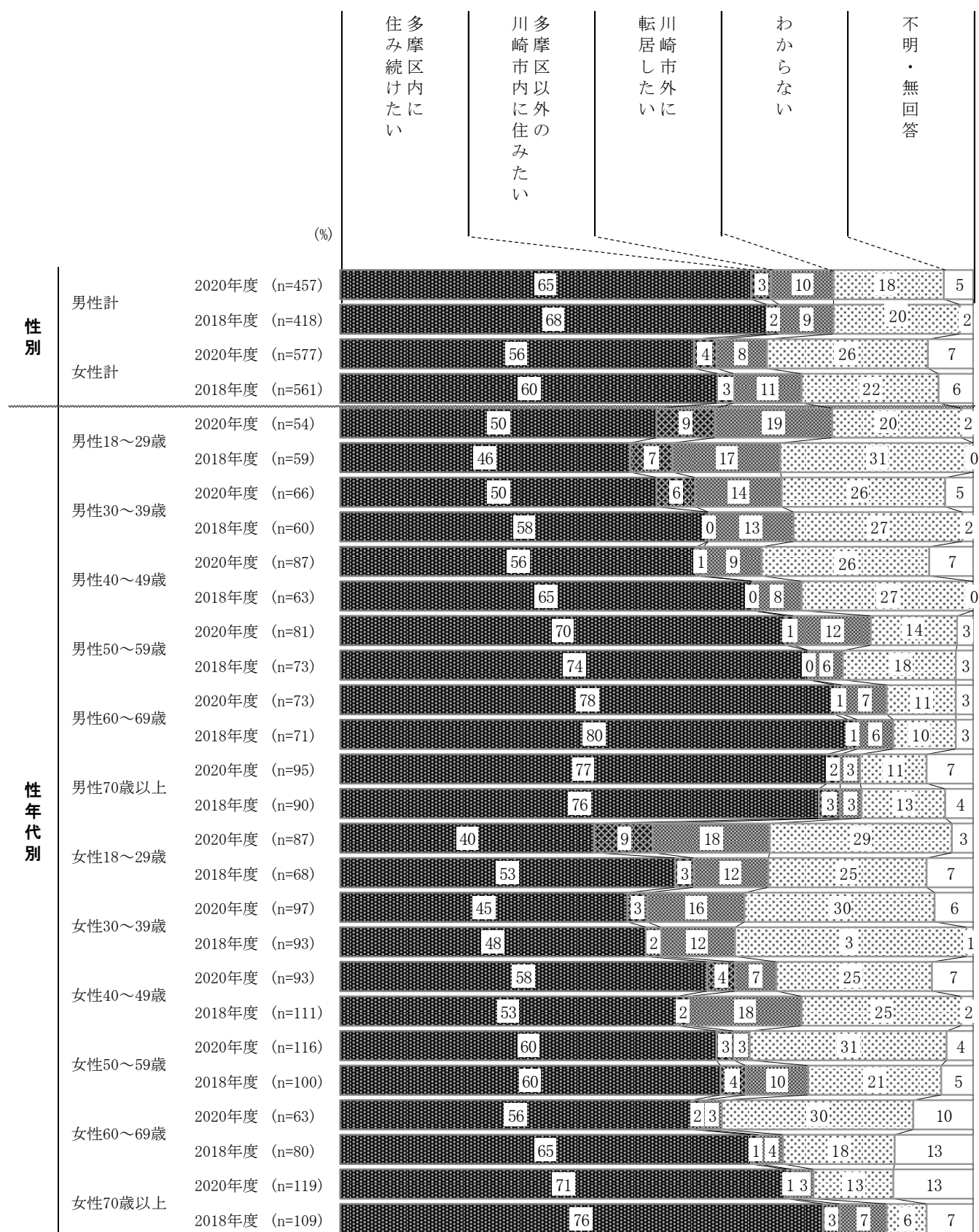


「定住意向」について聞いたところ、「多摩区内に住み続けたい」(59.9%)が最も高い結果となった。

過去2回の調査結果でも、「多摩区内に住み続けたい」の割合が最も高かったが、年々減少しており、2018年度との比較では、2.8ポイントの減少となった。

また「川崎市外に転居したい」は、2018年度との比較では、1.1ポイントの減少となった。

図 3-2 定住意向（性別・性年代別）

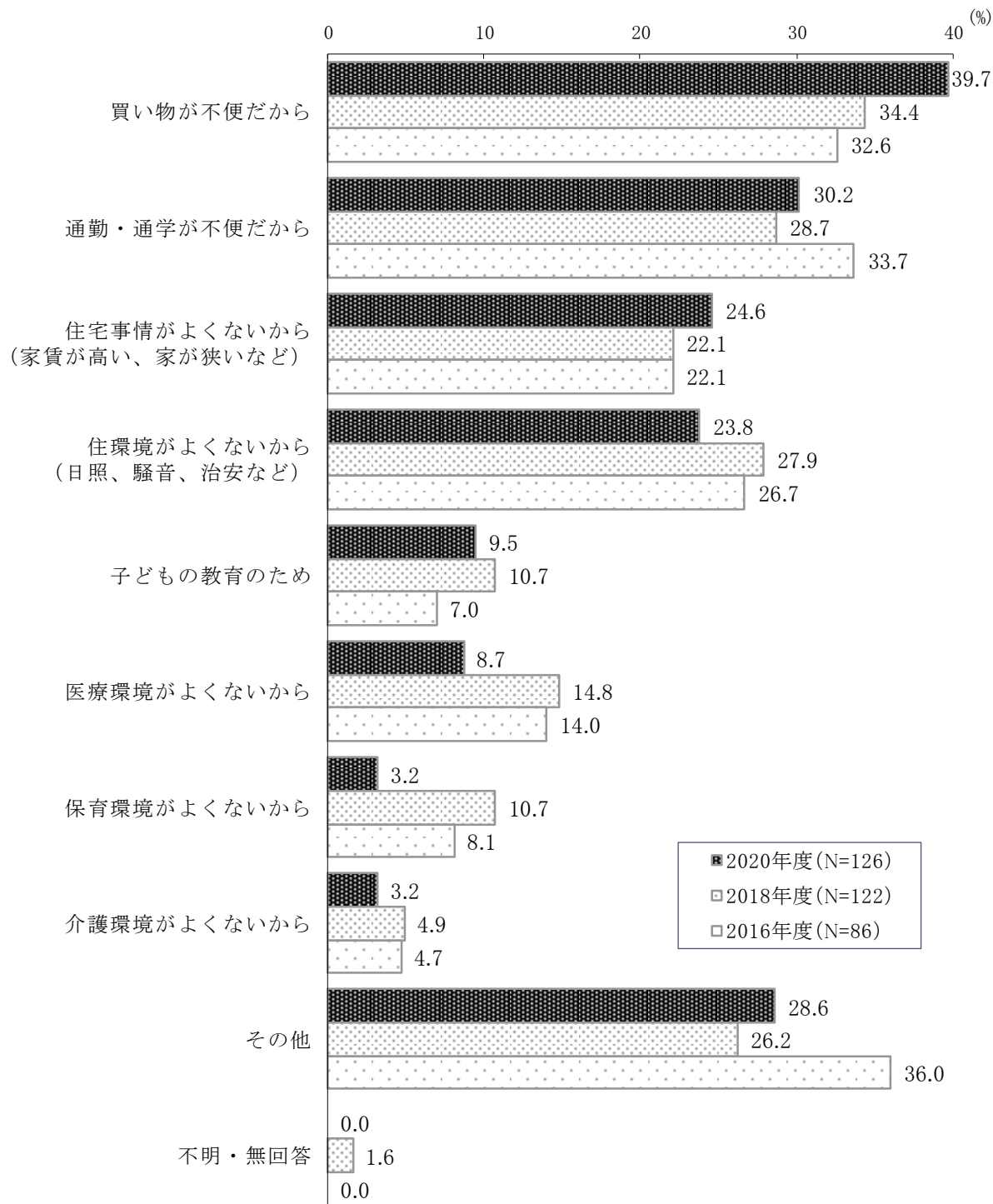


「多摩区内に住み続けたい」の割合は、性年代別で見ると女性18～29歳と女性30～39歳以外で50%を超える高い結果となった。またその中でも男性50～59歳、男性60～69歳、男性70歳以上、女性70歳以上で70%を超える高い結果となった。

4. 区外転居意向の理由

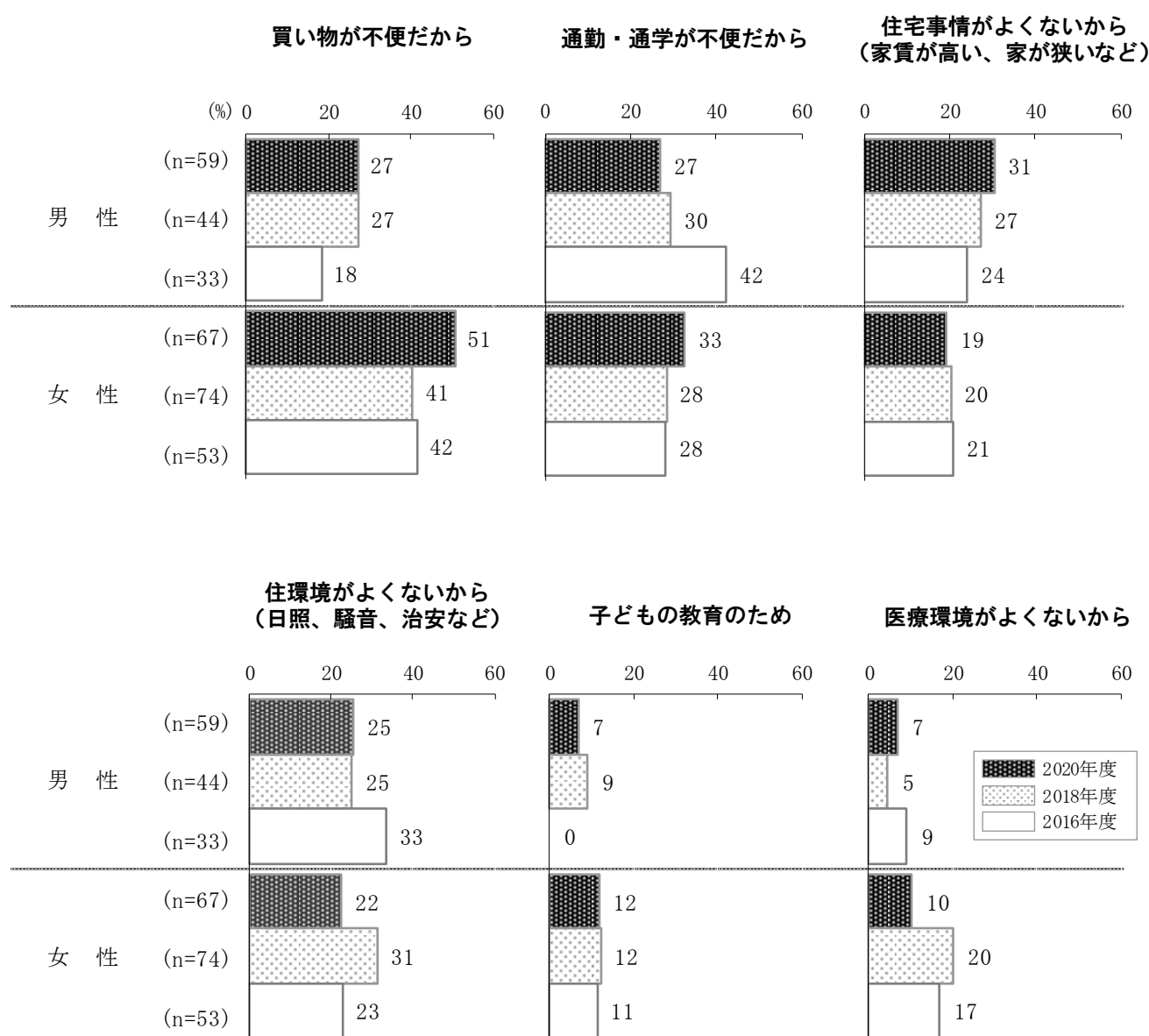
問3-2 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図 4-1 区外転居意向の理由



「3. 定住意向」で「多摩区以外の川崎市内に住みたい」「川崎市外に転居したい」と回答した人に「区外転居意向の理由」について聞いたところ、「買い物が不便だから」(39.7%)が最も高く、次いで「通勤・通学が不便だから」(30.2%)、「住宅事情がよくないから(家賃が高い、家が狭いなど)」(24.6%)、「住環境がよくないから(日照、騒音、治安など)」(23.8%)の順となり、上位4項目が20%を超える結果となった。

図 4-2 区外転居意向の理由（性別）
＜上位6位＞



性別で見ると「買い物が不便だから」は女性の方が24ポイント高い結果となり、「住宅事情がよくないから（家賃が高い、家が狭いなど）」は、男性の方が12ポイント高い結果となった。

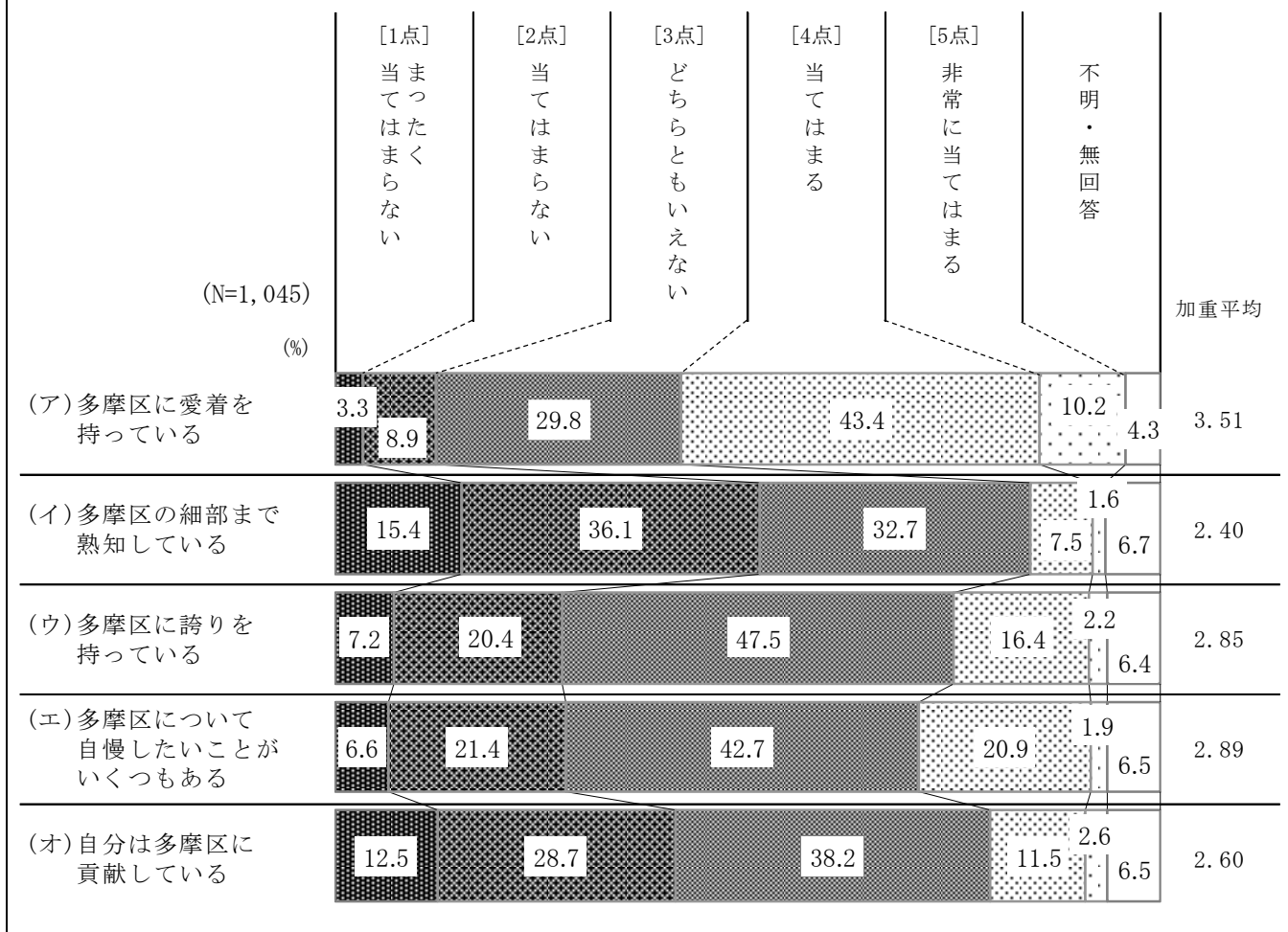
男性では、「通勤・通学が不便だから」が年々減少し、2016年度と比較して15ポイント減少した反面、「住宅事情がよくないから（家賃が高い、家が狭いなど）」は年々上昇し、2016年度と比較して7ポイント上昇する結果となった。

女性で見ると「買い物が不便だから」は2018年度と比較して10ポイント上昇する結果となった。また「住環境がよくないから（日照、騒音、治安など）」は、2018年度と比較して9ポイントの減少、「医療環境がよくないから」は10ポイント減少する結果となった。

5. 多摩区に対する愛着や誇り

問4 あなたにとって多摩区は、以下の項目に関してどの程度あてはまりますか。
(○は各項目で1つだけ)

図5-1 多摩区に対する愛着や誇り

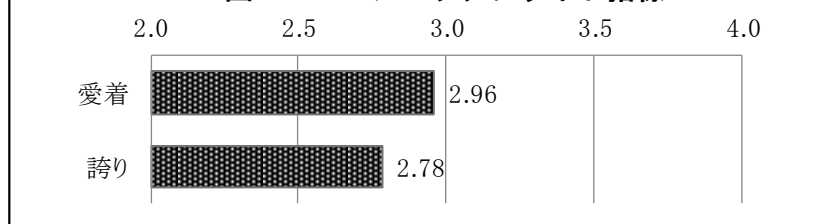


※加重平均は、「まったく当てはまらない」(1点)から「非常に当てはまる」(5点)まで重み付けして、平均を計算したものである。

「多摩区に対する愛着や誇り」について聞いたところ、「非常に当てはまる」と「当てはまる」を合わせた『当てはまる計』では、他の項目に比べ「(ア) 多摩区に愛着を持っている」(53.6%)が最も高かった。

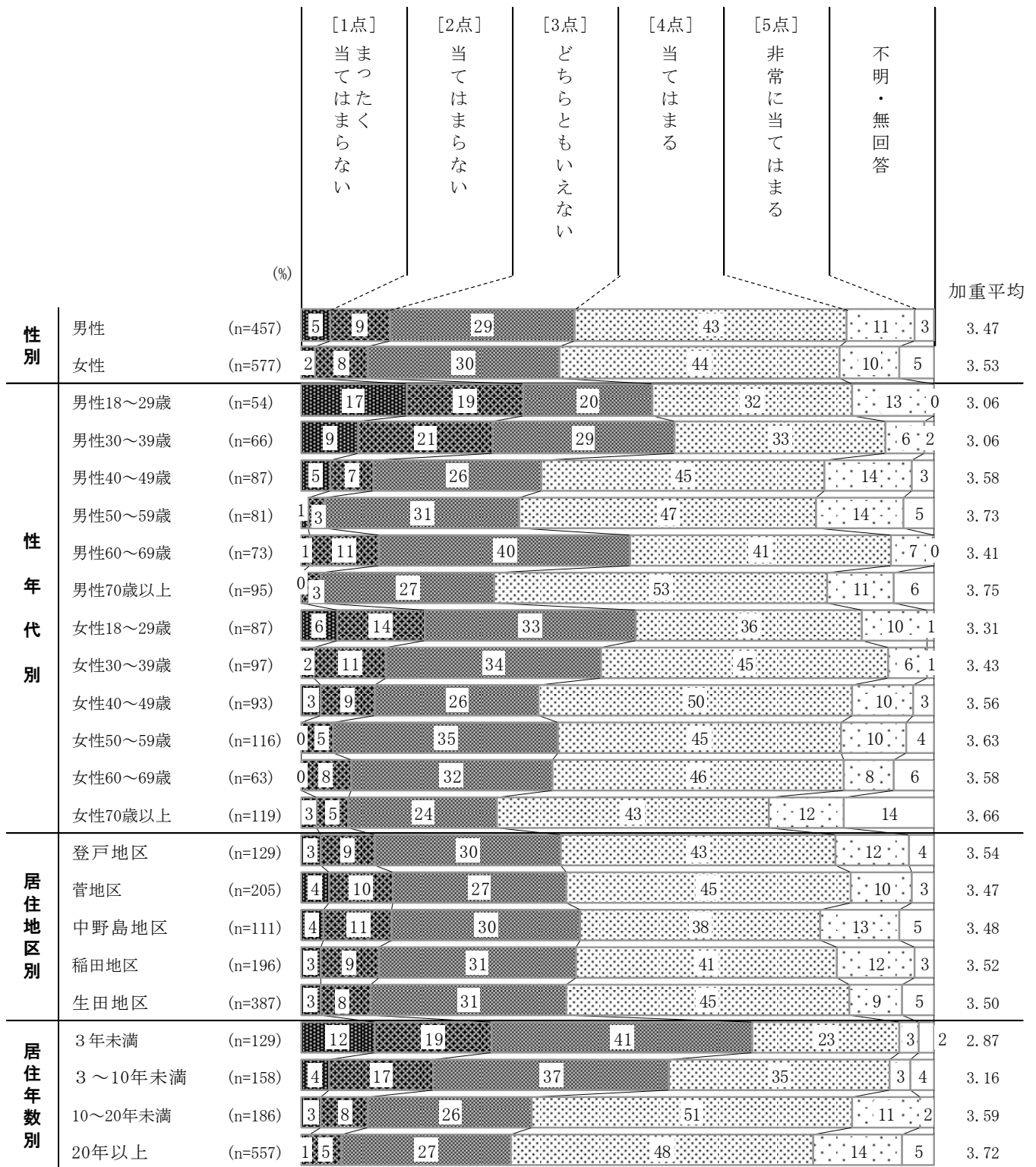
一方、「まったく当てはまらない」と「当てはまらない」を合わせた『当てはまらない計』では「(イ) 多摩区の細部まで熟知している」(51.5%)が最も高い結果となった。

図5-2 シビックプライド指標



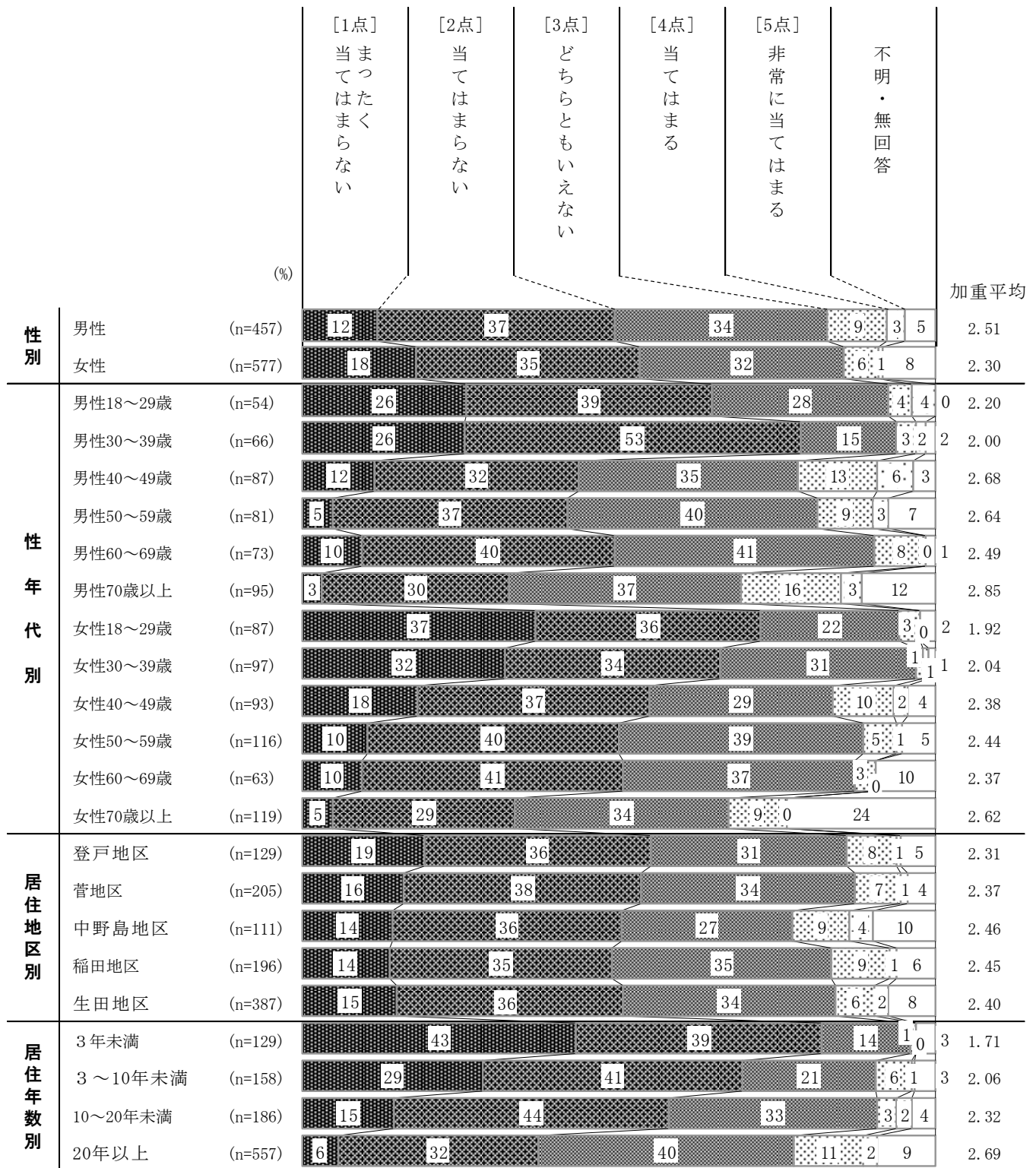
シビックプライド指標とは、自分の住んでいるまちに対する愛着や誇りを表す概念のこと。多摩区では、質問(ア)、(イ)を「愛着」、質問(ウ)、(エ)、(オ)を「誇り」の指標として、それぞれの質問項目の平均値から算出した。

図 5-3 多摩区に対する愛着や誇り（性別・性年代別・居住地区別・居住年数別）
問 4. （ア）多摩区に愛着を持っている



「多摩区に愛着を持っている」を性年代別で見ると、「非常に当てはまる」と「当てはまる」を合わせた『当てはまる計』の割合は、男性70歳以上が64%となり、加重平均でも3.75点と最も高い結果となった。同様に、『当てはまる計』の割合は、居住年数が長くなるほど高くなる傾向となった。

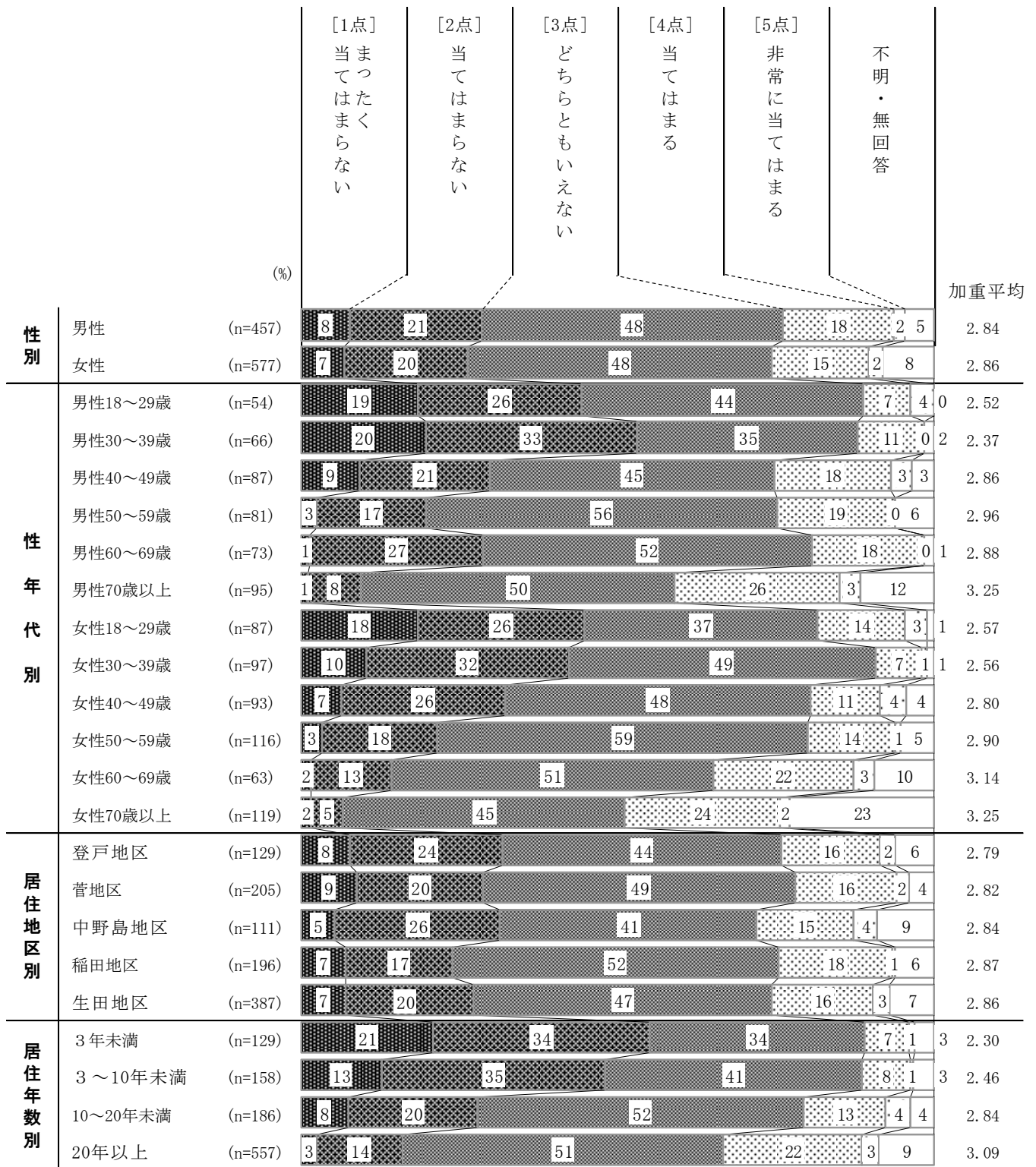
図 5-4 多摩区に対する愛着や誇り（性別・性年代別・居住地区別・居住年数別）
問 4. (イ) 多摩区の細部まで熟知している



「多摩区の細部まで熟知している」を性年代別で見ると、男性70歳以上の加重平均が2.85点と最も高い結果となった。

また居住年数が長くなるほど、加重平均が高くなった。

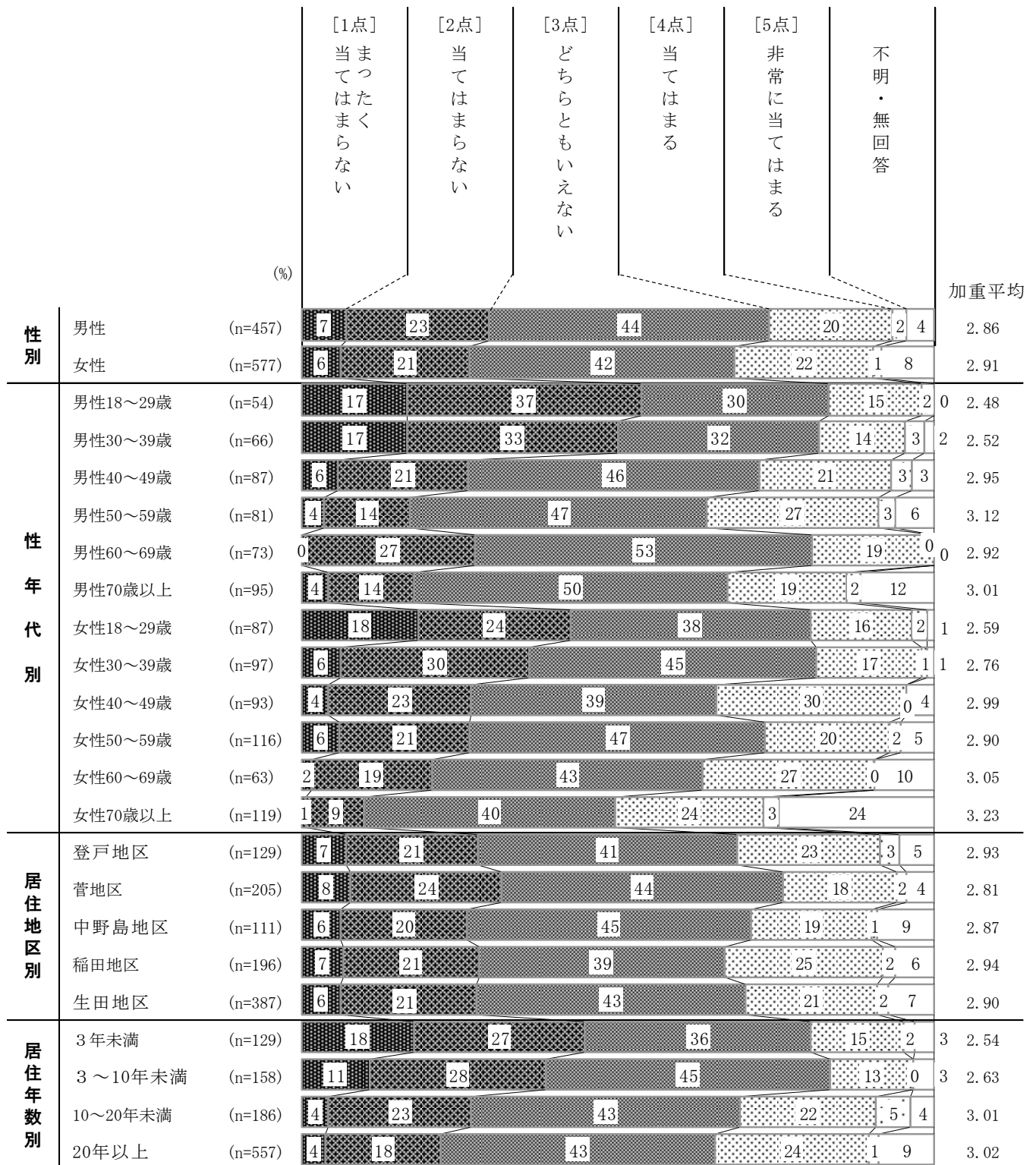
図 5-5 多摩区に対する愛着や誇り（性別・性年代別・居住地区別・居住年数別）
問4.（ウ）多摩区に誇りを持っている



「多摩区に誇りを持っている」を性年代別で見ると、「非常に当てはまる」と「当てはまる」を合わせた『当てはまる計』の割合は、男女ともに18～29歳と30～39歳の加重平均が2.50点前後の結果となったが、40歳以上では2.80点を超える結果となった。

同様に、『当てはまる計』の割合は、居住年数が長くなるほど高くなった。

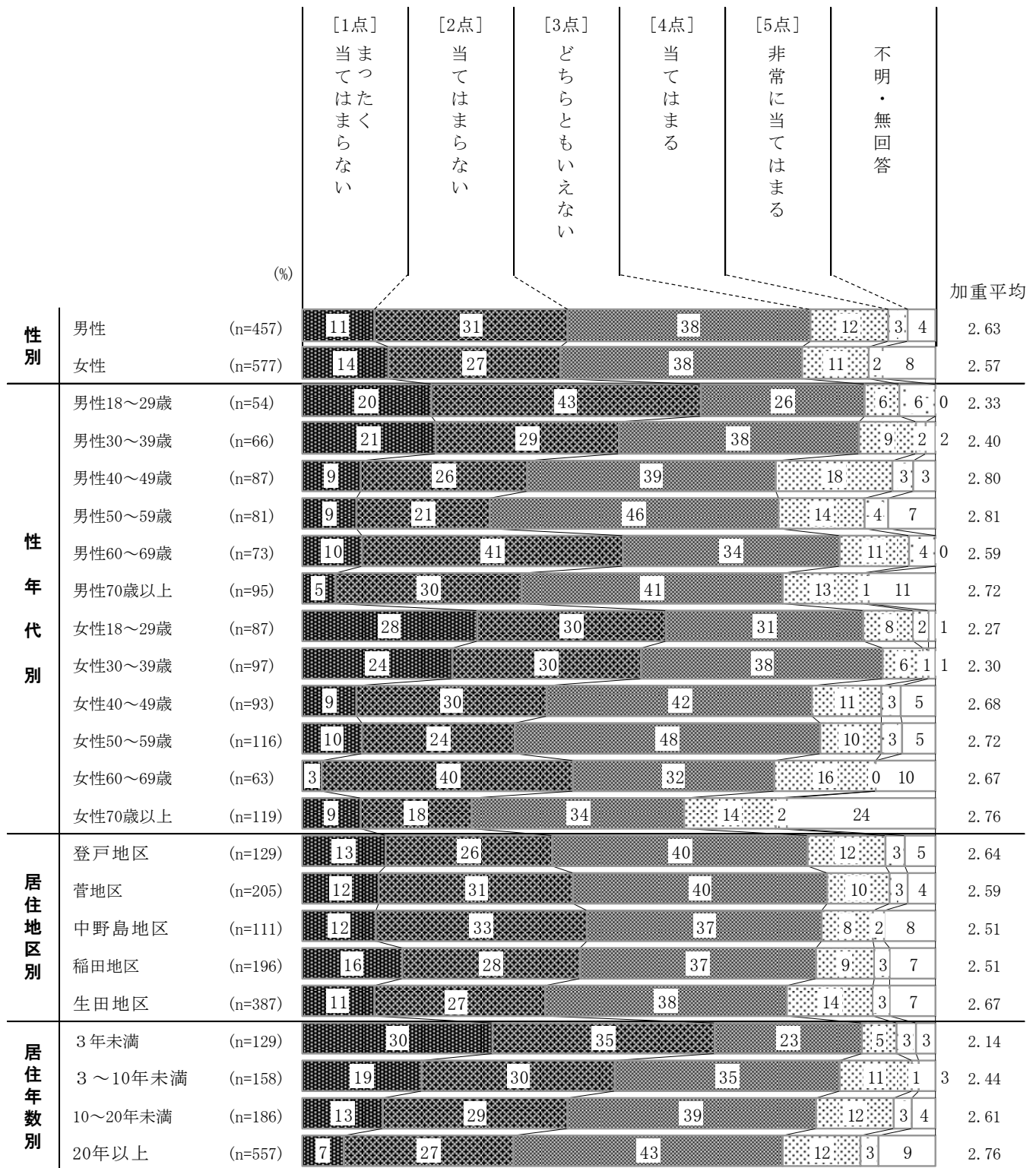
図 5-6 多摩区に対する愛着や誇り（性別・性年代別・居住地区別・居住年数別）
問 4. （エ）多摩区について自慢したいことがいくつもある



「多摩区について自慢したいことがある」を性年代別で見ると、「非常に当てはまる」と「当てはまる」を合わせた『当てはまる計』は、男性18～39歳と女性18～29歳の加重平均が3.00点を大きく下回っているが、40歳以上では加重平均で3.00点前後の結果となった。

また、居住年数が長くなるほど、加重平均が高くなった。

図 5-7 多摩区に対する愛着や誇り（性別・性年代別・居住地区別・居住年数別）
問 4. （才）自分は多摩区に貢献している



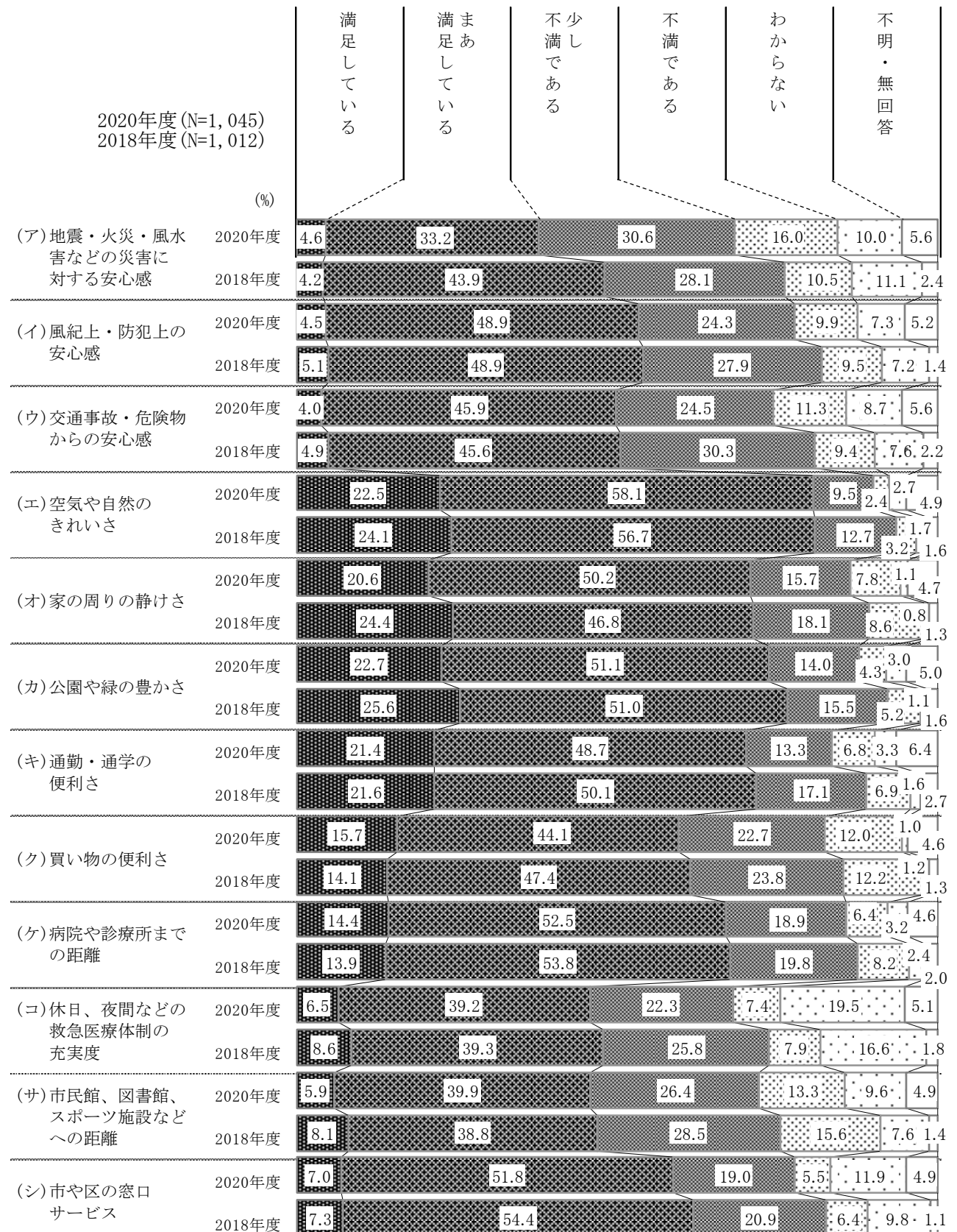
「自分は多摩区に貢献している」を性年代別で見ると、「非常に当てはまる」と「当てはまる」を合わせた『当てはまる計』は、男女ともに18～29歳と30～39歳の加重平均が2.50点を下回る結果となった。

同様に、『当てはまる計』の割合は、居住年数が長くなるほど高くなる傾向となった。

6. 多摩区の生活環境

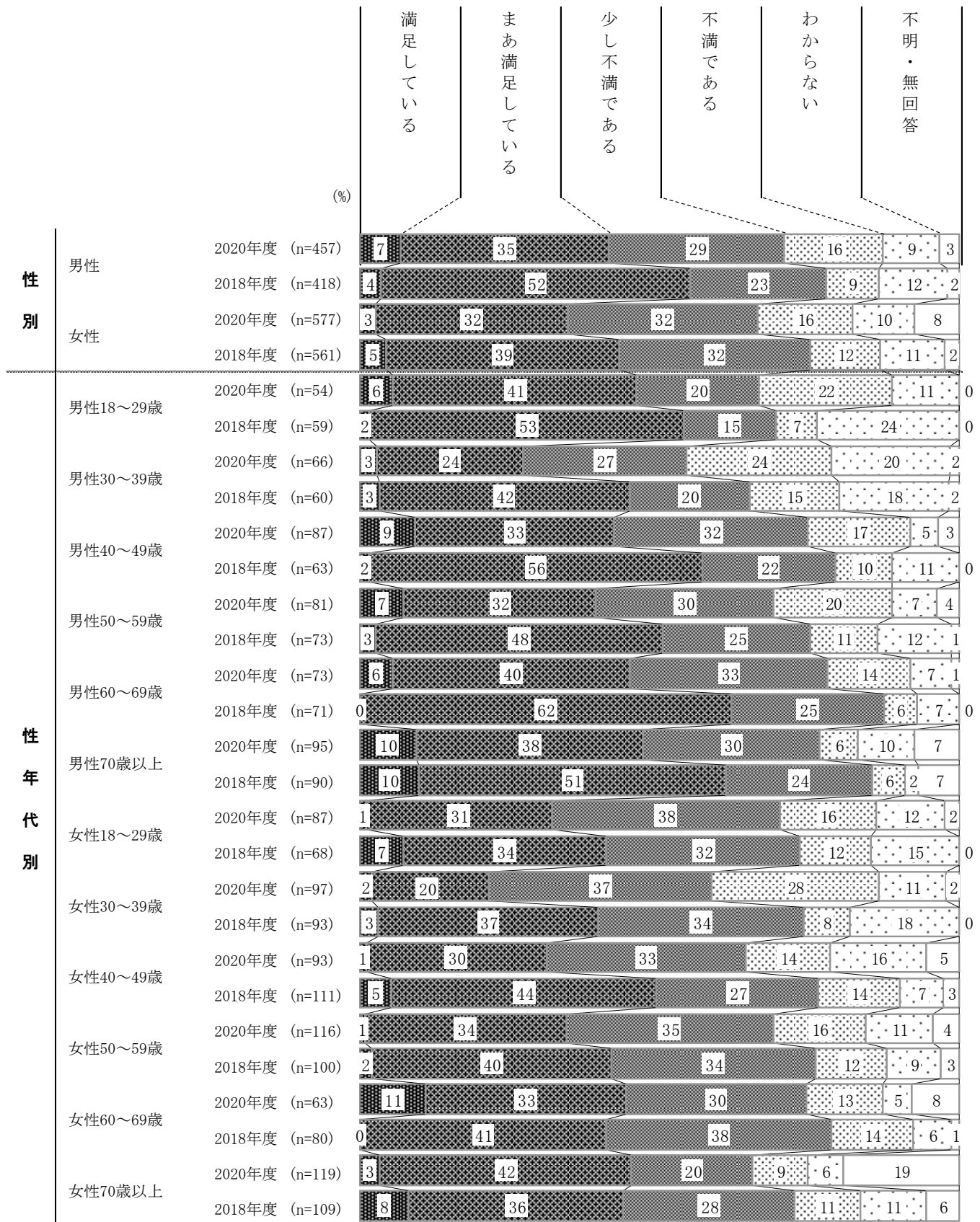
問5 多摩区の生活環境についてお伺いします。次にあげる項目についてどの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つつ)

図 6-1 多摩区の生活環境



「多摩区の生活環境」について聞いたところ、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、「空気や自然のきれいさ」(80.6%)が最も高く、2018年度と同じ結果となった。

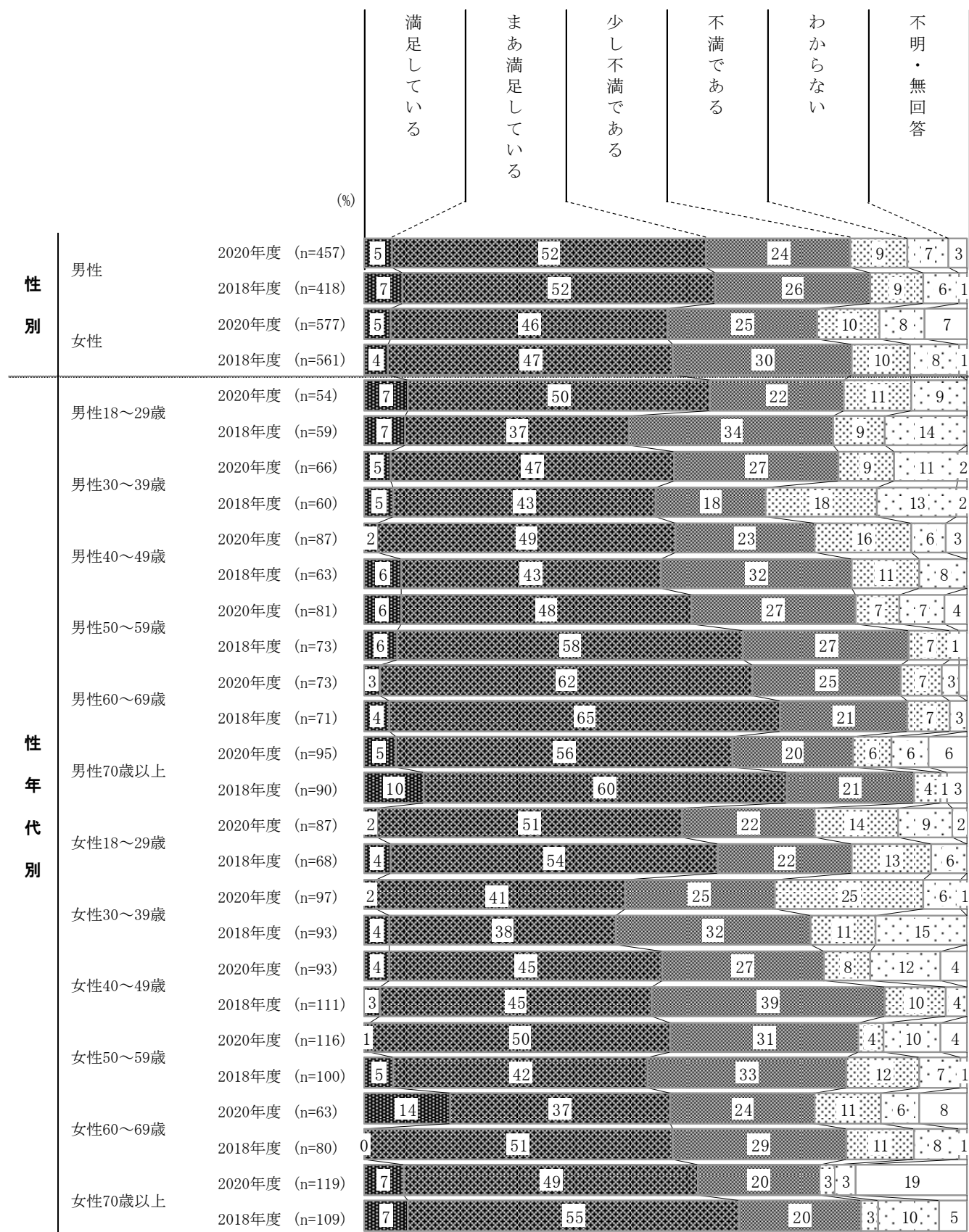
図 6-2 多摩区の生活環境（性別・性年代別）
問5.（ア）地震・火災・風水害などの災害に対する安心感



「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」では、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』が2018年度と比較し男女ともに減少し、特に男性では14ポイントの減少となった。性年代別で見ると、女性60～69歳と女性70歳以上を除く全ての性年代で『満足している計』が2018年度と比較して低い結果となった。

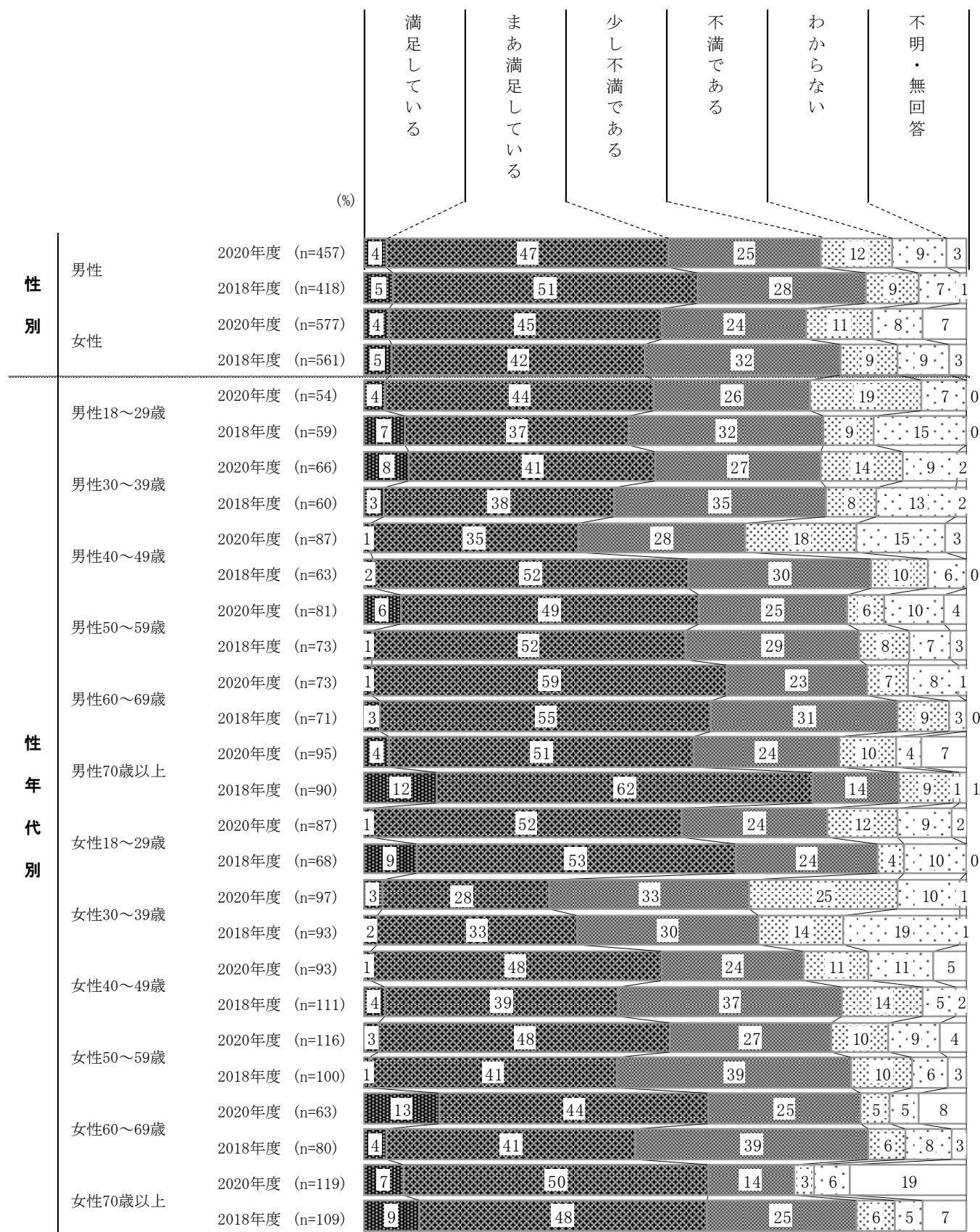
図 6-3 多摩区の生活環境（性別・性年代別）

問5. (イ) 風紀上・防犯上の安心感



「風紀上・防犯上の安心感」を性年代別で見ると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』が男性60～69歳と男性70歳以上で60%を超え、他の年代よりも高い結果となった。

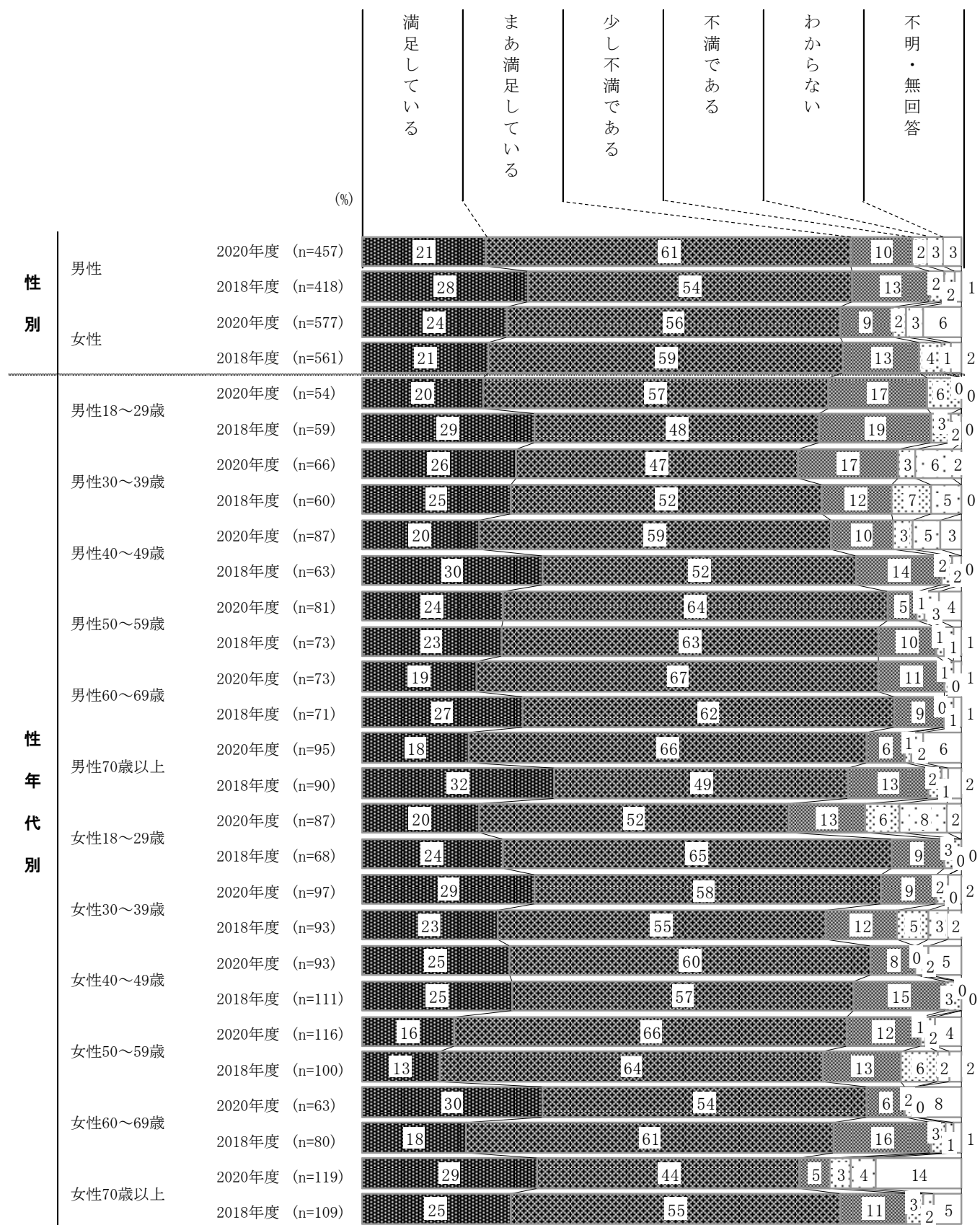
図 6-4 多摩区の生活環境（性別・性年代別）
問5.（ウ）交通事故・危険物からの安心感



「交通事故・危険物からの安心感」を性年代別で見ると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』は男性60～69歳で60%を超え最も高い結果となった。一方、男性40～49歳と女性30～39歳では40%を下回り、他の年代に比べ低い結果となった。

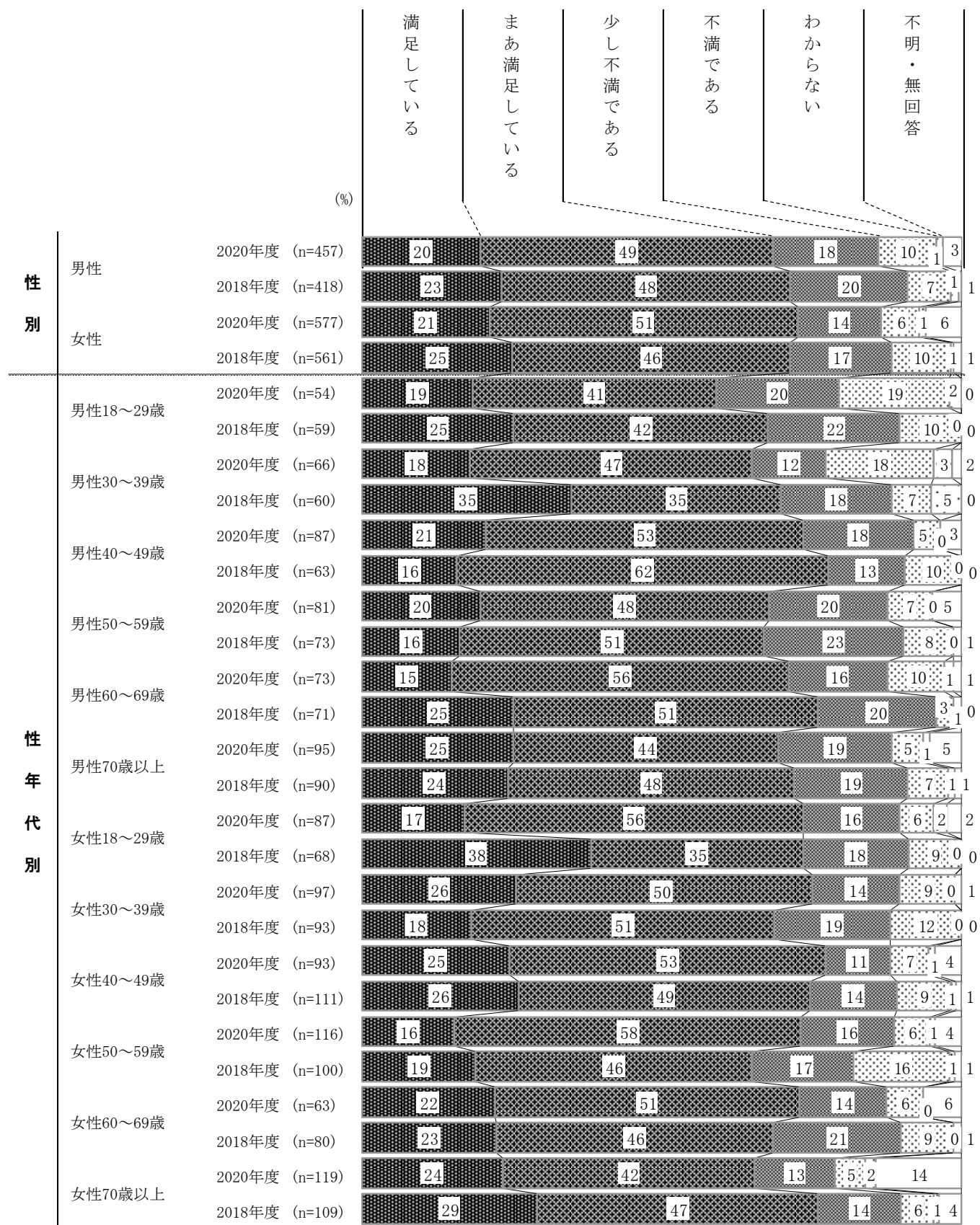
図 6-5 多摩区の生活環境（性別・性年代別）

問5.（エ）空気や自然のきれいさ



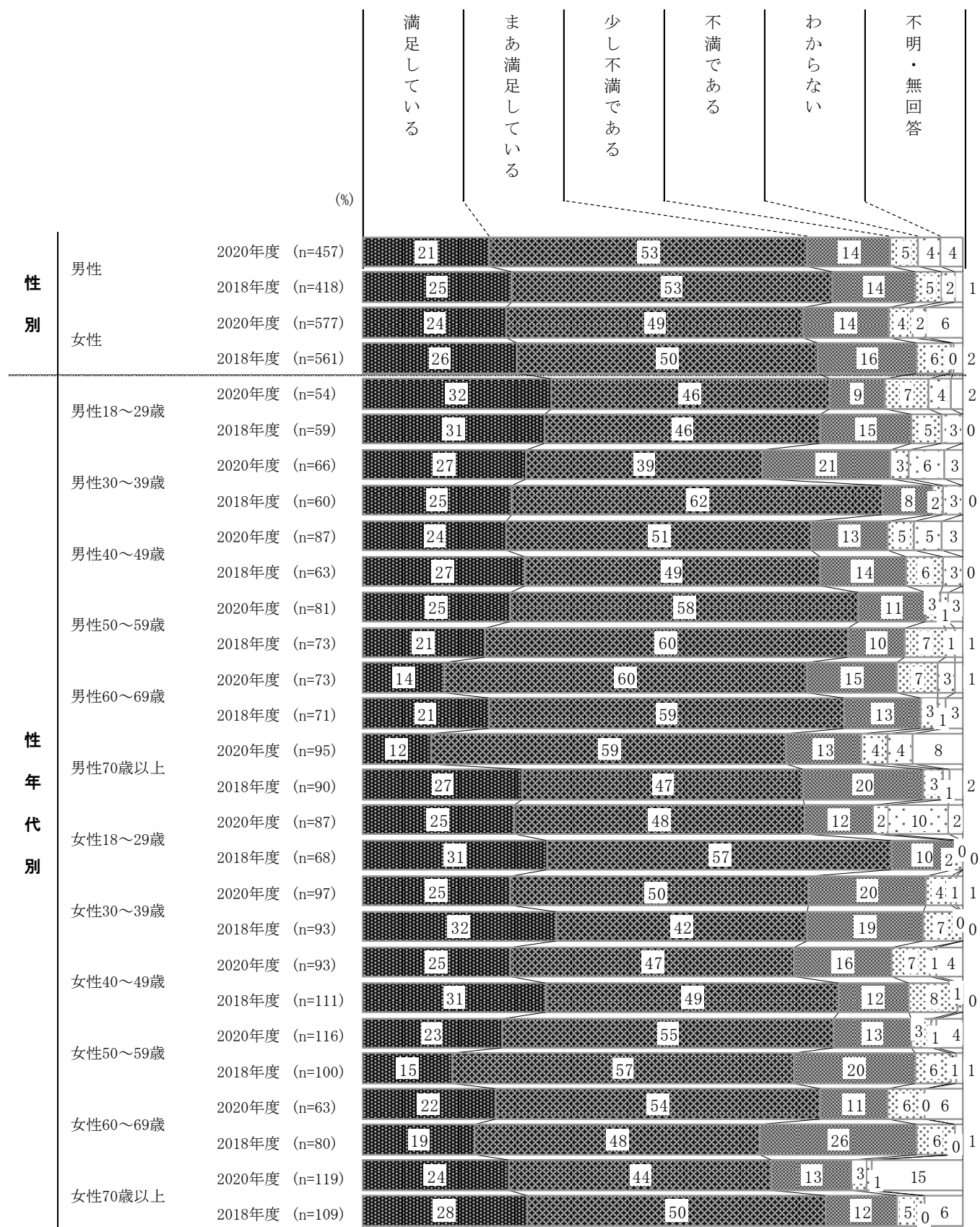
「空気や自然のきれいさ」を性年代別で見ると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』は、すべての性年代で70%を超える高い結果となった。

図 6-6 多摩区の生活環境（性別・性年代別）
問5.（才）家の周りの静けさ



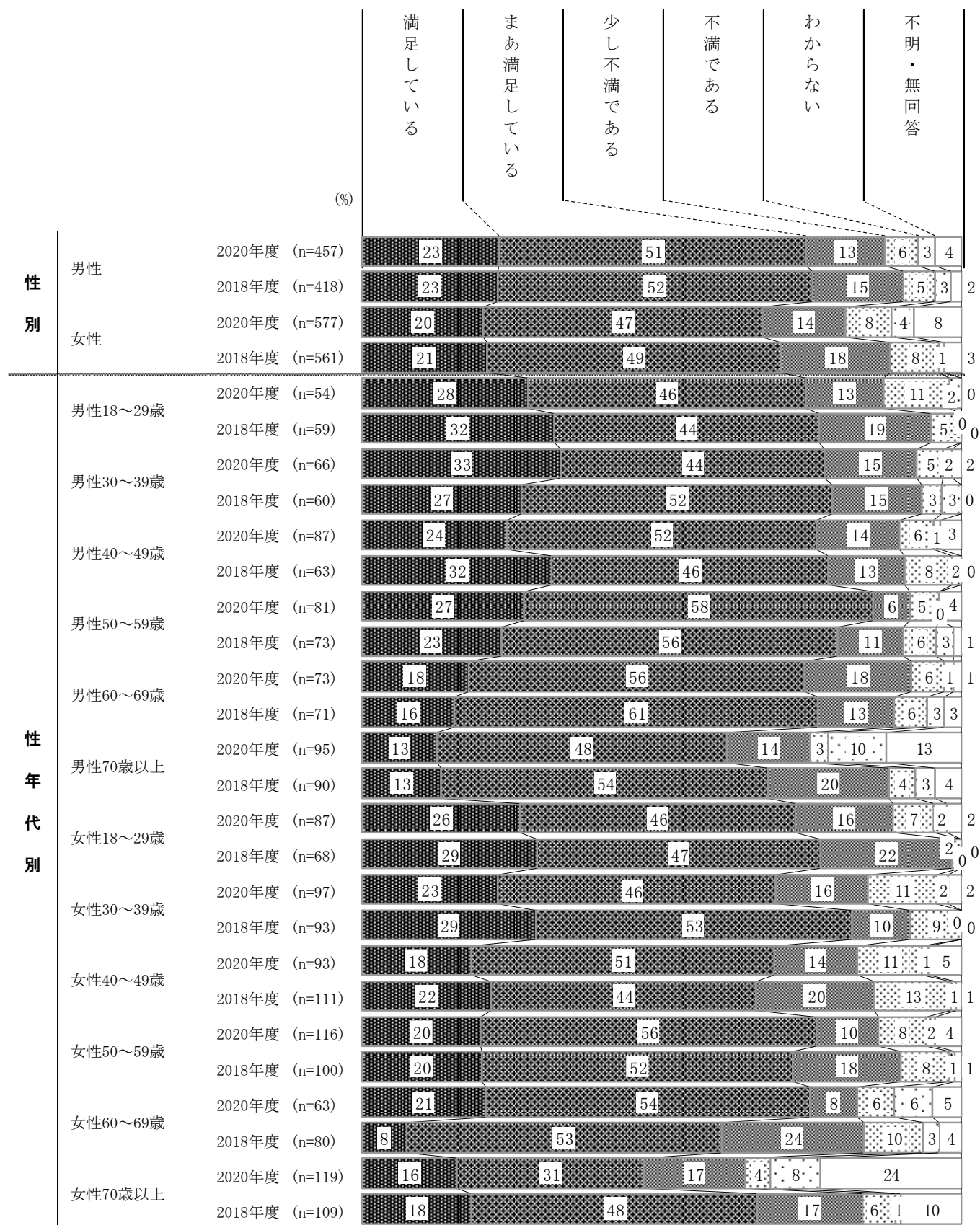
「家の周りの静けさ」を性年代別で見ると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』は、すべての性年代で50%を超える高い結果となった。

図 6-7 多摩区の生活環境（性別・性年代別）
問5.（力）公園や緑の豊かさ



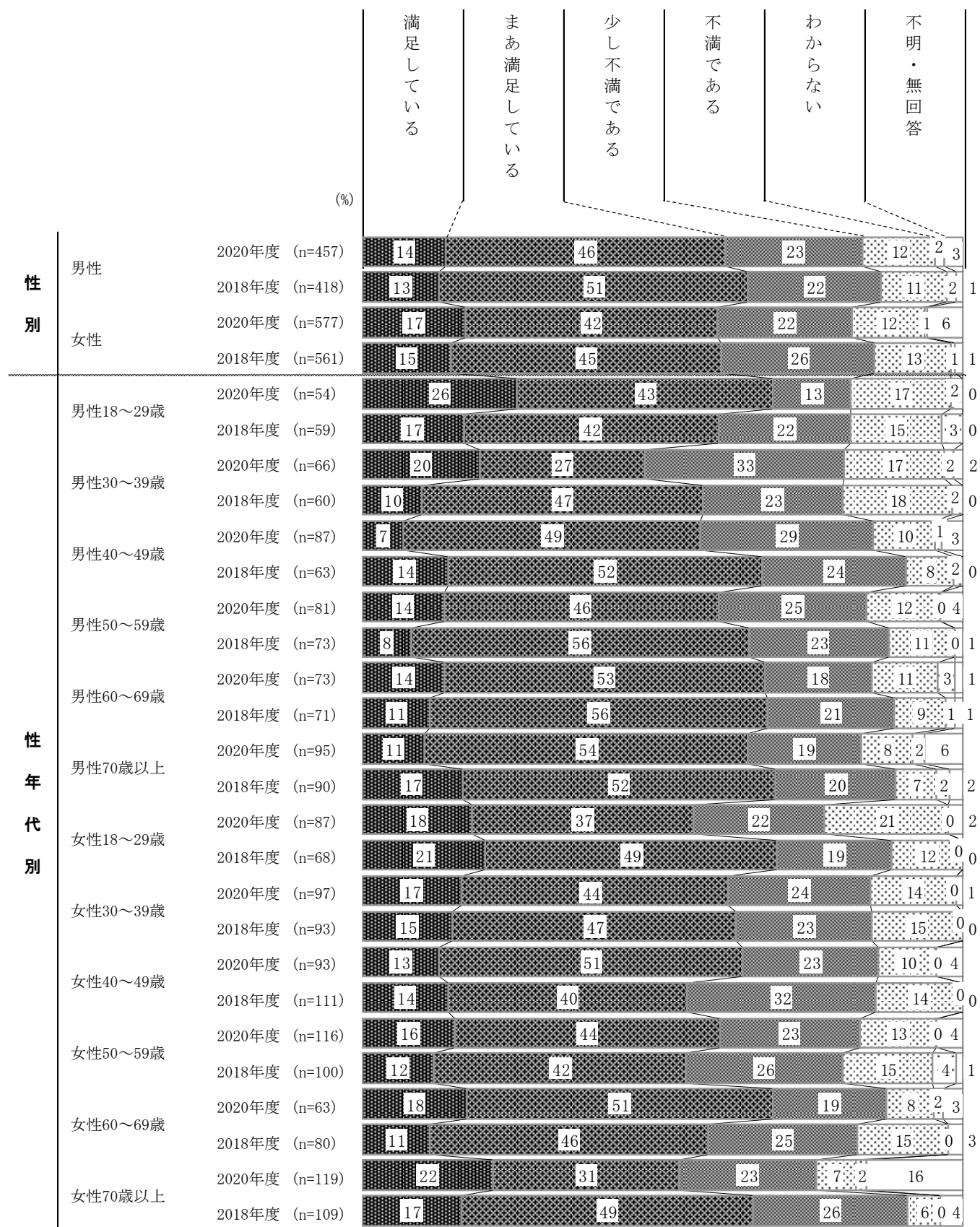
「公園や緑の豊かさ」を性年代別で見ると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』は、すべての性年代で60%を超える高い結果となった。特に男性50～59歳で最も割合が高く、80%を超える結果となった。

図 6-8 多摩区の生活環境（性別・性年代別）
問5.（キ）通勤・通学の便利さ



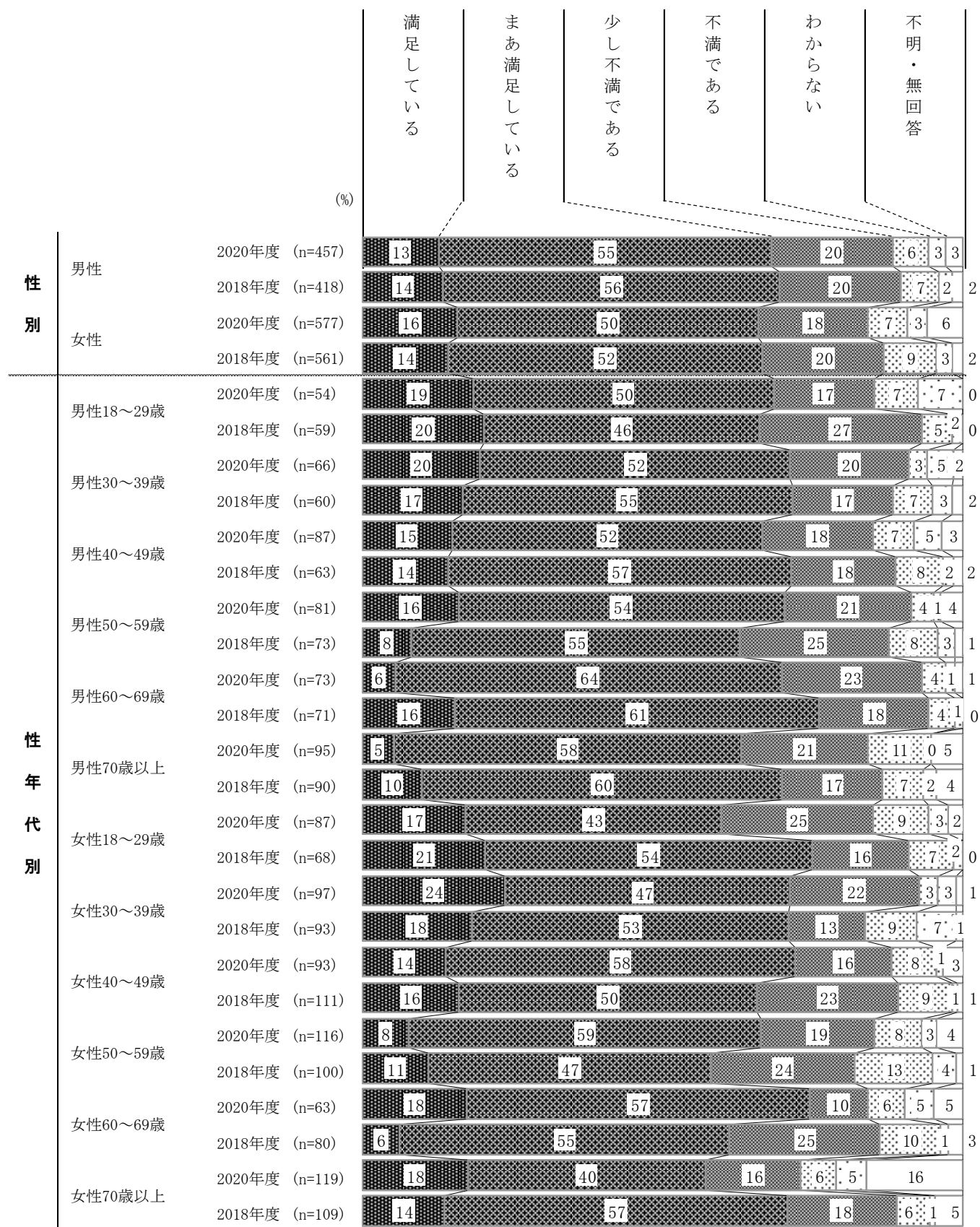
「通勤・通学の便利さ」を性年代別で見ると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』は、女性70歳以上を除き、すべての性年代別で60%を超える高い結果となった。特に男性50～59歳で80%を超える結果となった。

図 6-9 多摩区の生活環境（性別・性年代別）
問5.（ク）買い物の便利さ



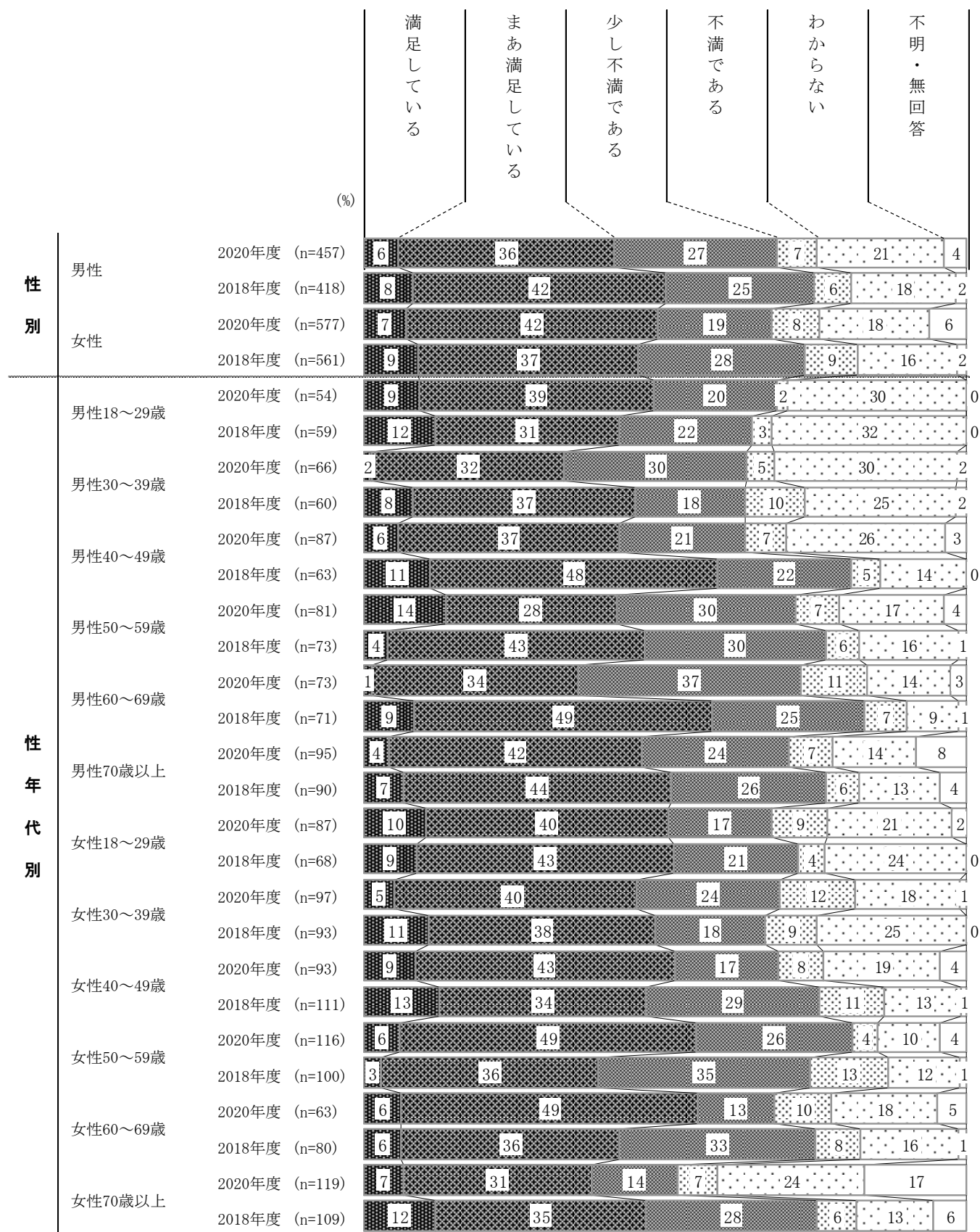
「買い物の便利さ」を性年代別で見ると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』は、男性30～39歳以上を除き、すべての性年代別で50%を超える高い結果となった。

図 6-10 多摩区の生活環境（性別・性年代別）
問5.（ケ）病院や診療所までの距離



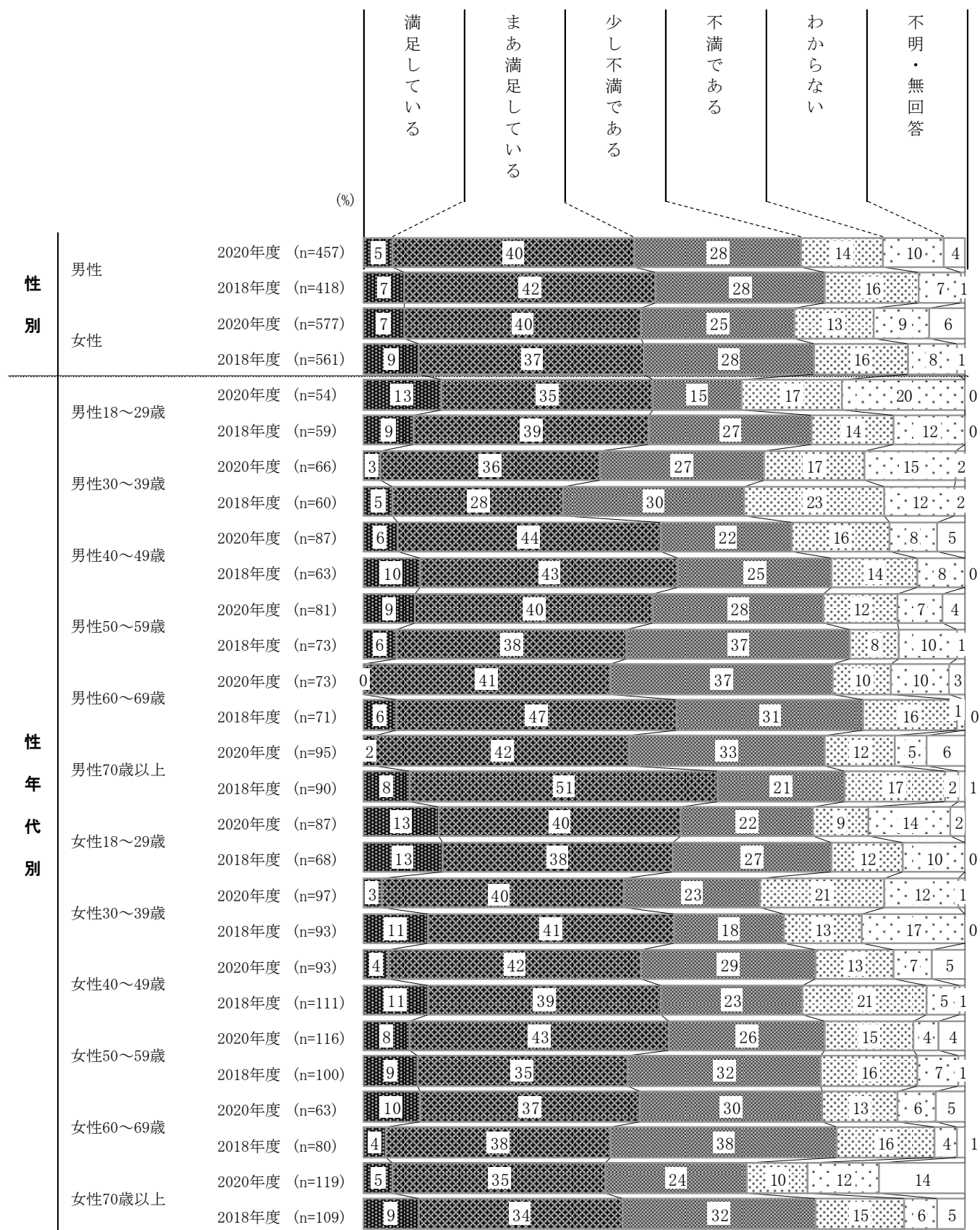
「病院や診療所までの距離」を性年代別で見ると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』は、どの性年代でも50%を超える高い結果となった。

図 6-11 多摩区の生活環境（性別・性年代別）
問5. (コ) 休日、夜間などの救急医療体制の充実度



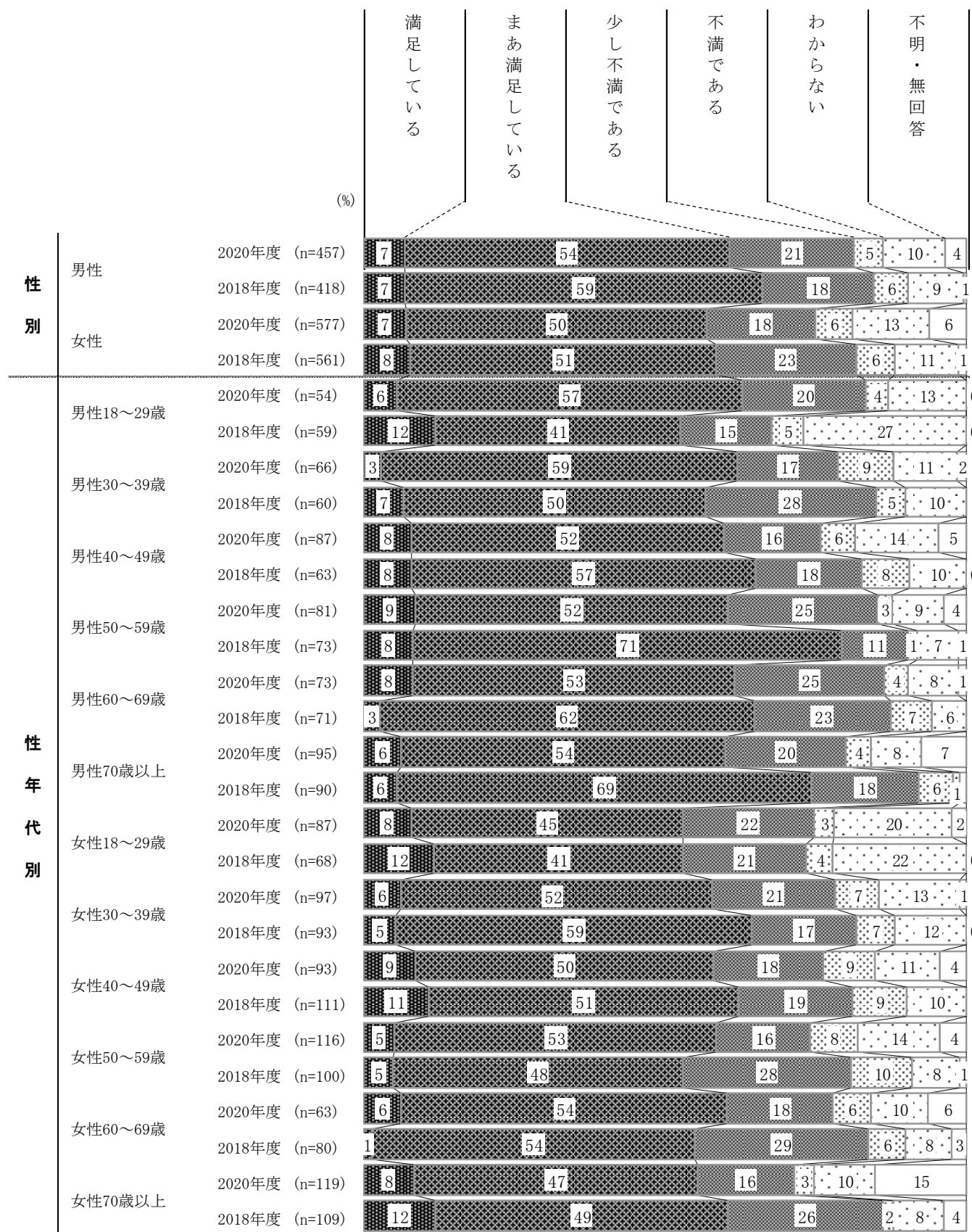
「休日、夜間などの救急医療体制の充実度」を性別で見ると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』は、女性の方が男性より7ポイント高い結果となった。性年代別では、女性18～29歳と40～69歳で50%を超え、他の年代と比べて高い結果となった。

図 6-12 多摩区の生活環境（性別・性年代別）
問5.（サ）市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離



「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」を性年代別で見ると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』は、女性18～29歳と女性50～59歳で50%を超え、他の年代と比べて高い結果となった。

図 6-13 多摩区の生活環境（性別・性年代別）
問5.（シ）市や区の窓口サービス



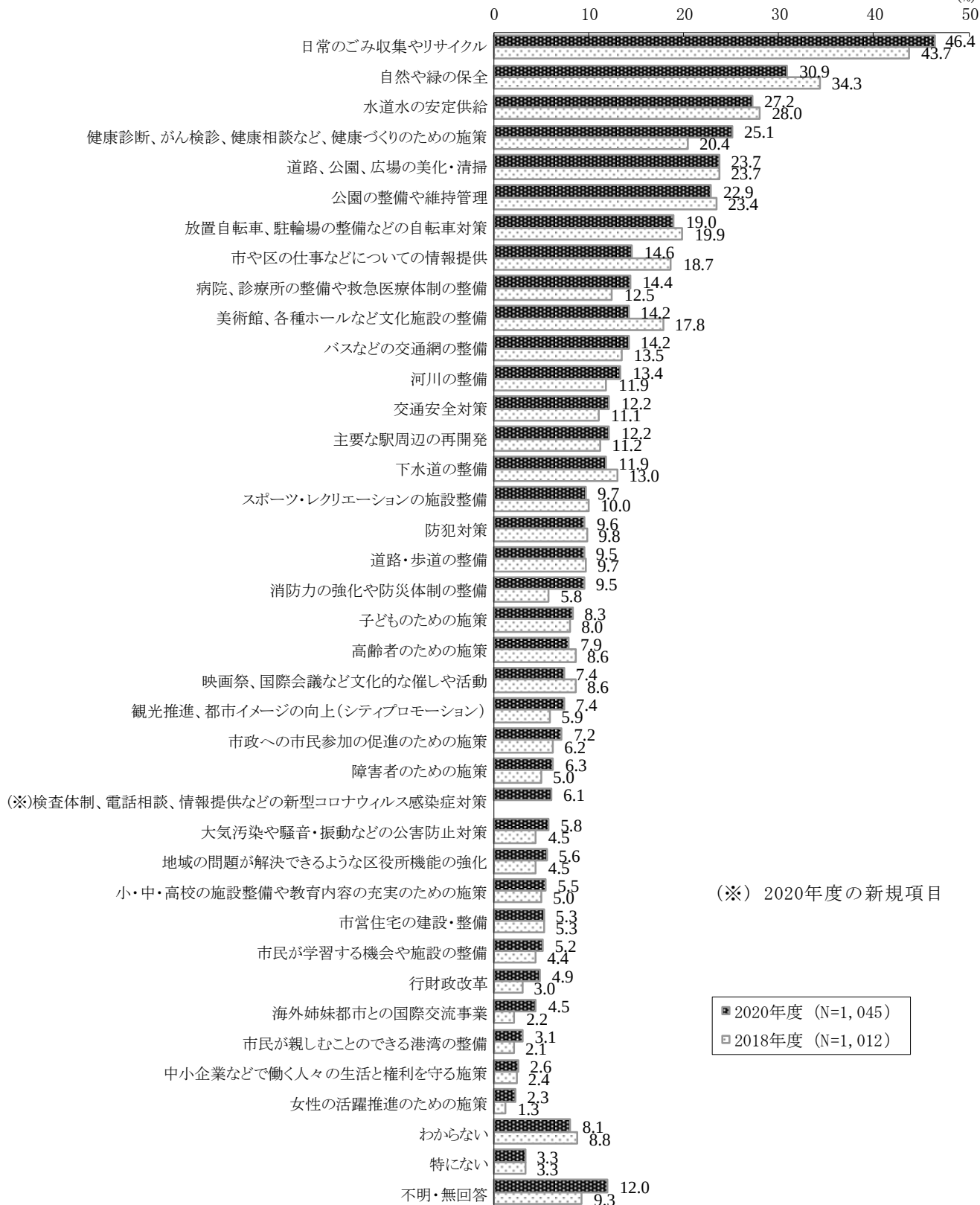
「市や区の窓口サービス」を性年代別で見ると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』は、男女ともに半数を超える高い結果となった。

7. 市政についてよくやっていると思うもの

問6 川崎市政について総合的に伺います。次にあげる仕事の中で、よくやっていると思われるものは、どれですか。(あてはまるものすべてに○)

図7-1 市政についてよくやっていると思うもの

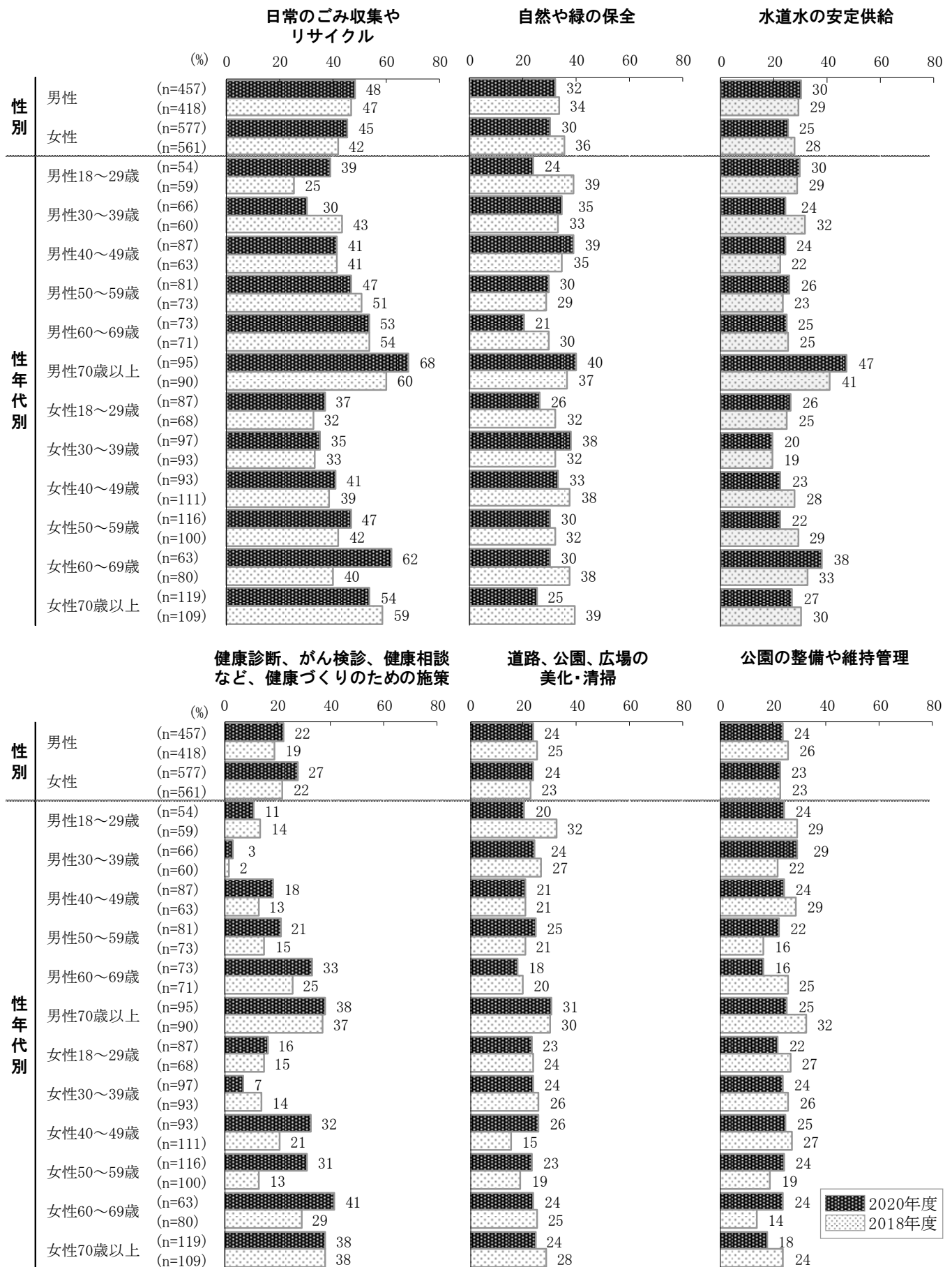
(%)



(※) 2020年度の新規項目

「市政についてよくやっていると思うもの」について聞いたところ、「日常のごみ収集やリサイクル」(46.4%) が最も高く、次いで「自然や緑の保全」(30.9%)、「水道水の安定供給」(27.2%) の順となった。

図 7-2 市政についてよくやっていると思うもの
(性別・性年代別) <上位6項目>

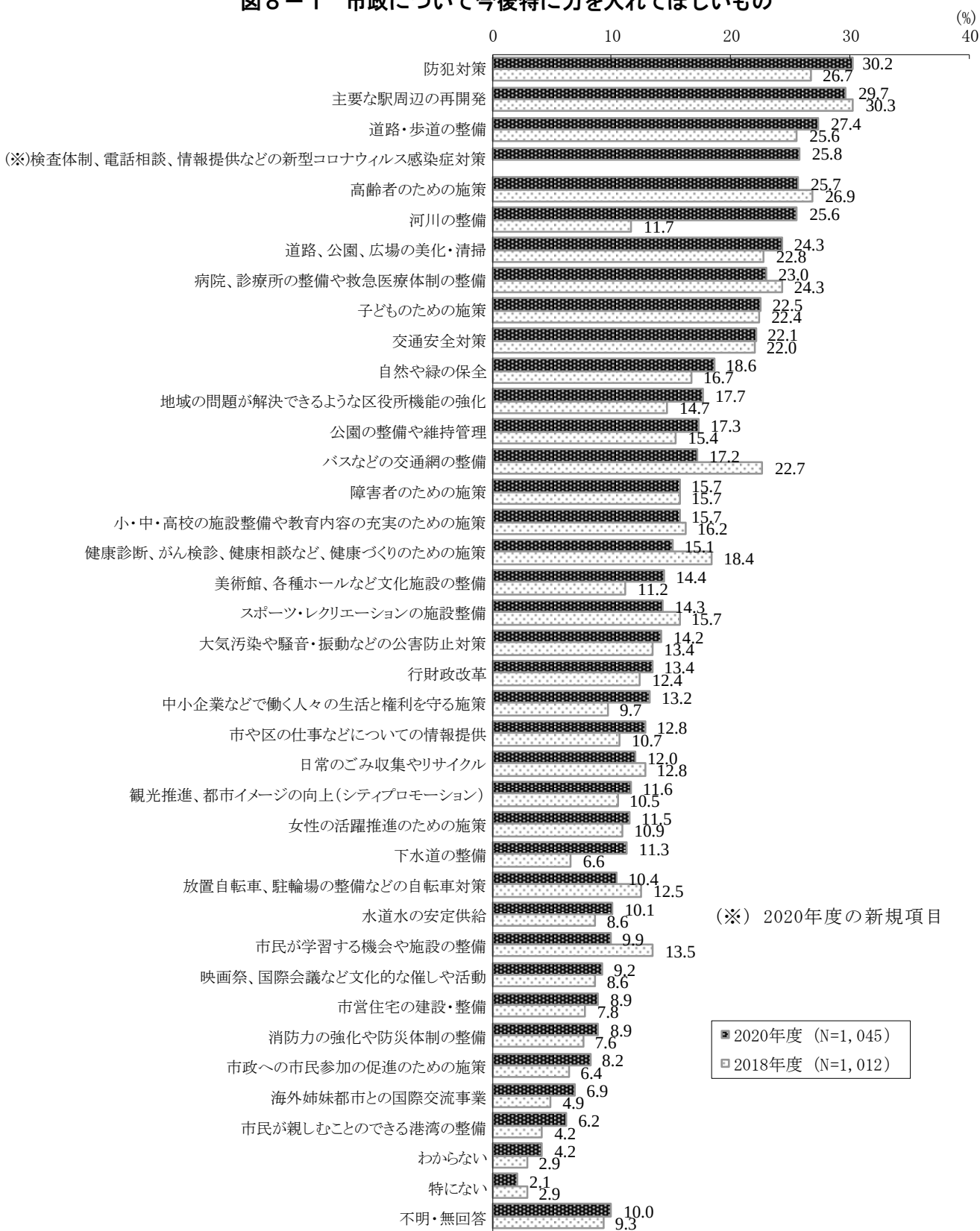


性年代別で見ると、「日常のごみ収集やリサイクル」は年代が上がるほどおおむね高くなる傾向となった。
「水道水の安定供給」は男性70歳以上で高い結果となった。

8. 市政について今後特に力を入れてほしいもの

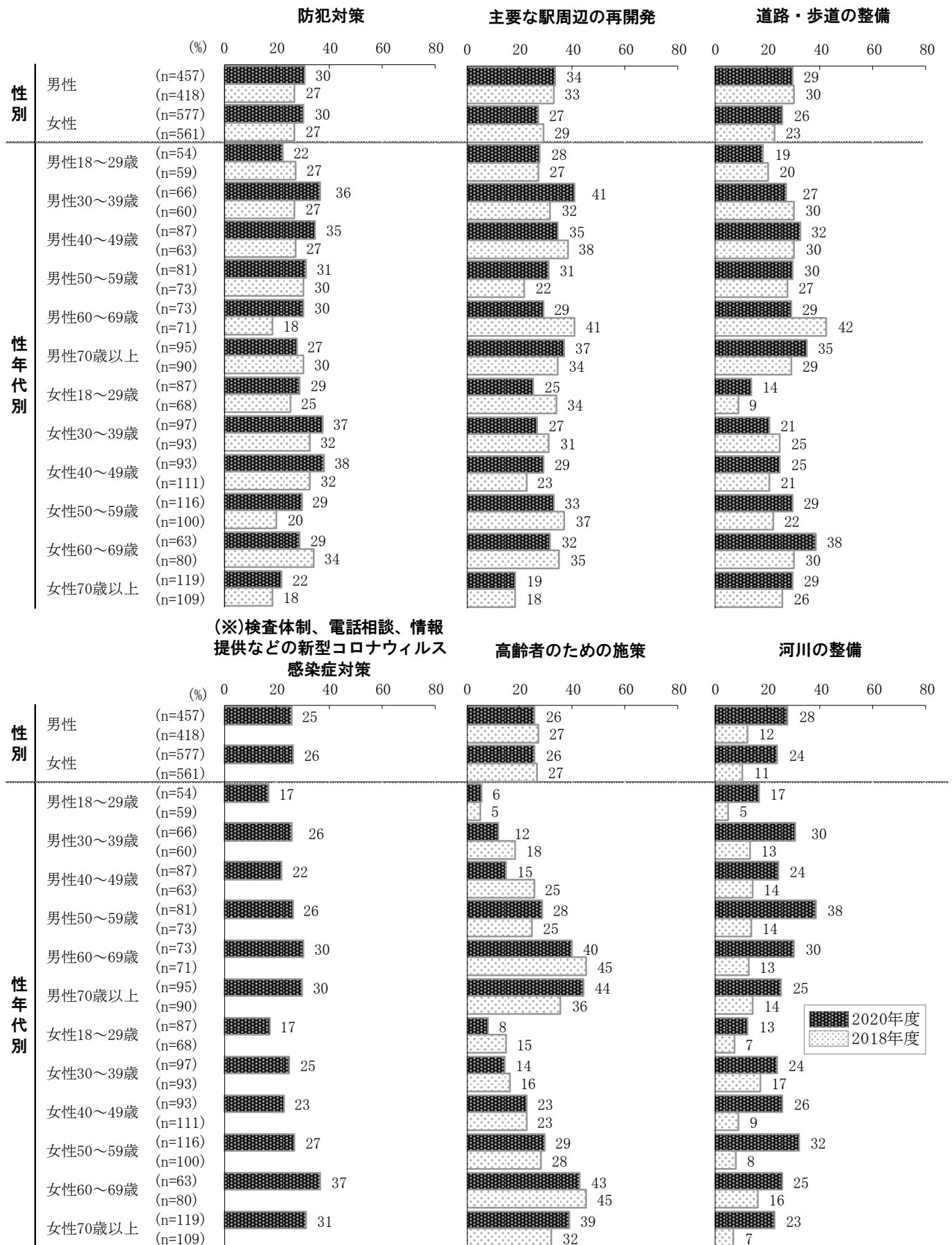
問7 また、今後特に力を入れてほしいとお考えのものは、どれですか。（あてはまるものすべてに○）

図8-1 市政について今後特に力を入れてほしいもの



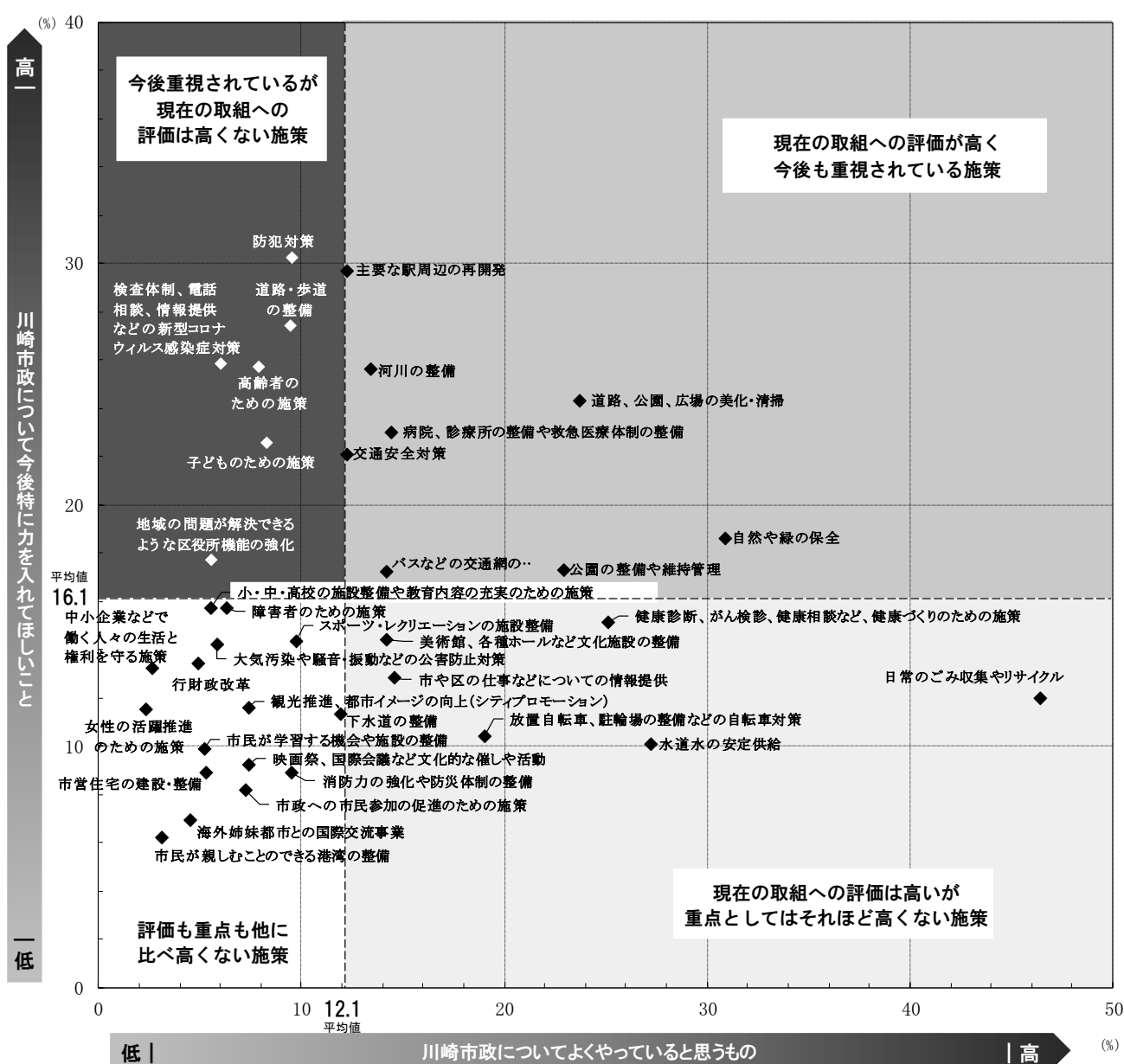
「市政について今後特に力を入れてほしいもの」について聞いたところ、「防犯対策」(30.2%)が最も高く、次いで「主要な駅周辺の再開発」(29.7%)、「道路・歩道の整備」(27.4%)の順となった。また2018年度は22位だった「河川の整備」が、6位に大きく順位を上げる結果となった。

図 8-2 市政について今後特に力を入れてほしいもの
(性別・性年代別) <上位 6 項目> (※) 2020 年度の新規項目



「河川の整備」は、どの性別、性年代別でも 2018 年度と比較して大きく上昇する結果となった。「防犯対策」は、男女ともに 30~49 歳で 35%を超え、他の年代と比べて高い結果となった。

図 8-3 市政について今後特に力を入れてほしいもの
市政についての評価と今後の意向に関するクロス分析（全体）



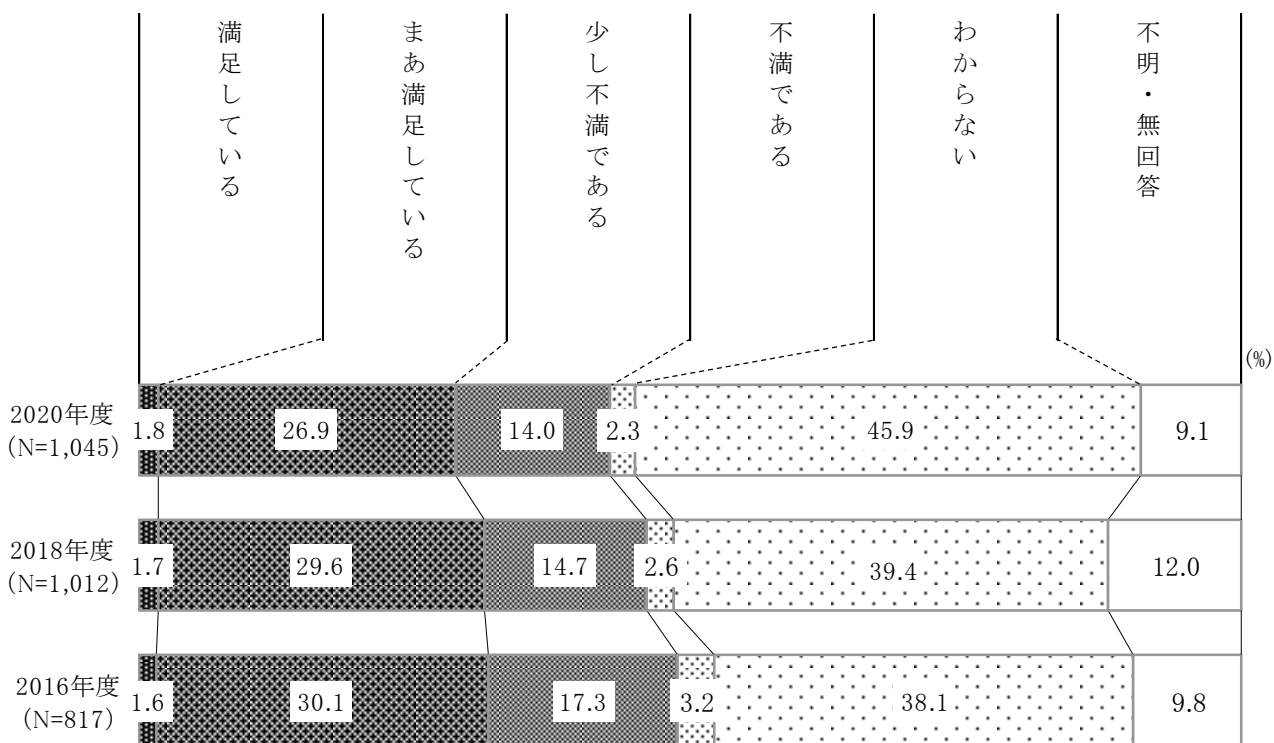
「7. 市政についてよくやっていると思うもの」と「8. 市政について今後特に力を入れてほしいもの」の2つの設問に対する回答結果を掛け合わせたグラフを見ると、「よくやっている」と「今後特に力を入れてほしい」の割合が高いのは（図右上）、「自然や緑の保全」、「道路、公園、広場の美化・清掃」、「公園の整備や維持管理」、「病院、診療所の整備や救急医療体制の整備」、「バスなどの交通網の整備」、「河川の整備」、「主要な駅周辺の再開発」、「交通安全対策」の8項目であった。

また、「よくやっている」の割合が低く、「今後特に力を入れてほしい」の割合が高いのは（図左上）、「防犯対策」、「道路・歩道の整備」、「検査体制、電話相談、情報提供などの新型コロナウイルス感染症対策」、「高齢者のための施策」、「子どものための施策」、「地域の課題が解決できるような区役所機能の強化」の6項目であった。

9. 市の施策や事業の総合満足度

問8 川崎市が進めている施策や事業について、どの程度満足していますか。(○は1つだけ)

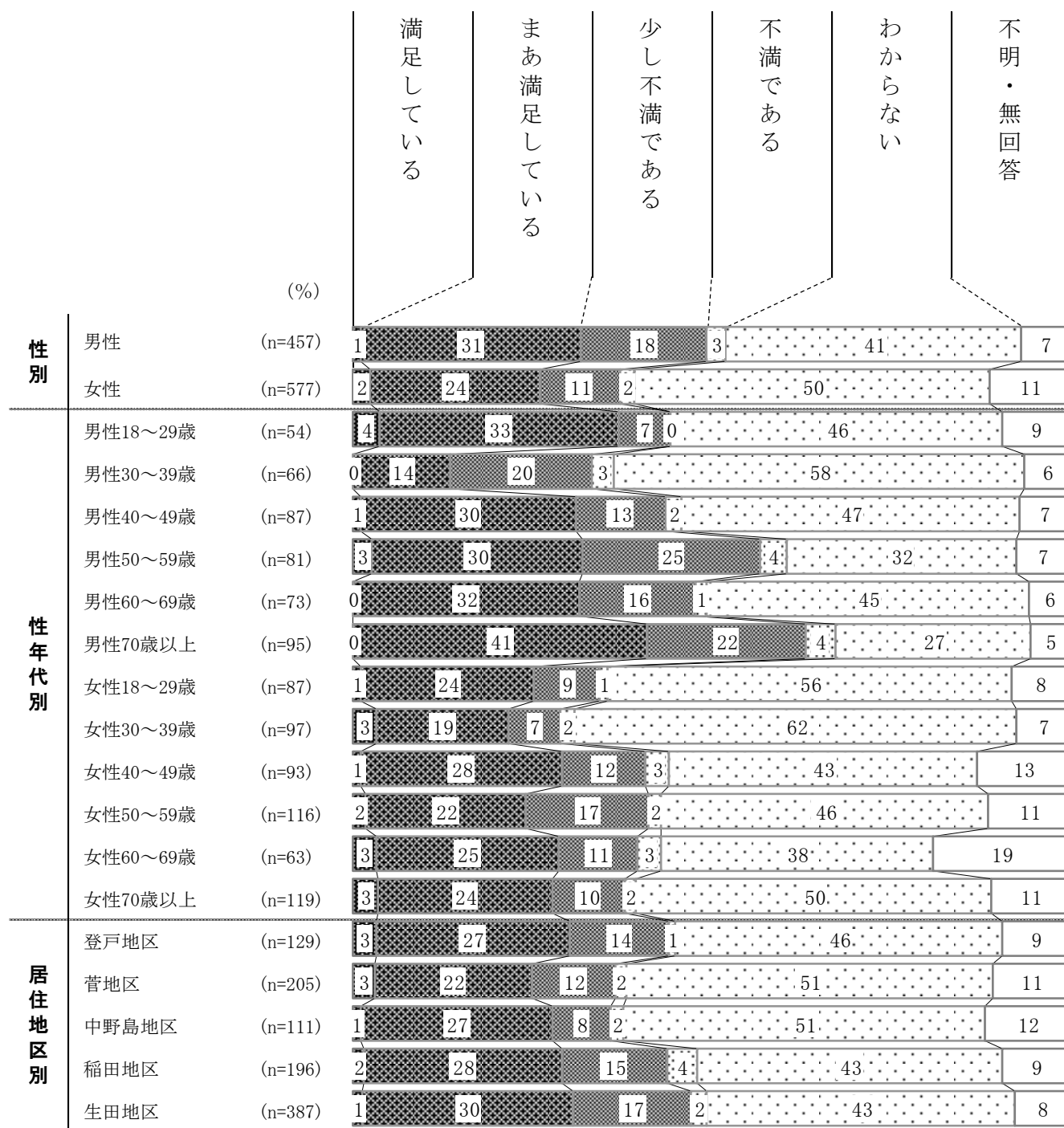
図 9-1 市の施策や事業の総合満足度



「市の施策や事業の総合満足度」について聞いたところ、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』(28.7%)となった。

2016年度、2018年度と比較して、微減の傾向となった。また「わからない」についても過去3回の調査で最も高い(45.9%)となった。

図 9-2 市の施策や事業の総合満足度
(性別・性年代別・居住地区別)



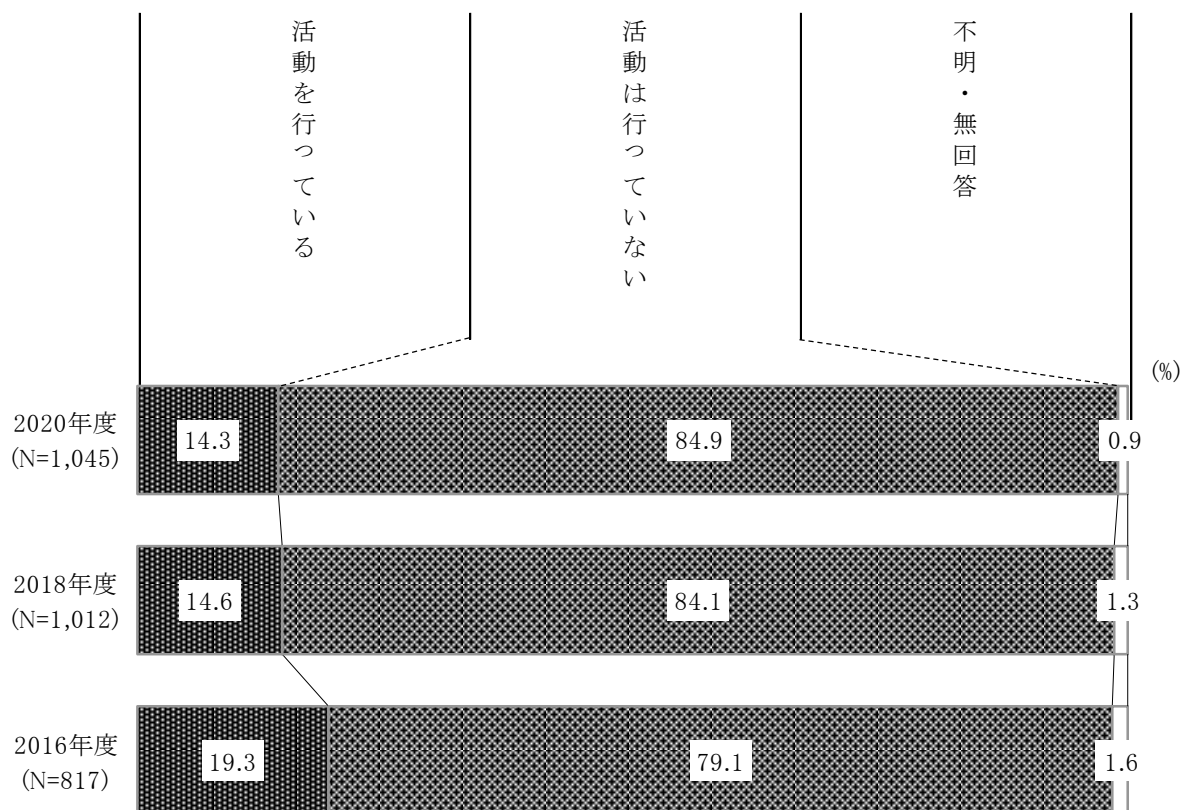
性別で見ると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』は、女性よりも男性が高い結果となり、男性70歳以上で40%を超え、他の年代と比べて高い割合となった。

居住地区別では、大きな差は見られなかった。

10. 地域活動の状況

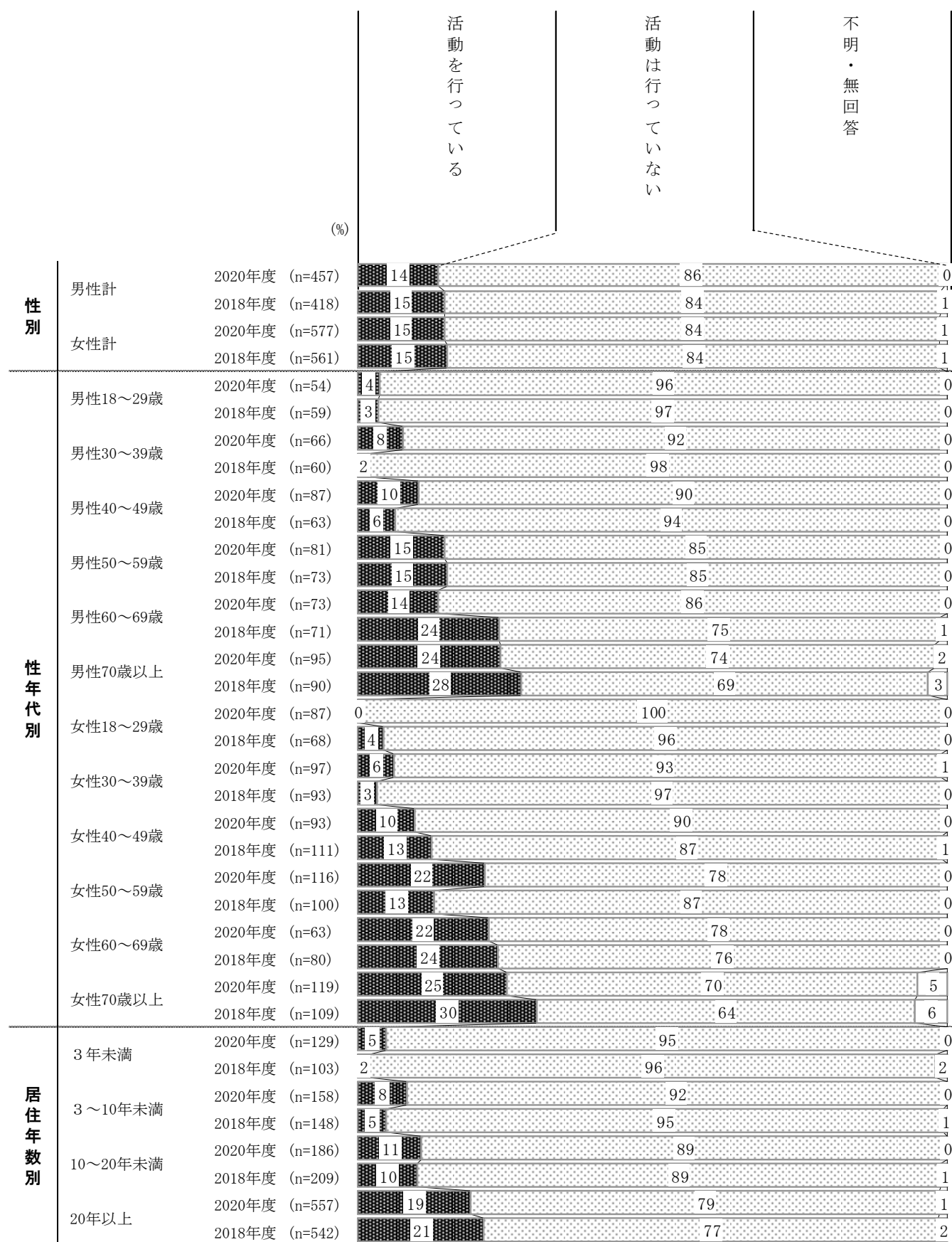
問9 地域のボランティア活動、サークル活動などを行っていますか。(○は1つだけ)

図10-1 地域活動の状況



「地域活動の状況」について聞いたところ、「活動を行っている」は14.3%で、2018年度とほぼ変わらない結果となった。

図 10-2 地域活動の状況（性別・性年代別・居住年数別）

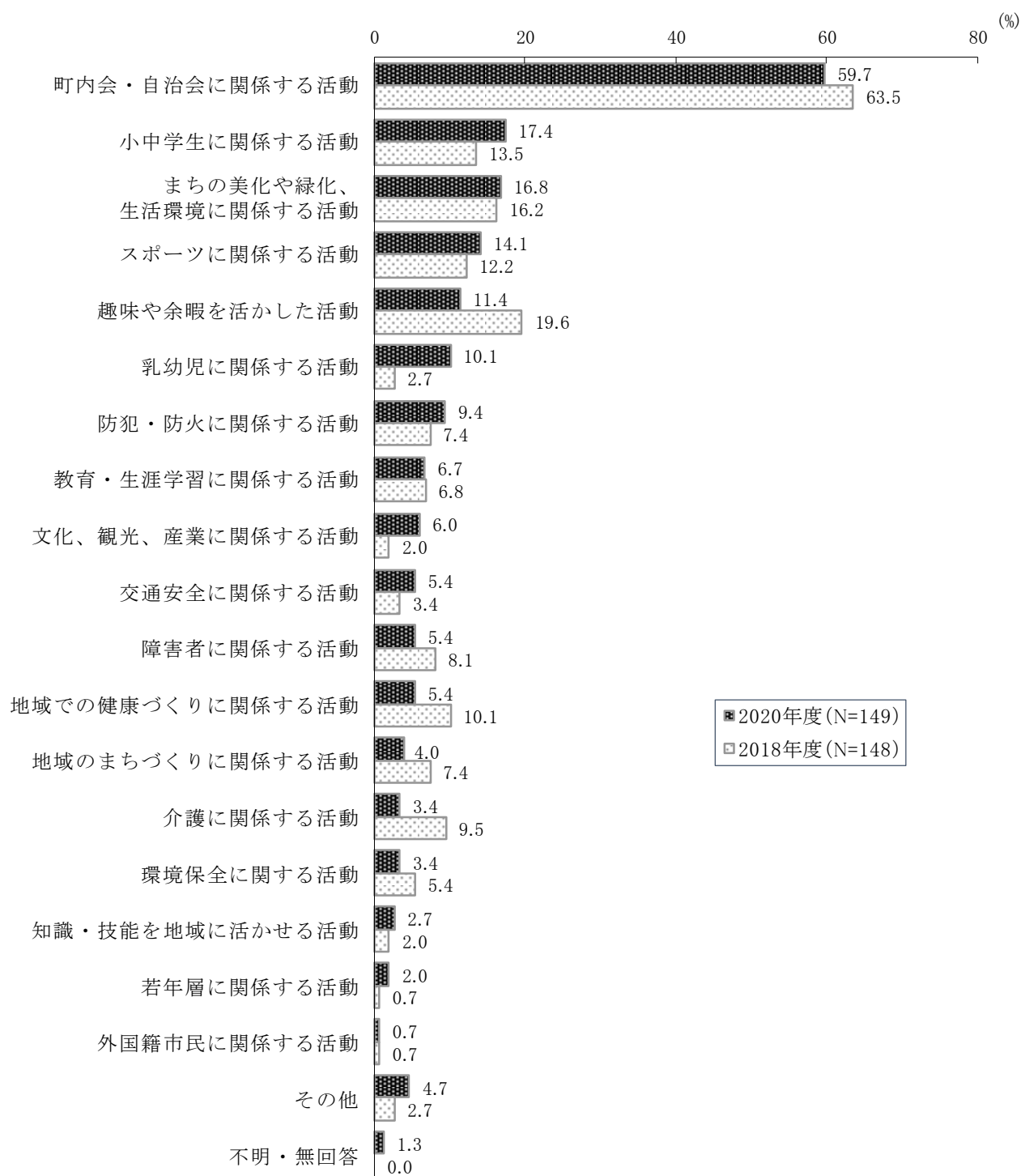


性年代別で見ると、男女とも 2018 年度と同様に年代が上昇するにつれ「活動を行っている」人の割合が高い傾向となっている。また居住年数別でも同様に、居住年数が長くなるにつれ「活動を行っている」人の割合が高い傾向となっている。

1 1. 行っている地域活動の分野

問9-2 地域で活動している団体（グループや個人の活動も含む）の活動分野をお選びください。
（あてはまるものすべてに○）

図 1 1 - 1 行っている地域活動の分野

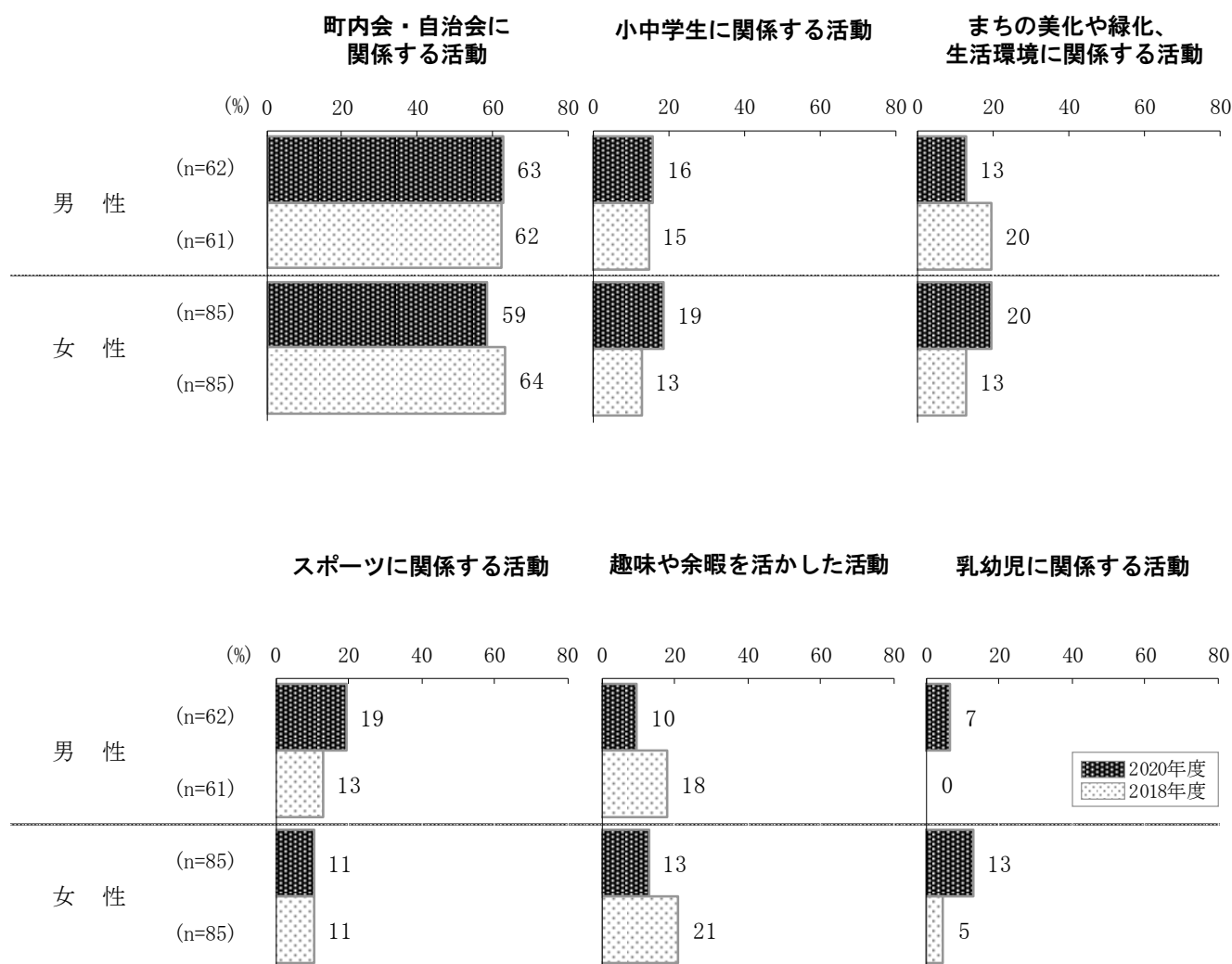


※「若年層に関する活動」は、2018年では「青年に関する活動」として聴取

※「まちの美化や緑化、生活環境に関する活動」は、2018年度では「街の美化や緑化、生活環境に関する活動」として聴取

「1 0. 地域活動の状況」で「活動を行っている」と回答した人に、「行っている地域活動の分野」について聞いたところ、「町内会・自治会に関する活動」（59.7%）が最も高く、次いで「小中学生に関する活動」（17.4%）、「まちの美化や緑化、生活環境に関する活動」（16.8%）、「スポーツに関する活動」（14.1%）の順となった。

図 11-2 行っている地域活動の分野
(性別) <上位6項目>



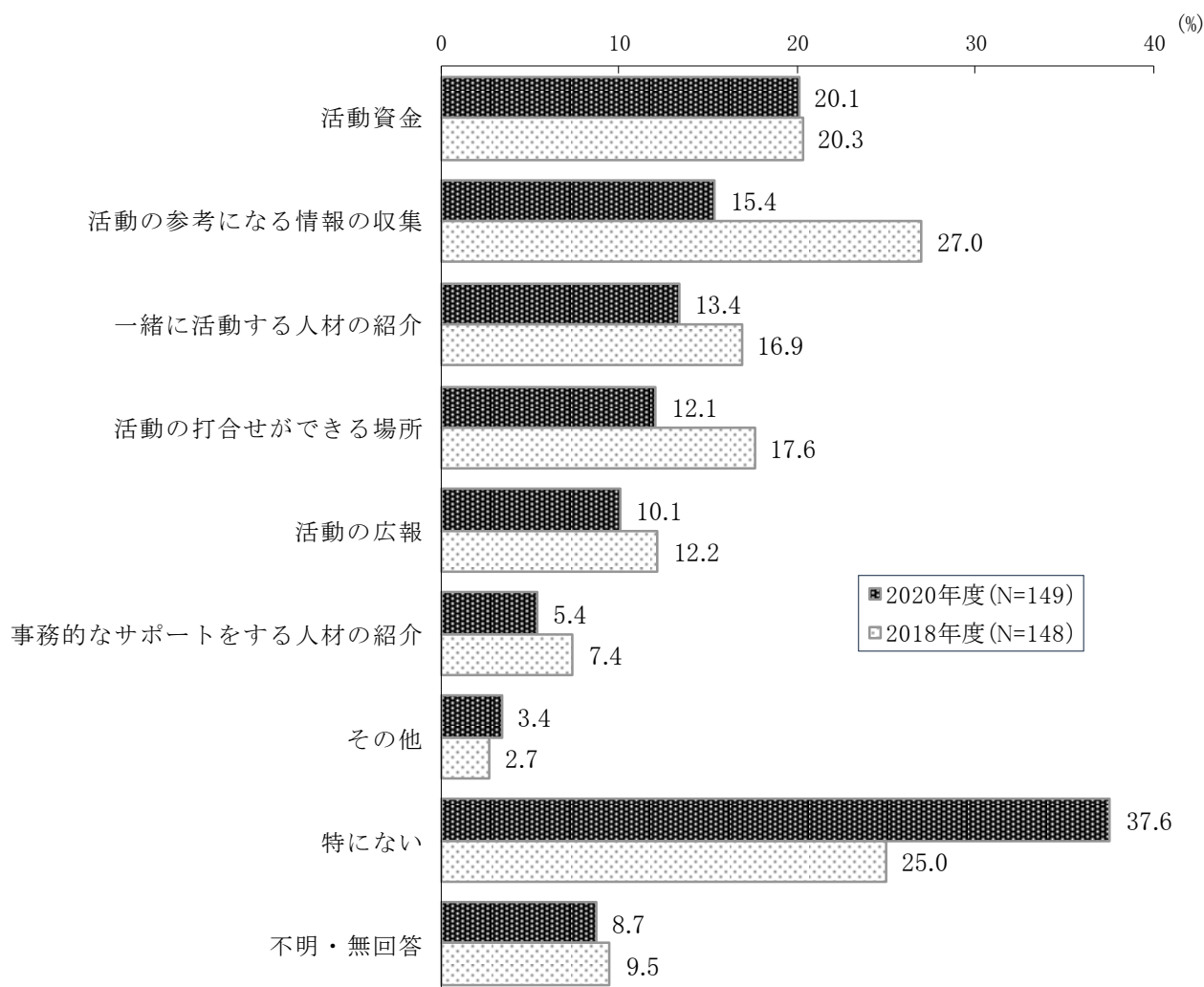
性別で見ると、「まちの美化や緑化、生活環境に関する活動」は、男性より女性の方が7ポイント高い結果となり、「スポーツに関する活動」は、女性より男性の方が8ポイント高い結果となった。

「趣味や余暇をいかした活動」は、2018年度と比較して男女とも8ポイント低い結果となった。また「乳幼児に関する活動」では、2018年度と比較して男性が7ポイント、女性が8ポイントそれぞれ高い結果となった。

1 2. 地域活動をする上で支援を受けたいと思うもの

問9-3 地域で活動する上で支援を受けたいと思うものはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

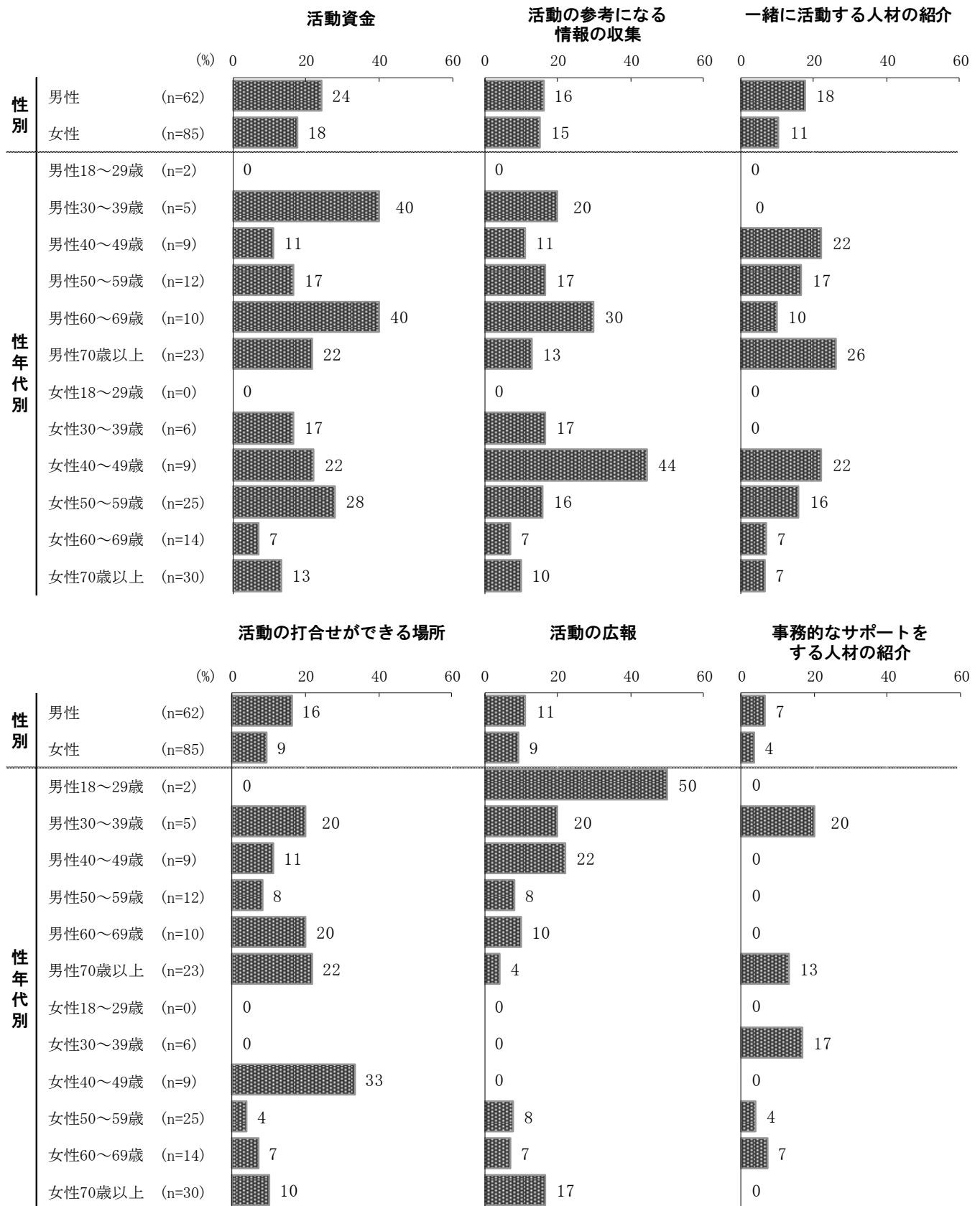
図 1 2-1 地域活動をする上で支援を受けたいと思うもの



「1 0. 地域活動の状況」で「活動を行っている」と回答した人に、「地域活動をする上で支援を受けたいと思うもの」について聞いたところ、「活動資金」(20.1%)が最も高く、次いで「活動の参考になる情報の収集」(15.4%)、「一緒に活動する人材の紹介」(13.4%)の順となった。

また「特にない」は(37.6%)と全体の3分の1以上の割合となった。

図 12-2 地域活動をする上で支援を受けたいと思うもの
(性別・性年代別)

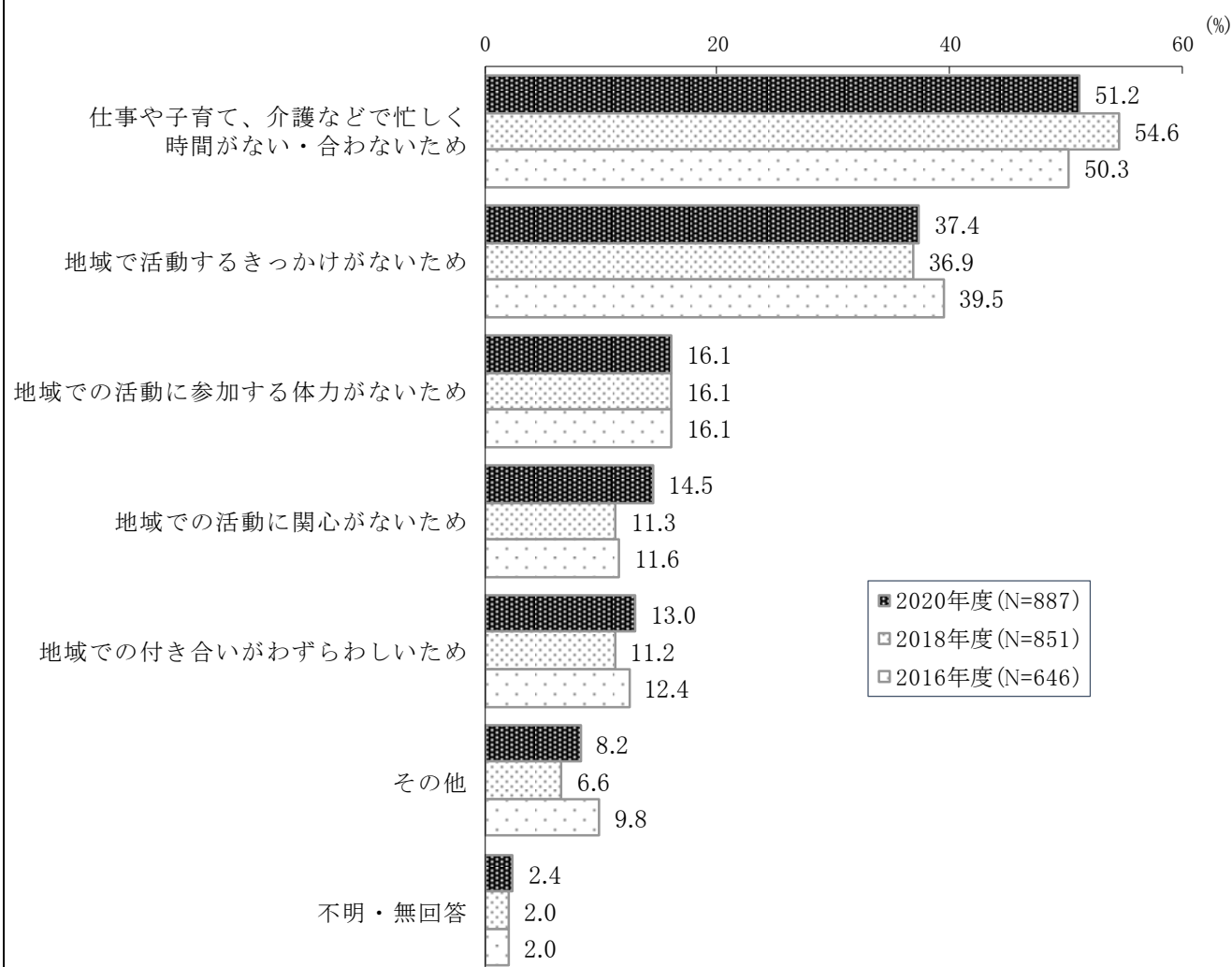


性別で見ると、「一緒に活動する人材の紹介」と「活動の打合せができる場所」は、女性より男性の方がそれぞれ7ポイント高い結果となった。「活動の参考になる情報の収集」は、2018年度と比較して男性が12ポイント、女性が11ポイントそれぞれ低い結果となった。

1 3. 地域活動を行っていない理由

問9-4 地域でのボランティア活動などを行っていない理由をお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

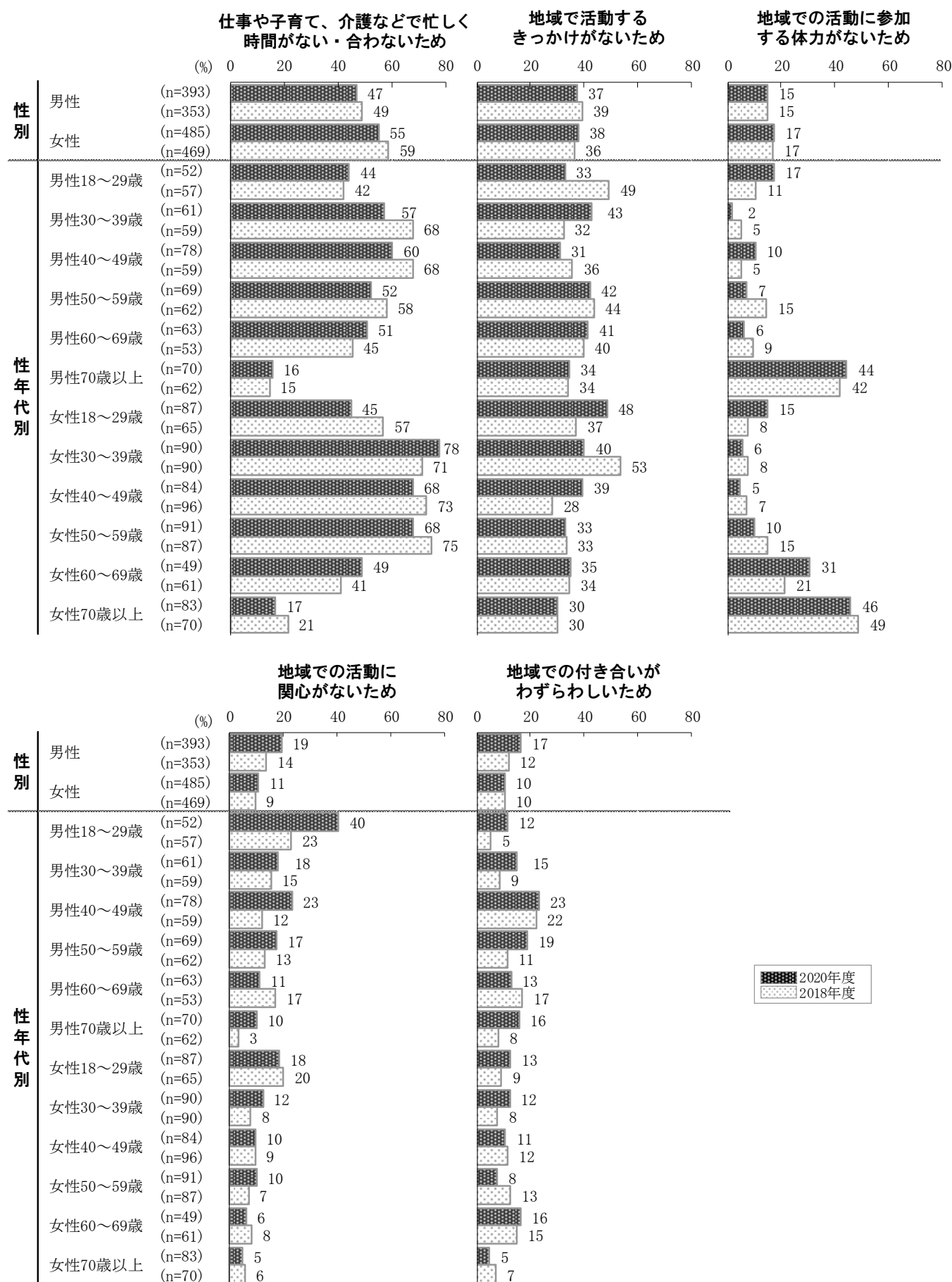
図 1 3 - 1 地域活動を行っていない理由



「1 0. 地域活動の状況」で「活動は行っていない」と回答した人に、「地域活動を行っていない理由」について聞いたところ、「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わないため」(51.2%) が最も高く、次いで「地域で活動するきっかけがないため」(37.4%)、「地域での活動に参加する体力がないため」(16.1%) の順となった。

2016年度から上位3項目の順位は変わらず、引き続き高い結果となった。

図 13-2 地域活動を行っていない理由
(性別・性年代別)

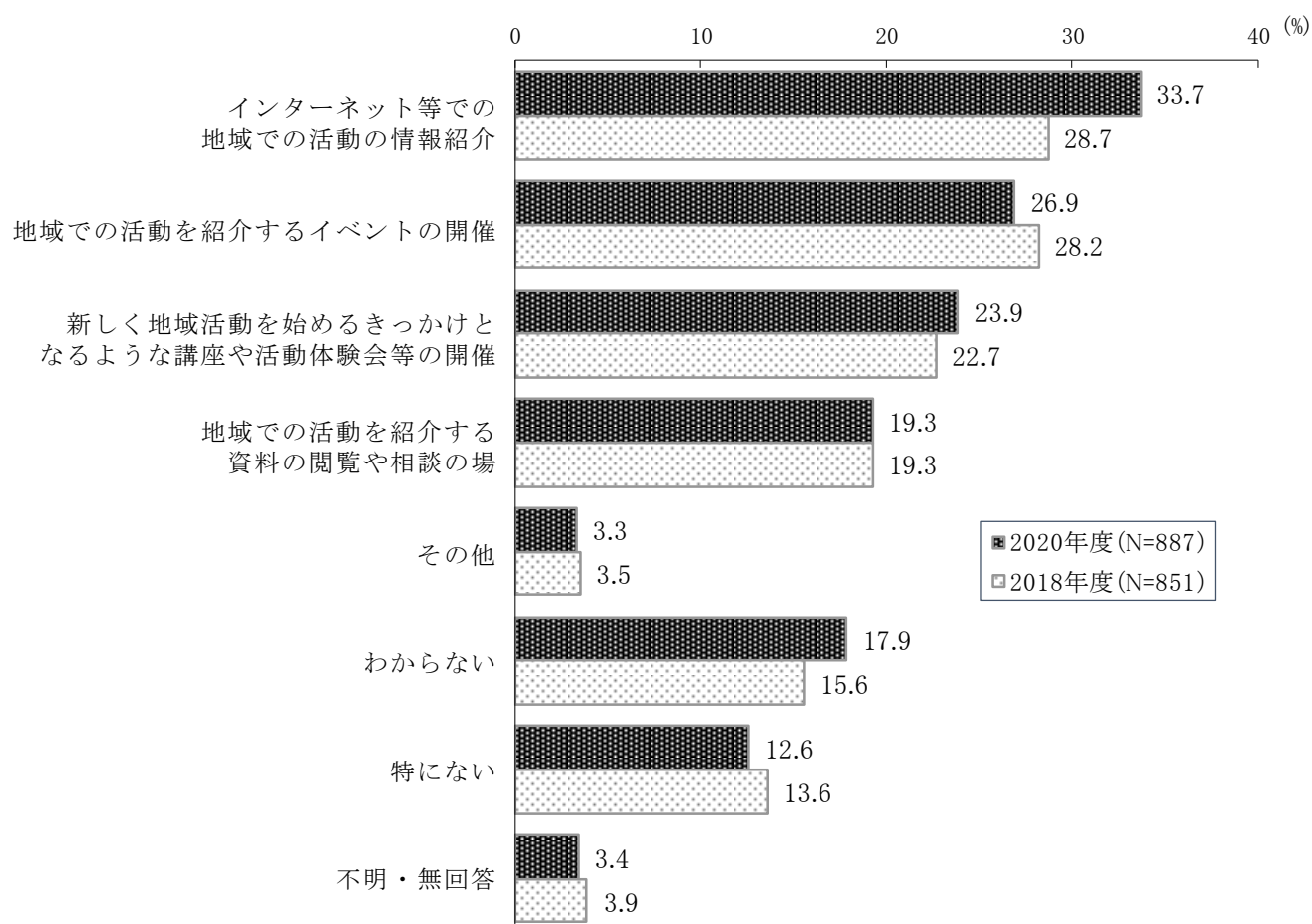


性年代別で見ると、「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わないため」は、女性30～59歳で65%を超え、他の年代と比較して高い結果となった。

1 4. 地域活動を始めるとに必要な機会や場

問9-5 地域でのボランティア活動などを始めるきっかけとして、どのような機会や場があることが効果的だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

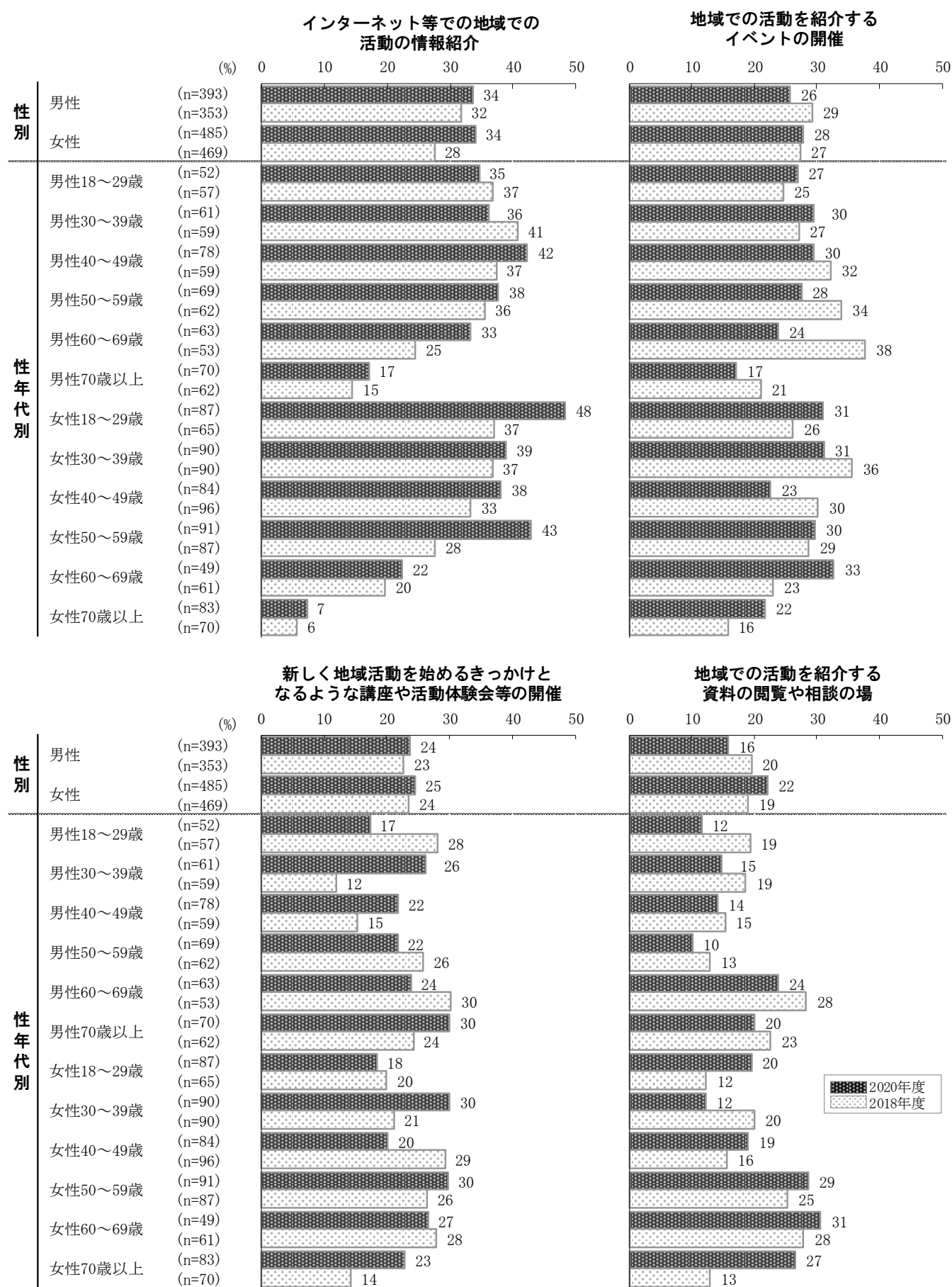
図 1 4 - 1 地域活動を始めるとに必要な機会や場



「1 0. 地域活動の状況」で「活動は行っていない」と回答した人に、「地域活動を始めるとに必要な機会や場」について聞いたところ、「インターネット等での地域での活動の情報紹介」(33.7%)が最も高く、次いで「地域での活動を紹介するイベントの開催」(26.9%)、「新しく地域活動を始めるとのきっかけとなるような講座や活動体験会等の開催」(23.9%)の順となった。

2018年度と比較して、上位3項目の順位は変わらない結果となった。

図 14-2 地域活動をはじめするために必要な機会や場
(性別・性年代別)

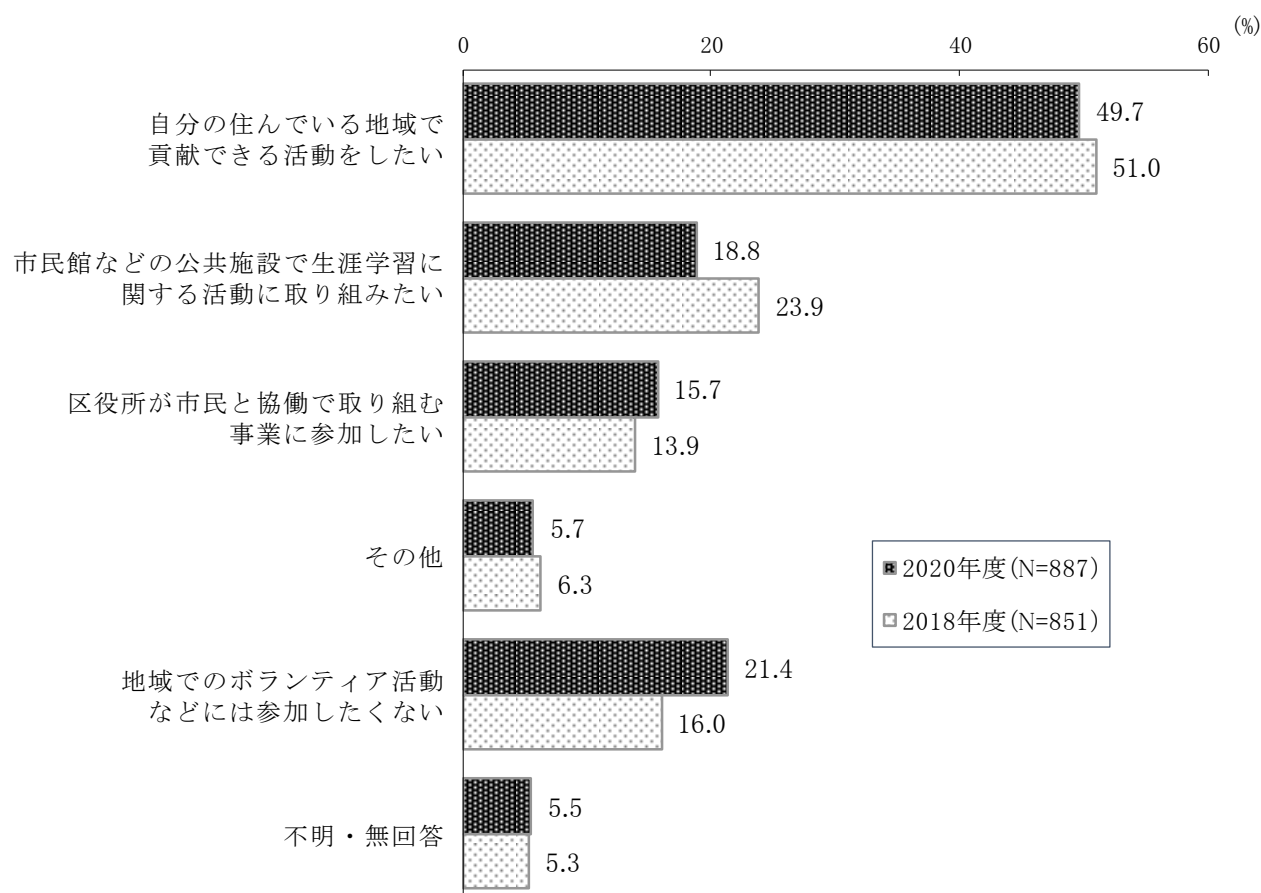


性年代別で見ると、「インターネット等での地域での活動の情報紹介」は、男女とも18～59歳で35%を超え、他の年代と比較して高い結果となった。

15. 地域活動への取組意向

問9-6 地域でのボランティア活動などを行うとした場合、どのようなかたちで地域で活動をしたいですか。（あてはまるものすべてに○）

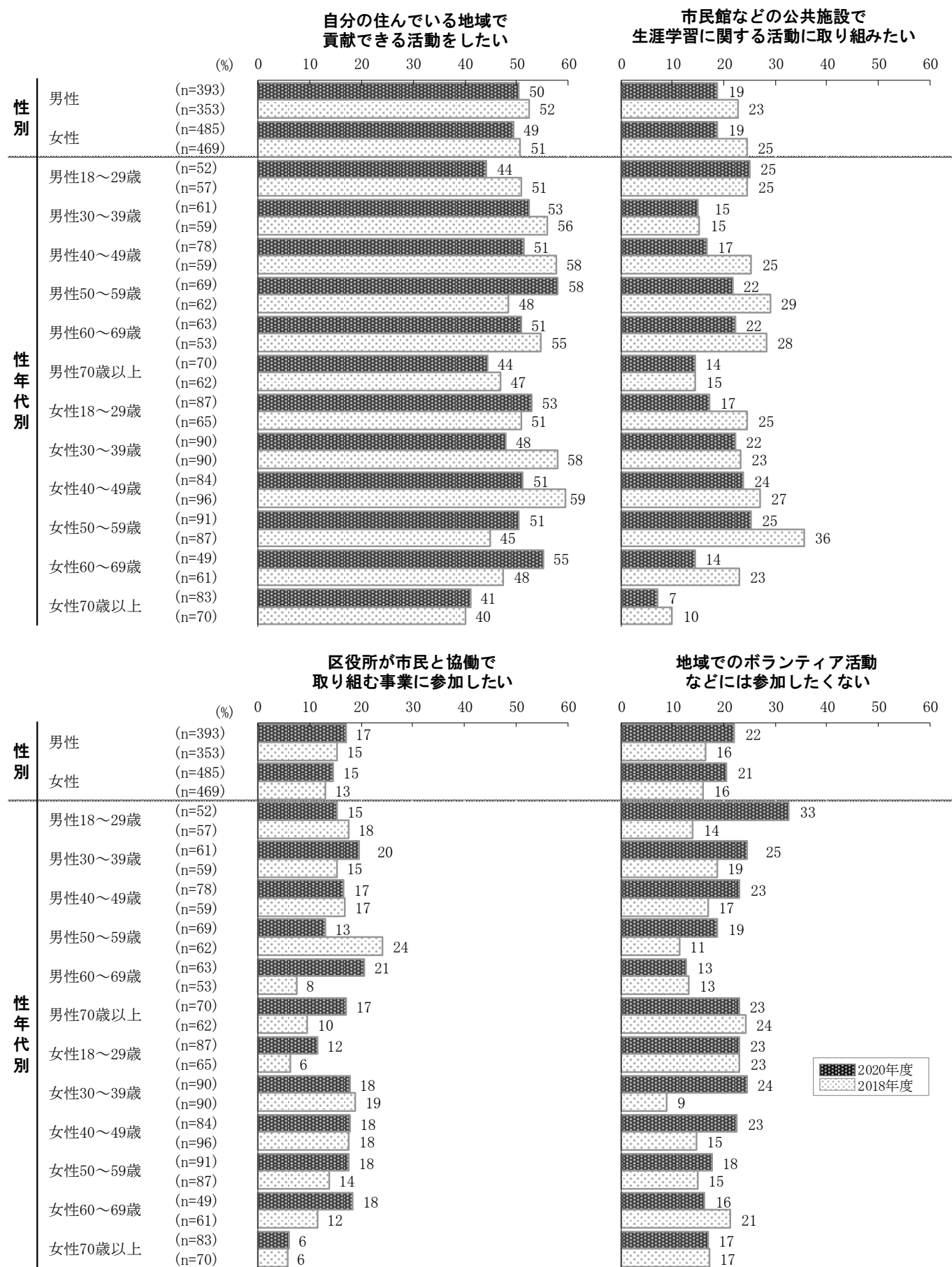
図 15-1 地域活動への取組意向



「10. 地域活動の状況」で「活動は行っていない」と回答した人に、「地域活動への取組意向」について聞いたところ、「自分の住んでいる地域で貢献できる活動をしたい」（49.7%）が最も高く、次いで「市民館などの公共施設で生涯学習に関する活動に取り組みたい」（18.8%）、「区役所が市民と協働で取り組む事業に参加したい」（15.7%）の順となった。

また「地域でのボランティア活動などには参加したくない」は（21.4%）となった。

図 15-2 地域活動への取組意向
(性別・性年代別)

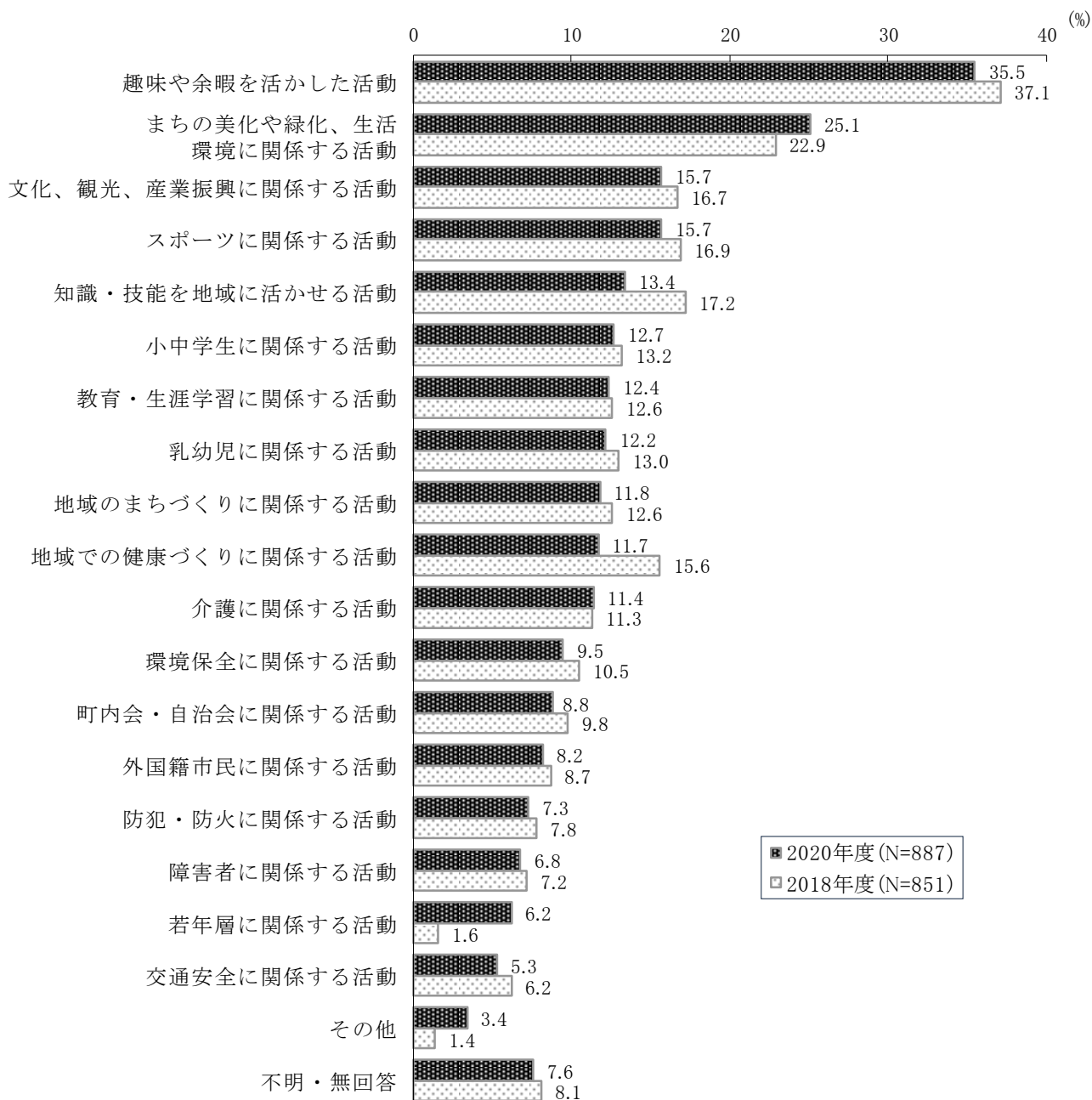


「自分の住んでいる地域で貢献できる活動をしたい」は、全ての性年代別で40%を超え、高い結果となった。

16. 地域活動への関心分野

問9-7 地域でのボランティア活動などを行うとした場合、どのような分野に関心がありますか。次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。
(番号は3つまで)

図 16-1 地域活動への関心分野

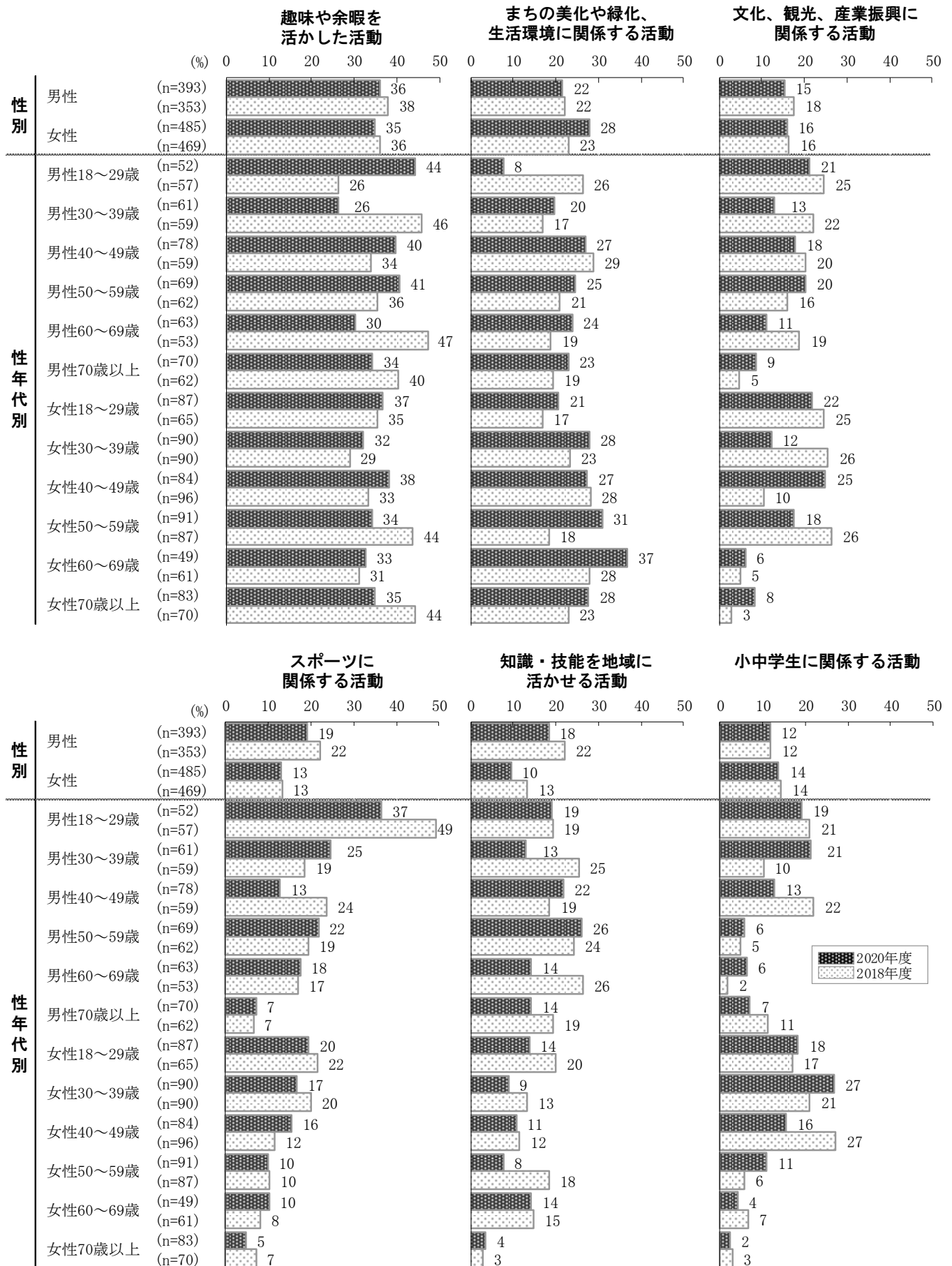


※「若年層に関する活動」は、2018年では「青年に関する活動」として聴取

※「まちの美化や緑化、生活環境に関する活動」は、2018年度では「街の美化や緑化、生活環境に関する活動」として聴取

「10. 地域活動の状況」で「活動は行っていない」と回答した人に、「地域活動への関心分野」について聞いたところ、「趣味や余暇を活かした活動」(35.5%)が最も高く、次いで、「まちの美化や緑化、生活環境に関する活動」(25.1%)、「文化、観光、産業振興に関する活動」(15.7%)、「スポーツに関する活動」(15.7%)の順となった。

図 16-2 地域活動への関心分野
(性別・性年代別) <上位6項目>

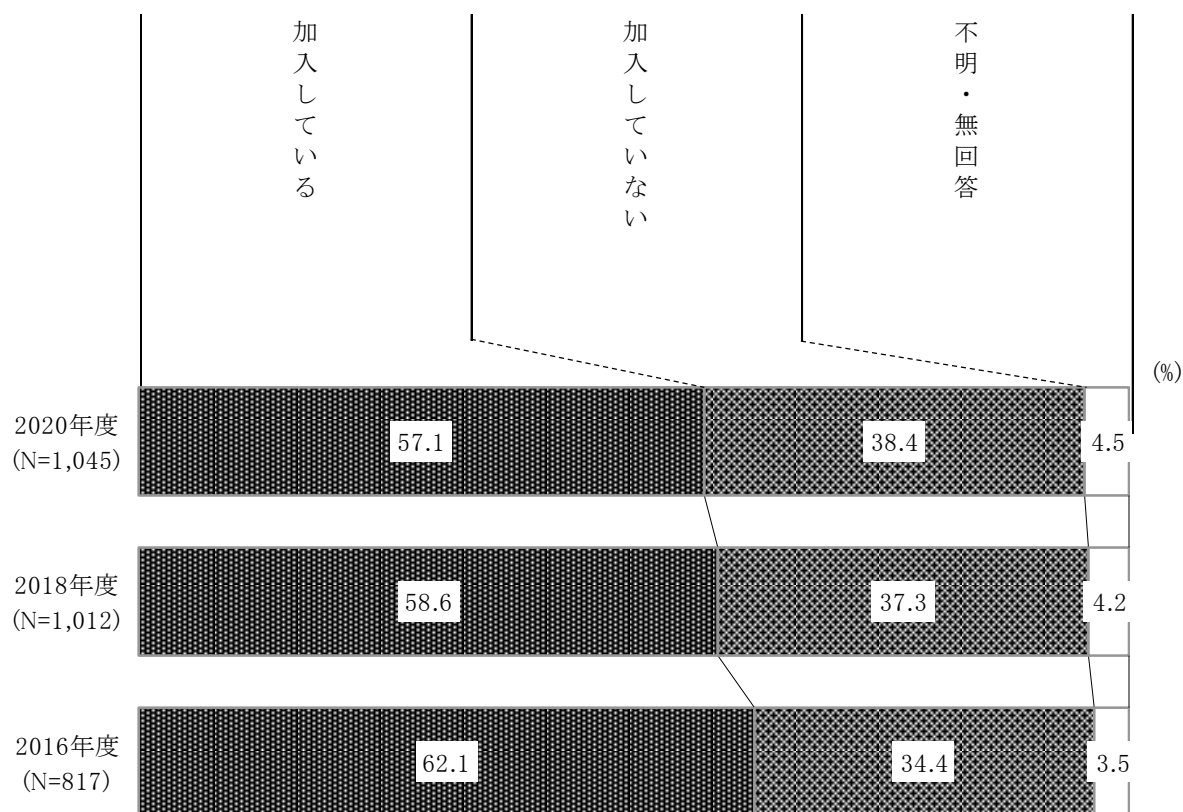


性年代で見ると、「スポーツに関する活動」は、男性18~29歳で37%と最も高く、「小中学生に関する活動」では女性30~39歳で27%とそれぞれ他の年代と比べて高い結果となった。

17. 町内会・自治会への加入状況

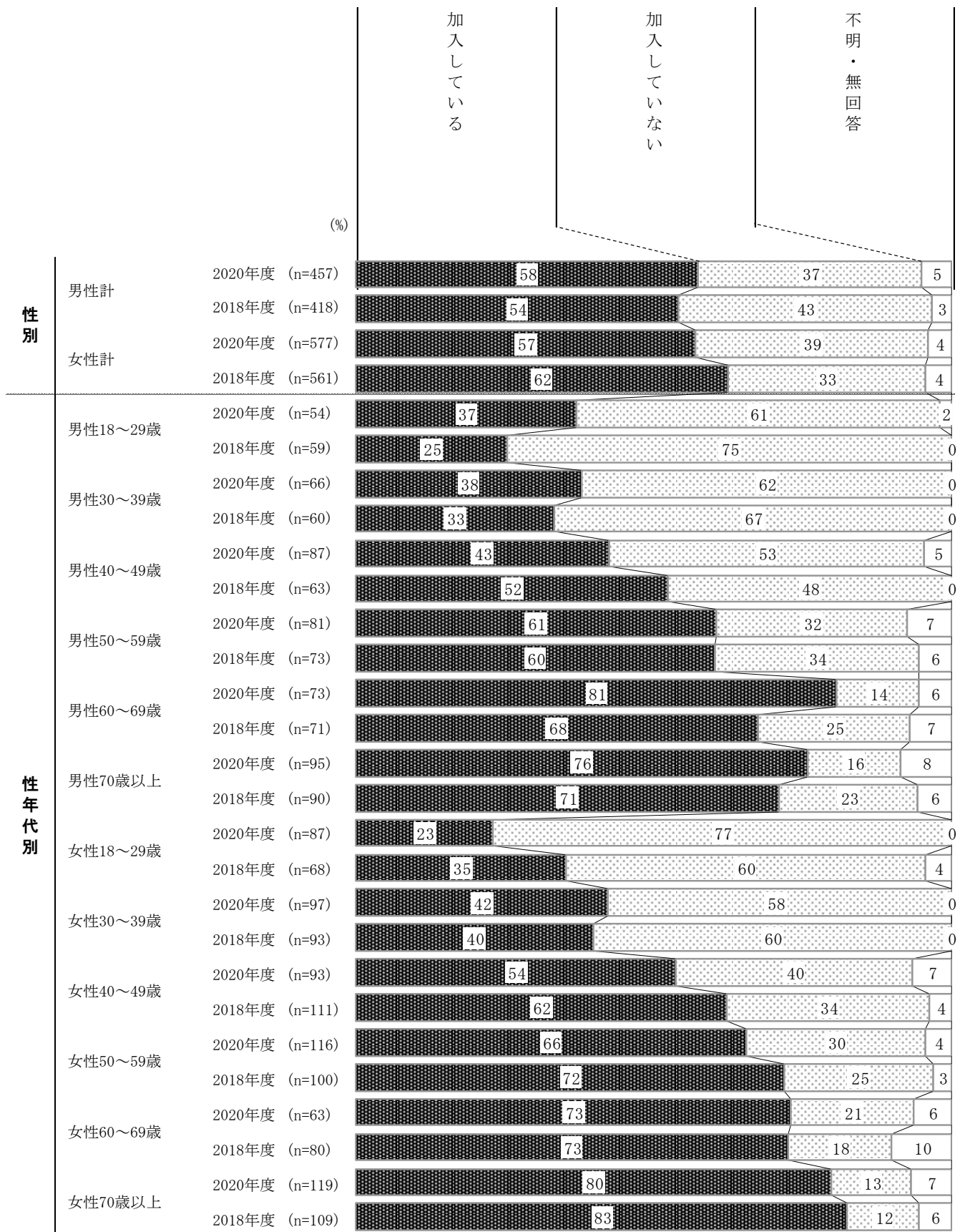
問10 町内会・自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

図 17-1 町内会・自治会への加入状況



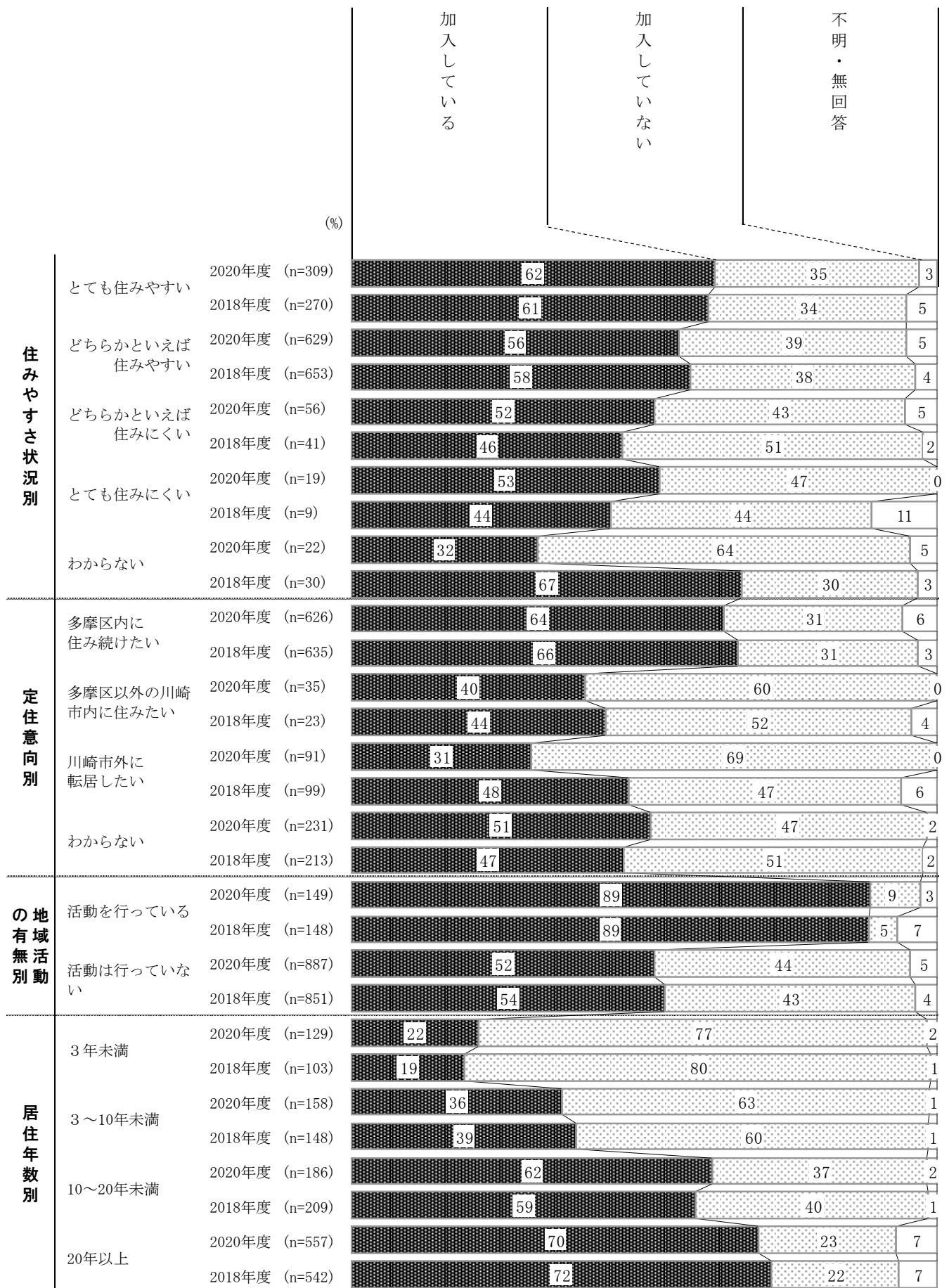
「町内会・自治会への加入状況」について聞いたところ、「加入している」は57.1%で半数を超える結果となったが、2016年度から年々減少し、2016年度と比較して5.0ポイント減少した。

図 17-2 町内会・自治会への加入状況
(性別・性年代別)



性年代別で見ると、「加入している」は男女ともに50歳代以上で60%を超え、年代が高くなるにつれ「加入している」人の割合が高くなる傾向となった。

図 17-3 町内会・自治会への加入状況
(住みやすさ状況別・定住意向別・地域活動の有無別・居住年数別)

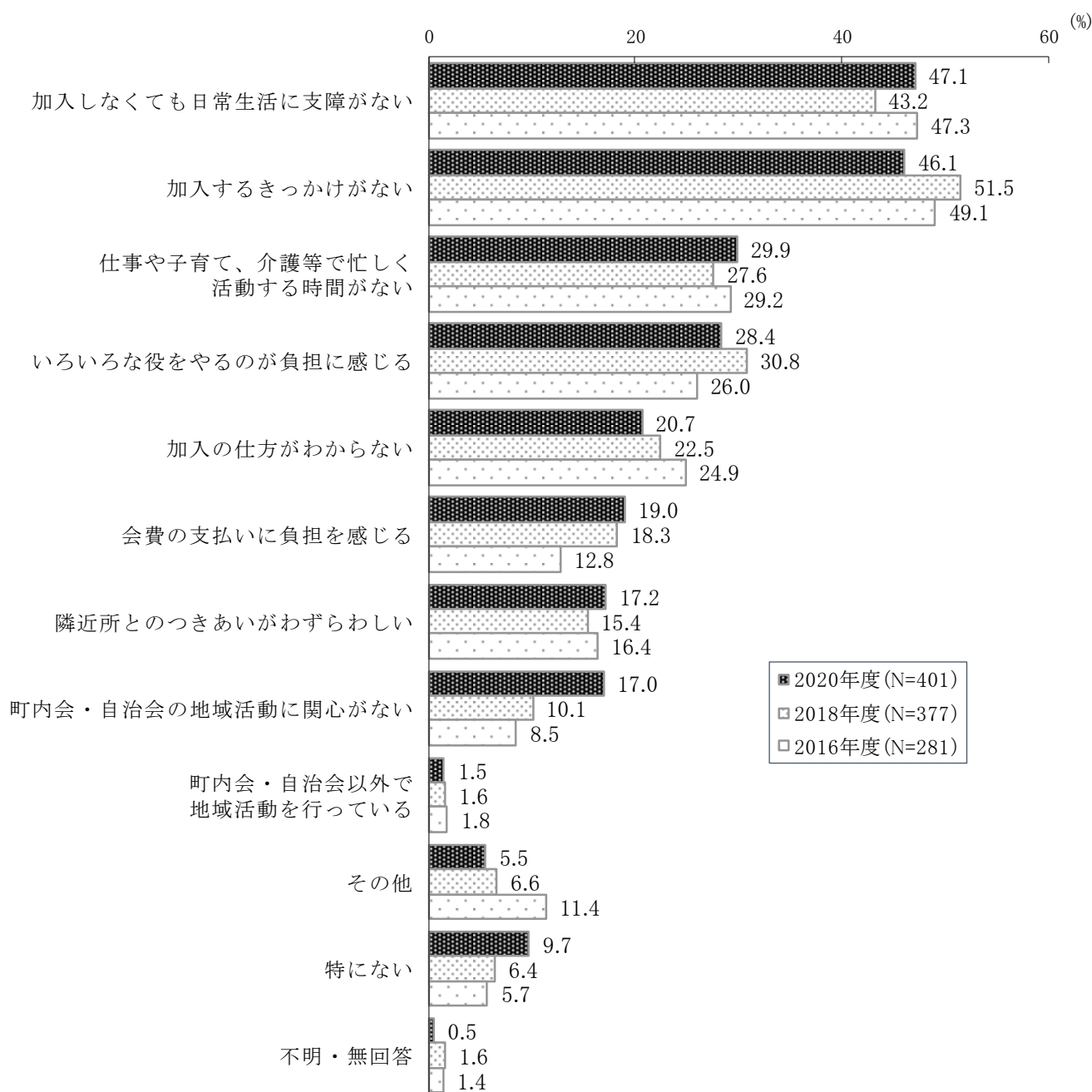


町内会・自治会への加入状況では、居住年数が長いほど「加入している」人の割合が高い傾向となっており、2018年度と同様の傾向となった。

18. 町内会・自治会に加入していない理由

問10-2 町内会・自治会に加入していない理由をお選びください。（あてはまるものすべてに○）

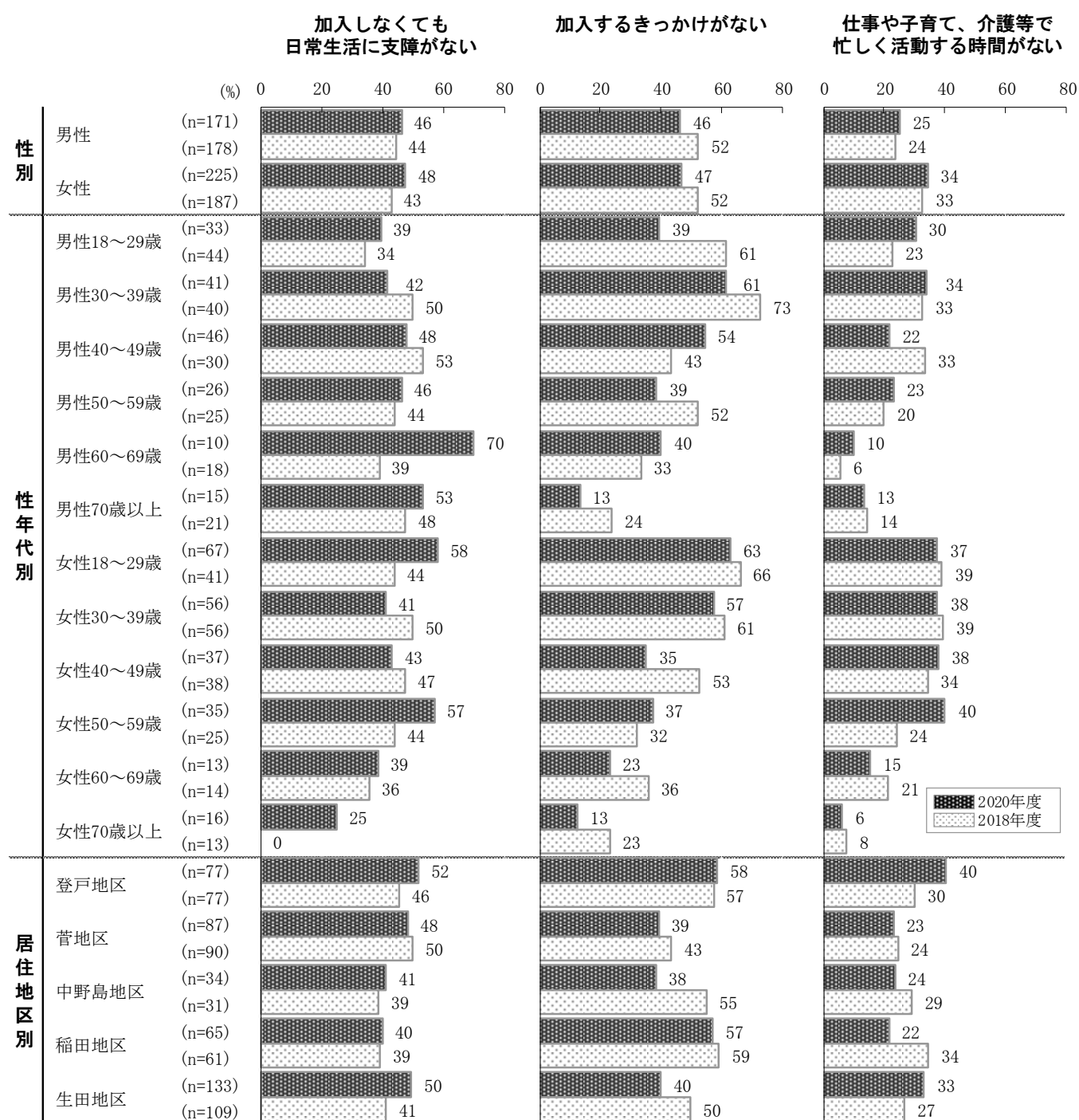
図 18-1 町内会・自治会に加入していない理由



「17. 町内会・自治会への加入状況」で「加入していない」と回答した人に「町内会・自治会に加入していない理由」について聞いたところ、「加入しなくても日常生活に支障がない」（47.1％）が最も高い結果となり、次いで「加入するきっかけがない」（46.1％）が40％を超え、高い結果となった。

上位2項目については、2016年度、2018年度と比較して同様の結果となった。

図 18-2 町内会・自治会に加入していない理由
(性別・性年代別・居住地区別) <上位3項目>



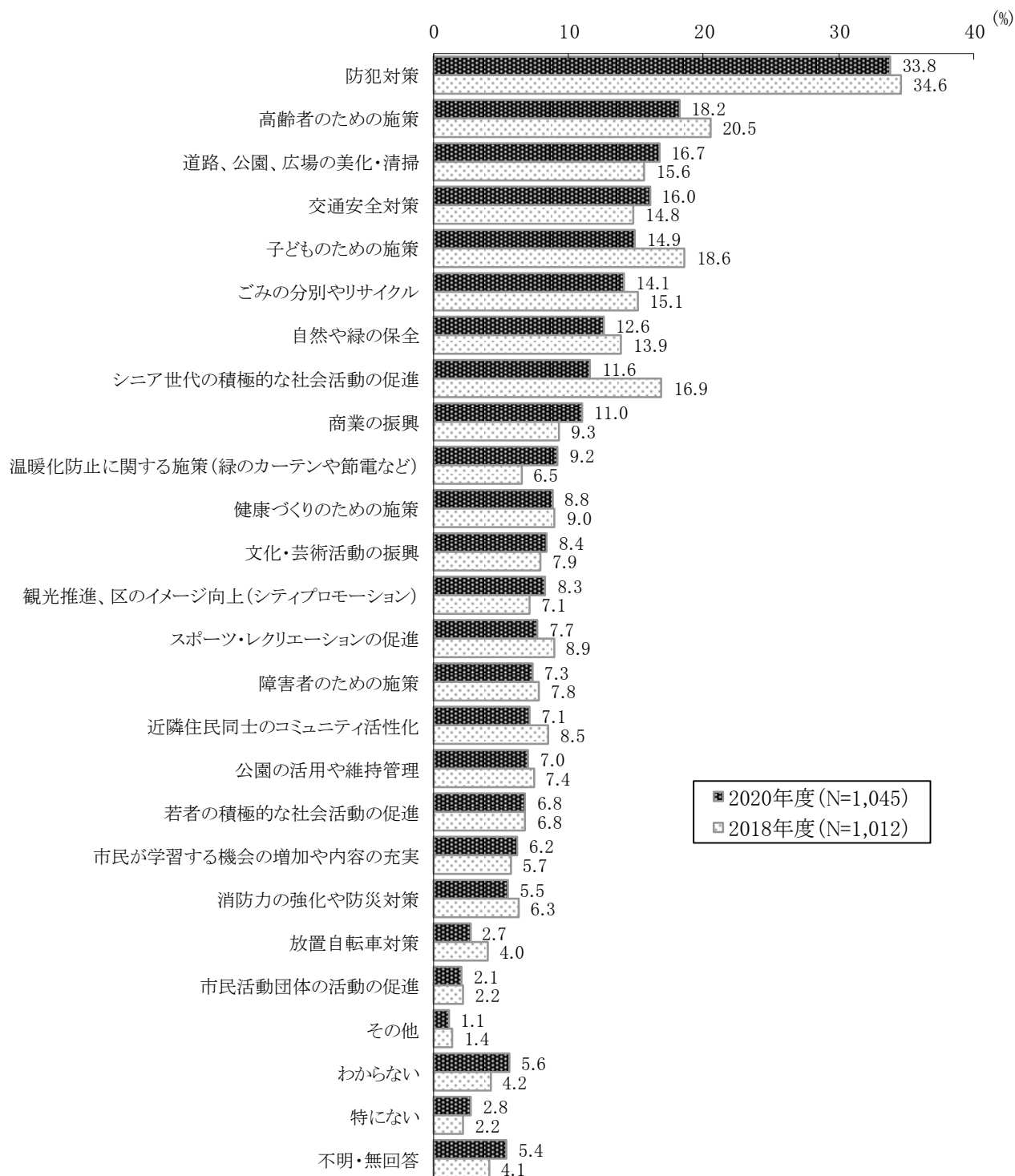
性年代別で見ると、「加入するきっかけがない」は、男性30~39歳と女性18~29歳で60%を超え、他の年代より高い結果となった。「仕事や子育て、介護等で忙しく活動する時間がない」では、男性18~39歳と女性18~59歳で30%を超え、他の年代より高い結果となった。

居住地区別で見ると、「加入するきっかけがない」は、登戸地区と稲田地区で50%を超え、「仕事や子育て、介護等で忙しく活動する時間がない」では登戸地区が40%を超え、それぞれ他の居住地区より高い結果となった。

19. 区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの

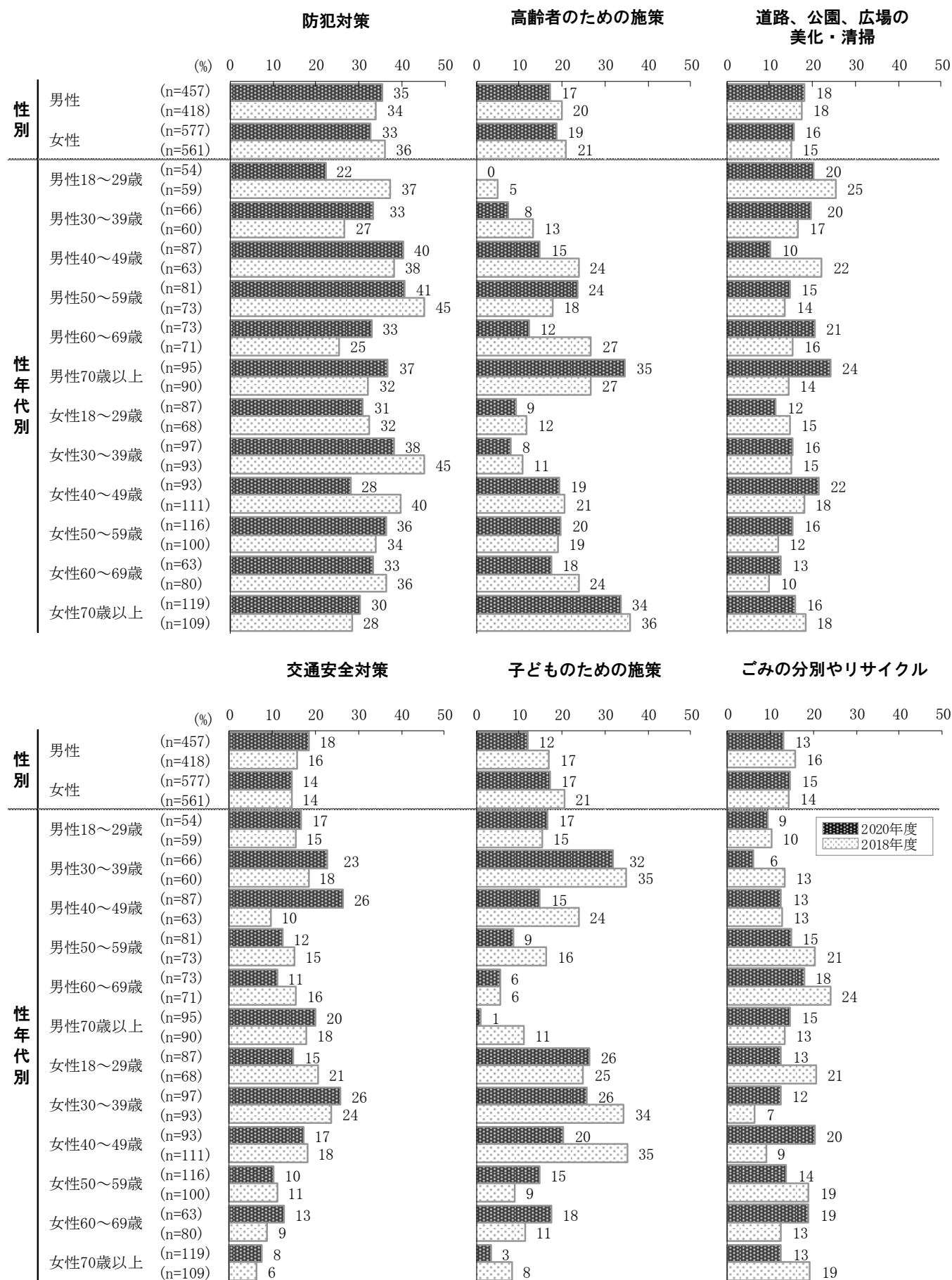
問11 区民（NPOや市民活動団体などを含む）と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うものは何ですか。次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は3つまで）

図19-1 区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの



「区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの」について聞いたところ、「防犯対策」（33.8%）が最も高い結果となり、次いで「高齢者のための施策」（18.2%）、「道路、公園、広場の美化・清掃」（16.7%）、「交通安全対策」（16.0%）の順となった。

図 19-2 区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの
(性別・性年代別) <上位6項目>

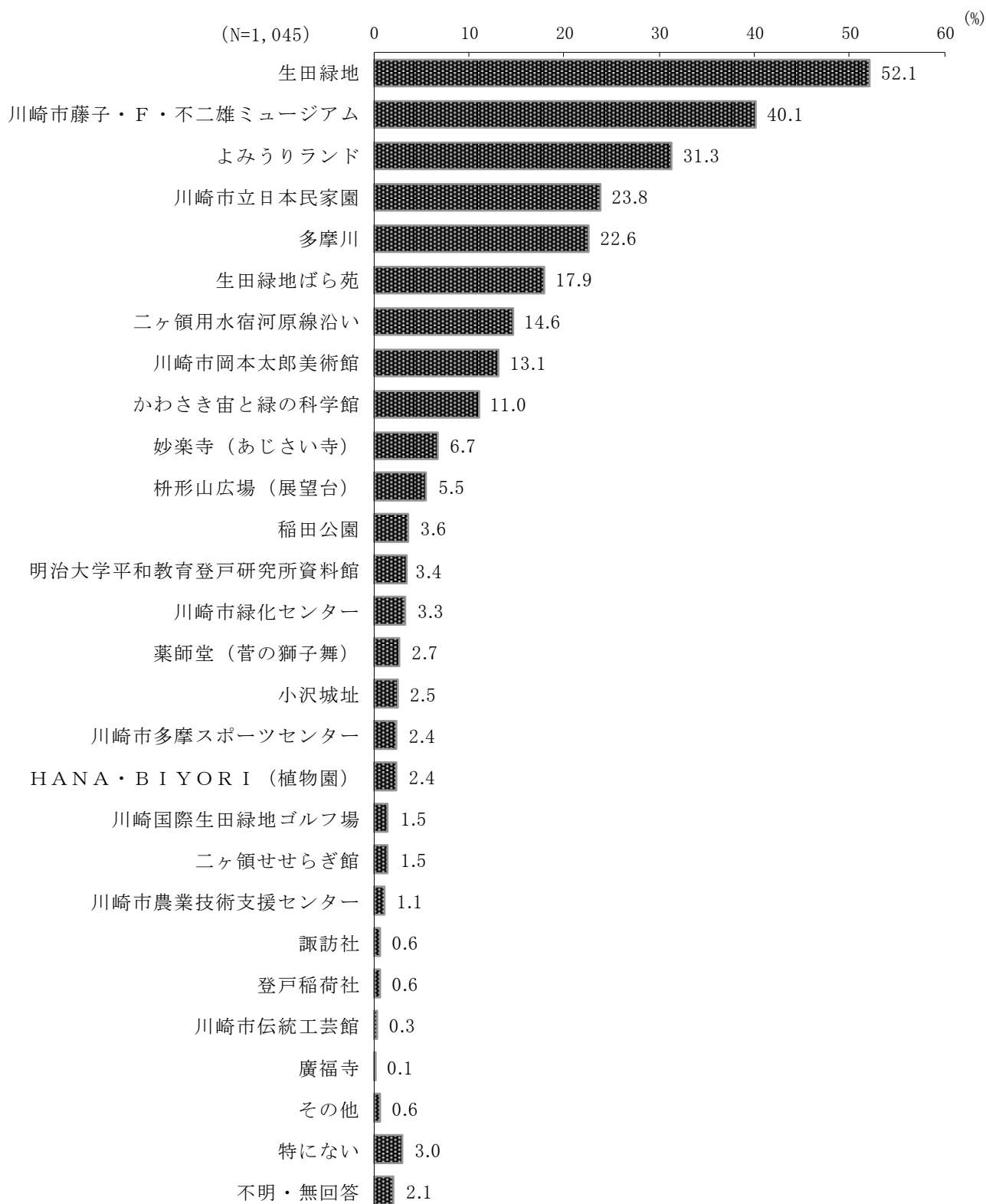


性年代別で見ると、「防犯対策」は、男性18～29歳と女性40～49歳を除き他の性年代では30%を超え高い結果となった。「高齢者のための施策」は、男女とも70歳以上で30%を超え、他の年代より高い結果となった。

20. 多摩区の見どころ

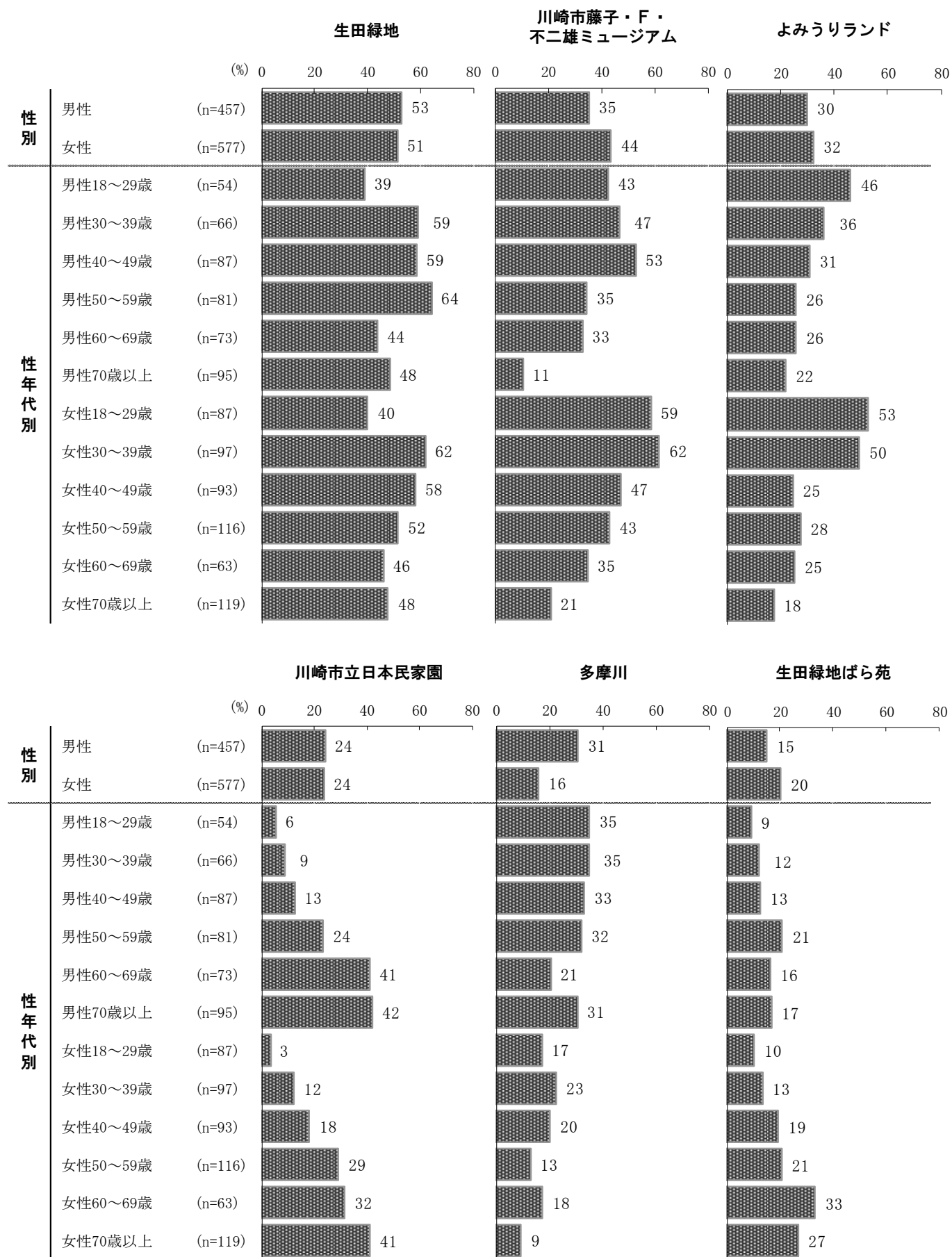
問12 多摩区内のどの見所を他人に薦めたいと思いますか。次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は3つまで）

図 20-1 多摩区の見どころ



「多摩区の見どころ」について聞いたところ、「生田緑地」（52.1%）が半数を超え最も高く、次いで「川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム」（40.1%）、「よみうりランド」（31.3%）の順となった。

図 20-2 多摩区の見どころ（性別・性年代別）＜上位6項目＞

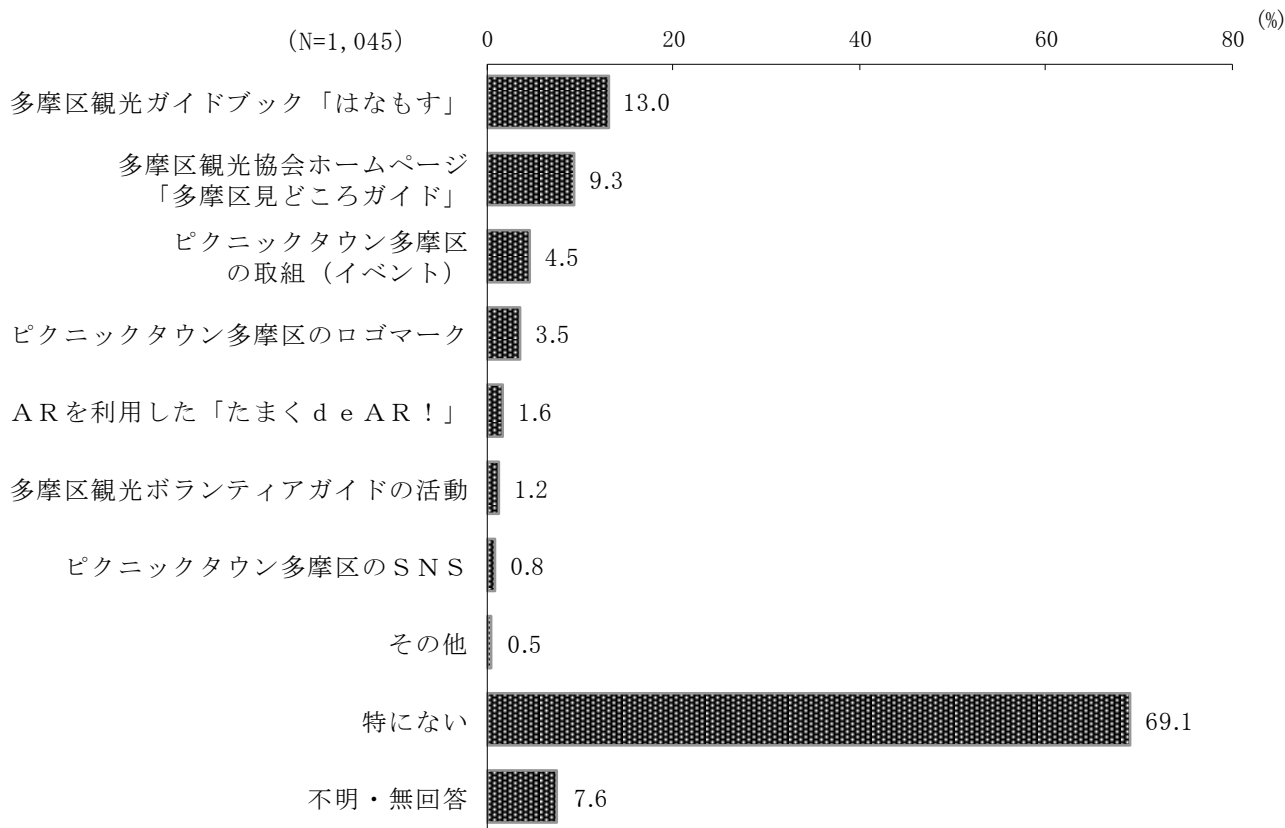


性年代別で見ると、「川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム」と「よみうりランド」は、女性18～39歳でそれぞれ他の年代と比べて高い結果となった。

2 1. 区の観光振興やイメージ、地域ブランド向上を目指す取組の認知状況

問13 多摩区では、豊かな自然環境や魅力的な地域資源を活用し、区の観光振興やイメージ、地域ブランド力の向上を目指す取組を行っています。次の中であなたが知っているもの、見たことのあるものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

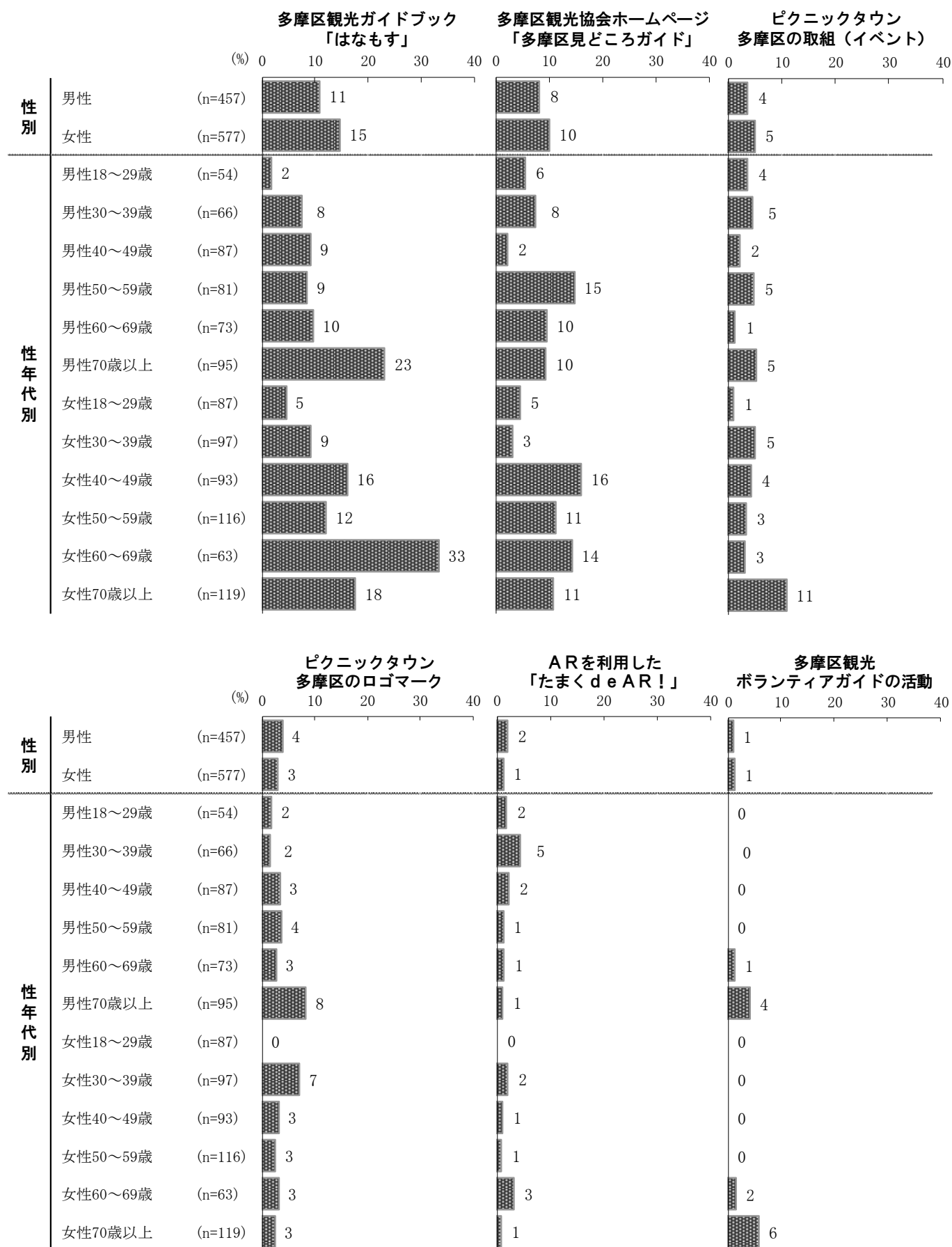
図 2 1 - 1 区の観光振興やイメージ、地域ブランド向上を目指す取組の認知状況



「区の観光振興やイメージ、地域ブランド向上を目指す取組の認知状況」について聞いたところ、「特にない」（69.1%）が最も高い結果となった。

認知状況で見ると「多摩区観光ガイドブック「はなもす」」（13.0%）が最も高く、次いで「多摩区観光協会ホームページ「多摩区見どころガイド」」（9.3%）の順となった。

図 21-2 区の観光振興やイメージ、地域ブランド向上を目指す取組の認知状況
(性別・性年代別) <上位6項目>

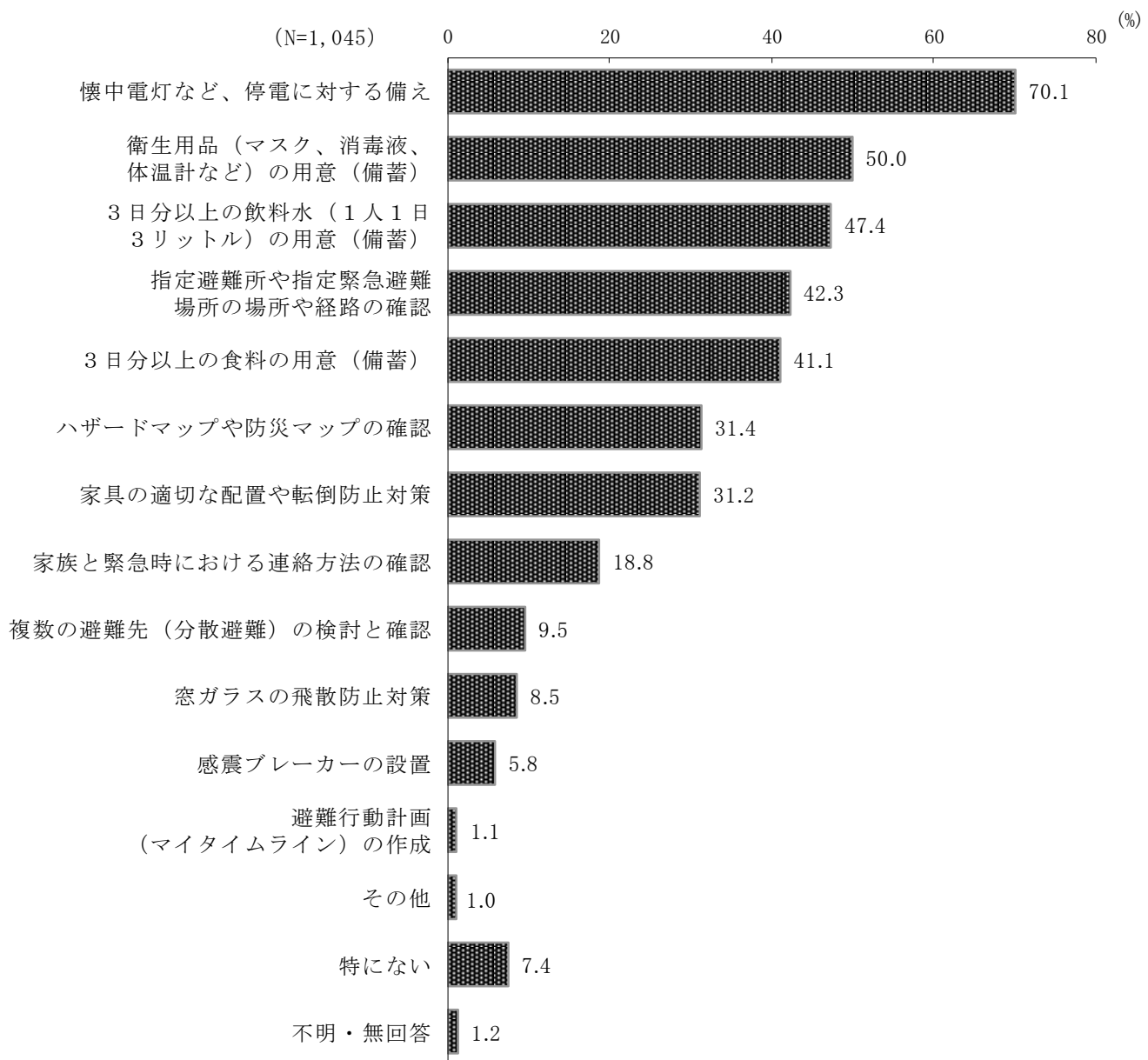


性年代別で見ると、「多摩区観光ガイドブック「はなもす」」は、女性60~69歳が30%を超え、他の年代と比較して高い結果となった。

2.2. 地震・風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組

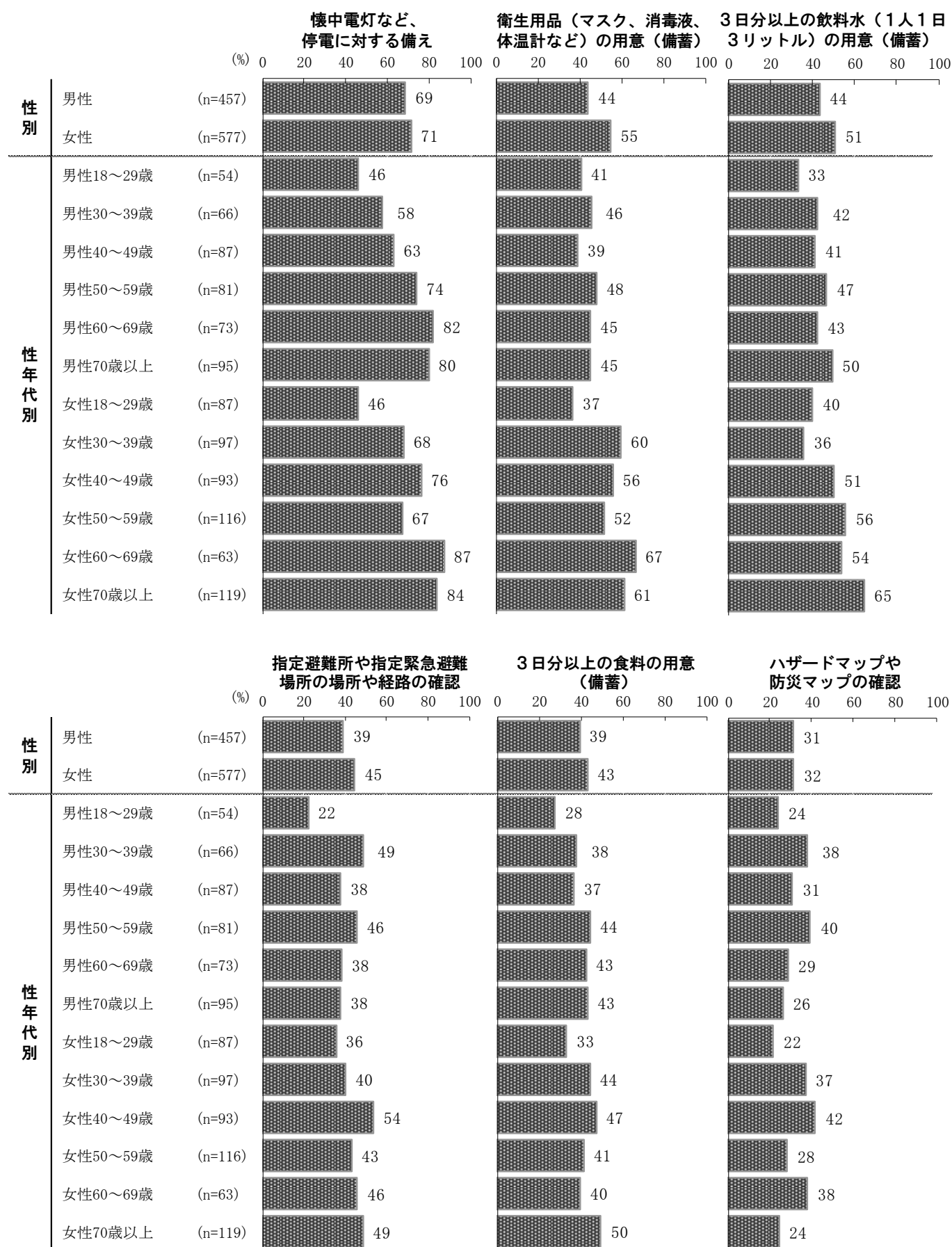
問14 地震・風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

図 2.2-1 地震・風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組



「地震・風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組」について聞いたところ、「懐中電灯など、停電に対する備え」(70.1%)で最も高く、次いで「衛生用品(マスク、消毒液、体温計など)の用意(備蓄)」(50.0%)、「3日分以上の飲料水(1人1日3リットル)の用意(備蓄)」(47.4%)の順となった。

図 22-2 地震・風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組
(性別・性年代別) <上位6項目>

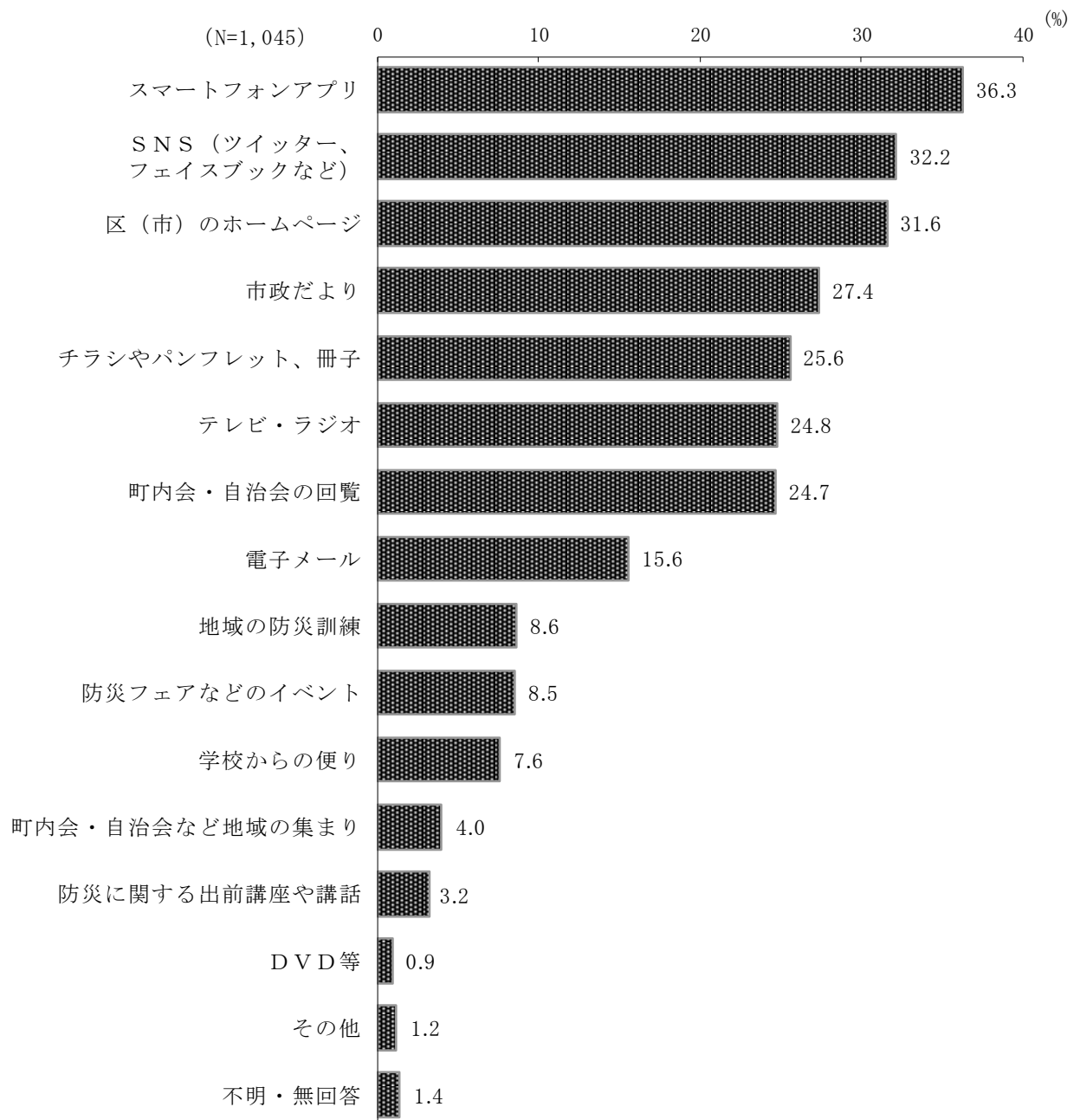


性年代別で見ると、「懐中電灯など、停電に対する備え」は、男女とも60歳以上で80%を超え、他の年代と比較して高い結果となった。

2 3. 災害に対する備えに関する情報の効果的な提供手段

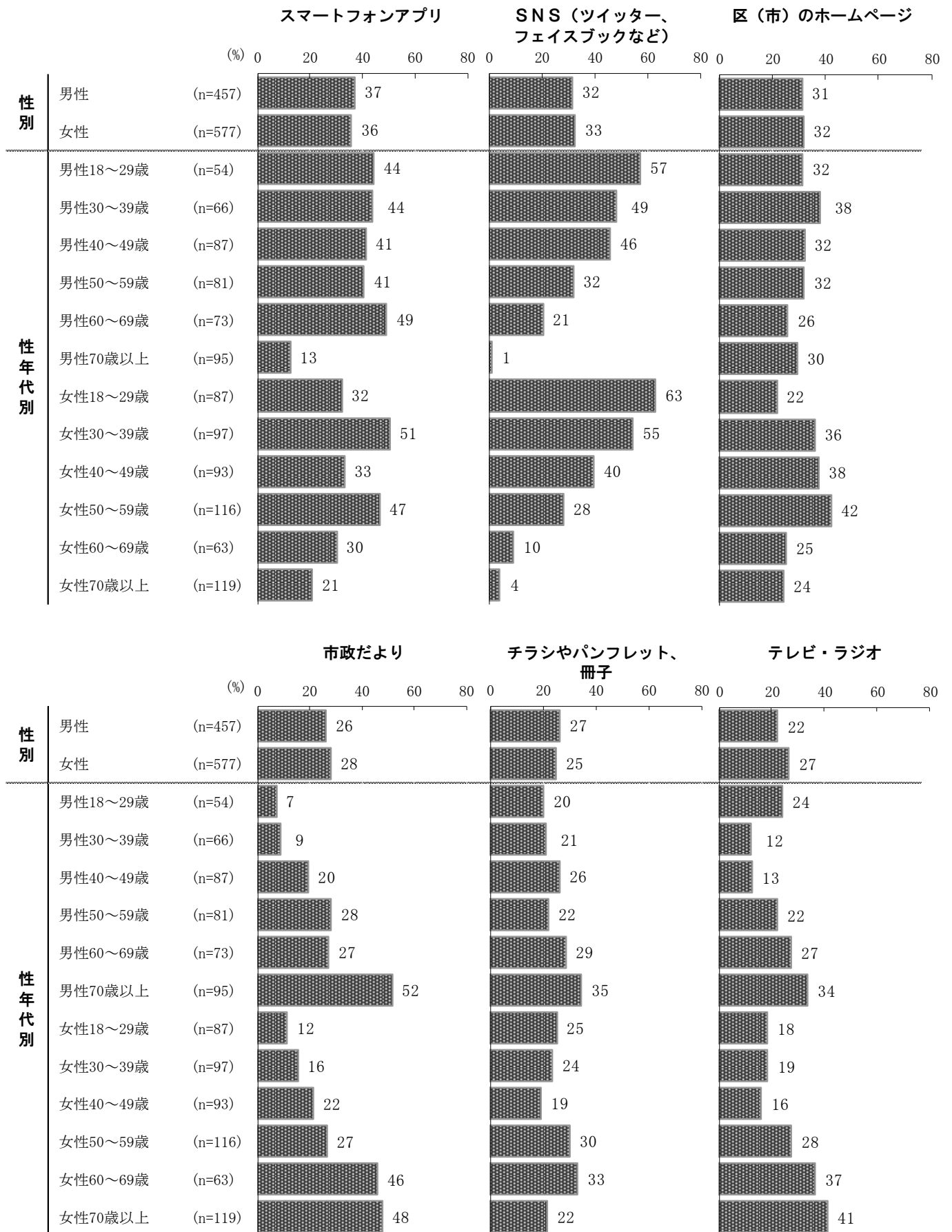
問15 災害に対する日頃からの備えに関する情報が何から提供されたら効果的だと思いますか。
(番号は3つまで)

図 2 3 - 1 災害に対する備えに関する情報の効果的な提供手段



「災害に対する備えに関する情報の効果的な提供手段」を聞いたところ、「スマートフォンアプリ」(36.3%)が最も高く、次いで「SNS (ツイッター、フェイスブックなど)」(32.2%)、「区(市)のホームページ」(31.6%)、の順となった。

図 23-2 災害に対する備えに関する情報の効果的な提供手段
(性別・性年代別) <上位6項目>

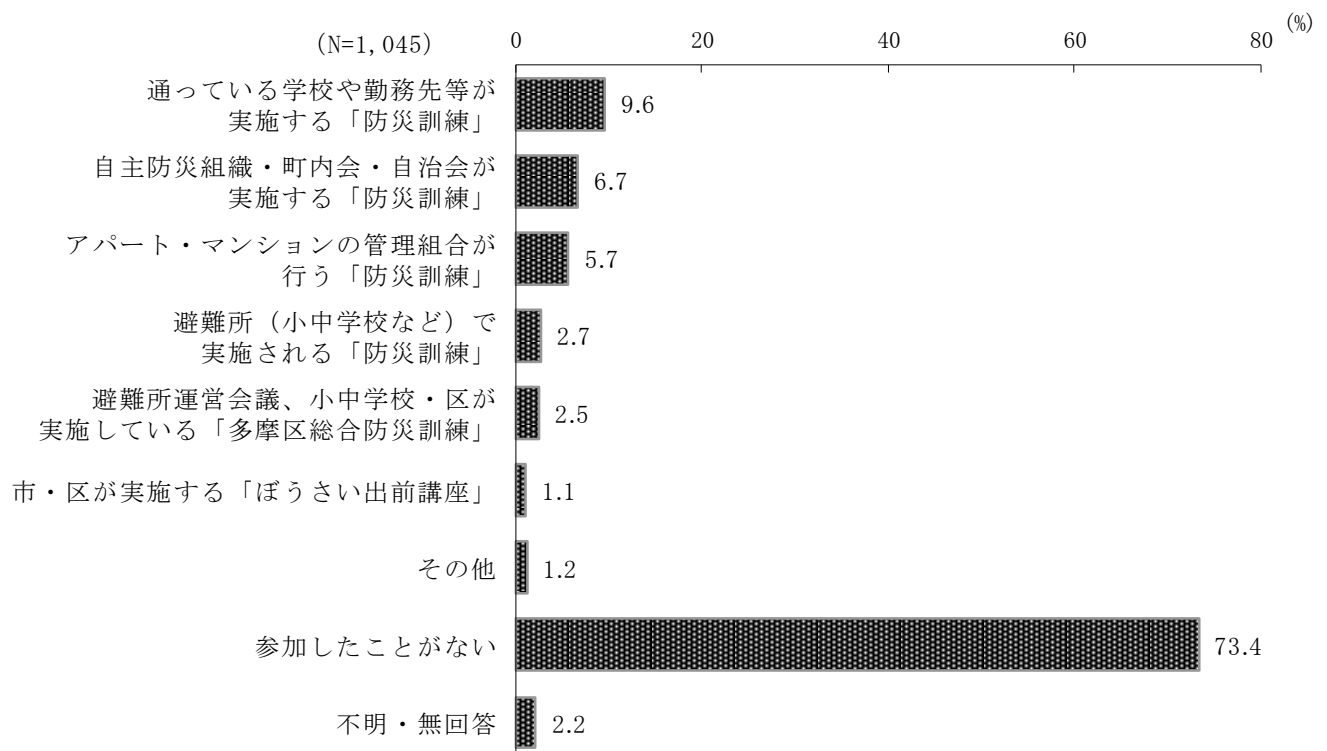


性別による大きな差はないが、性年代別では上位6項目のうち「スマートフォン」「SNS (ツイッター、フェイスブックなど)」は男女ともに70歳以上が他の年代と比較して低い傾向となり、「市政だより」「テレビ・ラジオ」では男女ともに70歳以上が他の年代と比較して高い傾向となった。

2 4 . 直近 1 年以内に参加したことがある防災訓練や出前講座

問16 あなたは、直近 1 年以内に地域で行われた防災訓練や出前講座に参加したことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

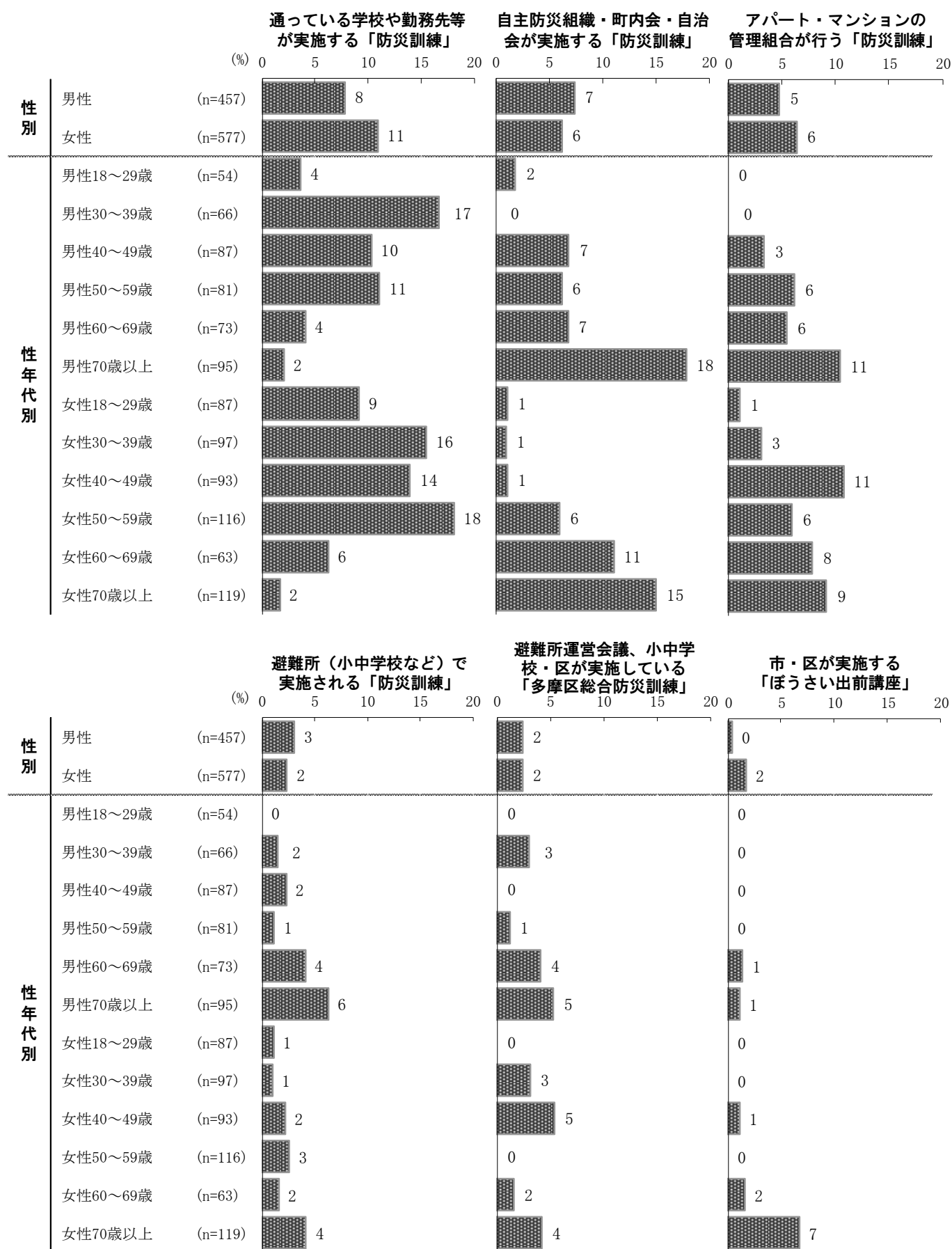
図 2 4 - 1 直近 1 年以内に参加したことがある防災訓練や出前講座



「直近 1 年以内に参加したことがある防災訓練や出前講座」の参加状況について聞いたところ、「参加したことがない」(73.4%)が最も高い結果となった。

参加したことがある訓練や講座で見ると「通っている学校や勤務先等が実施する「防災訓練」(9.6%)が最も高く、次いで「自主防災組織・町内会・自治会が実施する「防災訓練」(6.7%)、「アパート・マンションの管理組合が行う「防災訓練」(5.7%)の順となった。

図 24-2 直近1年以内に参加したことがある防災訓練や出前講座
(性別・性年代別) <上位6項目>

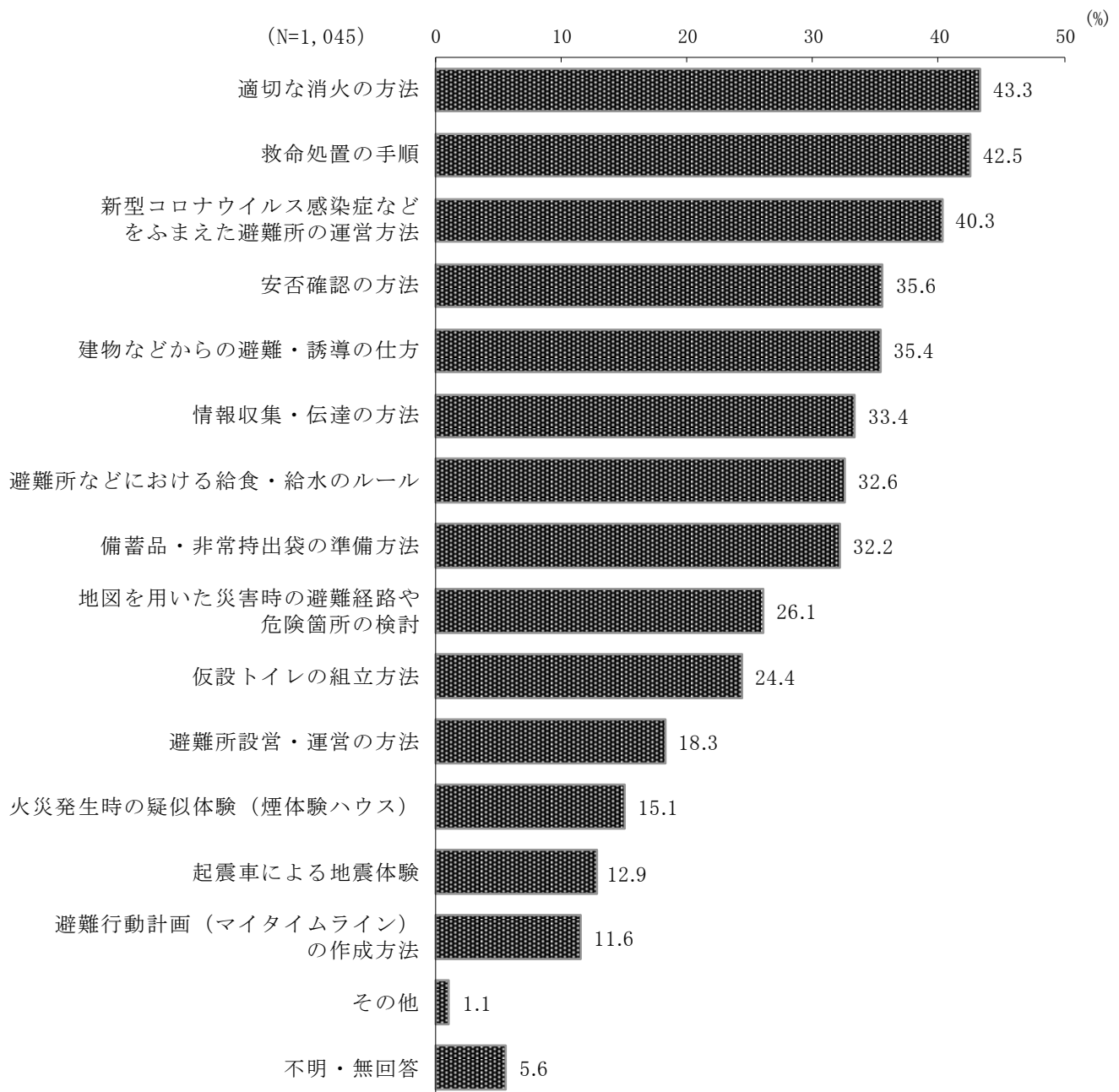


性年代別で見ると、「通っている学校や勤務先等が実施する「防災訓練」」は、男女ともに30~59歳で10%を超え、「自主防災組織・町内会・自治会が実施する「防災訓練」」は、男女70歳以上で、それぞれ他の年代と比較して高い結果となった。

25. 効果的だと思う防災訓練や出前講座の内容

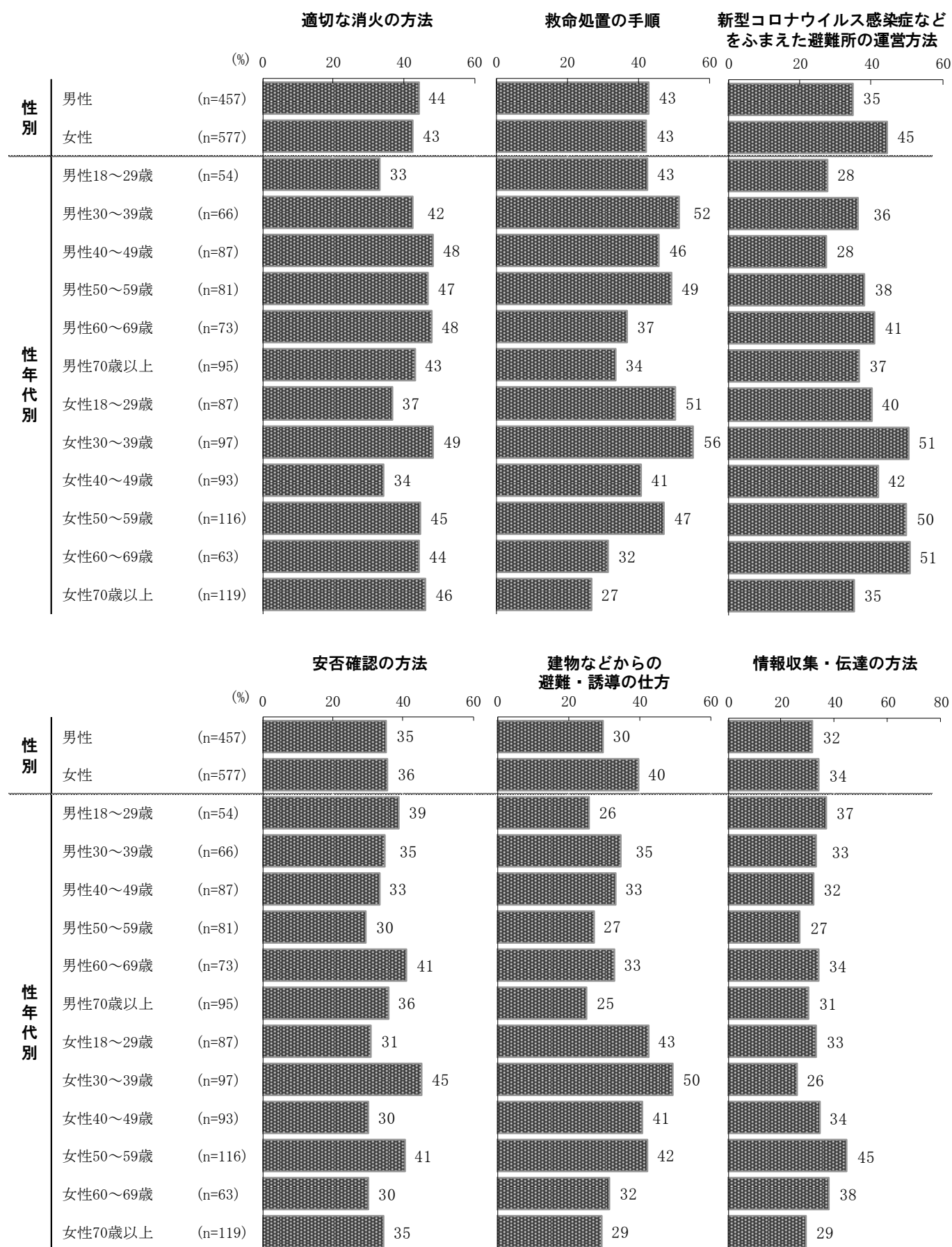
問17 防災訓練や出前講座などで、どのような内容を実施することが効果的だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

図 25-1 効果的だと思う防災訓練や出前講座の内容



「効果的だと思う防災訓練や出前講座の内容」について聞いたところ、「適切な消火の方法」（43.3%）が最も高く、次いで「救命処置の手順」（42.5%）、「新型コロナウイルス感染症などをふまえた避難所の運営方法」（40.3%）の順となった。

図 25-2 効果的だと思う防災訓練や出前講座
(性別・性年代別) <上位6項目>

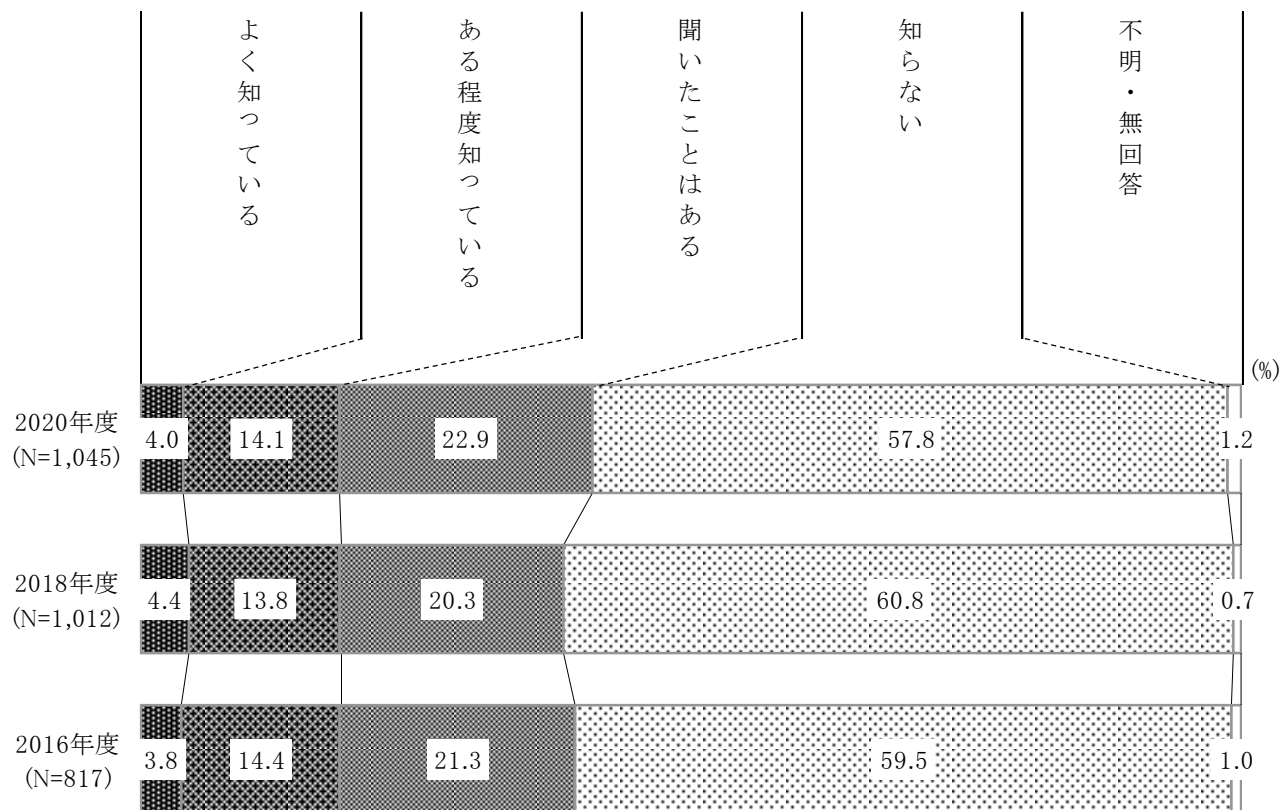


性別で見ると、「新型コロナウイルス感染症などをふまえた避難所の運営方法」と「建物などからの避難・誘導の仕方」では男性より女性の方が、それぞれ10ポイント高い結果となった。

26. 「地域包括ケアシステム」の認知状況

問18 誰もが住み慣れた地域や場所で安心して暮らし続けるため、医療、看護、介護、福祉・生活支援が切れ目なく一体的に提供される仕組みと地域づくりの取組である「地域包括ケアシステム」を知っていますか。(〇は1つだけ)

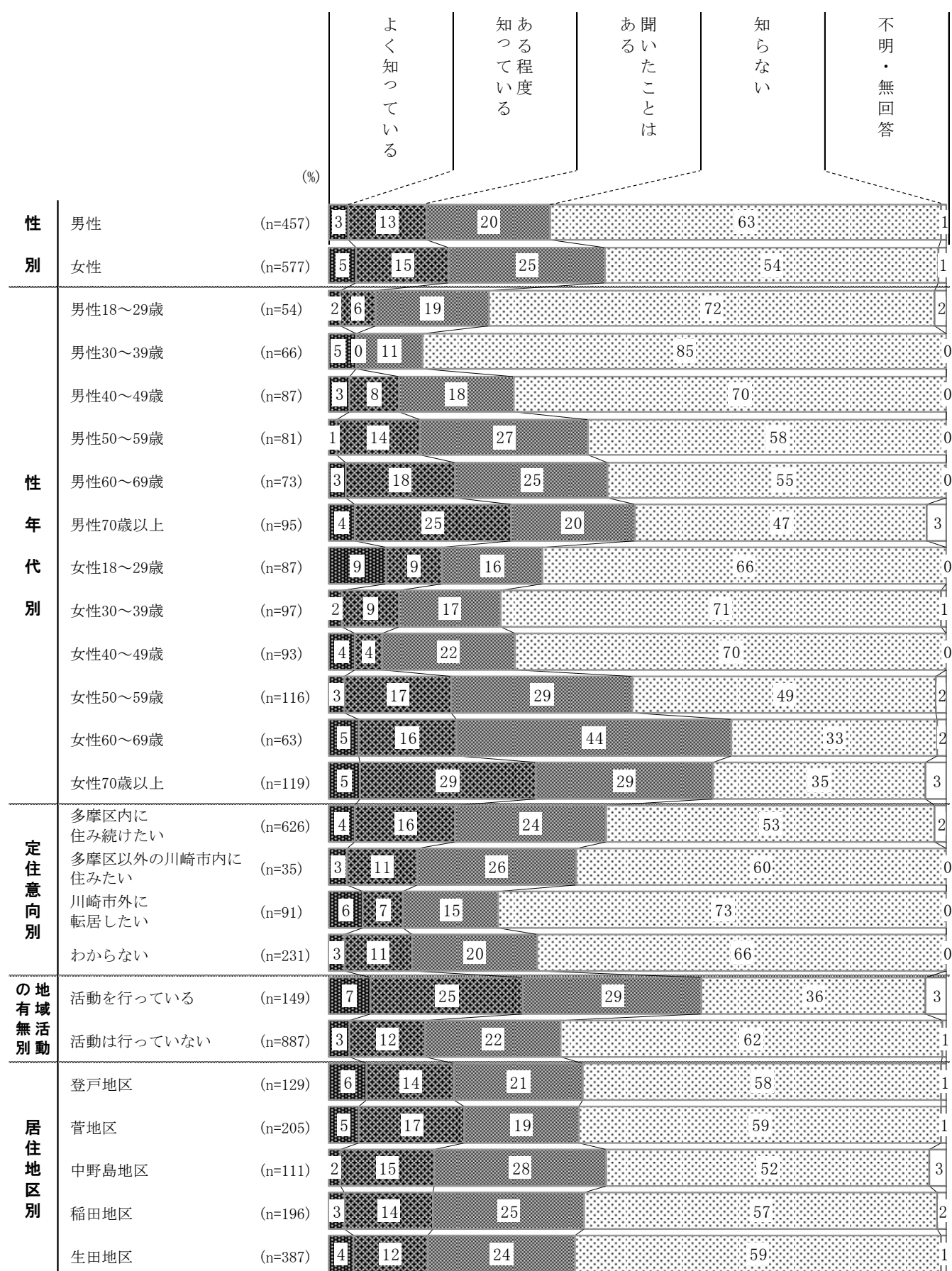
図 26-1 「地域包括ケアシステム」の認知状況



「地域包括ケアシステム」の認知状況について聞いたところ、「知らない」が57.8%と最も高い結果となった。次いで「聞いたことはある」(22.9%)、「ある程度知っている」(14.1%)、「よく知っている」(4.0%)の順となった。

「よく知っている」「ある程度知っている」「聞いたことはある」を合わせた『聞いたことがある計』(41.0%)は、2018年度と比較して2.5ポイント上昇する結果となった。

図 26-2 「地域包括ケアシステム」の認知状況
(性別・性年代別・定住意向別・地域活動の有無別・居住地区別)

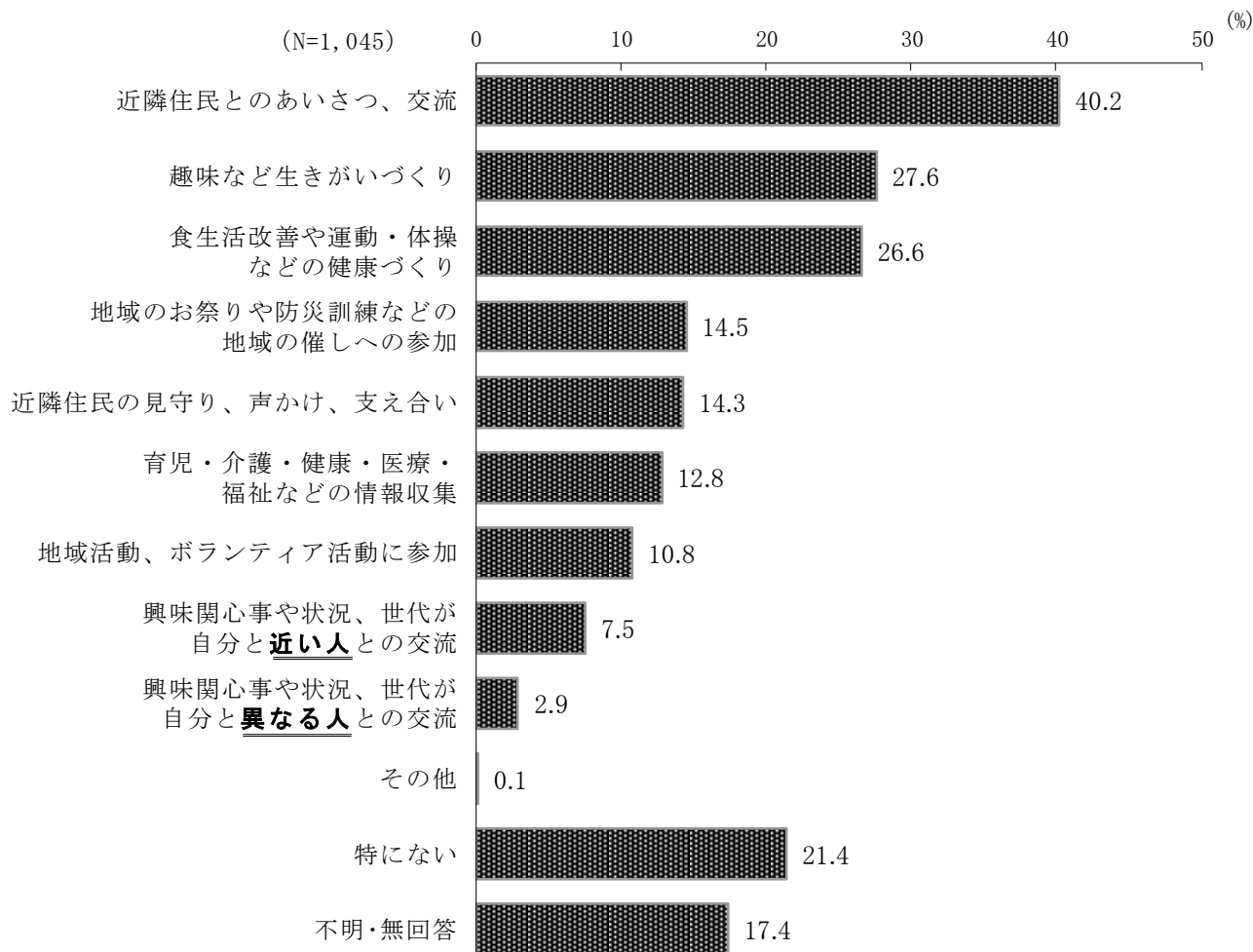


性年代別で見ると、「よく知っている」「ある程度知っている」「聞いたことはある」を合わせた『聞いたことがある計』は男女ともに50歳以上で40%を超え、ほかの性年代と比べて高い結果となった。

27. 「地域包括ケアシステム」における自助・互助の活動状況

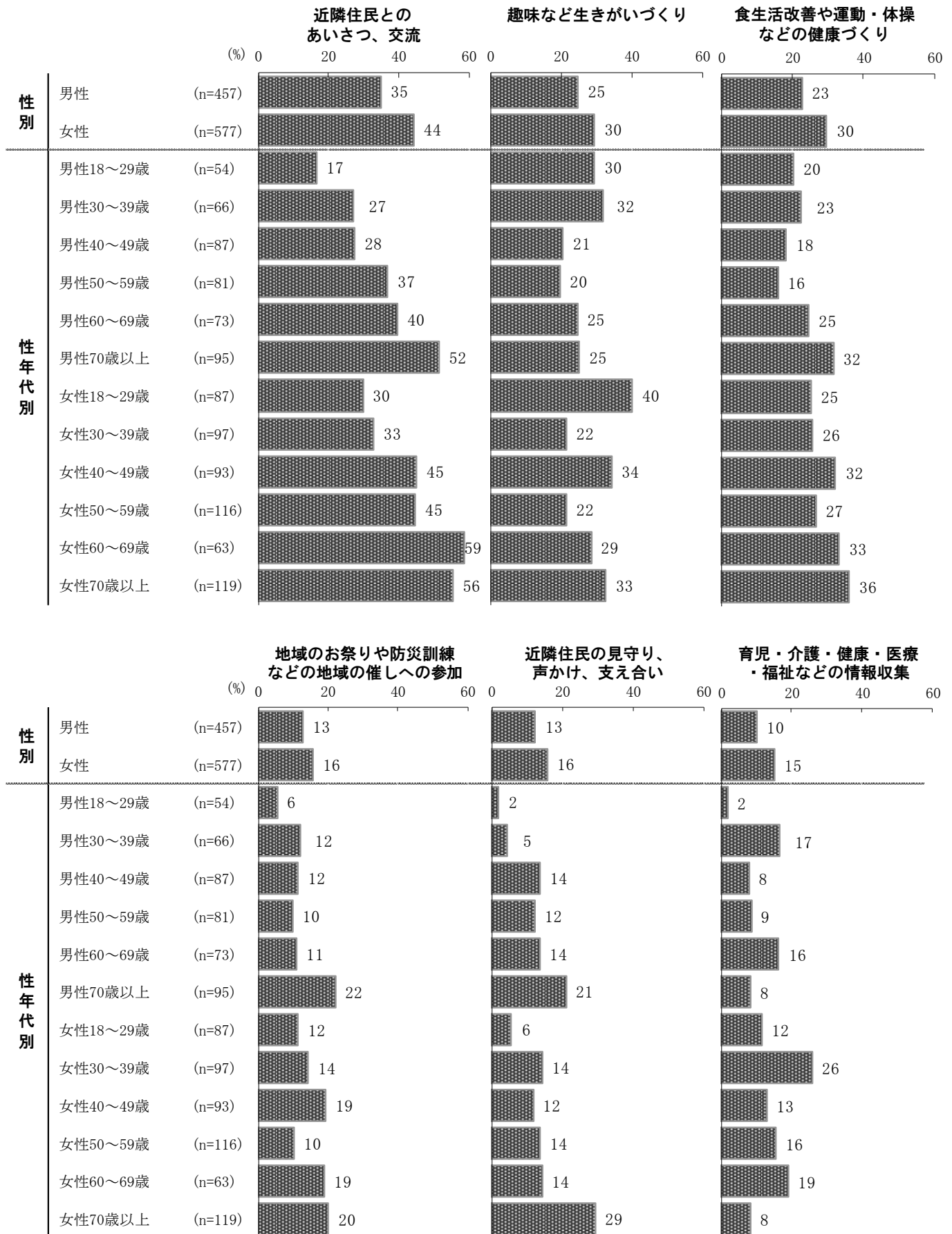
問19 地域包括ケアシステムにおいて一人ひとりに期待される行動として、自助（生きがいがづくりなど）、互助（地域の交流・支え合い、ボランティア活動など）がありますが、あなたはこのような行動を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

図 27-1 「地域包括ケアシステム」における自助・互助の活動状況



「「地域包括ケアシステム」における自助・互助の活動状況」について聞いたところ、「近隣住民とのあいさつ、交流」（40.2%）が最も高く、次いで、「趣味など生きがいがづくり」（27.6%）、「食生活改善や運動・体操などの健康づくり」（26.6%）の順となった。

図 27-2 「地域包括ケアシステム」における自助・互助の活動状況
(性別・性年代別) <上位6項目>

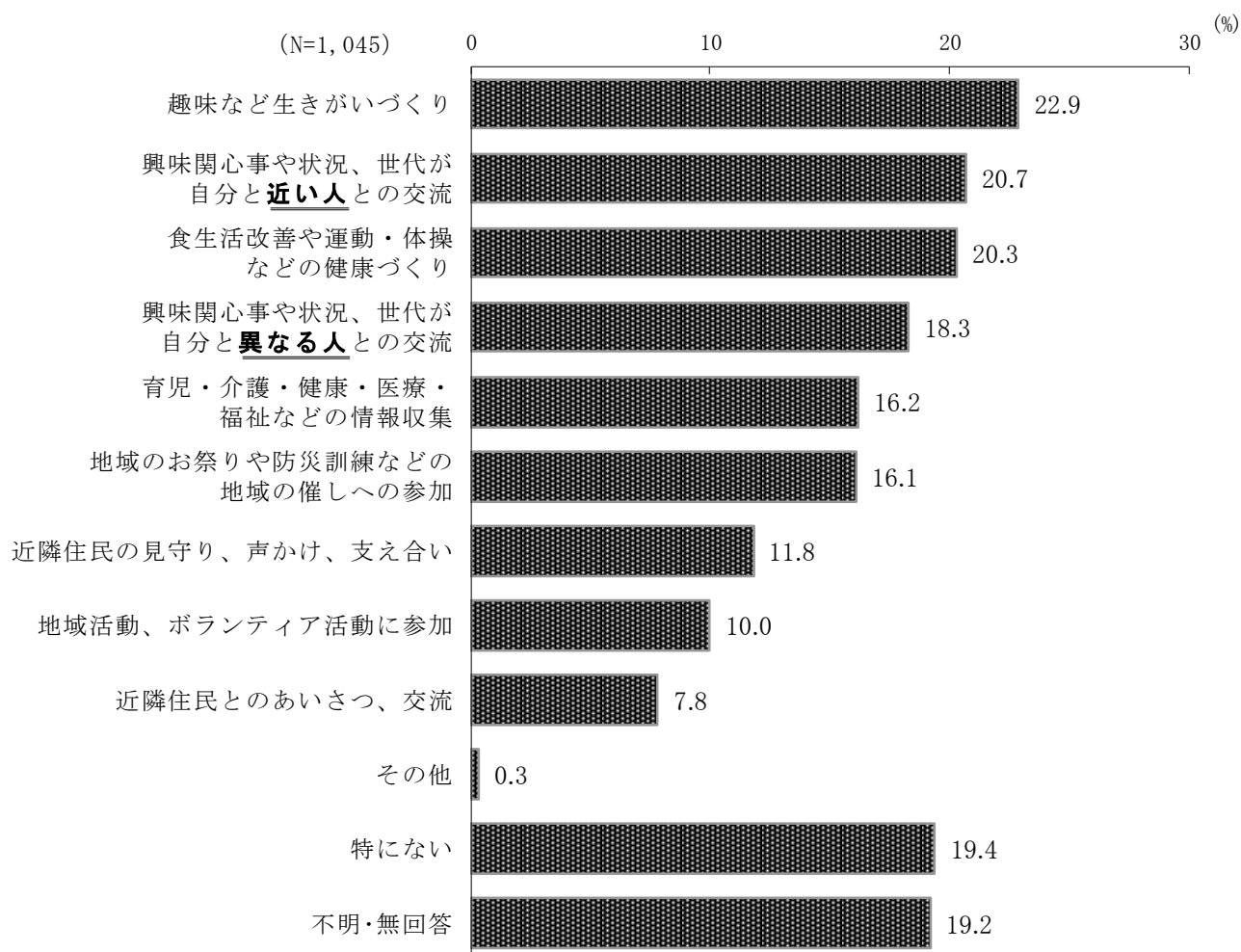


「近隣住民とのあいさつ、交流」を性別で見ると、女性の方が男性より9ポイント高く、性年代別で見ると、男性は年齢が上昇するにつれ高くなる傾向となった。

28. 「地域包括ケアシステム」における自助・互助として行ってみたい活動内容

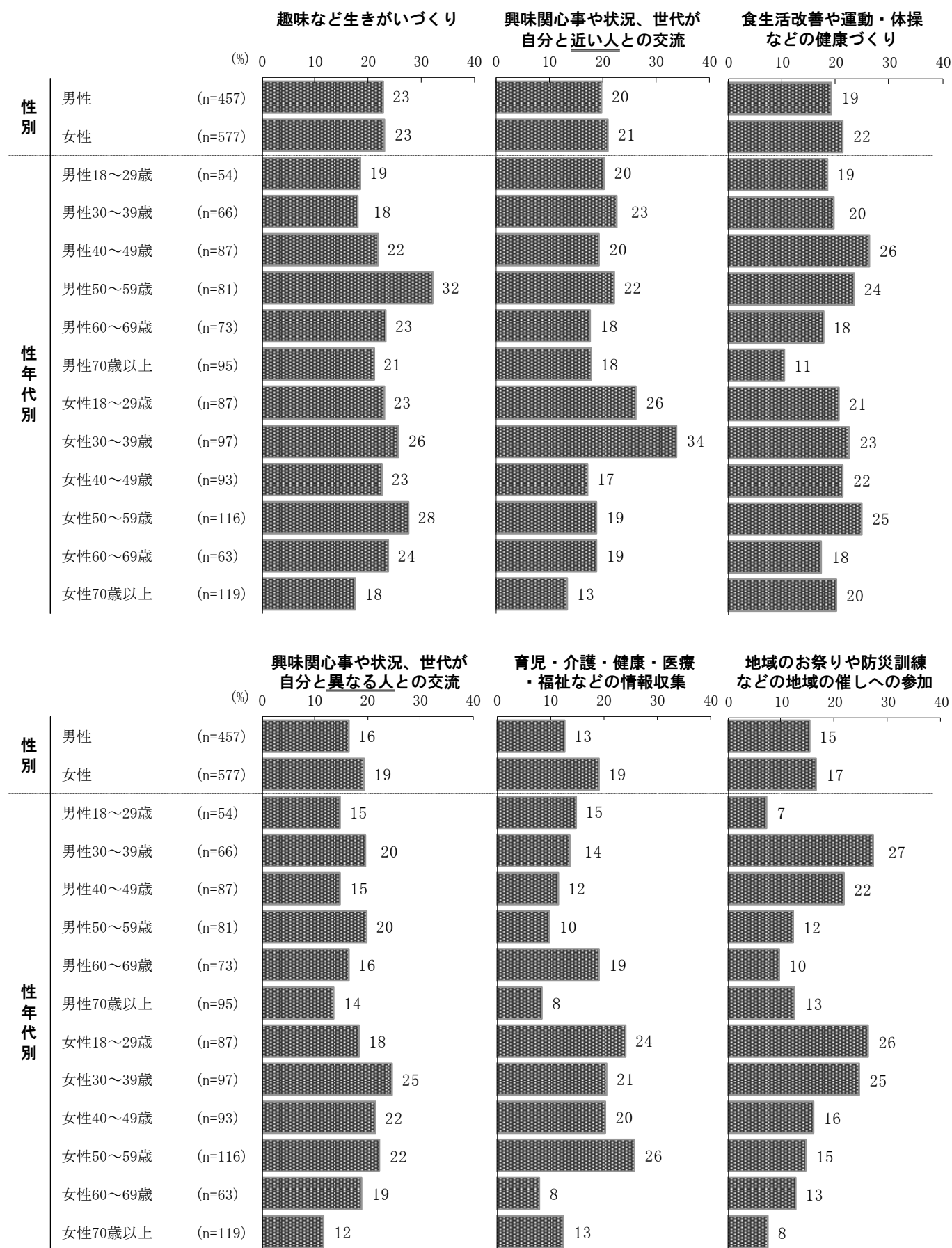
問20 また、行ってみたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

図 28-1 「地域包括ケアシステム」における自助・互助として行ってみたい活動内容



「「地域包括ケアシステム」における自助・互助として行ってみたい活動内容」について聞いたところ、「趣味など生きがいがづくり」(22.9%)が最も高く、次いで、「興味関心事や状況、世代が自分と近い人との交流」(20.7%)、「食生活改善や運動・体操などの健康づくり」(20.3%)の順となった。

図 28-2 「地域包括ケアシステム」における自助・互助として行ってみたい活動内容
(性別・性年代別) <上位6項目>

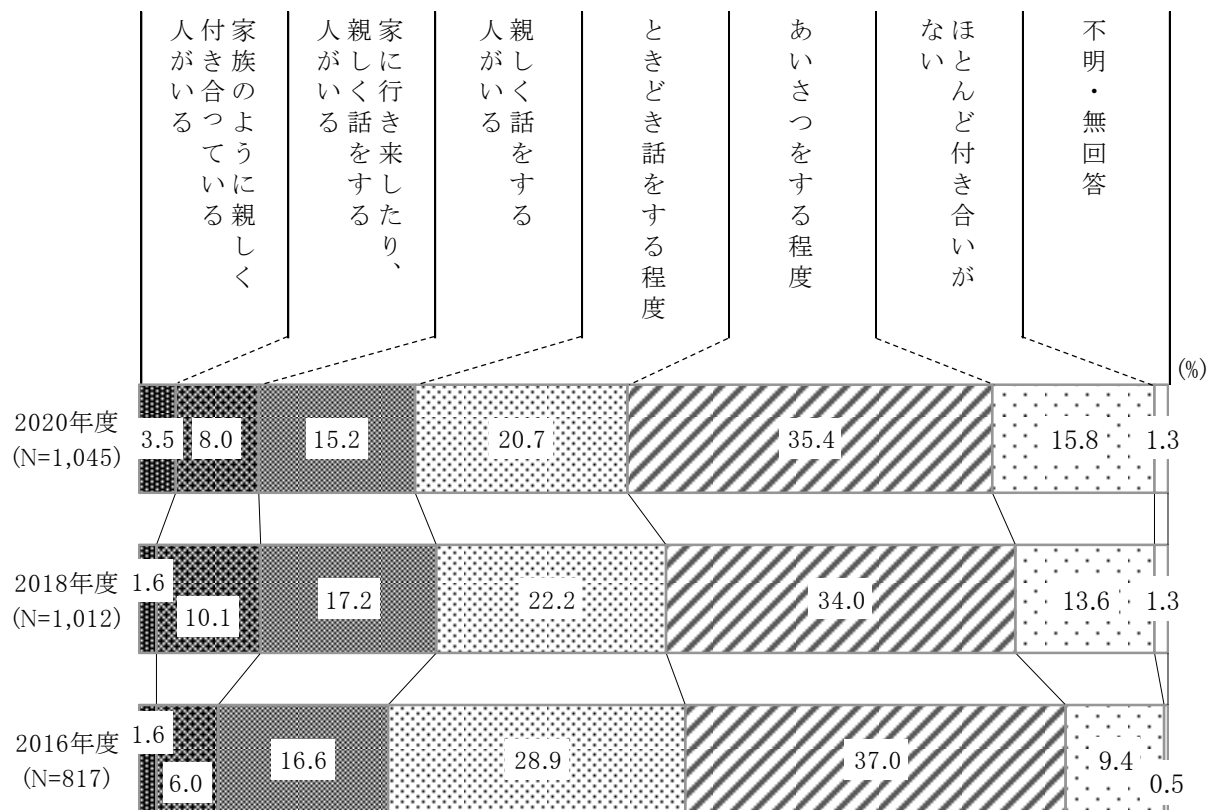


性年代別で見ると、「趣味など生きがいがづくり」では、男女とも50~59歳が最も高く、「地域のお祭りや防災訓練などの地域の催しへの参加」では、男性30~49歳と女性18~39歳が20%を超え、高い結果となった。

29. 近所付き合いの程度

問21 あなたの近所付き合いは以下のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

図 29-1 近所付き合いの程度

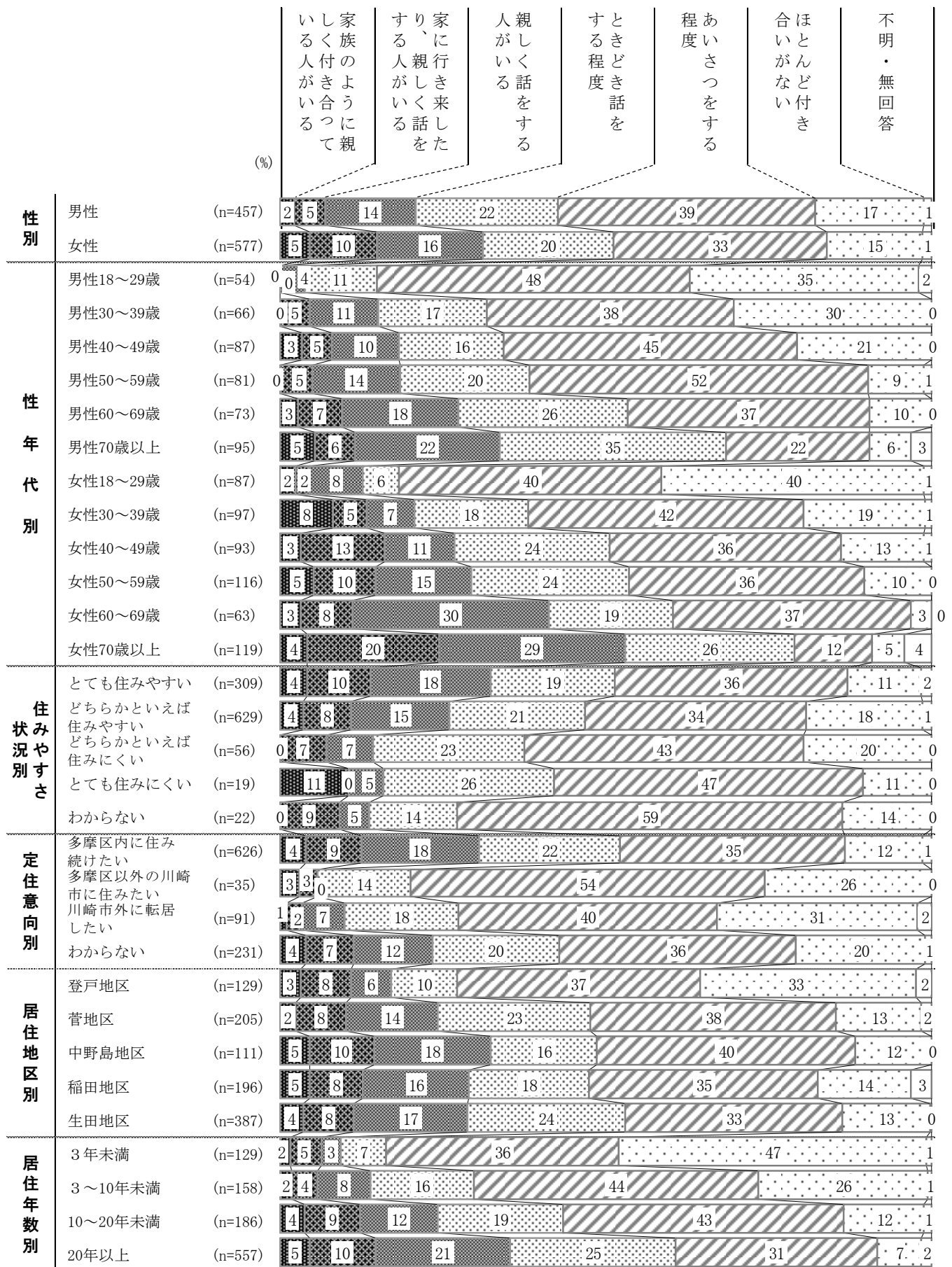


「近所付き合いの程度」について聞いたところ、「あいさつをする程度」(35.4%)が最も高く、次いで、「ときどき話をする程度」(20.7%)、「ほとんど付き合いがない」(15.8%)の順となった。

「ときどき話をする程度」は、2018年度と比較して1.5ポイント減少し、2016年度からは8.2ポイント減少する結果となった。一方、「ほとんど付き合いがない」は2018年度と比較して2.2ポイント上昇し、2016年度からは6.4ポイント上昇する結果となった。

「家族のように親しく付き合っている人がいる」「家に行き来したり、親しく話をする人がいる」「親しく話をする人がいる」を合わせた『親しく話をする人がいる計』は、2018年度とほぼ変わらない結果となった。

図 29-2 近所付き合いの程度
(性別・性年代別・住みやすさ状況別・定住意向別・居住地区別・居住年数別)

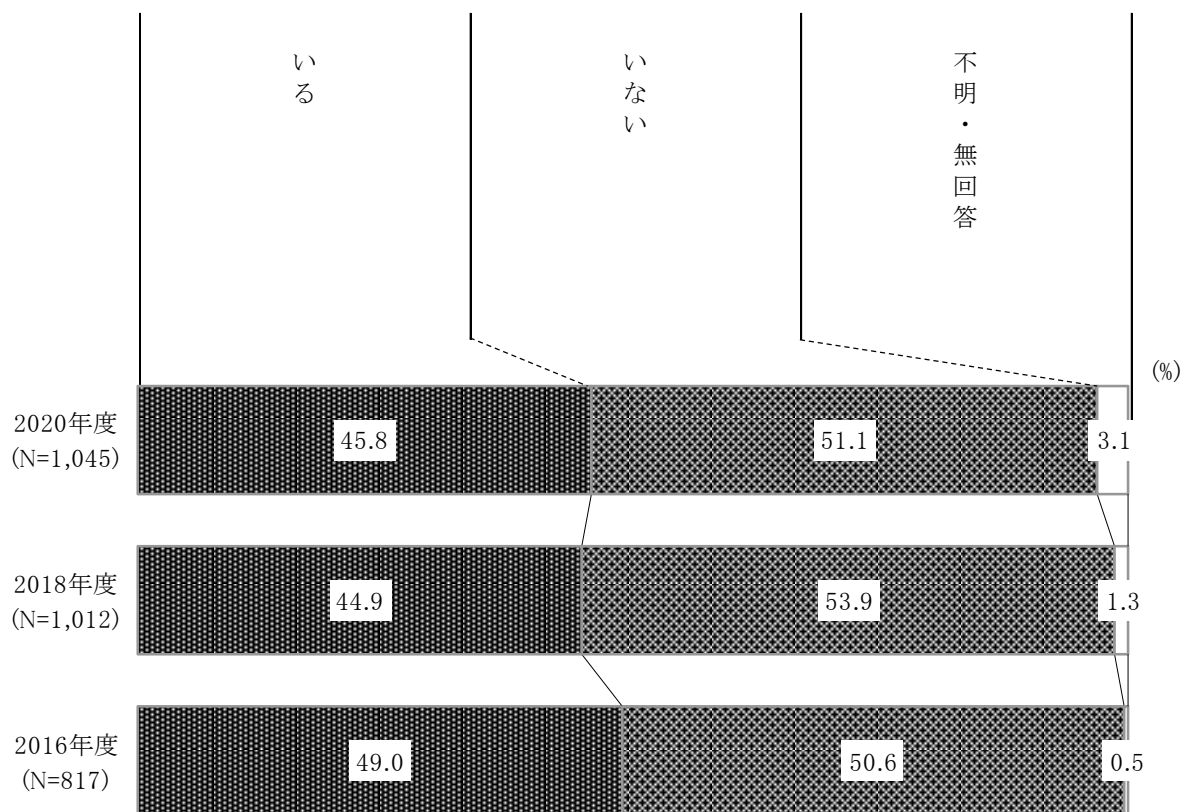


「ほとんど付き合いがない」は、男女ともに18~29歳で最も高く、居住地区別では登戸地区で33%と他の地区に比べて高い結果となった。

30. 近所に手助けを頼める人の有無

問22 困ったとき、近所にちょっとした手助けを頼める人はいますか。(○は1つだけ)

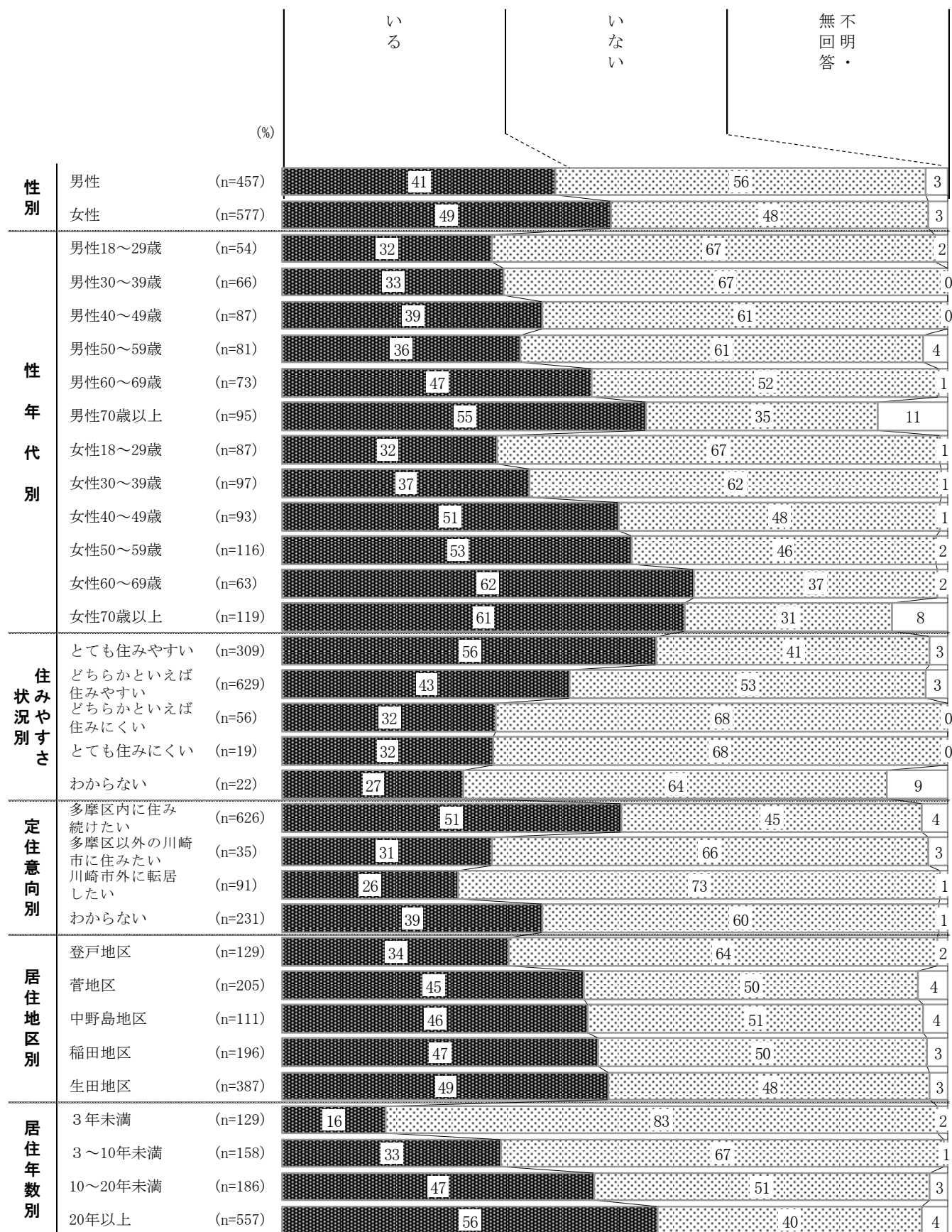
図 30-1 近所に手助けを頼める人の有無



「近所に手助けを頼める人の有無」について聞いたところ、「いない」が51.1%、「いる」が45.8%となった。

2018年度と比較して、ほぼ同様の傾向となった。

図 30-2 近所に手助けを頼める人の有無
(性別・性年代別・住みやすさ状況別・定住意向別・居住地区別・居住年数別)

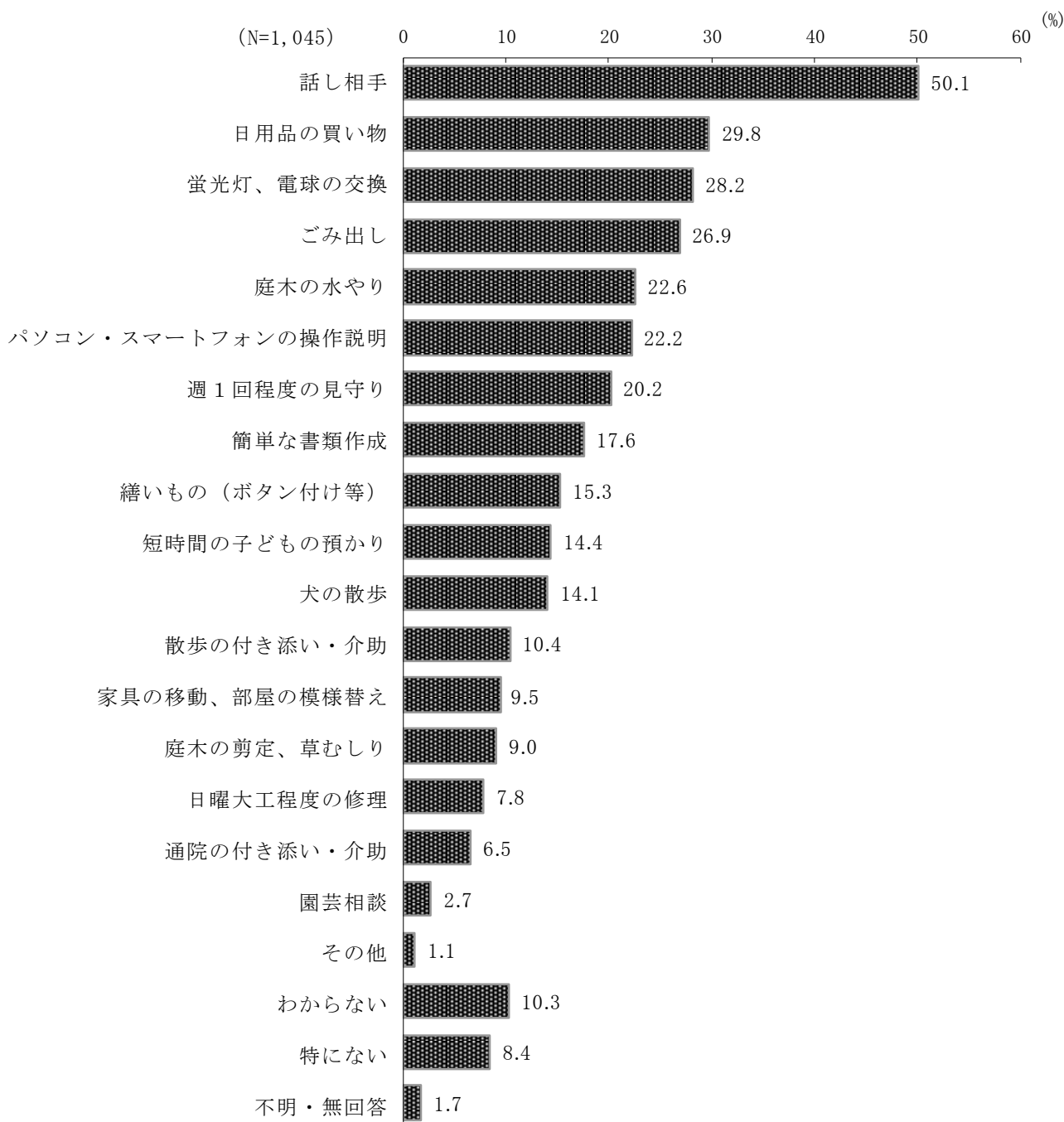


「いる」を性別で見ると、女性は男性より8ポイント高い結果となった。「いる」を居住地区別で見ると、登戸地区が他の地区と比べて10ポイント以上低い結果となった。「いる」を住みやすさ状況別で見ると、「とても住みやすい」が50%を超え最も高く、住みやすさが上がるにつれ高くなる傾向となった。

3 1. 手助けを頼まれた場合に自分にできると思うこと

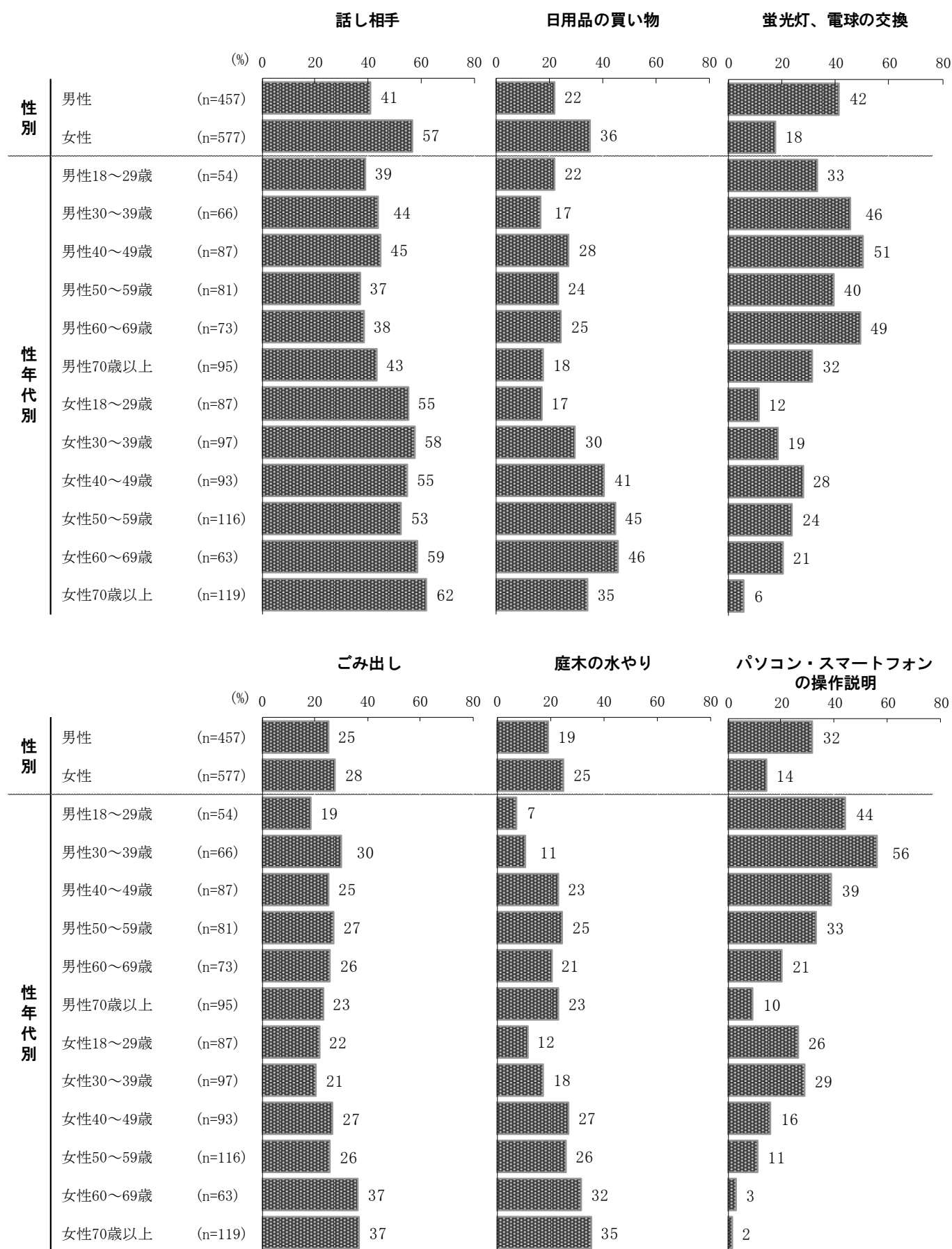
問23 近所の人にちょっとした手助けを頼まれた場合に、自分にもできると思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

図 3 1－1 手助けを頼まれた場合に自分にできると思うこと



「手助けを頼まれた場合に自分でもできると思うこと」について聞いてみたところ、「話し相手」(50.1%)が最も高く、次いで「日用品の買い物」(29.8%)、「蛍光灯、電球の交換」(28.2%)、「ごみ出し」(26.9%)の順となった。

図 31-2 手助けを頼まれた場合に自分ができると思うこと
(性別・性年代別) <上位6項目>

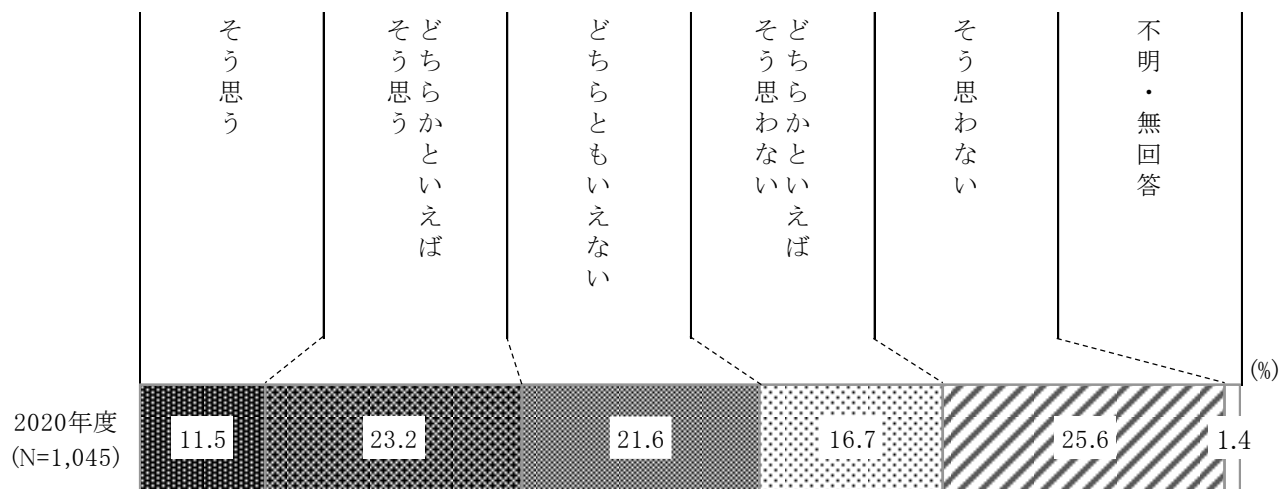


性別で見ると、「話し相手」と「日用品の買い物」は、男性よりも女性の方が10ポイント以上高く、「蛍光灯、電球の交換」と「パソコン・スマートフォンの操作説明」では、女性より男性の方が15ポイント以上それぞれ高い結果となった。

3 2. 自分と世代が異なる人との付き合いの状況

問24 日頃の生活で自分と世代が異なる人との付き合いが多いですか。(○は1つだけ)

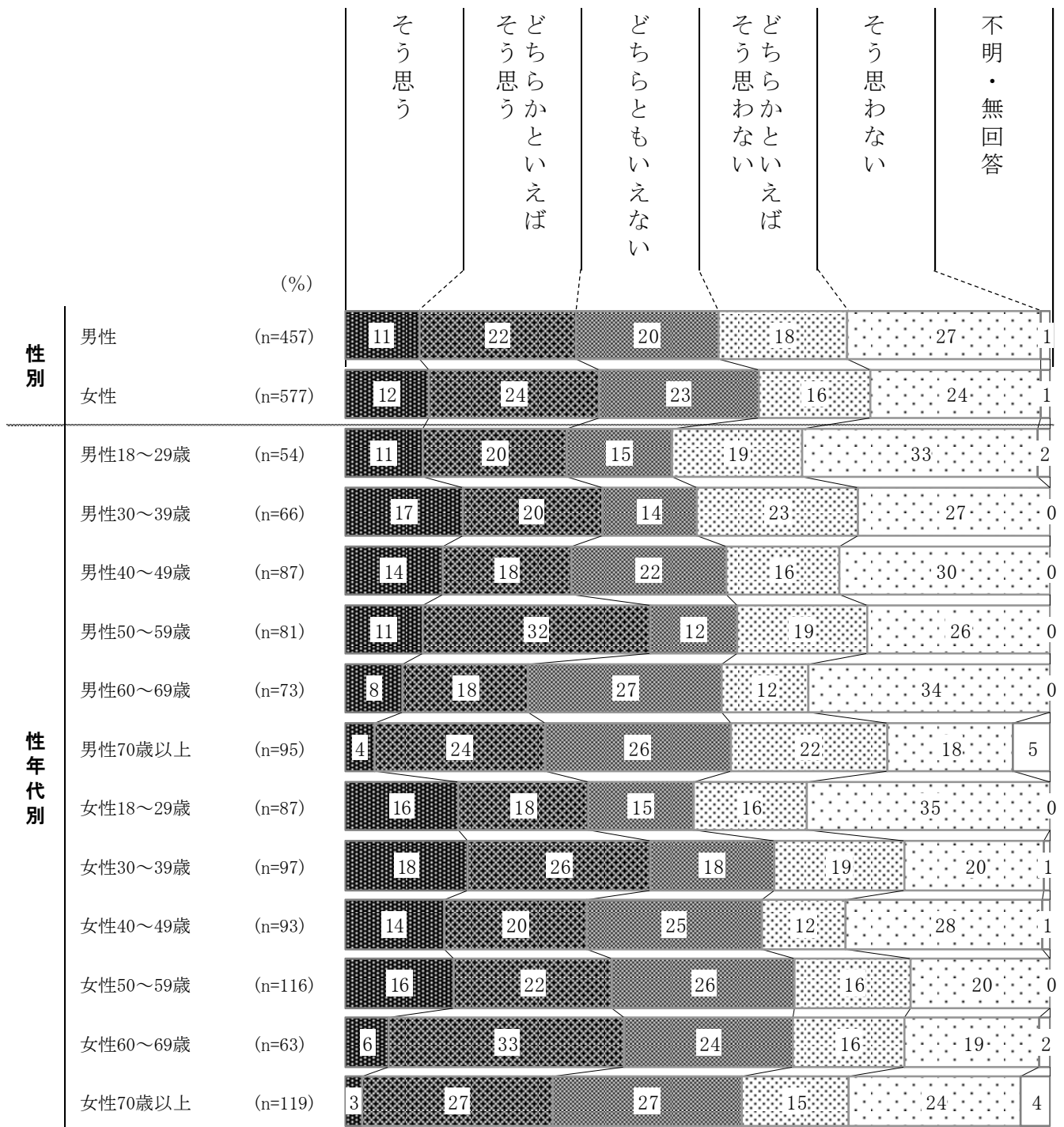
図3 2－1 自分と世代が異なる人との付き合いの状況



「自分と世代が異なる人との付き合いの状況」について聞いたところ、「そう思わない」(25.6%)が最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(23.2%)、「どちらともいえない」(21.6%)の順となった。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』は、34.7%となった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない計』は42.3%となった。

図 3 2 - 2 自分と世代が異なる人との付き合いの状況
(性別・性年代別)

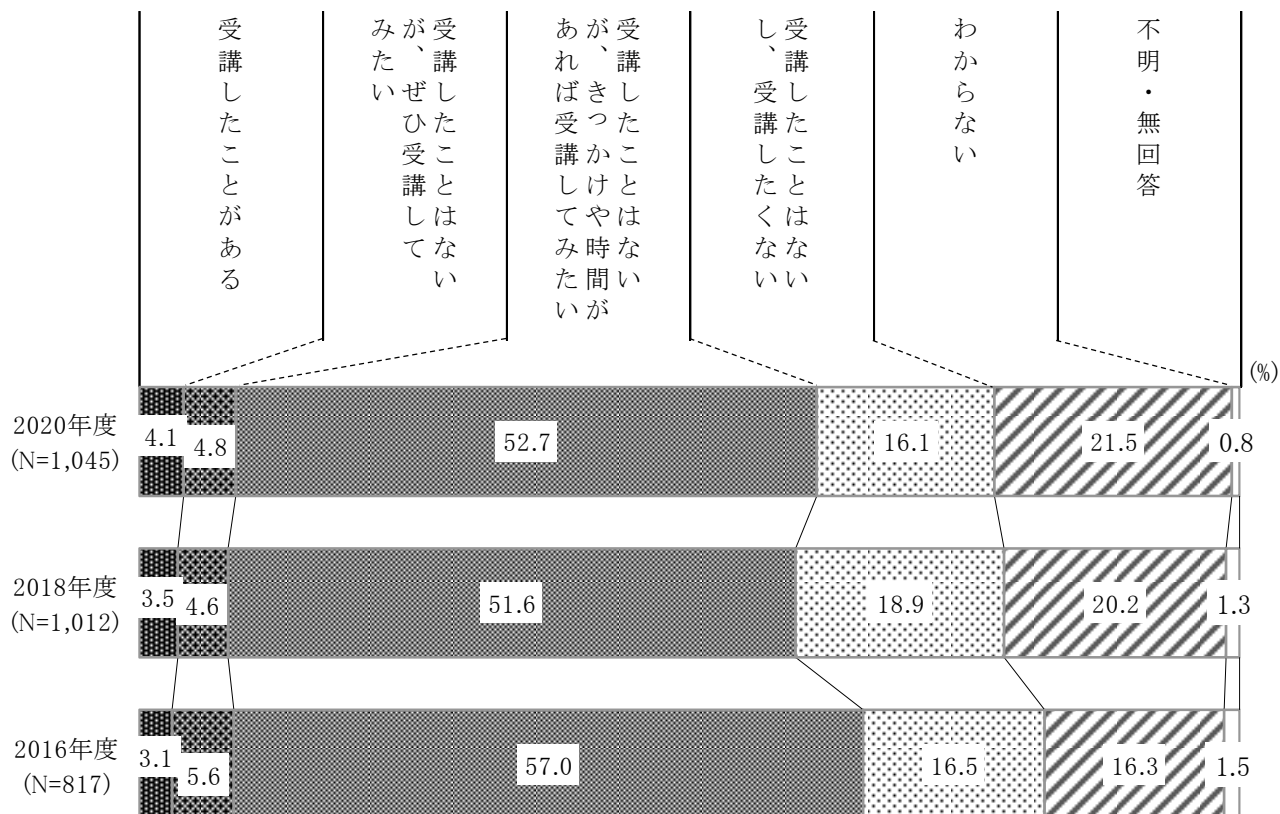


性年代別で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』は、男性50～59歳、女性30～39歳で40%を超え、他の性年代と比べて高い結果となった。一方、『そう思わない計』は、男性18～39歳と女性18～29歳で50%を超え、他の性年代と比べて高い結果となった。

3.3. 「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向

問25 多摩区役所では、認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を見守るために、認知症サポーター養成講座を行っています。この講座を受講したことがありますか。また、受講したいと思いますか。(○は1つだけ)

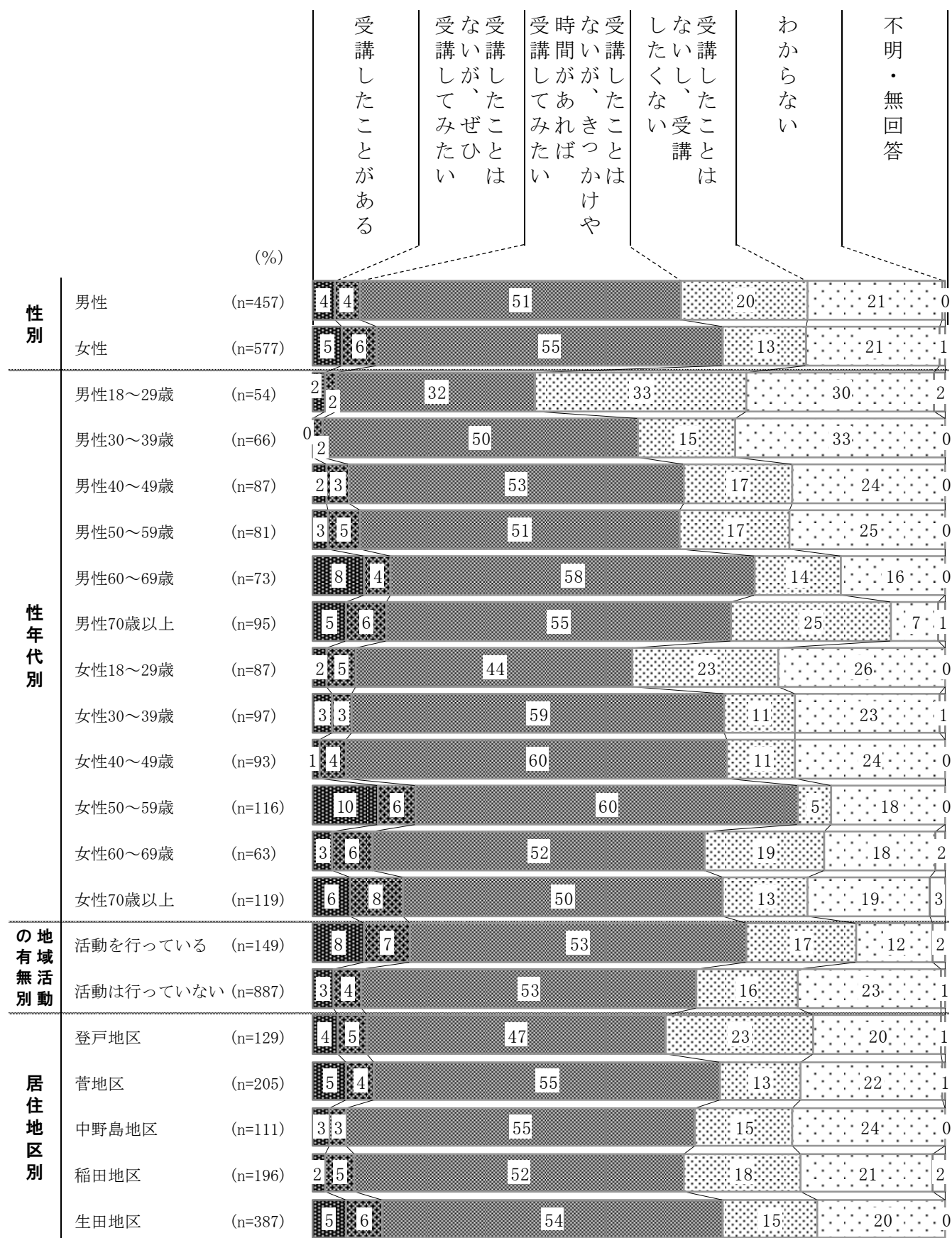
図 3.3-1 「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向



「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向について聞いたところ、「受講したことはないが、きっかけや時間があれば受講してみたい」(52.7%)が最も高く、次いで「わからない」(21.5%)、「受講したことはないし、受講したくない」(16.1%)の順となった。

2018年度と比較して、ほぼ同様の傾向となった。

図 3 3 - 2 「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向
(性別・性年代別・地域活動の有無別・居住地区別)

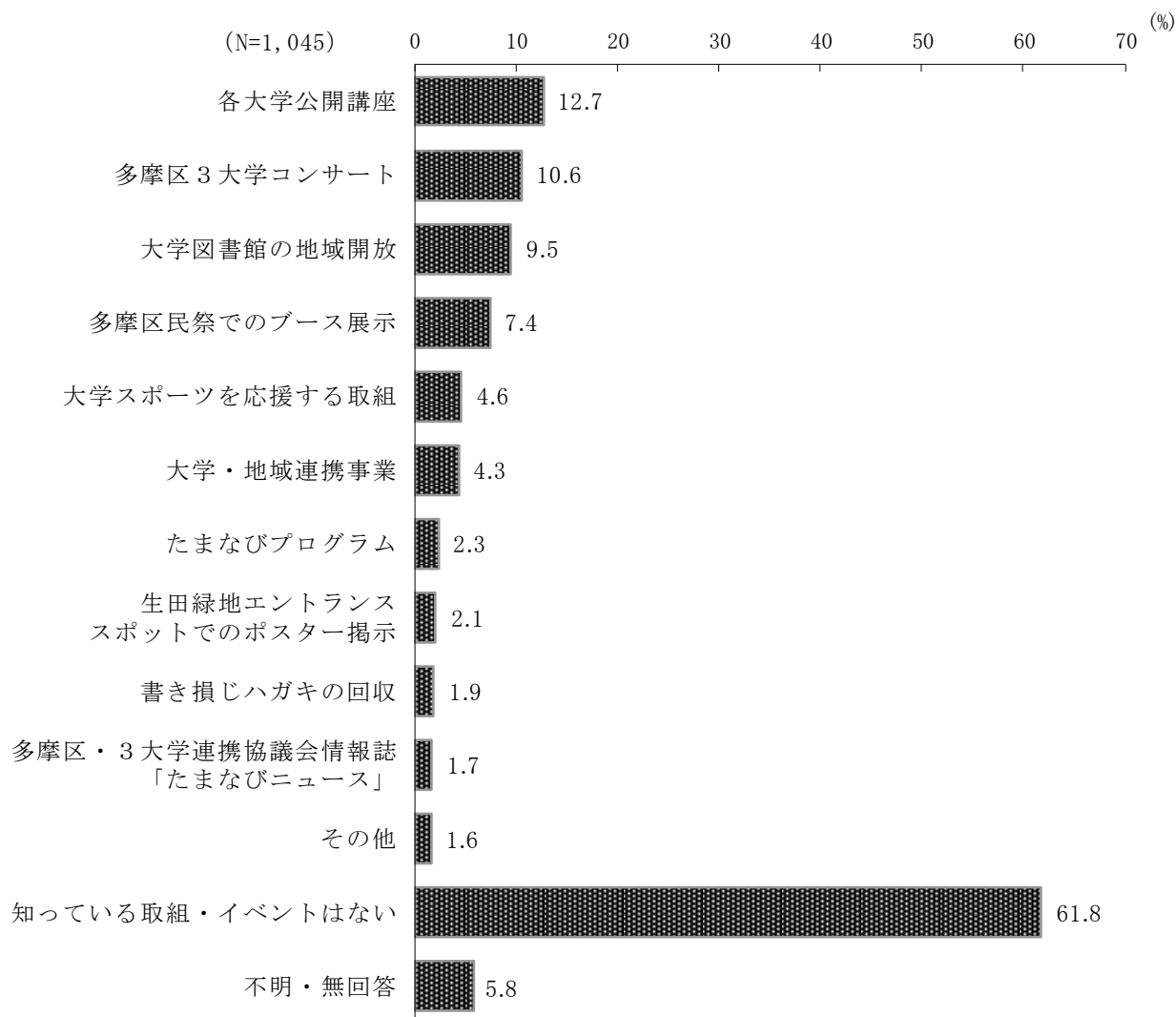


性年代別で見ると、「受講したことがある」「受講したことはないが、ぜひ受講してみたい」「受講したことはないが、きっかけや時間があれば受講してみたい」を合わせた『受講したい計』は、女性 50～59 歳が 75%を超え、他の性年代よりも高い結果となった。

3 4. 知っている3大学関連イベント

問26 多摩区には、専修、明治、日本女子の3つの大学が立地しています。これまで、さまざまな取組を通して、大学の持つ知的資源や多彩な人材を活用し、大学と地域社会との交流連携を深めてきました。あなたが知っている大学・大学生が関連したイベントや取組などがありますか。（あてはまるものすべてに○）

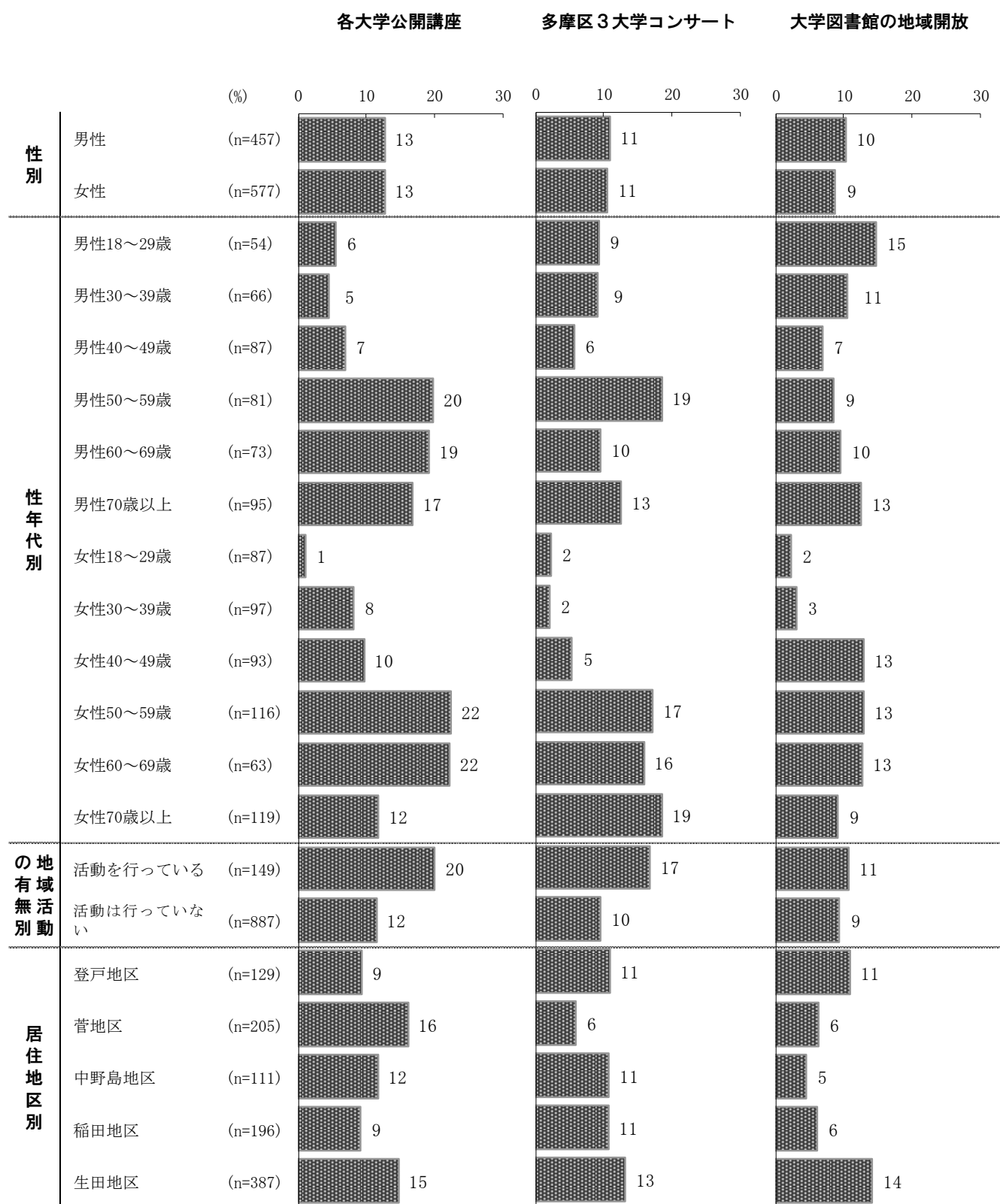
図 3 4 - 1 知っている3大学関連イベント



「知っている3大学関連イベント」について聞いたところ、「知っている取組・イベントはない」が61.8%と最も高い結果となった。

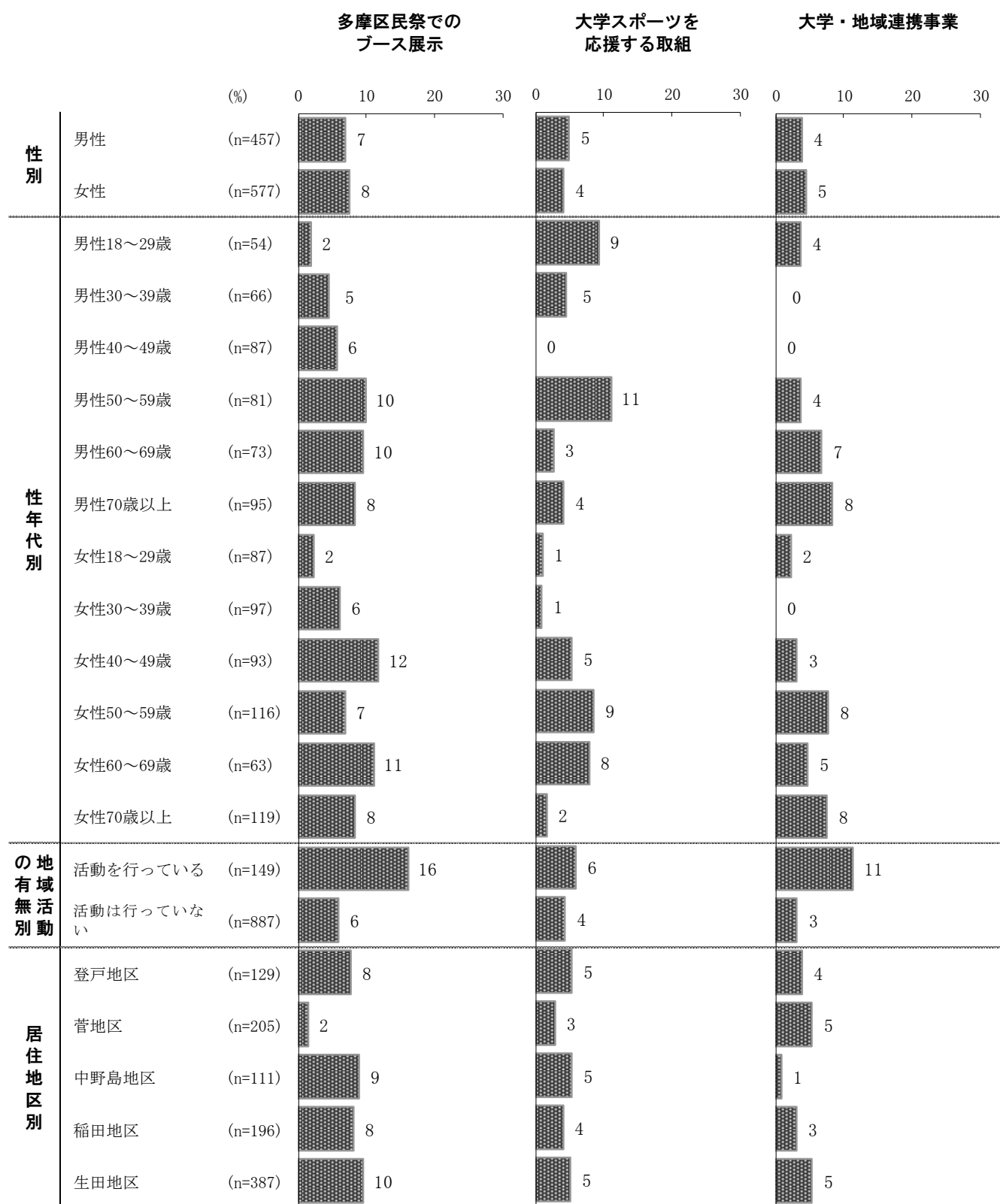
知っているイベントで見ると、「各大学公開講座」(12.7%)、「多摩区3大学コンサート」(10.6%)、「大学図書館の地域開放」(9.5%)の順となった。

図 3 4 - 2 知っている3大学関連イベント①
(性別・性年代別・地域活動の有無別・居住地区別) <上位6項目>



性年代別で見ると、「各大学公開講座」は、男性50歳代以上と女性50～69歳で15%を超え、他の性年代より高い結果となった。また地域活動の有無別で見ると、「各大学公開講座」と「多摩区3大学コンサート」は、「活動を行っている」が「活動を行っていない」より7ポイント以上、高い結果となった。

図 34-3 知っている3大学関連イベント②
(性別・性年代別・地域活動の有無別・居住地区別) <上位6項目>



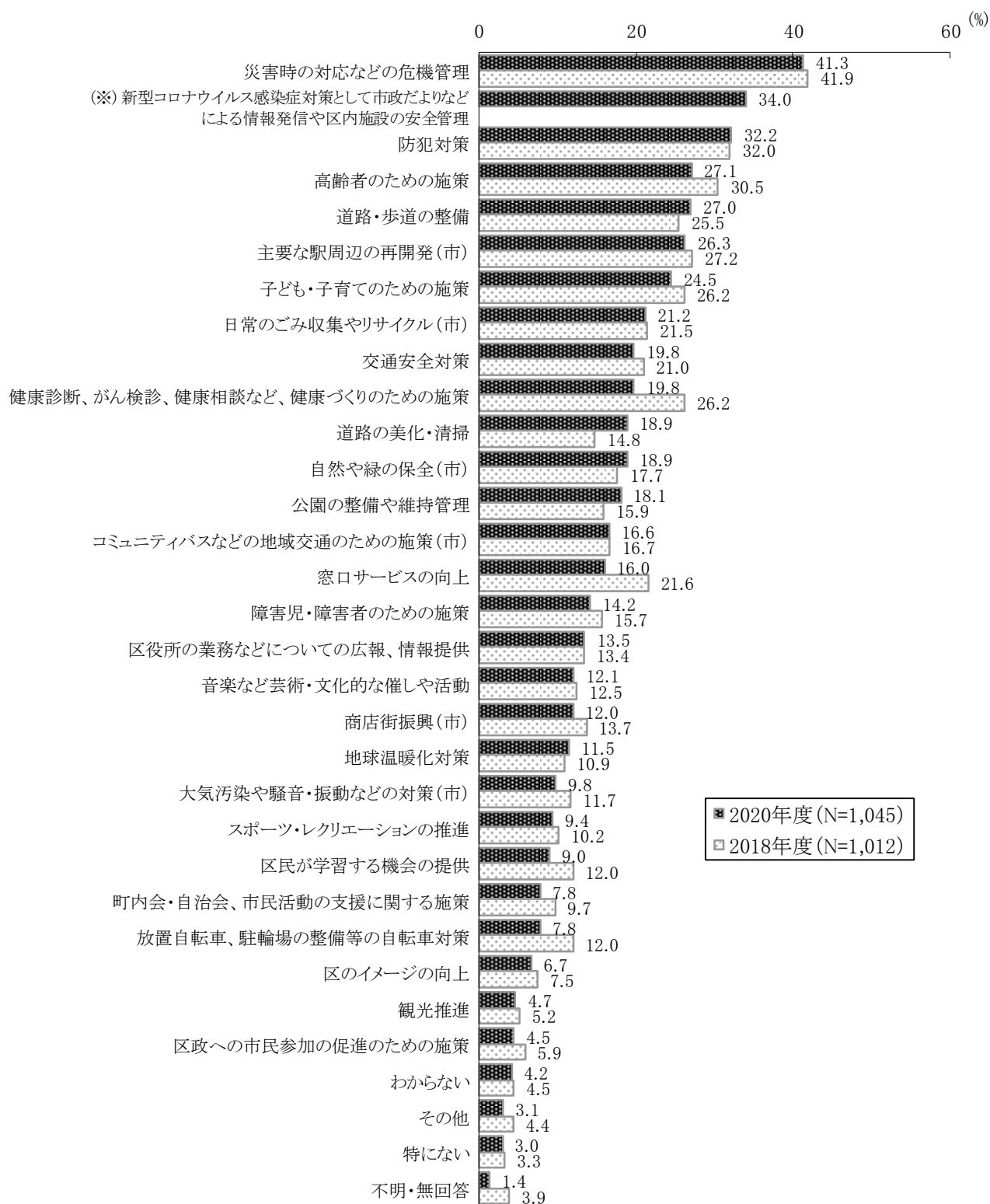
地域活動の有無別に見ると、「多摩区民祭でのブース展示」と「大学・地域連携事業」で、「活動を行っている」は「活動は行っていない」より8ポイント以上、高い結果となった。

35. 区役所が力を入れて取り組むべき施策

問27 区民に身近な区役所が速やかに力を入れて取り組むべき施策は何であると考えますか。
(あてはまるものすべてに○)

*項目の後ろに(市)とあるものは、現時点で主に市役所を中心として進めているもの

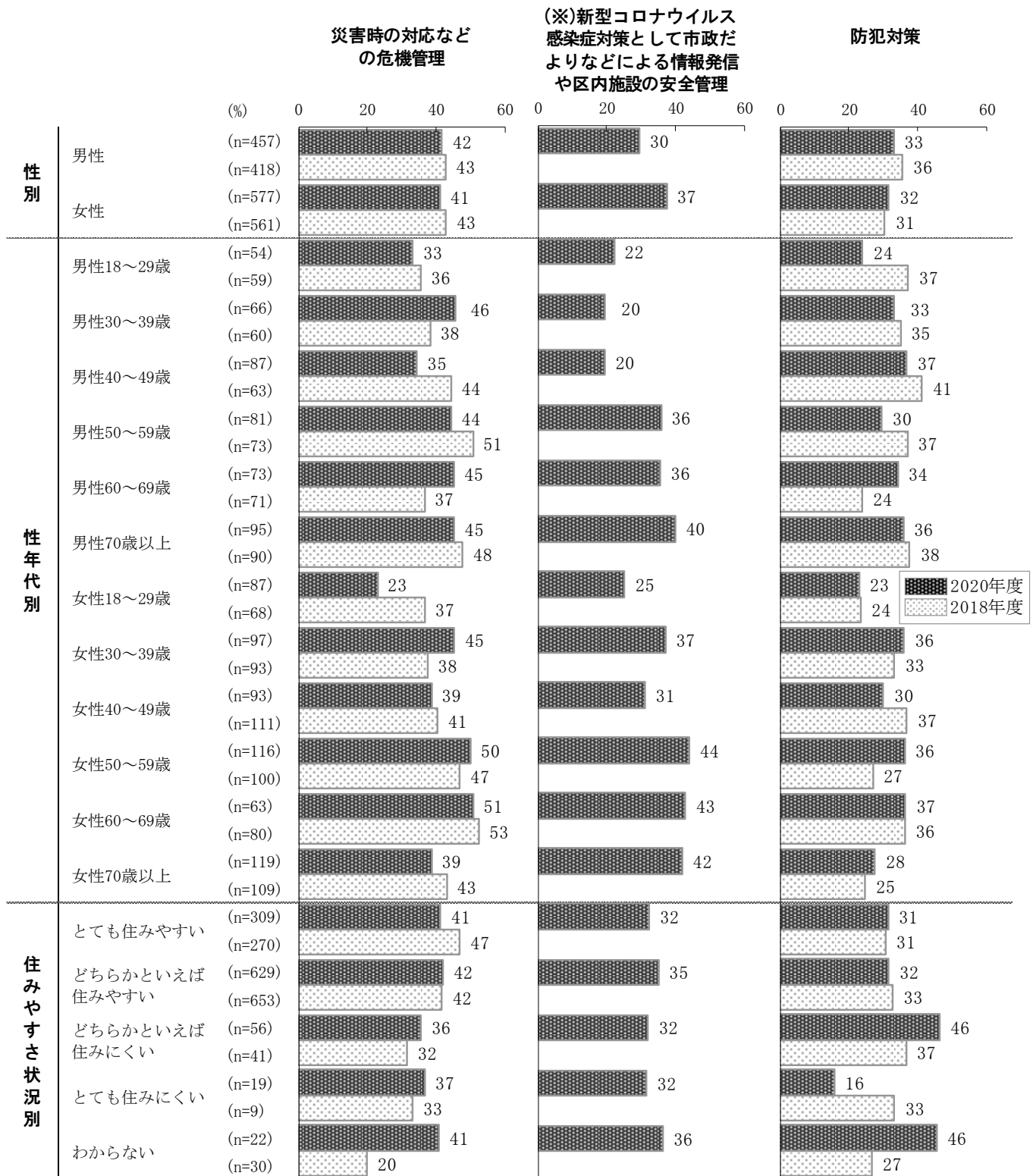
図 35-1 区役所が力を入れて取り組むべき施策



※「新型コロナウイルス感染症対策として市政だよりなどによる情報発信や区内施設の安全管理」は、2020年度の新規項目。

「区役所が力を入れて取り組むべき施策」について聞いたところ、「災害時の対応などの危機管理」(41.3%)が最も高い結果となり、次いで「新型コロナウイルス感染症対策として市政だよりなどによる情報発信や区内施設の安全管理」(34.0%)、「防犯対策」(32.2%)の順となった。

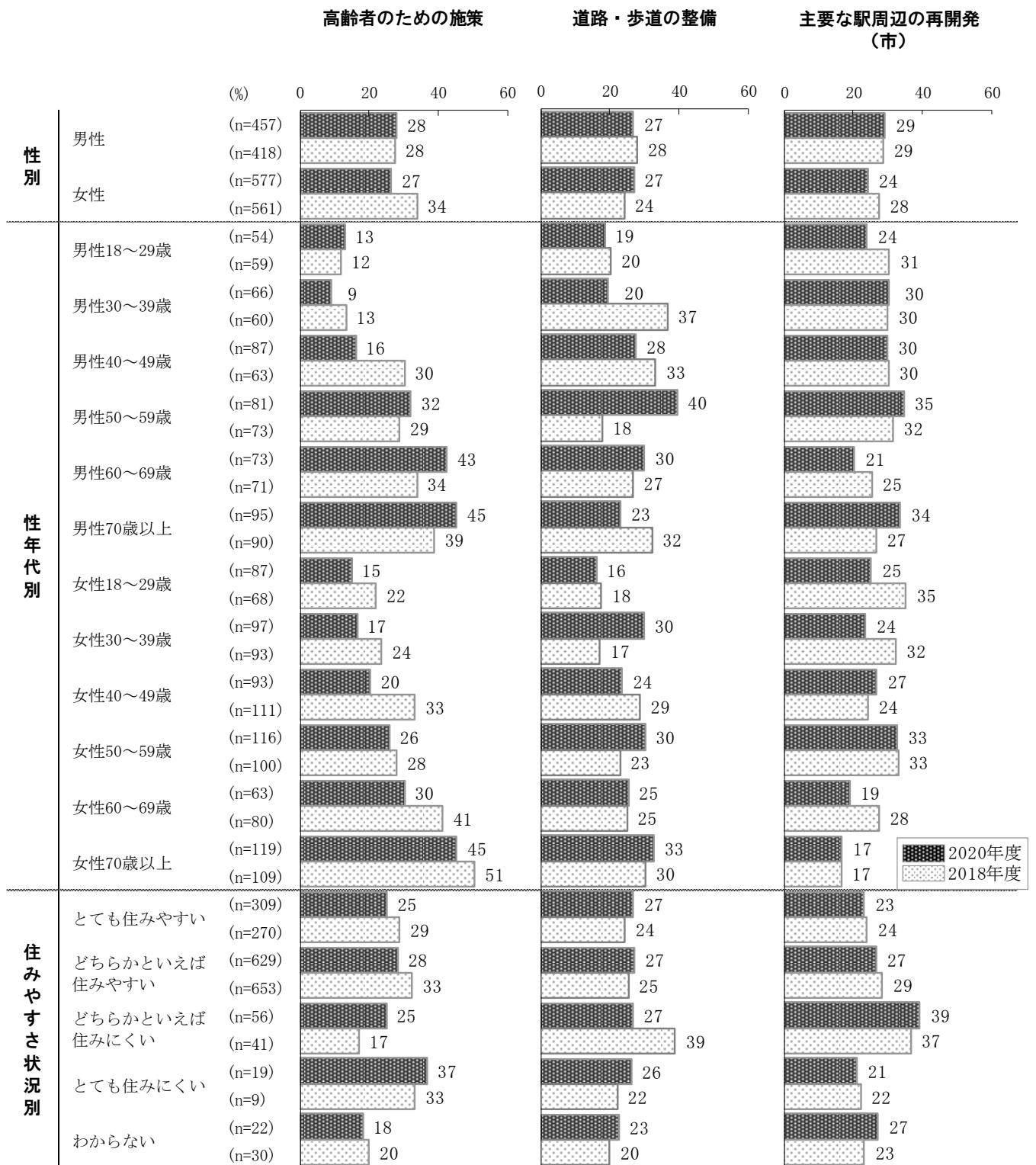
図 35-2 区役所が力を入れて取り組むべき施策 ①
(性別・性年代別・住みやすさ状況別) <上位 9 項目>



※「新型コロナウイルス感染症対策として市政だよりなどによる情報発信や区内施設の安全管理」は、2020年度の新規項目。

性別で見ると、「新型コロナウイルス感染症対策として市政だよりなどによる情報発信や区内施設の安全管理」は女性の方が男性よりも7ポイント高く、性年代別では男女とも50歳以上が他の性年代よりも高い傾向となった。「災害時の対応などの危機管理」は、女性50～69歳で半数以上となり高い結果となった。「防犯対策」を住みやすさ状況別で見ると、どちらかといえば住みにくいが最も高く、他の住みやすさ状況よりも10ポイント以上高い結果となった。

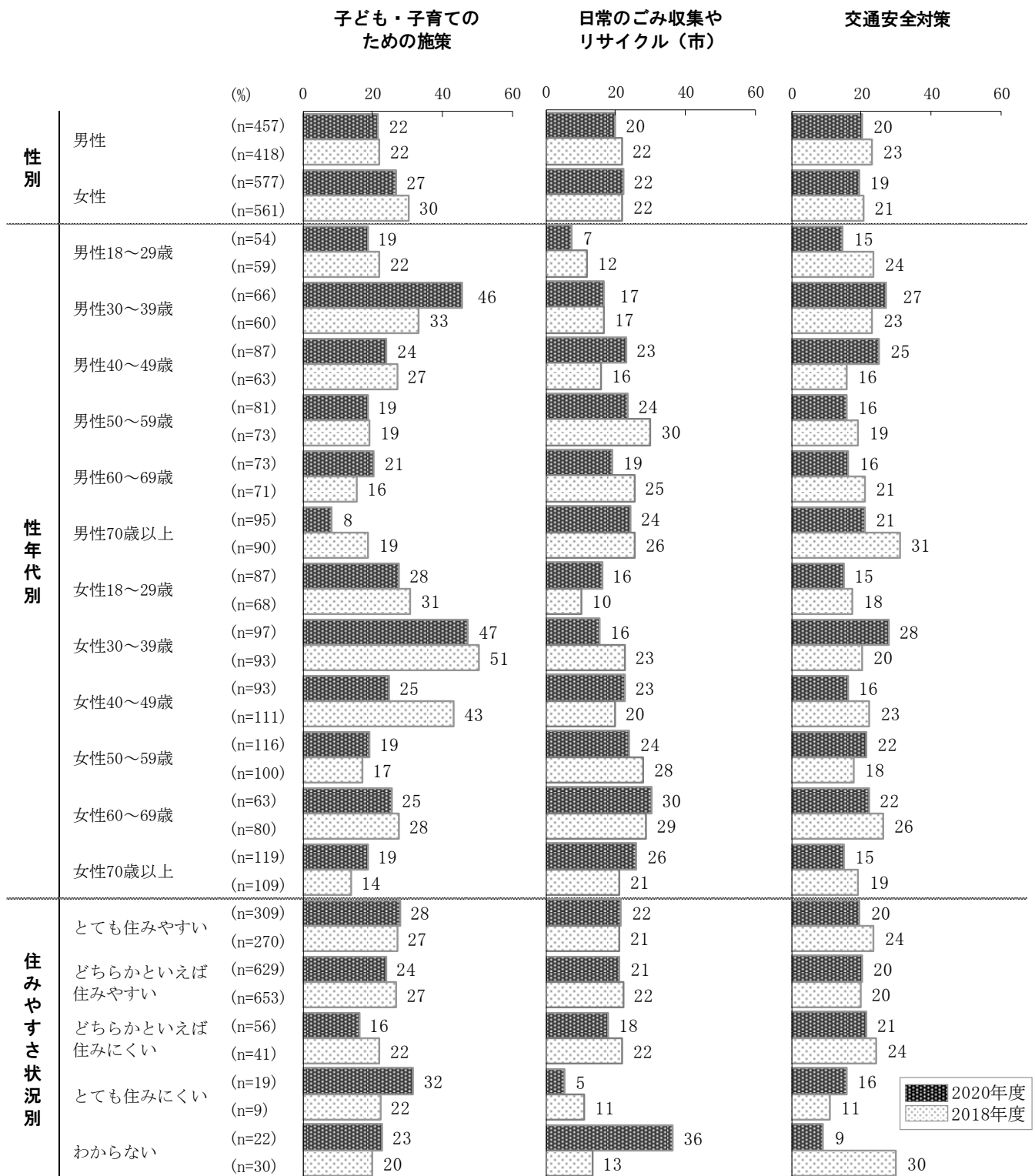
図 35-3 区役所が力を入れて取り組むべき施策 ②
(性別・性年代別・住みやすさ状況別) <上位9項目>



性年代別で見ると、「高齢者のための施策」が、男性60歳代以上と女性70歳以上で40%を超え、他の性年代よりも高い結果となった。

住みやすさ状況別で見ると、「主要な駅周辺の再開発 (市)」では、どちらかといえば住みにくい39%で最も高く、他の住みやすさ状況よりも10ポイント以上高い結果となった。

図 35-4 区役所が力を入れて取り組むべき施策 ③
(性別・性年代別・住みやすさ状況別) <上位9項目>

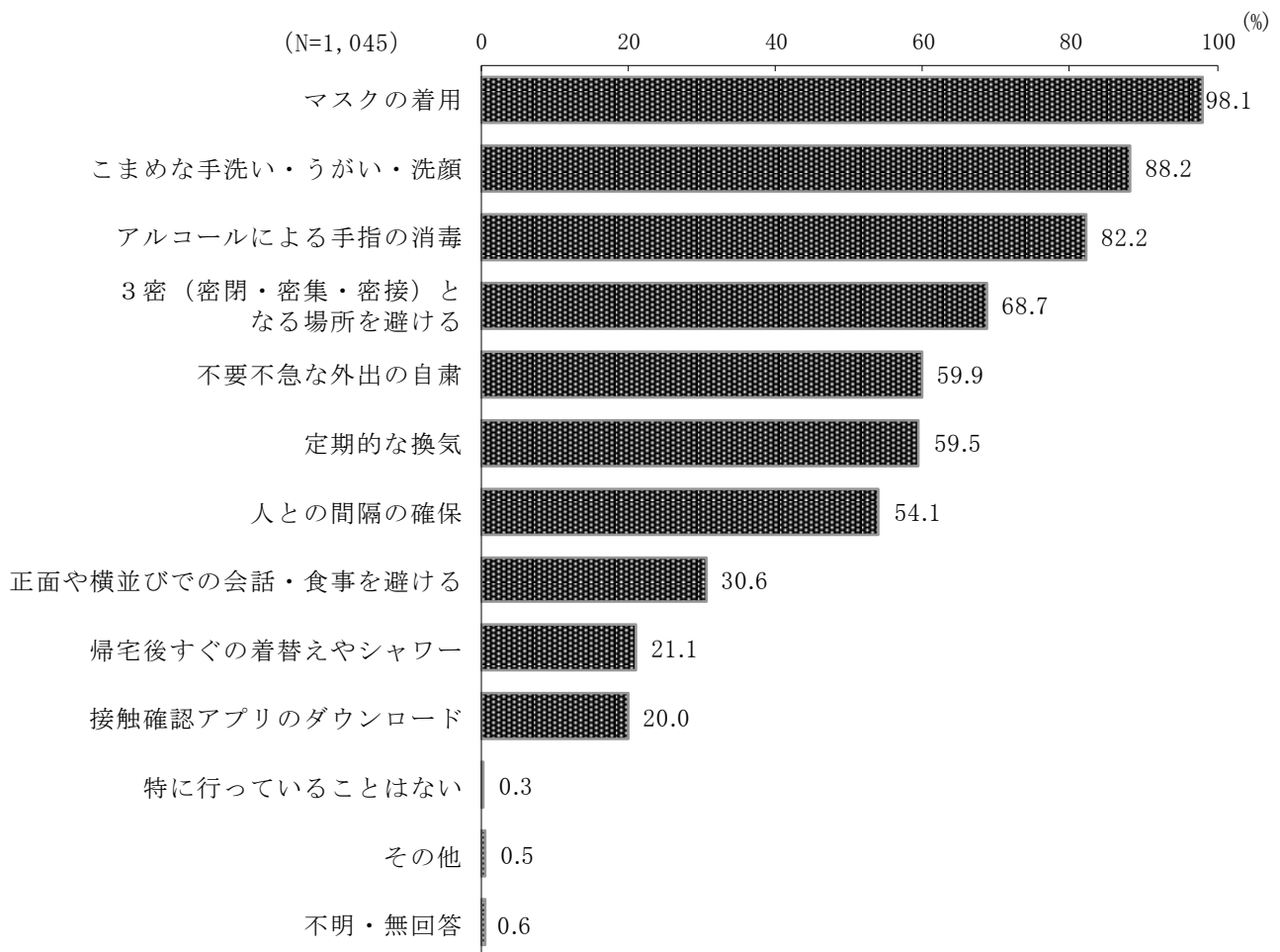


性年代別で見ると、「子ども・子育てのための施策」が、男女とも30~39歳が45%を超え、他の性年代よりも高い結果となった。

3 6. 新型コロナウイルス感染症対策の実施状況

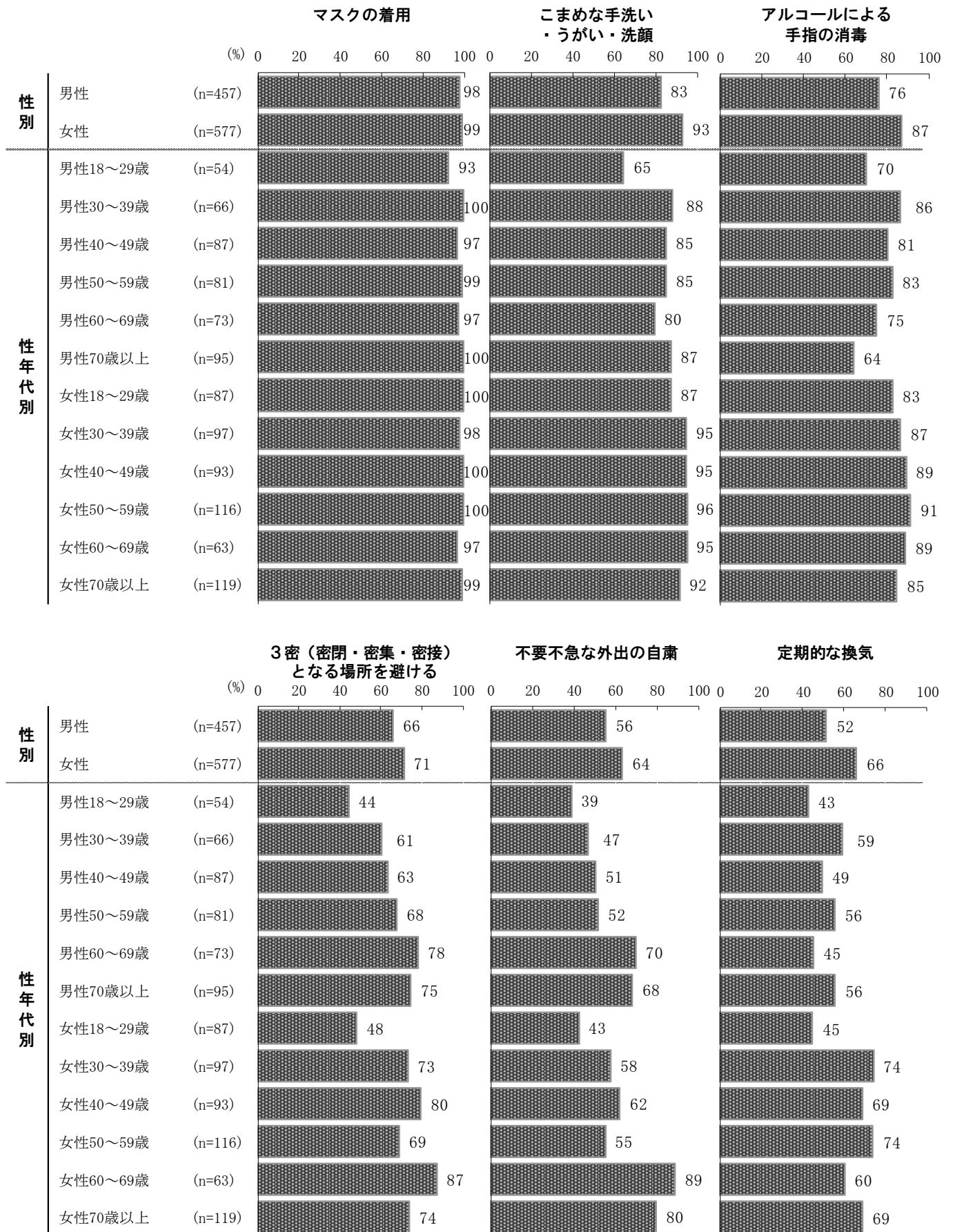
問28 あなたが新型コロナウイルス感染症対策として、実施しているものを教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

図 3 6 - 1 新型コロナウイルス感染症対策の実施状況



「新型コロナウイルス感染症対策の実施状況」について聞いたところ、「マスクの着用」(98.1%)が最も高い結果となり、次いで「こまめな手洗い・うがい・洗顔」(88.2%)、「アルコールによる手指の消毒」(82.2%)の順となった。

図 36-2 新型コロナウイルス感染症対策の実施状況
(性別・性年代別) <上位6項目>

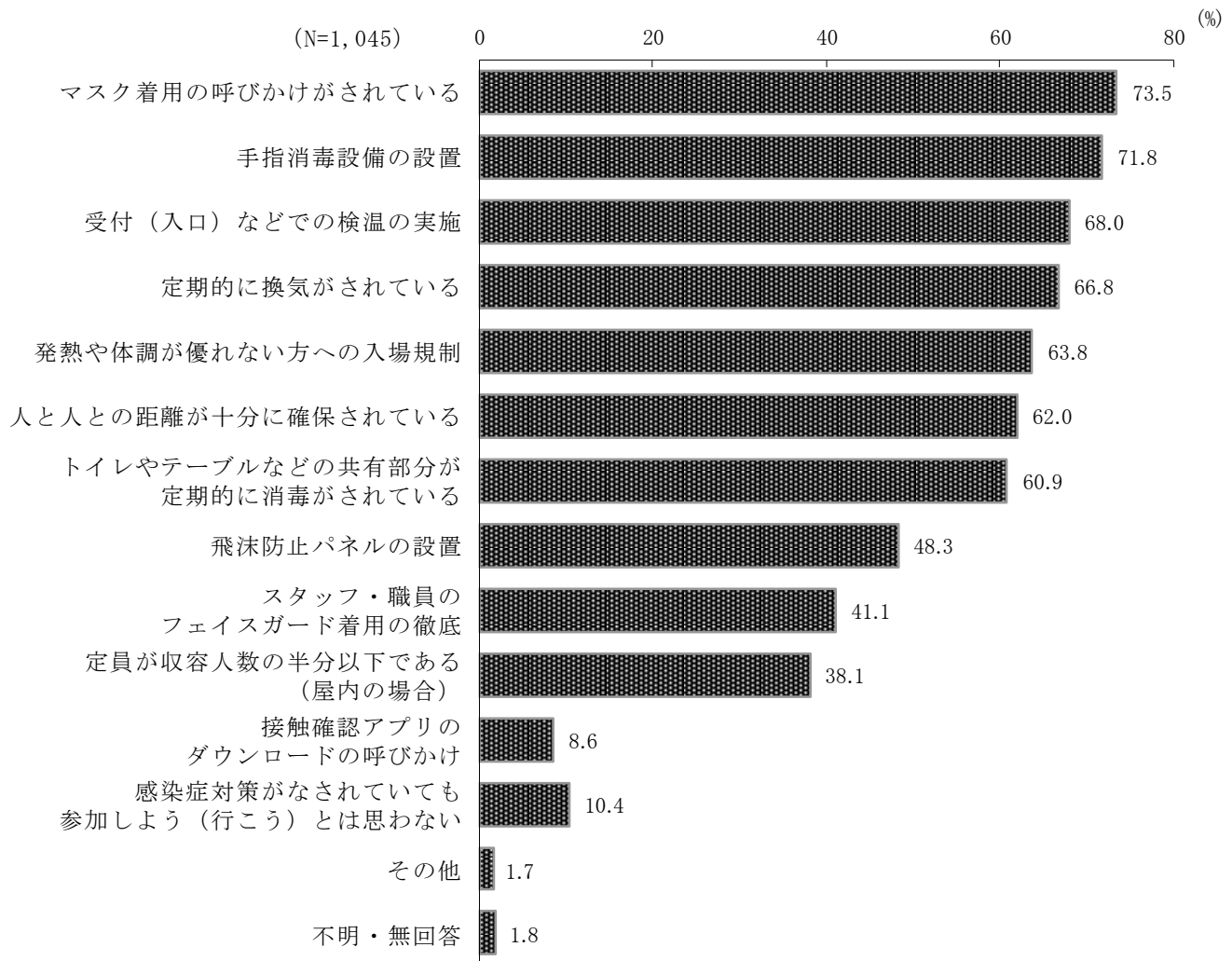


性別で見ると、「こまめな手洗い・うがい・洗顔」、「アルコールによる手指の消毒」、「定期的な換気」は男性よりも女性の方が10ポイント以上、高い結果となった。

3 7. イベントや公共施設など人が集まりやすい場所で必要だと思う感染症防止対策

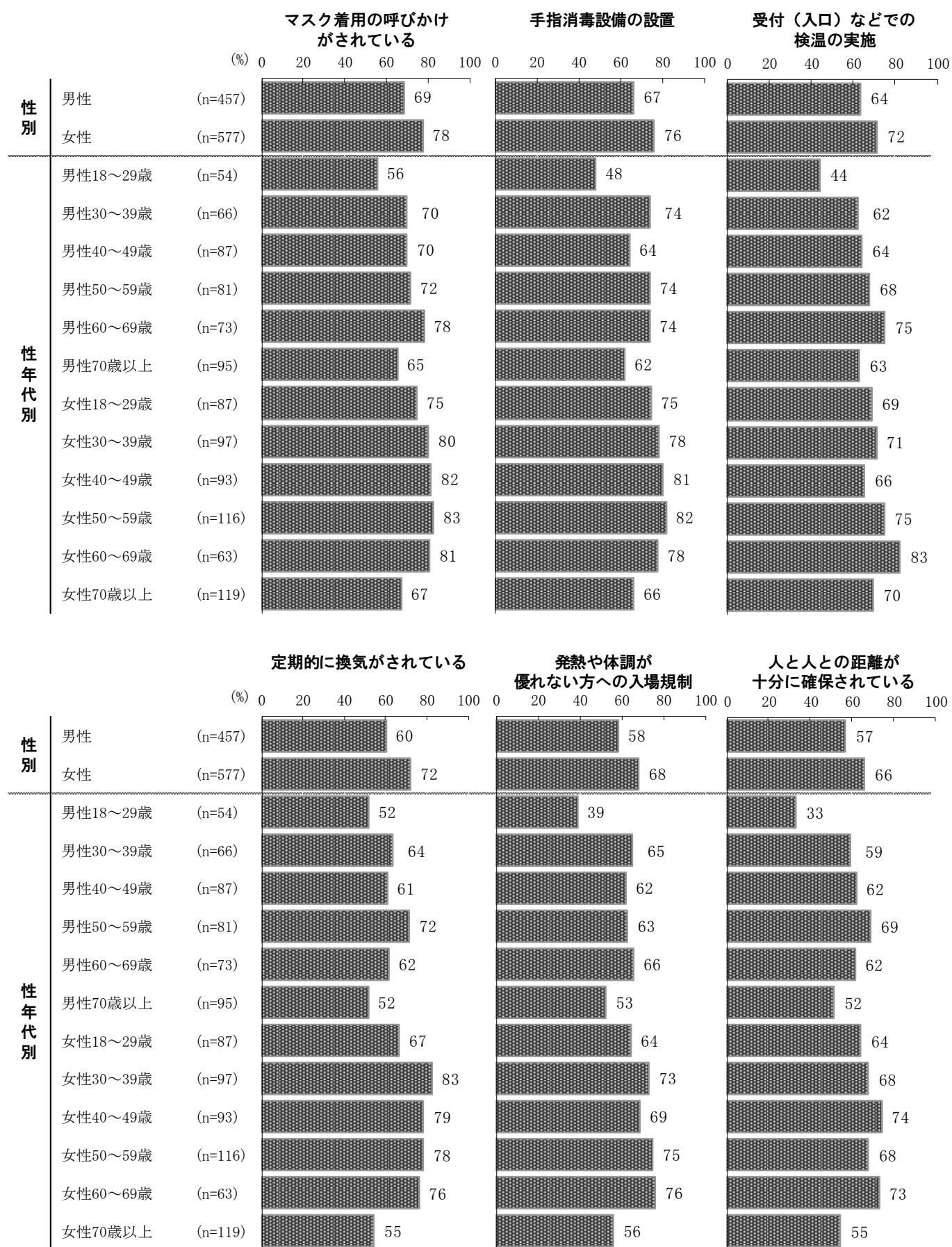
問29 イベントや公共施設など人が集まりやすい場所に行く場合、どのような感染症防止対策がされていれば、参加しよう（行こう）と思いますか。（あてはまるものすべてに○）

図 3 7－1 イベントや公共施設など人が集まりやすい場所で必要だと思う感染症防止対策



「イベントや公共施設など人が集まりやすい場所で必要だと思う感染症防止対策」について聞いたところ、「マスク着用の呼びかけがされている」（73.5%）が最も高い結果となり、次いで「手指消毒設備の設置」（71.8%）、「受付（入口）などでの検温の実施」（68.0%）の順となった。

図 37-2 イベントや公共施設など人が集まりやすい場所で必要だと思う感染症防止対策
(性別・性年代別) <上位6項目>

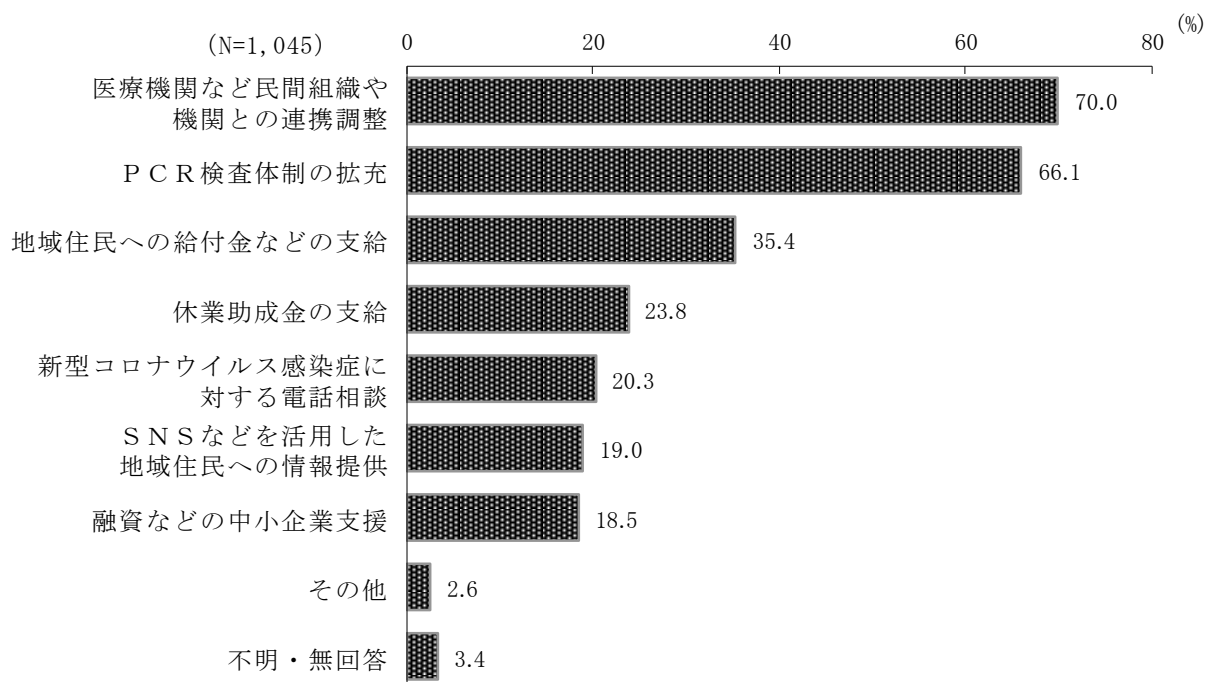


性別で見ると、「定期的に換気がされている」と「発熱や体調が優れない方への入場規制」は、男性よりも女性の方が10ポイント以上、高い結果になった。性年代別で見ると、上位6項目全てで男性18~29歳が最も低い結果となった。

38. 市（区）が優先して取り組むべき感染症対策

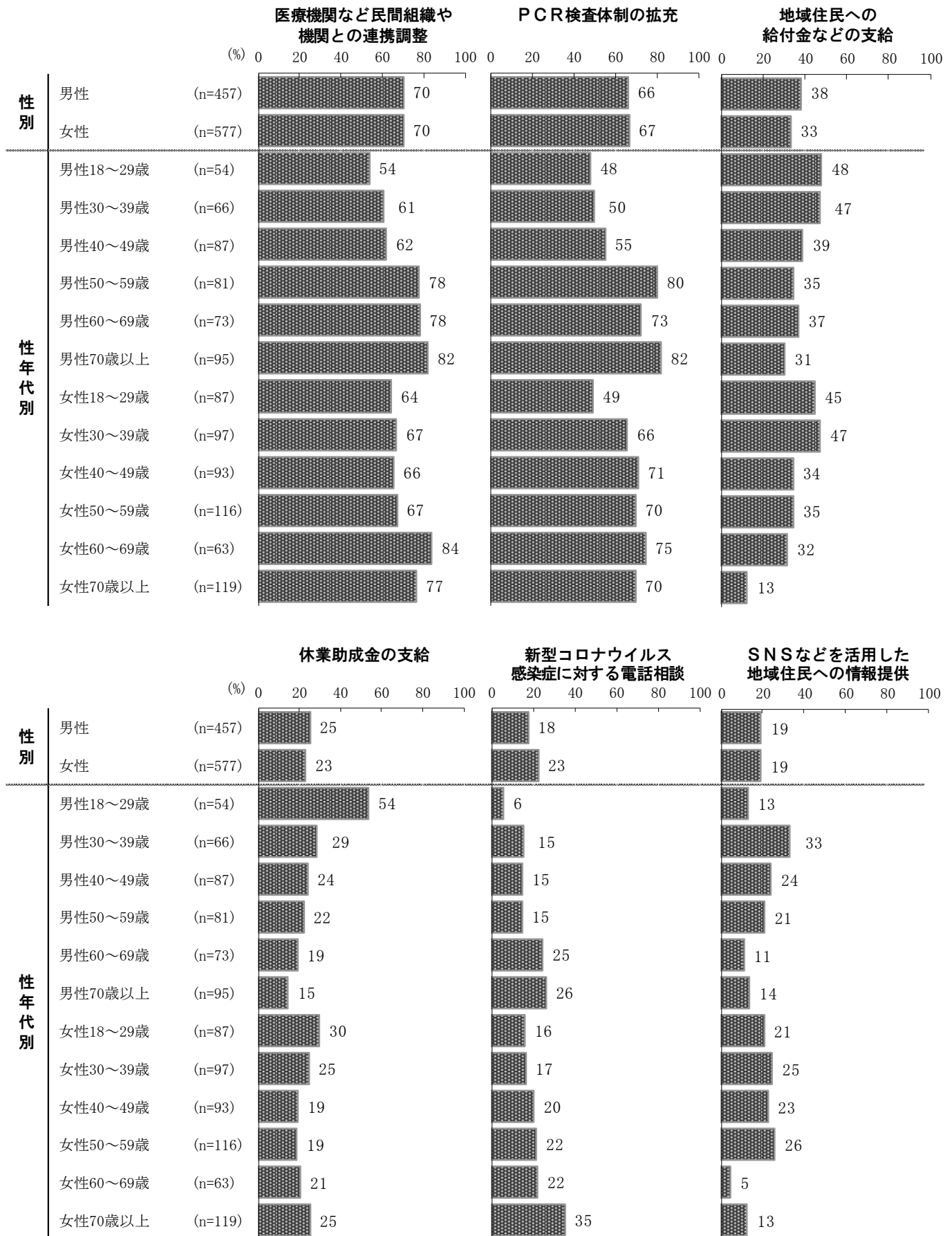
問30 新型コロナウイルス感染症対策として、市（区）が優先して取り組むべき施策は何であると考えますか。（番号は3つまで）

図 38-1 市（区）が優先して取り組むべき感染症対策



「市（区）が優先して取り組むべき感染症対策」について聞いたところ、「医療機関など民間組織や機関との連携調整」（70.0%）が最も高い結果となり、次いで「P C R 検査体制の拡充」（66.1%）、「地域住民への給付金などの支給」（35.4%）の順となった。

図 38-2 市（区）が優先して取り組むべき感染症対策
（性別・性年代別）＜上位6項目＞



性年代別で見ると、「医療機関など民間組織や機関との連携調整」は、男性50歳以上、女性60歳以上で70%を超え、「P C R検査体制の拡充」は、男性50歳以上、女性40歳以上で70%を超え、それぞれ高い結果となった。「地域住民への給付金などの支給」は、男女とも18～39歳で40%を超え、高い結果となった。

IV. 調查票

多摩区民意識アンケート調査への御協力について (お願い)

日頃から、多摩区の行政に御理解、御協力をいただき誠にありがとうございます。

多摩区役所では、区民の皆様が日頃多摩区について感じていることや、地域でのボランティア活動などに関する意識などについてお聞きし、今後の取組の基礎資料とすることを目的として、区民意識アンケートを実施しております。

今回の調査にあたり、調査対象者として、多摩区内にお住まいの2,000人の皆様を、満18歳以上の方から統計的な方法（外国人を含む住民基本台帳から無作為抽出）で選ばせていただきました。突然のお願いで大変恐れ入りますが、本調査の趣旨を御理解いただき、ぜひとも調査に御協力くださいますようお願いいたします。

- ◆この調査は、行政上の基礎資料として活用します。他の目的に使用することは決してありません。
- ◆この調査は無記名調査です。あなたのお名前や御住所を書いていただく必要はありません。
- ◆この調査の結果は、すべてコンピュータで一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いられま

すので、個々のお答えの調査内容や皆様の個人情報が入ることは一切ありません。

◎回答は、アンケートをお送りした**お名前の御本人**がお答えください。なお御本人様のお体が不自由など回答に支障がある場合、どなたかが御本人の意見を聞いて、**御本人の意見を代筆いただく形のみ有効**とさせていただきます。

◎御本人が長期不在などで回答できない場合は、御回答いただく必要はありません。

◎お答えは、当てはまる答えの番号を○で囲んでいただくか、番号を御記入いただけます。○の数は、各問の指示に従ってください。「その他」に当てはまる場合は、（ ）内に具体的にその内容を御記入ください。

◎各問のお答えについては、あなたが日頃感じていることをありのままにお答えください。

◎アンケートの結果は、多摩区のホームページなどでお知らせいたします。

令和2年10月

多摩区長 荻原 圭一

ご記入が завершиましたら、本調査票を同封いたしましたアンケート回収用封筒に入れて

令和2年11月24日（火）までに

（切手不要）お近くのポストへご投函ください。

◆本調査について、御不明な点がありましたら、調査担当課までお問い合わせください。
なお、多摩区のホームページにもお知らせを掲載しています。

<http://www.city.kawasaki.jp/tama/>



調査担当課 多摩区役所まちづくり推進部企画課
〒214-8570 川崎市多摩区登戸1775番地1
電話 : 044-935-3147
FAX : 044-935-3391
メール : 71kikaku@city.kawasaki.jp

☞ 全員の方へお伺いします。

問4 あなたにとって多摩区は、以下の項目に関してどの程度あてはまりますか。

(○は各項目で1つだけ)

$$\begin{array}{r} 251 \\ \underline{26} \\ 47 \end{array}$$

- | 回 | 答 | 例 | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|----|--------------|---|---|---|---|---|---|---|
| ア) | 多摩区に證券を持っている | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |

(ウ) 多摩区に誇りを持っている	⇒	1	2	3
------------------	---	---	---	---

- | | | | | | | |
|-----------------------|---|---|---|---|---|---|
| (エ) 多摩区について自慢したいことがある | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (オ) 自分は多摩区に貢献している | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

95% (0.05 0.10 0.15 0.20 0.25 0.30 0.35 0.40 0.45 0.50 0.55 0.60 0.65 0.70 0.75 0.80 0.85 0.90 0.95 1.00)			
---	--	--	--

- | |
|-------|
| かからない |
| 満である |
| し不満であ |
| め満足して |
| 足している |

回答例	↑	1	2	3
(ア) 地震、水害、国や地方の災害に被害を蒙る者	1	1	0	0

(イ) 風紀上・防犯上の安心感	↑	1	2
-----------------	---	---	---

- | | | | | | | |
|--------------------|---|---|---|---|---|---|
| (ウ) 交通事故・危険物からの安心感 | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (エ) 空気や自然のきれいさ | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (オ) 家の周りの静けさ | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (カ) 公園や緑の豊かさ | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (キ) 通勤・通学の便利さ | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (ク) 買い物の便利さ | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (ケ) 病院や診療所までの距離 | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問6 川崎市政について総合的に伺います。次にあげる仕事の中で、よくやっていると思われるものは、どれですか。（あてはまるものすべてに○）

問7 また、今後特に力を入れてほしいとお考えのものは、どれですか。（あてはまるものすべてに○）

回答例	問6 よくやっている と思うもの	問7 今後特に力を入 れてほしいもの
1. 海外姉妹都市との国際交流事業	1	1
2. 行財政改革	2	2
3. 市や区の仕事などについての情報提供	3	3
4. 市政への市民参加の促進のための施策	4	4
5. 地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	5	5
6. 防犯対策	6	6
7. 交通安全対策	7	7
8. 美術館、各種ホールなど文化施設の整備	8	8
9. 映画祭、国際会議など文化的な催しや活動	9	9
10. 女性の活躍推進のための施策	10	10
11. 中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	11	11
12. 観光推進、都市イメージの向上（シテイブローモーション）	12	12
13. 道路、公園、広場の美化・清掃	13	13
14. 公園の整備や維持管理	14	14
15. 自然や緑の保全	15	15
16. 大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	16	16
17. 日常のごみ収集やリサイクル	17	17
18. 子どものための施策	18	18
19. 高齢者のための施策	19	19
20. 障害者のための施策	20	20
21. 病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	21	21
22. 健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	22	22
23. 検査体制、電話相談、情報提供などの新型コロナウイルス感染症対策	23	23
24. 市営住宅の建設・整備	24	24
25. 主要な駅周辺の再開発	25	25
26. 河川の整備	26	26
27. 下水道の整備	27	27
28. 道路・歩道の整備	28	28
29. 放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	29	29
30. 市民が親しむことのできる港湾の整備	30	30
31. 水道水の安定供給	31	31
32. バスなどの交通網の整備	32	32
33. 消防力の強化や防災体制の整備	33	33
34. 市民が学習する機会や施設の整備	34	34
35. スポーツ・レクリエーションの施設整備	35	35
36. 小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	36	36
37. わからない	37	37
38. 特になし	38	38

問8 川崎市が進めている施策や事業について、どの程度満足していますか。（○は1つだけ）

1. 満足している	3. 少し不満である	5. わからない
2. まあ満足している	4. 不満である	

■ 市政への参加、地域でのボランティア活動などについて

町内会・自治会や市民活動団体での取組など、あなたの地域でのボランティア活動などへの参加状況や考え方について伺います。

問9 地域のボランティア活動、サークル活動などを行っていますか。
（○は1つだけ）

1. 活動を行っている → 問9-2へ
2. 活動は行っていない → 次ページ問9-4へ

☆ 問9で「1. 活動を行っている」と答えた方にお伺いします。

問9-2 地域で活動している団体（グループや個人）の活動分野をお選びください。
（あてはまるものすべてに○）

1. 町内会・自治会に関係する活動 11. 介護に関係する活動
2. 乳幼児に関係する活動 12. 障害者に関係する活動
3. 小中学生に関係する活動 13. 地域での健康づくりに関係する活動
4. 若年層に関係する活動 14. まちの美化や緑化、生活環境に関係する活動
5. 外国籍市民に関係する活動 15. 文化、観光、産業に関係する活動
6. 知識・技能を地域に活かせる活動 16. スポーツに関係する活動
7. 教育・生涯学習に関係する活動 17. 趣味や余暇を活かした活動
8. 地域のまちづくりに関係する活動 18. 環境保全に関係する活動
9. 防犯・防火に関係する活動 19. その他（ ）
10. 交通安全に関係する活動

☆ 引き続き、問9で「1. 活動を行っている」と答えた方にお伺いします。

問9-3 地域で活動する上で支援を受けたいと思うものはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 一緒に活動する人材の紹介 5. 活動の参考になる情報の収集
2. 事務的なサポートをする人材の紹介 6. 活動の広報
3. 活動の打合せができる場所 7. その他（ ）
4. 活動資金 8. 特になし

→ 回答後、6 ページの間10へ

☞ 4 ページ問9で「2. 活動は行っていない」と答えた方にお伺いします。

問9-4 地域でのボランティア活動などを行っていない理由をお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わないため
2. 地域で活動するきっかけがないため
3. 地域での活動に関心がないため
4. 地域での付き合いがわずらわしいため
5. 地域での活動に参加する体力がないため
6. その他 ()

☞ 引き続き、4 ページ問9で「2. 活動は行っていない」と答えた方にお伺いします。

問9-5 地域でのボランティア活動などを始めるきっかけとして、どのような機会や場があることが効果的だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 新しく地域活動を始めるときかけとなるような講座や活動体験会等の開催
2. 地域での活動を紹介するイベントの開催
3. 地域での活動を紹介する資料の閲覧や相談の場
4. インターネット等での地域での活動の情報紹介
5. その他 ()
6. わからない
7. 特にない

☞ 引き続き、4 ページ問9で「2. 活動は行っていない」と答えた方にお伺いします。

問9-6 地域でのボランティア活動などを行うとした場合、どのようなかたちで地域で活動をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の住んでいる地域で貢献できる活動をしたい
2. 市民館などの公共施設で生涯学習に関する活動に取り組みたい
3. 区役所が市民と協働で取り組む事業に参加したい
4. その他 ()
5. 地域でのボランティア活動などには参加したくない

☞ 引き続き、4 ページ問9で「2. 活動は行っていない」と答えた方にお伺いします。

問9-7 地域でのボランティア活動などを行うとした場合、どのような分野に関心がありますか。
次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。
(番号は3つまで)

1. 町内会・自治会に関係する活動
2. 乳幼児に関係する活動
3. 小中学生に関係する活動
4. 若年層に関係する活動
5. 外国籍市民に関係する活動
6. 知識・技能を地域に活かせる活動
7. 教育・生涯学習に関係する活動
8. 地域のまちづくりに関係する活動
9. 防犯・防火に関係する活動
10. 交通安全に関係する活動
11. 介護に関係する活動
12. 障害者に関係する活動
13. 地域での健康づくりに関係する活動
14. まちの美化や緑化、生活環境に関係する活動
15. 文化、観光、産業に関係する活動
16. スポーツに関係する活動
17. 趣味や余暇を活かした活動
18. 環境保全に関係する活動
19. その他 ()

下の枠内に番号を
1つずつ、3つまで
記入してください。



☞ 全員の方へお伺いします。

問10 町内会・自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

1. 加入している → 次ページ問11へ
2. 加入していない → 問10-2へ

☞ 問10で「2. 加入していない」と答えた方にお伺いします。

問10-2 町内会・自治会に加入していない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 加入するきっかけがない
2. 加入しなくても日常生活に支障がない
3. 仕事や子育て、介護等で忙しく活動する時間がない
4. 加入の仕方がわからない
5. 会費の支払いに負担を感じる
6. いろいろな役をやるのが負担に感じる
7. 町内会・自治会の地域活動に関心がない
8. 隣近所とのつきあいがわずらわしい
9. 町内会・自治会以外で地域活動を行っている
10. その他 ()
11. 特にない

☞ 全員の方へお伺いします。

問11 区民（NPOや市民活動団体などを含む）と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うものは何ですか。次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は3つまで）

1. 防犯対策	15. 消防力の強化や防災対策
2. 交通安全対策	16. 市民が学習する機会の増加や内容の充実
3. 文化・芸術活動の振興	17. スポーツ・レクリエーションの促進
4. 商業の振興	18. シニア世代の積極的な社会活動の促進
5. 観光推進、区のイメージ向上（シティプロモーション）	19. 若者の積極的な社会活動の促進
6. 道路、公園、広場の美化・清掃	20. 温暖化防止に関する施策（緑のカーテンや節電など）
7. 公園の活用や維持管理	21. 近隣住民同士のコミュニティ活性化
8. 自然や緑の保全	22. 市民活動団体の活動の促進
9. ごみの分別やリサイクル	23. その他（ ）
10. 子どものための施策	24. わからない
11. 高齢者のための施策	25. 特にならない
12. 障害者のための施策	
13. 健康づくりのための施策	
14. 放置自転車対策	

下の枠内に番号を1つずつ、3つまで記入してください。

■ 区役所が推進する主な取組について

地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりについてお伺いします。

問12 多摩区内のどの見所を他人に薦めたいと思いますか。次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は3つまで）

1. 生田緑地	15. 諏訪社
2. 生田緑地ばら苑	16. 多摩川
3. 稲田公園	17. ニヶ領せせらぎ館
4. 小沢城址	18. ニヶ領用水宿河原線沿い
5. 川崎国際生田緑地ゴルフ場	19. 登戸稲荷社
6. 川崎市岡本太郎美術館	20. 柿形山広場（展望台）
7. 川崎市多摩スポーツセンター	21. 明治大学平和教育
8. 川崎市伝統工芸館	22. 登戸研究所資料館
9. 川崎市立日本民家園	23. 妙楽寺（あじさい寺）
10. 川崎市農業技術支援センター	24. 葉師堂（菅の獅子舞）
11. 川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム	25. 漢・BIYORI（植物園）
12. 川崎市緑化センター	26. その他（ ）
13. かわさきぎ田と緑の科学館	27. 特にならない
14. 廣福寺	

下の枠内に番号を1つずつ、3つまで記入してください。

問13 多摩区では、豊かな自然環境や魅力的な地域資源を活用し、区の観光振興やイメージ、地域ブランド力の向上を目指す取組を行っています。次の中からあなたが知っているもの、見たことのあるものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. ピクニックタウン多摩区の取組（イベント）	※イラスト①
2. ピクニックタウン多摩区のロゴマーク（※イラスト①）	※イラスト②
3. ピクニックタウン多摩区のSNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム）	
4. 多摩区観光協会ホームページ「多摩区見どころガイド」	
5. 多摩区観光ガイドブック「はなもす」（※イラスト②）	
6. 多摩区観光ボランティアガイドの活動	
7. ARを利用した「たまくdeAR!」（※1）	
8. 特にならない	
9. その他（ ）	

※1…登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区のまちと生田緑地や岡本太郎美術館、日本民家園、かわさきぎ田と緑の科学館などのアクセスルートにARスポットを設置し、スマートフォンカメラで二次元コードを読み込むことで、施設のキャラクターと一緒に写真が撮れるなど、利用者が楽しみながらまちや施設を周遊できる取組

災害に強く安全で安心できるまちづくりについてお伺いします。

問14 地震・風水雪などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 3日分以上の食料の用意(備蓄)	
2. 3日分以上の飲料水(1人1日3リットル)の用意(備蓄)	
3. 指定避難所(※1)や指定緊急避難場所(※2)の場所や経路の確認	
4. 複数の避難先(分散避難)の検討と確認	
5. 家具の適切な配置や転倒防止対策	
6. 窓ガラスの飛散防止対策	
7. 懐中電灯など、停電に対する備え	
8. 衛生用品(マスク、消毒液、体温計など)の用意(備蓄)	
9. 地震ブレーカーの設置(地震の揺れを感じし自動的にブレーカーを遮断する機器)	
10. 家族と緊急時における連絡方法の確認	
11. ハザードマップや防災マップの確認	
12. 避難行動計画(マイタイムライン)の作成	
13. その他()	
14. 特になし	

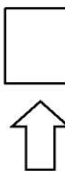
※1…災害の影響により自宅に住めなくなった場合などに、避難生活を送る場所

※2…切迫した災害の危険から一時的に逃れるための場所

問15 災害に対する日頃からの備えに関する情報が何から提供されたら効果的だと思いますか。
(番号は3つまで)

1. 区(市)のホームページ	
2. SNS(ツイッター、フェイスブックなど)	
3. 電子メール	
4. スマートフォンアプリ	
5. 市政だより	
6. 町内会・自治会など地域の集まり	
7. 町内会・自治会の回覧	
8. 地域の防災訓練	
9. 防災に関する出前講座や講話	
10. 防災フェアなどのイベント	
11. チラシやパンフレット、冊子	
12. 学校からの便り	
13. テレビ・ラジオ	
14. DVD等	
15. その他()	

下の枠内に番号を
1つずつ、3つまで
記入してください。



問16 あなたは、直近1年以内に地域で行われた防災訓練や出前講座に参加したことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 避難所運営会議、小中学校・区が実施している「多摩区総合防災訓練」	
2. 市・区が実施する「ぼうさい出前講座」	
3. 自主防災組織・町内会・自治会が実施する「防災訓練」	
4. アパート・マンションの管理組合が行う「防災訓練」	
5. 避難所(小中学校など)で実施される「防災訓練」	
6. 通っている学校や勤務先等が実施する「防災訓練」	
7. その他()	
8. 参加したことがない	

問17 防災訓練や出前講座などで、どのような内容を実施することが効果的だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 適切な消火の方法	
2. 建物などからの避難・誘導の仕方	
3. 避難所などにおける給食・給水のルール	
4. 避難所設営・運営の方法	
5. 仮設トイレの組立方法	
6. 救命処置の手順	
7. 情報収集・伝達の方法	
8. 地図を用いた災害時の避難経路や危険箇所の検討	
9. 安否確認の方法	
10. 地震車による地震体験	
11. 火災発生時の疑似体験(煙体験ハウス)	
12. 新型コロナウイルス感染症などをふまえた避難所の運営方法	
13. 避難行動計画(マイタイムライン)の作成方法	
14. 備蓄品・非常持出袋の準備方法(例:ローリングストック)※1	
15. その他()	

※1…普段から少し多めに加工品などの食料を備蓄しておき、使用した分だけ新たに買い足すことで、常に一定量の食料を備蓄しておく方法

すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりについてお伺いします。

問18 誰もが住み慣れた地域や場所で安心して暮らし続けられるため、医療、看護、介護、福祉・生活支援が切れ目なく一体的に提供される仕組みと地域づくりの取組である「地域包括ケアシステム」を知っていますか。(○は1つだけ)

1. よく知っている
2. ある程度知っている
3. 聞いたことはある
4. 知らない

問19 地域包括ケアシステムにおいて一人ひとりに期待される行動として、自助（生きがいづくりなど）、互助（地域の交流・支え合い、ボランティア活動など）がありますが、あなたはこのような行動を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

問20 また、行ってみたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

	回答例	問19	問20
1. 趣味など生きがいづくり	1	1	1
2. 食生活改善や運動・体操などの健康づくり	2	2	2
3. 育児・介護・健康・医療・福祉などの情報収集	3	3	3
4. 地域のお祭りや防災訓練などの地域の催しへの参加	4	4	4
5. 近隣住民とのあいさつ、交流	5	5	5
6. 近隣住民の見守り、声かけ、支え合い	6	6	6
7. 地域活動、ボランティア活動に参加(例：町内会・自治会、まちの美化運動、PTA、趣味や特技を活かした活動など)	7	7	7
8. 興味関心事や状況、世代が自分と近い人との交流(例：子育てサークル、高齢者サロン、趣味のサークルなど)	8	8	8
9. 興味関心事や状況、世代が自分と異なる人との交流(例：高齢者と子どもの昔遊び教室、外国にルーツを持つ住民との交流など)	9	9	9
10. その他()	10	10	10
11. 特になし	11	11	11

問21 あなたの近所付き合いは以下のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

1. 家族のように親しく付き合っている人がある	4. ときどき話をする程度
2. 家に行き来したり、親しく話をする人がある	5. あいさつをする程度
3. 親しく話をする人がある	6. ほとんど付き合いがない

問22 困ったとき、近所にちょっととした手助けを頼める人はいませんか。(○は1つだけ)

1. いる	2. いない
-------	--------

問23 近所の人にとっととした手助けを頼まれた場合に、自分にもできると思うことはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

1. 話し相手	11. 蛍光灯、電球の交換
2. 週1回程度の見守り	12. 繕いもの(ボタン付け等)
3. 散歩の付き添い・介助	13. 犬の散歩
4. 通院の付き添い・介助	14. ごみ出し
5. 日用品の買い物	15. パソコン・スマートフォンの操作説明
6. 庭木の水やり	16. 簡単な書類作成
7. 庭木の剪定、草むしり	17. 短時間の子どもの預かり
8. 園芸相談	18. その他()
9. 日曜大工程度の修理	19. わからない
10. 家具の移動、部屋の模様替え	20. 特になし

問24 日頃の生活で自分と世代が異なる人との付き合いが多いですか。(○は1つだけ)

1. そう思う	4. どちらかといえばそう思わない
2. どちらかといえばそう思う	5. そう思わない
3. どちらともいえない	

問25 多摩区役所では、認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を見守るために、認知症サポーター養成講座を行っています。この講座を受講したことがありますか。また、受講したいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 受講したことがある
2. 受講したことはないが、ぜひ受講してみたい
3. 受講したことはないが、きっかけや時間があれば受講してみたい
4. 受講したことはないし、受講したくない
5. わからない

市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりについてお伺いします。

問26 多摩区には、専修、明治、日本女子の3つの大学が立地しています。これまで、さまざまな取組を通して、大学の持つ知的資源や多彩な人材を活用し、大学と地域社会との交流連携を深めてきました。あなたが知っている大学・大学生が関連したイベントや取組などはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1. 多摩区3大学コンサート | 8. 大学スポーツを応援する取組
(例：箱根駅伝出場校への応援メッセージ募集など) |
| 2. 大学図書館の地域開放 | 9. 多摩区・3大学連携協議会情報誌 |
| 3. 大学・地域連携事業 | 「たまなびニュース」 |
| 4. 書き損じハガキの回収 | 10. たまなびプログラム（大学生と地域のつながりがりづくりや交流を促進する取組） |
| 5. 多摩区民祭でのブース展示 | 11. その他（ ） |
| 6. 生田緑地エントランス
スポットでのポスター掲示 | 12. 知っている取組・イベントはない |
| 7. 各大学公開講座 | |

区役所が力を入れて取り組むべき施策についてお伺いします。

問27 区民に身近な区役所が速やかに力を入れて取り組むべき施策は何であると考えますか。

（あてはまるものすべてに○）

※項目の後ろに（市）とあるものは、現時点で主に市役所を中心として進めているもの

- | | |
|------------------------------|---|
| 1. 区役所の業務などに
ついての広報、情報提供 | 17. 日常のごみ収集やリサイクル（市） |
| 2. 区政への市民参加の促進のための施策 | 18. 子ども・子育てのための施策 |
| 3. 町内会・自治会、市民活動の
支援に関する施策 | 19. 高齢者のための施策 |
| 4. 災害時の対応などの危機管理 | 20. 障害児・障害者のための施策 |
| 5. 防犯対策 | 21. 健康診断、がん検診、健康相談など、
健康づくりのための施策 |
| 6. 交通安全対策 | 22. 新型コロナウイルス感染症対策として
市政だよりなどによる情報発信や区内
施設の安全管理 |
| 7. 音楽など芸術・文化的な催しや活動 | 23. 主要な駅周辺の再開発（市） |
| 8. 商店街振興（市） | 24. 道路・歩道の整備 |
| 9. 観光推進 | 25. 放置自転車、駐輪場の整備等の自転車対策 |
| 10. 区のイメージの向上 | 26. コミュニティパスなどの
地域交通のための施策（市） |
| 11. 窓口サービスの向上 | 27. 区民が学習する機会の提供 |
| 12. 道路の美化・清掃 | 28. スポーツ・レクリエーションの推進 |
| 13. 公園の整備や維持管理 | 29. わからない |
| 14. 自然や緑の保全（市） | 30. その他（ ） |
| 15. 地球温暖化対策 | 31. 特にない |
| 16. 大気汚染や騒音・振動などの対策（市） | |

13

新型コロナウイルス感染症対策や「新しい生活様式」についてお伺いします。

問28 あなたが新型コロナウイルス感染症対策として、実施しているものを教えてください。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| 1. マスクの着用 | 8. 帰宅後すぐの着替えやシャワー |
| 2. こまめな手洗い・うがい・洗顔 | 9. 3密（密閉・密集・密接）となる
場所を避ける |
| 3. アルコールによる手指の消毒 | 10. 接触確認アプリのダウンロード |
| 4. 定期的な換気 | 11. 特に行っていることはない |
| 5. 不要不急な外出の自粛 | 12. その他（ ） |
| 6. 人との間隔の確保 | |
| 7. 正面や横並びでの会話・食事を避ける | |

問29 イベントや公共施設など人が集まりやすい場所に行く場合、どのような感染症防止対策が
されていれば、参加しよう（行こう）と思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------------|
| 1. 受付（入口）などでの検温の実施 | 8. 定期的に換気がされている |
| 2. マスク着用の呼びかけがされている | 9. トイレやテーブルなどの共有部分が
定期的に消毒がされている |
| 3. 手指消毒設備の設置 | 10. 定員が収容人数の半分以下である
(屋内の場合) |
| 4. 飛沫防止パネルの設置 | 11. 接触確認アプリのダウンロードの呼びかけ |
| 5. スタッフ・職員の
フェイスガード着用の徹底 | 12. 感染症対策がなされている
参加しよう（行こう）とは思わない |
| 6. 発熱や体調が優れない方への入場規制 | 13. その他（ ） |
| 7. 人と人との距離が十分に確保されている | |

問30 新型コロナウイルス感染症対策として、市（区）が優先して取り組むべき施策は何である
と考えますか。（番号は3つまで）

- | |
|-------------------------|
| 1. 医療機関など民間組織や機関との連携調整 |
| 2. 融資などの中小企業支援 |
| 3. 休業助成金の支給 |
| 4. 地域住民への給付金などの支給 |
| 5. SNSなどを活用した地域住民への情報提供 |
| 6. 新型コロナウイルス感染症に対する電話相談 |
| 7. PCR検査体制の拡充 |
| 8. その他（ ） |
- 下の枠内に番号を
1つずつ、3つまで
記入してください。
-
-
-

14

■ あなた自身のことについて

このアンケートの統計分析に必要なため、次の項目についてお伺いします。

問31 あなたの性別をお聞かせください。(○は1つだけ)

1. 男性	2. 女性	3. 選べない・答えたくない
-------	-------	----------------

問32 あなたの年齢をお聞かせください。(○は1つだけ)

1. 18～19歳	6. 40～44歳	11. 65～69歳
2. 20～24歳	7. 45～49歳	12. 70～74歳
3. 25～29歳	8. 50～54歳	13. 75歳以上
4. 30～34歳	9. 55～59歳	
5. 35～39歳	10. 60～64歳	

問33 あなた現在の職業をお聞かせください。(○は1つだけ)

1. 自営業	5. 内職
2. 家族従業(家業手伝い)	6. 主婦・主夫(家事専業)
3. 勤め(全日)	7. 学生
4. 勤め(パートタイム)	8. 無職(収入が年金のみの方を含む)
	9. その他()

→ 問33-2へ

→ 次ページ問34へ

☞ 問33で「1. 自営業」「2. 家族従業(家業手伝い)」「3. 勤め(全日)」「4. 勤め(パートタイム)」のいずれかに答えた方にお伺いします。

問33-2 お仕事の内容を具体的に聞かせください。(○は1つだけ)

自営業、家族従業の方 (1～3の中からお選びください)	勤め(全日/パートタイム)の方 (4～8の中からお選びください)
1. 農林漁業	4. 経営・管理職
2. 商工サービス業	5. 専門・技術職
3. 自由業	6. 事務職
	7. 技能・労務職
	8. 販売・サービス職

☞ 全員の方へお伺いします。

問34 お勤め先または通学先はどちらですか。(○は1つだけ)

1. 川崎市内(多摩区)	5. 東京都(23区内)
2. 川崎市内(多摩区以外)	6. 東京都(23区以外)
3. 横浜市	7. その他()
4. 神奈川県内(川崎市・横浜市以外)	8. 通勤・通学していない

問35 あなたのお住まいをお聞かせください。(○は1つだけ)

1. 生田1～3丁目	10. 菅1～6丁目	19. 東三田2丁目
2. 生田4～8丁目	11. 堰1～3丁目	20. 布田
3. 宿河原1～7丁目	12. 中野島	21. 柿形1～7丁目
4. 菅稲田堤1～3丁目	13. 中野島1～6丁目	22. 栗谷1～4丁目
5. 菅北浦1～5丁目	14. 長尾1～7丁目	23. 寺尾台1～2丁目
6. 菅城下	15. 登戸	24. 長沢1～4丁目
7. 菅仙谷1～4丁目	16. 登戸新町	25. 西生田1～5丁目
8. 菅野戸呂	17. 東生田1～4丁目	26. 三田1～5丁目
9. 菅馬場1～4丁目	18. 東三田1、3丁目	27. 南生田1～8丁目

問36 あなたのお住まい(住居)は次のどれに当たりますか。(○は1つだけ)

1. 持ち家(一戸建て)	5. 借家(アパート・間借・下宿)
2. 持ち家(マンション・団地)	6. 社宅・寮・公務員住宅
3. 借家(一戸建て)	7. その他()
4. 借家(マンション・団地・公営住宅)	

問37 現在、同居している方は何人ですか。御自分を含めた人数を()内に御記入ください。
また、ひとり暮らし以外の方は、同居している方すべてに○をつけてください。
あなたから見た続柄でお答えください。

同居している方の人数(御自分を含む)・・・()人													
同居している方 (ひとり暮らし以外の方)	<table border="1"> <tr> <td>1. 夫</td> <td>7. 兄弟、姉妹</td> </tr> <tr> <td>2. 妻</td> <td>8. 孫</td> </tr> <tr> <td>3. 父</td> <td>9. 父母の親(祖父母)</td> </tr> <tr> <td>4. 母</td> <td>10. 配偶者の兄弟、姉妹</td> </tr> <tr> <td>5. 子ども</td> <td>11. 配偶者の父母の親</td> </tr> <tr> <td>6. 配偶者の父母</td> <td>12. その他()</td> </tr> </table>	1. 夫	7. 兄弟、姉妹	2. 妻	8. 孫	3. 父	9. 父母の親(祖父母)	4. 母	10. 配偶者の兄弟、姉妹	5. 子ども	11. 配偶者の父母の親	6. 配偶者の父母	12. その他()
1. 夫	7. 兄弟、姉妹												
2. 妻	8. 孫												
3. 父	9. 父母の親(祖父母)												
4. 母	10. 配偶者の兄弟、姉妹												
5. 子ども	11. 配偶者の父母の親												
6. 配偶者の父母	12. その他()												

問38 お子さんをお持ちの方にお伺いします。どの年代のお子さんがいらっしゃいますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 就学前	3. 中学生	5. 大学生
2. 小学生	4. 高校生	6. この年代ではない

問39 日頃最寄り駅までどのような交通手段を御利用になりますか。(○は1つだけ)

1. 徒歩	3. バイク (原付含む)	5. 自動車 (送迎含む)
2. 自転車	4. バス	

問40 あなたは多摩区に住んで何年になりますか。(○は1つだけ)

1. 3年未満	3. 10～20年未満
2. 3～10年未満	4. 20年以上

問41 多摩区役所からのお知らせや情報をどのような手段で入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 市政だより	
2. 区(市)のホームページ	
3. 町内会・自治会の回覧板	
4. SNS (ツイッター、フェイスブックなど)	
5. 地域の掲示板	
6. 新聞記事	
7. 地域情報紙 (タウンニュースなど)	
8. 区役所等公共施設に設置されたポスター・パンフレット類	
9. 区役所から送られるお知らせ文書	
10. その他 (	)
11. 特に多摩区役所からのお知らせや情報は入手していない	

以上でアンケートは終了です。ご協力誠にありがとうございます。
ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて
令和2年11月24日(火)までに、ご投函ください。

御記入がお済みの調査票は、印のところで三つ折りにして、封筒に入れてください。

※お名前・御住所の御記入は不要です。
※切手は貼らずにそのままポストへ投函してください。

令和3年3月発行

令和2年度 多摩区区民意識アンケート調査 報告書

調査主体 川崎市多摩区役所 まちづくり推進部 企画課
〒214-8570
神奈川県川崎市多摩区登戸1 7 7 5 番地1
電話：044-935-3147

調査実施 株式会社 総合企画
〒111-0053
東京都台東区浅草橋1丁目7番2号 岩崎ビル4階
電話：03-5829-6203

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。
再生紙を使用しています。



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市